



本商品はサクサエコマークの製品です。



リチウムイオン電池の  
リサイクルに  
ご協力ください



環境を考慮して  
大豆インクを  
使用しています

この装置は、クラスA情報技術装置です。  
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。  
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

870BT 089-3 Y

この資料は、再生紙を使用しています。

4294067000

## サクサ株式会社

●お問い合わせ、ご用命は

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			

この資料の内容は、平成21年11月現在のものです。

ビジネスコミュニケーションシステム

AGREA HM700

取扱説明書

サクサ株式会社



HM700Std / HM700Pro  
**取扱説明書**

ビジネスコミュニケーションシステム

**AGREA**  
**HM700**



このたびは、「Agrea HM700」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

「Agrea HM700」には、用途と規模に応じて、2種類の主装置を用意しております。

	HM700Std主装置	HM700Pro主装置
適用回線	デジタル回線(INSネット64) アナログ回線 IP電話回線	デジタル回線(INSネット64) アナログ回線 IP電話回線
内線収容数(最大)	8内線	32内線
外線収容数(最大)	デジタル、アナログ併せて4外線	デジタル、アナログ併せて12外線
IP電話回線収容数(最大)	16回線	32回線

## ご 注 意

- 1 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 2 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 3 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので、絶対におやめください。
- 4 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 5 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 6 本書に記載されている内容の一部または全部を無断記載・無断複写することは固くお断りいたします。

### ●ご使用にあたってのお願い

このシステムをご使用にあたって、NTTへのレンタル電話機が不要となる場合はNTTへご連絡ください。  
詳しくは局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

## お問い合わせ窓口のご案内

このたびは、当社の商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。  
商品についてのお問い合わせ、ご相談、アフターサービス(修理)などにつきましては、お求めになりました販売店または下記の当社窓口にご相談ください。

《サクサグループ》

### ■お客様窓口(商品についてのお問い合わせ、ご相談)

サクサ株式会社

●お客様相談室： ナビダイヤル ゼロゼロワン サクサ  
0570-001-393  
050-5507-8039

### ■サービス窓口(アフターサービス、修理)

サクサアドバンスサポート株式会社

●ホームページアドレス：<http://www.saxa-as.co.jp>

●総合窓口： ナビダイヤル ゼロゼロゼロ サクサ  
0570-000-393

北海道サービスセンタ ☎ 011-281-1046

東北サービスセンタ ☎ 022-291-2320

関東サービスセンタ ☎ 03-5420-0393

中部サービスセンタ ☎ 052-220-3611

関西サービスセンタ ☎ 06-6360-6191

中四国サービスセンタ ☎ 082-228-5210

九州サービスセンタ ☎ 092-473-2501

上記窓口・電話番号は都合により、変更になる場合がございます。その際は、お買い求め頂いた販売店にご相談いただくか、または、当社ホームページ(<http://www.saxa.co.jp>)より最新情報を入手してください。

PHS・IP電話等、ナビダイヤル(0570で始まる番号)がご利用できない場合は、050-5507-8039にお問い合わせください。

# 目次

## ① はじめに

安全にお使いいただくために	1
取扱説明書の見かた	6
略図の説明	7
お客様登録について	8
ユーザー登録のしかた	8
電話機の種類と各部の名称	10
ご使用前の注意事項	19
VoIPユニットの自動ファームアップ	25
主装置のプログラム自動更新	25
各種音量の調節	26
着信音量を調節する(着信音量調節)	26
外線着信音を停止する (外線着信鳴動拒否)	27
受話音量を調節する(受話音量調節)	28
スピーカ受話音量を調節する (スピーカ受話音量調節)	29
話中着信音量を調節する (話中着信音量調節)	29
ボタン押し下げ音を停止する (キー押下音)	30
外線ボタンに各種機能のボタンを 割り付ける	31
メニューの説明	33
コントラスト調整	35
カレンダー・時計の設定	36
バックライトの設定	38
誤動作防止機能	39
CL625電話機の独自機能	40
CL625子機からCL625親機へ通話を 切り換える	40
CL625親機からCL625子機へ通話を 切り換える	41

## ② 基本編

電話をかける(外線発信)	42
プリセットダイヤル	43
自動選局発信(オンフックダイヤル)	43
オフフックダイヤル	43
オフフック発信	44
短縮番号検索発信	44
電話帳カナ検索発信	45
電話帳グループ検索発信	47
電話帳一覧から発信する	48
発信履歴発信	49
リダイヤル	50
オートリピートダイヤル	51
着信履歴発信	52
電話をかける(内線発信)	53
内線オンフック発信	53
内線オフフック発信	53
内線プリセットダイヤル	54
内線発信履歴発信	54

内線リダイヤル	55
内線着信履歴発信	56
電話を受ける	57
着信自動応答	57
任意外線応答	57
外線通話を保留する	58
自動転送	59
強制転送	60
口頭転送	61
パーク	62
電話帳に登録する	63
電話帳に登録する	63
発信履歴から電話帳に登録する	66
着信履歴から電話帳に登録する	66
発信履歴から電話帳を変更する	67
着信履歴から電話帳を変更する	67
電話帳を変更する	68
電話帳を確認する	69
発信履歴を確認する	70
初期表示設定(一覧/詳細)のしかた	70
発信履歴を確認する	70
内線発信履歴を確認する	72
着信履歴を確認する	73
初期表示設定(一覧/詳細)のしかた	73
着信履歴を確認する	74
外線着信履歴を確認する	75
電話帳、各履歴情報を消去する	76
電話帳を消去する	76
発信履歴を消去する	77
着信履歴を消去する	78
迷惑電話に登録する	79
通話中からの登録のしかた	79
登録のしかた	79
着信履歴からの登録のしかた	80
一件消去のしかた	81
全件消去のしかた	81
迷惑電話拒否機能のセット/解除のしかた	81
グループ名に登録する(グループ名登録)	82
グループ名に登録する(グループ名登録)	83
グループ識別着信	84
誰カラー着信	85
グループFAX指定	85
メロディ切替	86

## ③ 外線転送機能編

外線転送について	87
外線転送のセット	91
転送先電話番号の登録	91
外線転送メール送信先の登録	92
外線自動転送セット	93
外線自動転送起動時間	95
外線転送タイマ連動	95
一次応答付き外線自動転送	95
グループ識別着信転送	95

外線手動転送	96
外線会議転送	96
外線転送コールバック	97
<b>リモコン機能</b>	<b>98</b>
外線転送リモコン用暗証番号	98
ダイレクトリモコン	98
サブアドレスリモコン	99
自動着信リモコン	100
リモコン操作一覧	101

## 4 留守番機能編

留守番の概要について	102
留守番指定電話機	106
各種メッセージの録音/確認/変更/消去のしかた	108
留守番電話機をセットする	110
留守番セットのしかた	110
留守番自動応答時間指定	111
留守番サイレント設定	111
留守番セット中に電話がかかってくる	112
追っかけ転送先電話番号を登録する	113
録音された用件の再生/消去	114
留守番タイマ連動	116
ワンショット留守番	117
留守子機切替	117
グループ識別着信留守番	118
お待たせメッセージ応答	118
非通知着信メッセージ応答	119
通話メモ	120
用件一括消去	123
<b>リモコン機能</b>	<b>124</b>
留守番リモコン用暗証番号	124
外出先からリモコン操作をする	125
リモコン操作一覧	126

## 5 応用編

外線の便利な機能	127
ワンタッチで電話をかける (ワンタッチ発信)	127
子機を上げてすぐにダイヤルできる (クイック通話)	127
こちらの声を相手に聞こえなくする (送話ミュート)	128
複数の短縮番号を組み合わせて発信する (ネ스팅ダイヤル)	128
ダイヤル操作で外線をつかむ (指定外線捕捉)	129
自動応答できない外線着信に応答する (コールピックアップ)	129
他の外線通話中の電話に割り込む (外線通話割込)	130
他の外線通話に受話だけで割り込む (送話ミュート付き外線通話割込)	130
短縮番号などを続けて発信する (チェーンダイヤル)	131
携帯電話対応ACR機能	131

疑似コールウェイティング	132
外線を再捕捉する(フラッシュ機能)	132
使用しない外線を話中にする(話中設定)	133
外線通話中のメニュー操作 (外線通話中メニュー)	133
外線一覧を表示する(外線一覧)	134
FAX着信お知らせ	135
不在着信お知らせ	135
外線の状態を表示する(外線状態表示)	136
<b>内線の便利な機能</b>	<b>137</b>
内線をワンタッチで呼び出す (内線ワンタッチ発信)	137
内線一覧を表示する(内線一覧)	137
内線/ドアホンに名前を登録する (内線/ドアホン名前登録)	139
続けて別の内線を呼び出す (リセットコール)	140
他の内線呼出に応答する(内線代理応答)	141
使用中の内線を呼び出したとき他の内線を 呼び出す(スライド着信)	141
すべての内線を呼び出す (一斉呼出/電話機グループ呼出)	142
内線通話を保留する(内線独占保留)	143
内線通話を保留して、他の子機で再応答する (内線システム保留)	144
内線通話を保留して、他の子機で再応答する (内線パーク保留)	144
不在理由を登録する(不在理由表示機能)	145
内線を受けられないようにする (不在設定)	146
不在時の内線呼出を他の子機に転送する (不在転送)	148
通話中に他の電話機へ転送する (話中/不応答転送)	149
全電話機の不在設定を一括解除する (不在設定一括解除)	150
通話中の電話機を呼び出す(話中呼出)	150
話中のときはそのまま待つて相手呼び出す (コールウェイティング)	151
受話器を上げるだけで特定の内線、 または内線グループに電話をかける (オフック内線自動発信)	151
内線オートリピートダイヤル	151
内線捕捉中のメニュー操作 (内線捕捉中メニュー)	152
<b>会議通話</b>	<b>153</b>
外線・内線で会議をする(会議通話)	153
内線で会議をする(内線会議通話)	154
<b>オートダイヤルにいろいろな機能を登録する (オートダイヤル)</b>	<b>155</b>
<b>タイマ連動について</b>	<b>160</b>
特定日を設定する(特定日設定)	161
外線転送機能を日時指定で利用する (外線転送タイマ連動)	163
留守番機能を日時指定で利用する (留守番タイマ連動)	165
夜に指定した電話機だけ鳴動する (夜間タイマ連動)	167
指定時刻にチャイムが鳴動する (チャイムタイマ連動)	169

<b>その他の便利な機能</b> .....	<b>171</b>
内線呼出時に受話器を置いたままで応答する (パーソナルハンズフリー).....	171
通話中に受話器を置いたままで相手と話す (ハンズフリー).....	172
通話中に相手の声をスピーカから聞く (スピーカ受話).....	173
内線番号の確認.....	173
夜に指定した電話機だけ鳴動する (夜間モード切替).....	174
指定した電話機からアラーム音を出す (時刻アラーム).....	176
全電話機の時刻アラームを一括解除する (時刻アラーム一括解除).....	177
着信ランプの色を変える (着信ランプ切替).....	178
通話料金を集計する(通話料金集計).....	179
アナログ回線(DP)からプッシュ信号を 送出する(プッシュ信号送出).....	181
キッチンタイマ.....	181
リモートコールバック.....	182
電話機のボタン操作を規制する (キーロック).....	184
2つの機能を同時に登録する (W機能登録).....	185
電話機から着信メロディを登録する (着信メロディ登録).....	186
着信履歴のメール転送を設定する (着信履歴転送メール設定).....	187
<b>ドアホン</b> .....	<b>188</b>
ドアホンからの呼び出しで通話をする (ドアホン通話).....	188
ドアホンの周囲をモニタする (ドアホンモニタ).....	188
玄関などのドアの鍵を解錠する (ドアロック解錠).....	188
<b>IP電話</b> .....	<b>189</b>
IP電話回線で電話をかける (IP電話対応ACR機能).....	189
他システムの内線を個別に呼び出す (IP電話自動交換).....	190
<b>システム間通話で電話をかける</b> .....	<b>191</b>
システムの一覧を表示する(システム一覧).....	191
内線オンフック発信.....	192
内線オフフック発信.....	192
内線プリセットダイヤル.....	192
内線発信履歴からの発信.....	193
内線着信履歴からの発信.....	193
内線リダイヤル.....	193
内線オートリピートダイヤル.....	193
内線一覧.....	194
別システムからの外線発信.....	194
<b>システム間通話で電話を受ける</b> .....	<b>195</b>
内線着信自動応答.....	195
内線独占保留.....	195
内線自動転送.....	196
内線強制転送.....	197
内線システム保留.....	197
内線パーク保留.....	197

<b>コンテンツ表示</b> .....	<b>198</b>
コンテンツ表示の利用方法について.....	198
コンテンツを手動で更新する (コンテンツ更新).....	199
電話機ごとに表示する／しないを設定する (コンテンツ個別表示設定).....	199
コンテンツ一覧を見る (コンテンツ一覧表示).....	199
コンテンツを手動で入力する (ですくde掲示板).....	200
掲示板お知らせ.....	201
<b>その他のオプション</b> .....	<b>202</b>
FAXを自動的に受信する (TEL/FAX自動切替).....	202
ページング接続(構内放送).....	203
ヘッドセットの接続.....	204
その他の接続(BGM放送).....	204

## ⑥ DC600 独自機能編

<b>名前を確認してから電話をかける (電話帳機能)</b> .....	<b>205</b>
登録のしかた.....	205
かけかた.....	206
変更のしかた.....	206
一件削除のしかた.....	207
全件削除のしかた.....	207
<b>マナーモード</b> .....	<b>207</b>
<b>公衆モード</b> .....	<b>208</b>
電話をかける.....	208
電話帳を使ってかける.....	208
電話を受ける.....	208
発番号を通知する／通知しない.....	209
料金分計サービス.....	209
留守番電話サービス.....	209
着信拒否設定.....	210
指定着信拒否.....	210
ドライブモード(安全運転モード).....	211
メール機能.....	212
アンテナサーチ.....	214
<b>機能モード</b> .....	<b>215</b>
機能モードの使いかた.....	215
機能項目一覧.....	215
自局番号表示.....	218
発信モードの確認.....	218
発信モードの設定.....	218
パスワードの設定／解除.....	218
動作モードの設定.....	219
着信音種の設定.....	220
リレー着信機能の設定.....	220
付加ダイヤルの設定.....	220
キーモード設定.....	221
ワンタッチダイヤルの設定.....	221
電話帳ボタンの設定.....	222
電話帳の初期表示設定.....	222
パスワードの設定.....	222
バックライト点灯時間の設定.....	222
LCD表示サイズの設定.....	223

圏外警告音の設定	223
時計の設定	223
アラームの設定/解除	223
マイネームの設定	224
全設定初期化	224

## 7 単独電話機

自営標準端末	225
内線優先編	225
受話器を上げて電話をかける (外線発信)	225
再度かけ直す(リダイヤル)	226
ダイヤル操作で外線をつかむ (指定外線捕捉)	226
短縮ダイヤルから電話をかける	226
受話器を上げて応答する(外線着信)	227
外線通話を保留にする(外線保留)	227
内線通話後に外線を転送する (自動転送)	227
内線通話をしないで直接外線を転送する (強制転送)	228
他テナントへ外線を転送する(パーク)	228
外線で会議をする(外線会議通話)	229
内線をかける(内線発信)	229
内線呼出音を切り替える (音声/信号音切替)	229
続けて別の内線呼び出す (リセットコール)	230
すべての内線呼び出す (一斉呼出/電話機グループ呼出)	230
ページング接続(構内放送)	230
話中のときはそのまま待って相手を呼び出す (コールウェイティング)	231
受話器を上げるだけで特定の内線、 または内線グループに電話をかける (オフフック内線自動発信)	231
他の内線呼出に応答する (内線代理応答)	231
内線通話を保留する(内線保留)	232
内線通話を保留して他の内線と通話後に 転送する(内線保留転送)	232
通話中の電話機を呼び出す(話中呼出)	232
内線で会議をする(内線会議通話)	233
ドアホンからの呼び出しで通話をする (ドアホン通話)	233
ドアホンの周囲をモニタする (ドアホンモニタ)	233
外線優先編	234
受話器を上げて電話をかける(外線発信)	234
受話器を上げて応答する(外線着信)	234
内線優先モードと共通操作	234
内線をかける(内線発信)	234

## 8 NTT付加サービス

ISDNの基本サービス	235
ISDNのサービス一覧	235
料金情報通知	235
サブアドレス通知	236
発信者番号通知	236

ISDNの付加サービス	237
迷惑電話おことわりの登録/確認/消去	237
ナンバー・ディスプレイ	238
ネーム・ディスプレイ	238
INSボイスワープ	239
INSボイスワープの転送について	239
転送元電話番号受信サービス対応	239
転送先電話番号の登録/確認	240
転送先リストの指定	241
サービスの開始/停止/確認	241
無応答時転送の起動時間の指定	242
転送通知用トーキの設定/確認	242
転送元案内トーキの設定/確認	243
リモートコントロール機能	244

## 9 その他システム

各種情報の確認	245
システムバージョンを確認する (システムバージョン確認)	245
ネットワークの情報を確認する (ネットワーク情報確認)	245
Web設定	248
パソコンから電話帳を編集する (電話帳Web編集)	248
電話帳をパソコンに転送し編集する (電話帳ダウンロード)	248
パソコンから着信メロディを登録する (着信メロディWeb登録)	249
グローバルIPアドレスを通知する (グローバルIPアドレス通知)	250
着信履歴をメールで送信する (着信履歴メール送信)	250
パソコンから相手先を選んで電話する (これde発信)	250
受付システム	251
受付システム(WelGuide)から相手先を 選んで電話する(受付システム発信)	251
緊急地震速報について	252

## 10 さいごに

停電について	253
機能ランプリセット	254
故障かな?とお考えになる前に	255
保証とアフターサービス	256
保証について	256
修理を依頼されるときには	256
おわかりにならないことは	256
内線番号/内線特番の一覧	257
機能特番の一覧	258
メニュー特番のショートカット一覧	259
特殊番号の一覧	264
オートダイヤル登録補助機能	265
文字、番号入力のしかた	268
文字入力一覧	270
索引	272
サクサエコ商品認定基準	275
保証書	276
お問い合わせ窓口のご案内	277

# 安全にお使いいただくために

## 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 表示の説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

### 図記号の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 強制	強制(必ずすること)を示します。

### 免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険



強制

電池パックはプラス $\oplus$ ・マイナス $\ominus$ の向きが決められています。電話機に接続するときは、プラス $\oplus$ ・マイナス $\ominus$ の向きを確かめてください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。



禁止

電池パックを単体では充電しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。



禁止

電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。



禁止

電池パックを分解・改造しないでください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。



強制

電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください

電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。

- 火の中に投入したり、加熱しない
- 直接はんだ付けしない
- プラス $\oplus$ ・マイナス $\ominus$ を針金などの金属類で接触させない
- 水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない
- ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない



強制

電池パック内部の液が入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください

## ⚠ 警告



禁止

取付位置を変更しないでください

火災・感電・けがの原因となります。配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください

火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



ぬれ手禁止

主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください

感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください

すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品など)を置かないでください

液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください

感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください

すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。

# 安全にお使いいただくために

## 警告



禁止

一般のゴミとして放置しないでください  
火災・けがの原因となります。  
廃棄するときは、販売店にご相談ください。



強制

AC100Vの商用電源以外は、絶対に使用  
しないでください  
火災・感電・故障の原因となります。



禁止

内線・外線の各端子をショートさせない  
でください  
火災・故障の原因となります。



禁止

テーブルタップや分岐コンセント・分岐  
ソケットを使用したタコ足配線はしない  
でください  
火災・過熱の原因となります。



電源プラグを抜く

主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、  
衝撃の多いところに置かないでください  
落下・転倒により、けがの原因となります。万  
一、落下・転倒により破損したときは、主装置  
の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コン  
セントから抜いて、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因と  
なります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
でください  
感電・けがの原因となります。



火気禁止

主装置、電話機に火の気を近づけたり、  
加熱しないでください  
鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂  
し、火災・けがの原因となります。



禁止

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、  
引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、  
高温部に近づけたり、重い物を載せたり、  
挟み込んだり、加工しないでください  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となり  
ます。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露  
出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、  
電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店  
に交換をご依頼ください。



禁止

工事・保守者以外は、装置の蓋などを開  
けないでください  
感電、故障の原因となります。



強制

電源プラグは電源コンセントの奥まで  
しっかり差し込んでください  
電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・  
感電の原因となります。



強制

電源プラグの刃および刃の取付面に、ほ  
こりが付着している場合は、よくふいて  
ください  
火災の原因となります。



電源プラグを抜く

主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する  
場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設  
置後2~3年です。2~3年ごとに販売店  
にまとめて交換をご依頼ください

寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続  
けるとバッテリー内部の液もれの原因となりま  
す。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚  
や衣装についたときは、すぐきれいな水で洗い  
流してください。皮膚がかぶれることがあります。  
また、バッテリー内部の液もれが発生した  
ときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プ  
ラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご  
連絡ください。そのまま使用すると、火災・感  
電・故障の原因となります。



分解禁止

分解・改造・修理しないでください  
火災・感電・故障の原因となります。  
電話機の改造は法令違反になります。故障のと  
きは、販売店に修理をご依頼ください。



禁止

歩行中に電話機を操作したり見たりしな  
いでください  
転倒・交通事故などの原因となります。



禁止

電話機を電子レンジや高压容器に入れた  
りしないでください  
火災・故障の原因となります。



禁止

引火性ガスが発生する場所では、電話機  
を絶対に充電しないでください  
火災の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、充電器が落下したり、破損した場  
合は、そのまま使用しないでください

必ず電源アダプタを電源コンセントから抜い  
て、お買い求めの販売店に至急ご連絡くださ  
い。そのまま使用すると、火災・感電の原因と  
なります。お客様による修理は危険ですから絶  
対におやめください。

# 安全にお使いいただくために

## 警告



禁止

高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください

電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。

(ご注意ください電子機器の例：補聴器・医療用電子機器・ペースメーカー・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)



強制

所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください



ぬれ手禁止

ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の電源アダプタを抜き差ししないでください

感電の原因となります。



電源プラグを抜く

充電器の開口部から金属類を入れないでください

万一、内部に異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



強制

専用の充電器を使用してください

火災・感電の原因となります。



強制

電池パックが液もれしたり、異臭がするとき、すぐに火気から遠ざけてください



強制

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください

## 注意



禁止

主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください

配線工事を行うには資格が必要です。また主装置の重みに耐える適正な取り付けが必要です。



禁止

調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください

電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



禁止

湿気やほこりの多い場所に置かないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。



禁止

主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください

けがや故障の原因となることがあります。



禁止

主装置や電話機の開口部をふさがないでください

開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。



禁止

直射日光の当たるところや、暖房設備・ポイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



禁止

「VoIPユニットの自動ファームアップ」(☎25ページ)で、最新ファームウェア書き換えのときは絶対に電源を落とさないでください

故障の原因となります。



禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください

火災・感電・故障の原因となることがあります。



禁止

電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください

故障の原因となります。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 注意



**電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください**

通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。

<電気雑音の原因としては>

- ・車やオートバイが近くを通る場合
- ・放送局や無線局(アマチュア無線、CB無線など)の近くで使用する場合
- ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合
- ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合



**充電器の電源コードを熱器具に近づけないでください**

電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。



**電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください**

電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。



**火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください**

高温になると危険を防止する保護装置が動き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。



**充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください**

感電の原因となることがあります。



**電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください**



**充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください**

金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。



**長時間で使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください**

常時、主装置の電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。



**充電は周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください**

正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。

## ●取扱上のお願ひ／主装置、電話機、他

### 海外では使用できません

本製品は、日本国内の基準に適合するように設計されています。

コードレス電話機は、防水対応ではありません

**別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「入」のまま、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください**

バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください

結露したままで使用すると、故障の原因となります。

**DC600電話機で、DC600子機の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください**

ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

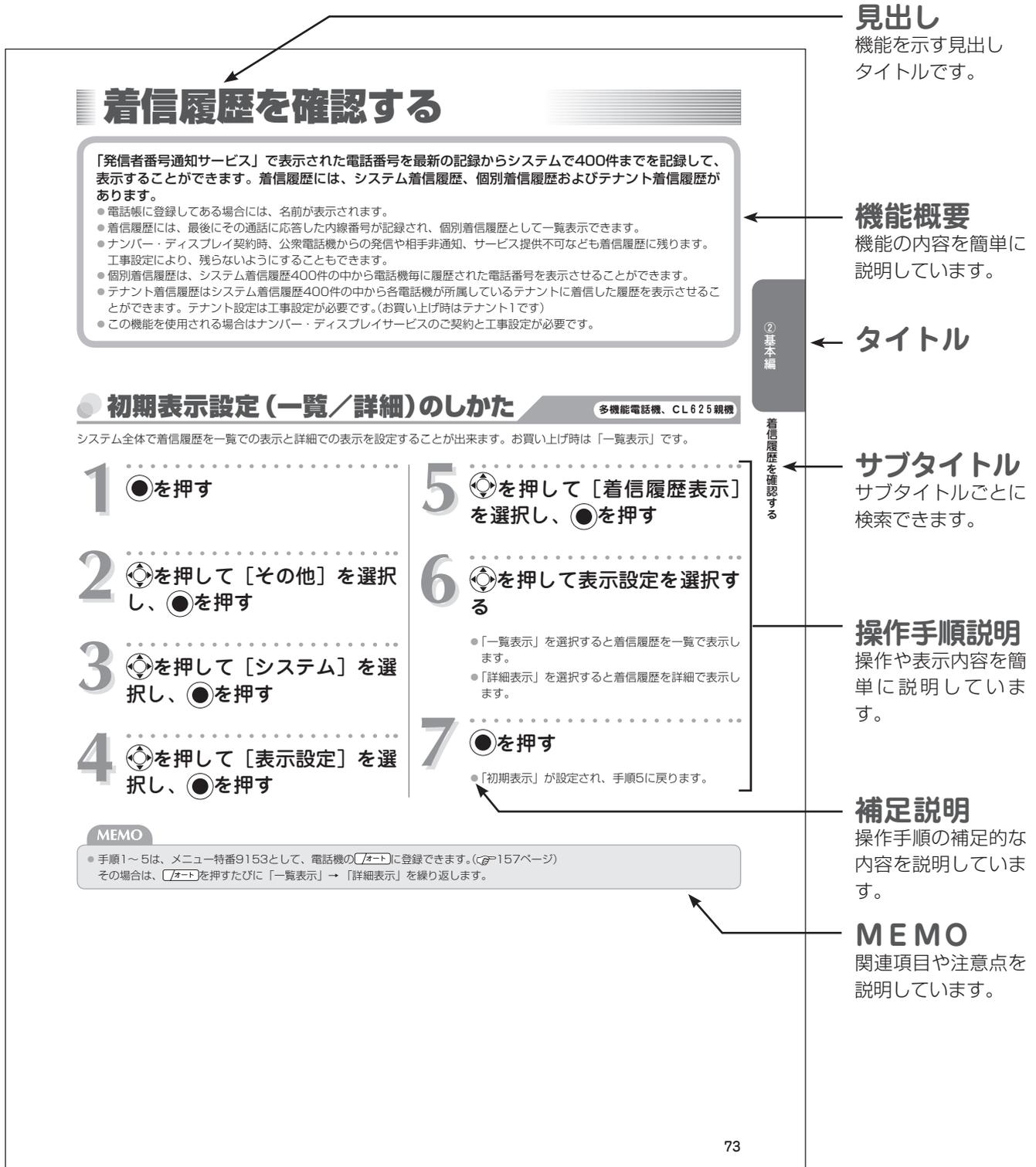


●本商品は、電話に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本商品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。

# 取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

① はじめに



# 略図の説明

## 多機能電話機 (TD615、TD625)

受話器を置いている状態を基本とします。

略 図	操作説明
	ダイヤルボタンを押す
	受話器を上げる
	受話器を置く

略 図	操作説明
	各機能名称のボタンを押す
	確定ボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

- 多機能電話機の「略図」をCL625子機、WS605電話機、DC600電話機の「略図」の代わりに使用している場合があります。

## CL625電話機

CL625子機をCL625親機に置いている状態を基本とします。

### CL625親機

- CL625親機の略図は、実際と異なります。
- この取扱説明書では、CL625親機の略図は多機能電話機を使用しています。

### CL625子機

略 図	操作説明
	ダイヤルボタンを押す
	CL625子機を上げる
	CL625子機を置く

略 図	操作説明
	各機能名称のボタンを押す
	確定ボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

## WS605電話機

WS605子機は、CL625子機の略図と同様です。WS605子機のダイヤル面を表にして充電器に置いている状態を基本とします。

## DC600電話機

充電器から上げている状態を基本とします。

略 図	操作説明
	ダイヤルボタンを押す
	発信／応答ボタンを押す
	確定ボタンを押す

略 図	操作説明
	切／電源ボタンを押す
	各機能名称のボタンを押す
	MFキーの上下左右を押す

# お客様登録について

## 「お客様登録」のお願い

この度は、サクサ株式会社製品をおもてめいただき誠にありがとうございます。当社では、お客様へ納入させて頂きました電話システムの構成を把握し、お客様へ十分なアフターサービスを提供することを目的に、お客様へ「ユーザー登録」をお願いしております。

「ユーザー登録」して頂きましたお客様は、オンラインによるバージョンアップや、当社への問い合わせ時での的確な対応などが可能となります。具体的な「ユーザー登録のしかた」については、下記の《ユーザー登録のしかた》を、ご参照下さい。

お預かりしました情報に付きましては、個人情報保護方針に基づき、安全管理義務を果たします。

なお、お客様の個人情報に関する、当社個人情報保護方針に付きましては、当社ホームページ<http://www.saxa.co.jp> を参照願います。

## ● ユーザー登録のしかた

多機能電話機、CL625親機

- 1** ●を押す
- 2** ◀▶を押し、[その他]を選択し、●を押す
- 3** ◀▶を押し、[ユーザー登録]を選択し、●を押す
- 4** ◀▶を押し、[会社名]を選択し、●を押す
  - [?]**を押しても手順5に進みます。
- 5** 登録する文字をダイヤルボタンで入力する
  - 文字入力はダイヤルボタンから入力します。(文字数は全角で最大16文字です)
  - [短縮]**で文字入力モードを変更します。かな(漢)→カナ(カナ)→英字(英)→数字(数)を繰り返します。
  - 入力できる文字は、☎270ページの文字入力一覧をご覧ください。
- 6** ◀を押して変換し、●を押す
  - 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
  - ◀で変換する文字範囲を変更できます。
  - 表示された候補の次候補を表示させたいときは◀を押してください。
  - 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、**[フラッシュ]**を押した後にかな文字で変換文字範囲を変更してください。
- 7** 入力した名前に間違いがないか確認し、●を押す
  - を押すと会社名が仮登録され、「ユーザー登録」に戻ります。
- 8** ◀▶を押し、[郵便番号]を選択し、●を押す
  - [?]**を押しても手順9に進みます。

## 9 郵便番号を入力する

- ダイヤルボタンから入力します。
- 郵便番号は必ず7桁入力してください。
- [フラッシュ]**を押すと、1文字消去できます。
- 7桁入力すると郵便番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります

## 10 を押し、[電話番号] を選択し、 を押す

- [DEF 3]**を押しても手順11へ進みます。

## 11 電話番号を入力する

- ダイヤルボタンから入力します。
- 桁数は最大24桁です。
- [フラッシュ]**を押すと、1文字消去できます。
- [短縮]**を押すと、「-」（ハイフン）を入力できます。

## 12 を押す

- を押すと電話番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります。

## 13 を押し、[FAX番号] を選択し、 を押す

- [ent 4]**を押しても手順14へ進みます。

## 14 FAX番号を入力する

- ダイヤルボタンから入力します。
- 桁数は最大24桁です。
- [フラッシュ]**を押すと、1文字消去できます。
- [短縮]**を押すと、「-」（ハイフン）を入力できます。

## 15 を押す

- を押すとFAX番号が仮登録され、「ユーザー登録」画面に戻ります。

## 16 を押し、[データ送信] を選択し、 を押す

## 17 を押して、[はい] を選択し、 を押す

- 「いいえ」を選択すると「ユーザー登録」画面に戻ります。
- 「はい」を選択するとデジタル回線またはインターネットを通してサクサのサーバへデータが送信されます。完了画面後、**[フラッシュ]**を押すと「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# 電話機の種類と各部の名称

## TD615電話機

### 人感センサ

人感センサが異常を検知するとランプが点滅したり、威嚇音などが鳴ります。また、通報先へ異常を知らせることができます。

### 着信ランプ (7色)

外線着信と内線呼出など、7色の点滅をします。

### 受話器

### スピーカ

呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

### ダイヤルボタン

ダイヤル時やカナ／漢字文字入力などに使います。

### スピーカボタン／ランプ (赤色)

スピーカ受話などをするときに使います。

### 短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

### 発信ボタン

電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的に捕捉します。

### 表示部

- 表面をきれいに保つようになさってください。
- 表面を傷つけたり、変質させないようにしてください。

### 外線ボタン、オートダイヤルボタン

ボタン1～18は外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線ボタンは、オートダイヤルボタンとして利用できます。

### MFキー

表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

### 確定ボタン

表示部のメニュー選択や、電話帳検索など確定ボタンとして使います。

### フラッシュボタン

キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

### 機能ボタン／ランプ (赤色)

機能ボタンなどを利用するときに使います。

### 保留ボタン

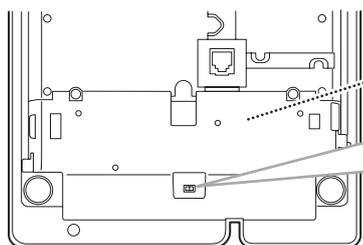
外線、内線通話を保留にするときに使います。

### マイク

ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

- TD615、TD625電話機にADA605停電ユニット（アナログ回線用）やADI605停電ユニット（デジタル回線用）が取り付けられていると、停電中に発着信ができます。

### ●TD615、TD625電話機（底面）



#### アナログ停電ユニットおよびISDN停電ユニット

各停電ユニットを取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

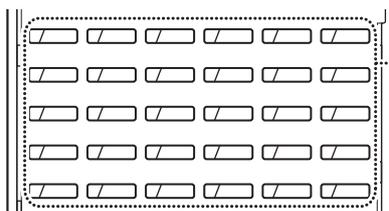
#### DP(20PPS)／PB切替スイッチ(アナログ停電用ユニットのみ)

電話回線に合わせてダイヤル回線 (DP) またはプッシュ回線 (PB) に設定します。停電用電話機として使用する場合、正しく設定しないと停電中にダイヤルできません。

- お買い上げ時は「PB」です。

# 電話機の種類と各部の名称

## TD625電話機



### 外線ボタン、オートダイヤルボタン

ボタン1~30は外線ボタンとして利用できます。  
また、未使用外線ボタンは、オートダイヤルボタンとして利用できます。

TD625電話機の外線ボタン、オートボタン以外は、TD615電話機と使いかたは同じです。

①はしめこ

## TD615、TD625電話機のシートの交換のしかた

電話機のボディカラーの好みに合わせて、別シートと交換できます。別シートは、添付品です。(2種類)  
シートの交換の際は、ラインコードを抜いてから作業を行ってください。

### 操作パネル

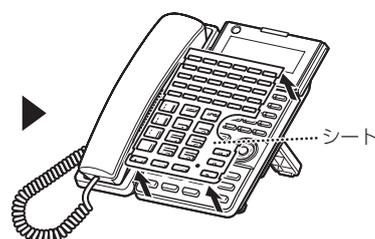
1 表示部の角度は現状のままにして、操作パネルのツメに指をかける



2 操作パネルを①方向に持ち上げて取り外す



3 シートを取り外す



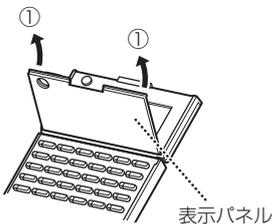
●操作パネルとシートを取り付けるときは「手順3でシートをかぶせる」→「手順2で操作パネルを②方向に倒す」→「カチッ音がするまで押さえる」

### 表示パネル

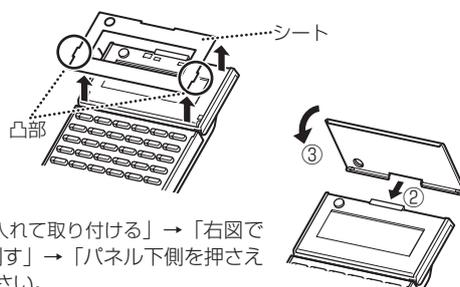
1 表示部を倒す



2 表示パネルを①方向(1カ所でも良い)に持ち上げて取り外す



3 シートを取り外す

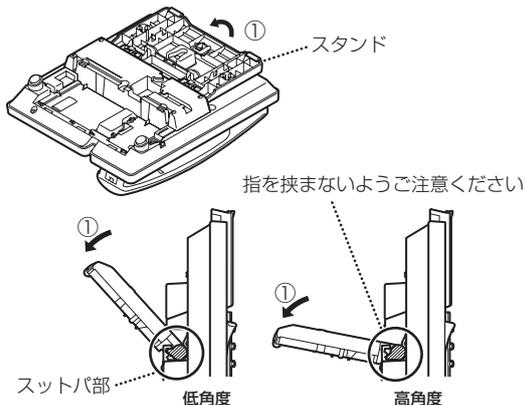


●表示パネルとシートを取り付けるときは「手順3でシート左右の凸部を電話機の溝に入れて取り付ける」→「右図で表示パネルを②方向に移動させ、電話機の溝に入れる」→「表示パネルを③方向に倒す」→「パネル下側を押さえて取り付ける」※パネルの4隅を押さえて、確実に固定されていること確認してください。

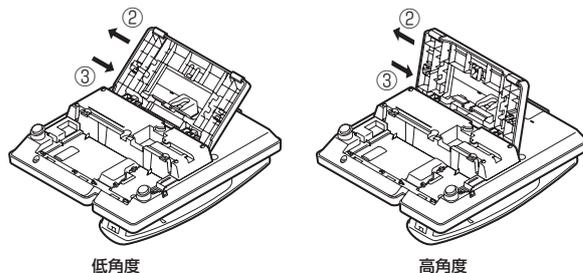
## TD615、TD625電話機の角度調節のしかた

本電話機は、低角度と高角度の2段階で角度調節ができます。

1 スタンドの角度を合わせる



2 スタンドを固定する



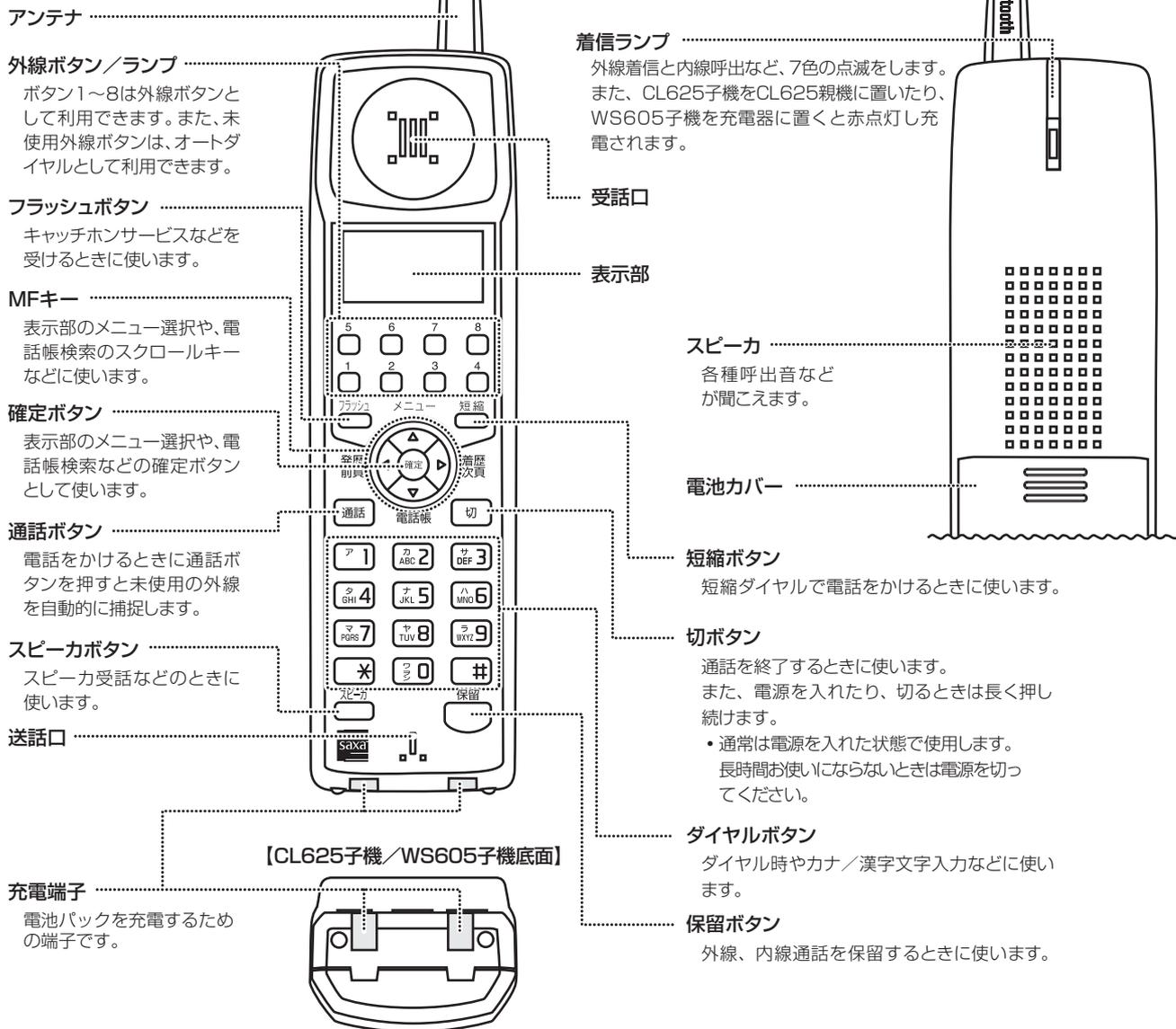
●スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。  
スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げます。

●ご使用状況に合わせ、スタンドを①の方向に引き上げ、ストップ部を上図の位置に合わせます。  
(無理に引き上げると破損する恐れがあります。)

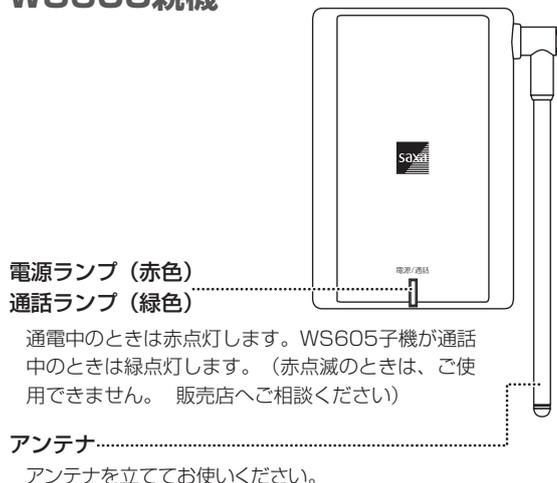
# 電話機の種類と各部の名称

## CL625電話機、WS605電話機

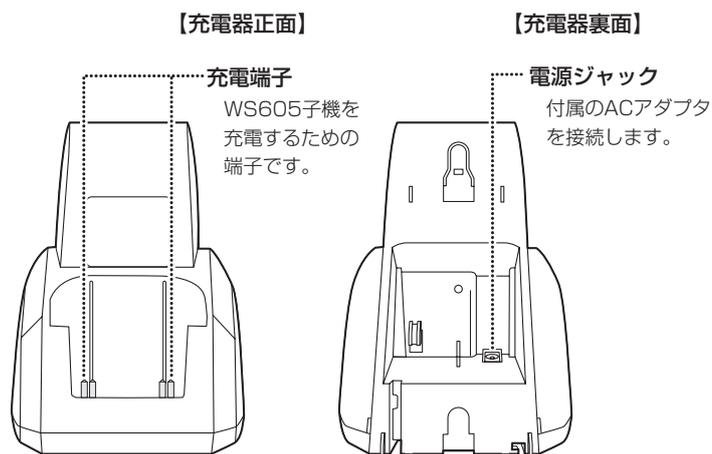
### CL625子機／WS605子機



### WS605親機

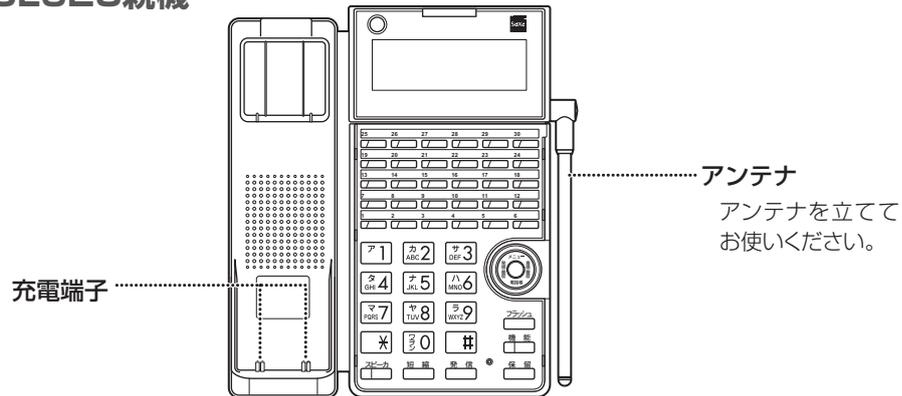


### WS605充電器



# 電話機の種類と各部の名称

## CL625親機

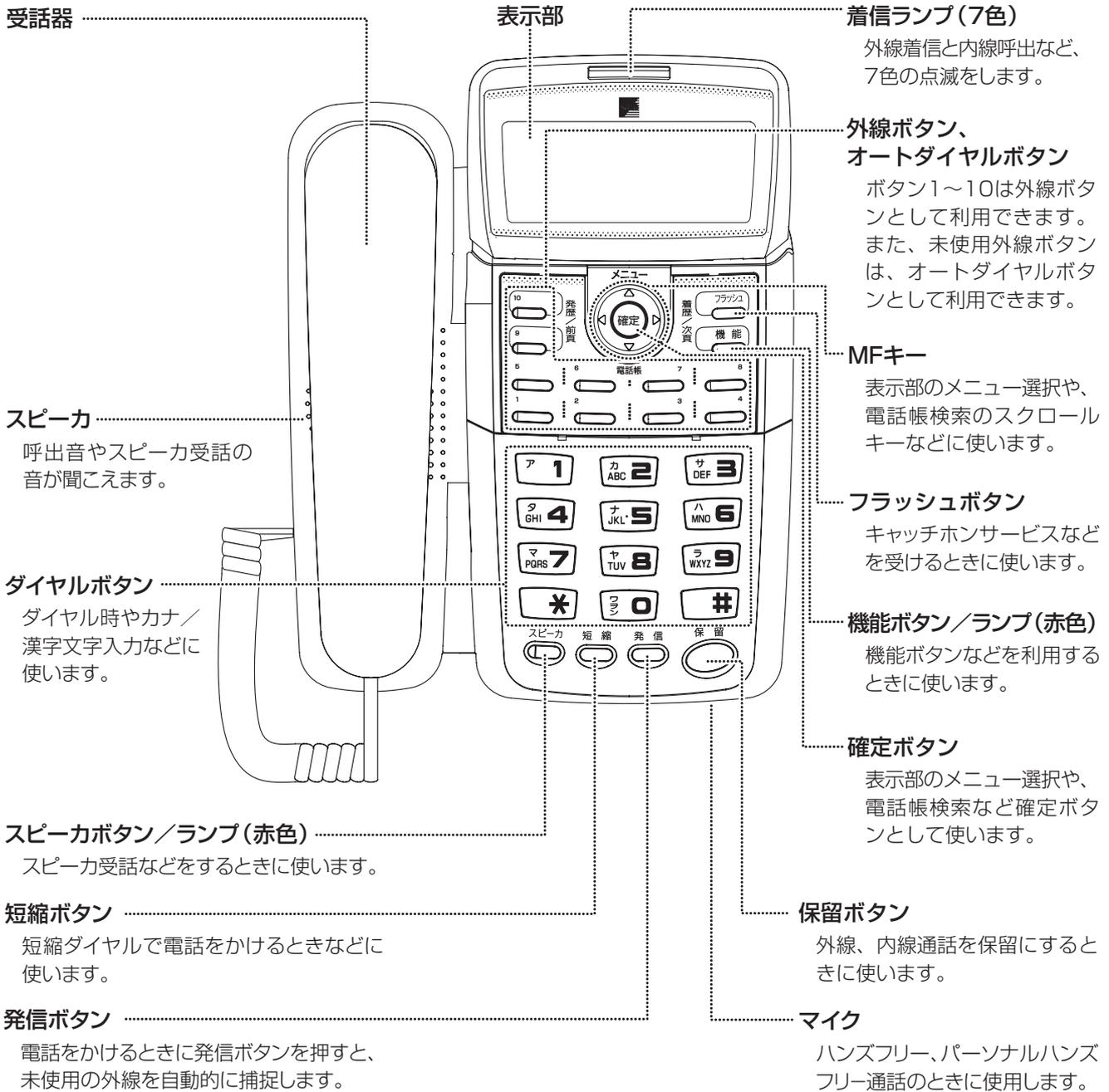


- CL625親機は、充電端子、アンテナ以外は、TD625電話機の名称と同じです。
- CL625親機のシートの「交換のしかた」と「角度調節のしかた」は、TD625電話機と同じです。

# 電話機の種類と各部の名称

## LD600電話機

① はじめに

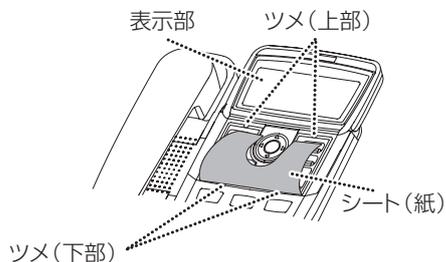


LD600電話機は、TD615、TD625電話機と外観寸法、形状が異なりますが、使いかたは同じです。

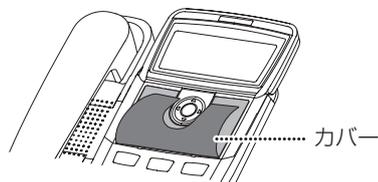
# 電話機の種類と各部の名称

## シート、カバーの取り付けかた

1 シートをツメ(下部)の内側に入れてから、ツメ(上部)にはめ込みます。



2 シートの上からカバーを1と同じ手順ではめ込みます。



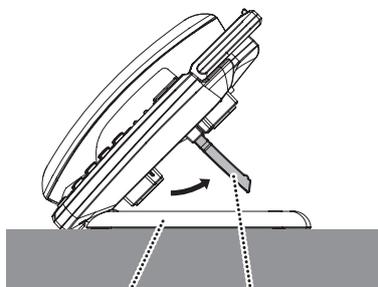
● シート、カバーをLD600電話機に取り付けるときは、「シート」の上に「カバー」をかけます。



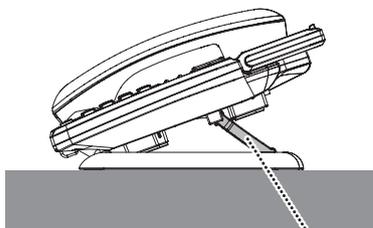
● シート、カバーを取り外す場合は、ツメ(上部)から「カバー」、「シート」の順に外します。

● シート、カバーはLD600電話機の添付品です。カバーを取り付けるときは、カバーの両面のフィルムをはがしてください。

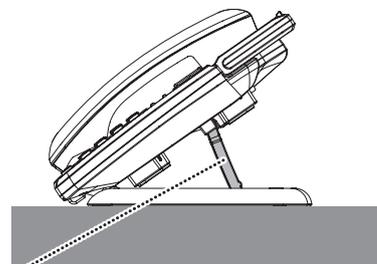
## LD600電話機の角度調節のしかた



ベース      スタンド



スタンドをベースにセットする(2段階)



● スタンドを取り外すときは、ベースを押さえて、電話機を引き上げてください。

(無理に引き上げると破損する恐れがあります)

● 電話機を壁に取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

# 電話機の種類と各部の名称

## DC600電話機

### DC600子機

#### 着信/充電ランプ

着信のときに赤ランプが早く点滅します。また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

#### 外線ボタン/ランプ

ボタン1~8は外線/オートダイヤルボタン、または各種機能ボタンとして利用できます。

- 外線利用時、自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。
- 保留したあとに「電源」ボタンを押したときのランプ表示は変化することがあります。

#### フックボタン

キャッチホンサービスなどを受けるときに使用します。

#### 内線ボタン/ランプ (緑色)

内線をかけるときに使用します。ランプは内線通話中に点灯します。

#### 発信/応答ボタン/ランプ (緑色)

電話をかけるときや電話を受けるときに使用します。電話をかけるとき、発信/応答ボタンを押すと未使用の外線を自動的に捕捉します。ランプは外線通話中に点灯します。

#### ダイヤルボタン

ダイヤル時や文字入力などに使用します。

#### アスタリスクボタン

ダイヤル時に長く押しとポーズを入力できます。

#### 受話口 表示部

#### 内蔵アンテナ

- 通話のときに、内蔵アンテナ部分を手で覆わないようにしてください。

#### MFキー

表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使用します。

#### 確定ボタン

表示部のメニュー選択や、電話帳検索などの確定ボタンとして使用します。

#### 保留/クリアボタン

保留：会社モードでの外線・内線通話を保留するときに使います。

クリア：メニュー操作で一つ前の画面に戻すときに使用します。また、ローカル電話帳を登録する際、データの一部消去に使います。

#### 電話帳/文字ボタン

電話帳：ローカル電話帳を登録するとき、または登録した電話帳を利用して電話をかけるときに使用します。また、電話帳検索の際、検索モード（名前検索、メモリ番号検索）の切り替えに使います。

文：電話帳に名前や電話番号などを登録する際、文字種別の切り替えに使います。

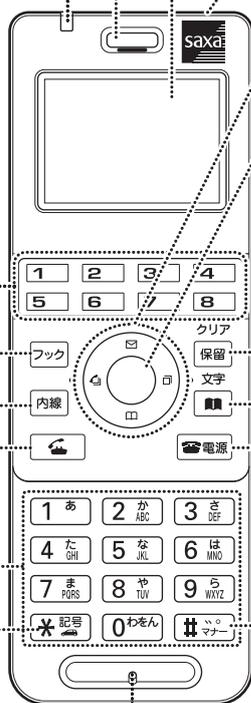
#### 切/電源ボタン

通話を終了するときに使います。また、電源を入れたり、切るときは長く押し続けます。

- 通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

#### シャープボタン

待ち受け状態で長く押しとマナーモードを設定（または解除）できます。



#### 【左面】

#### 通信ケーブルコネクタ※1

USBケーブルでPCと接続し、充電できます。

#### スピーカ

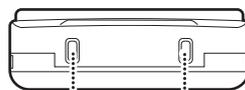
各種呼び音などが聞こえます。

#### イヤホンマイクコネクタ※1

イヤホンマイク（市販品）のプラグを接続するコネクタです。



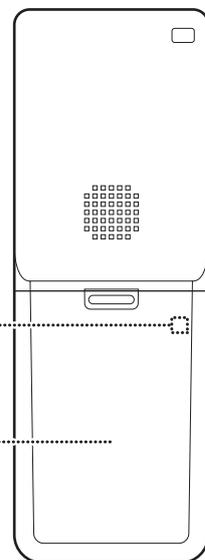
#### 【底面】



#### 充電端子

電池パックを充電するための端子です。

#### 【背面】



#### 充電コネクタ

電池パックを接続するためのコネクタです。

#### 電池カバー

※1 爪先などでゴムキャップを矢印方向（↓）へ押しながら、持ち上げるとコネクタがあります。

- DC600子機 (DC600PS) と接続装置 (DC600CS) を組み合わせて使用します。

製品名	DC600PS	DC600CS
JATE認証番号	A07-0220001	ACD05-0354001

# 電話機の種類と各部の名称

## 接続装置

### アンテナ

アンテナを立ててお使いください。

### 電源ランプ(赤色)

通電中のときに点灯します。

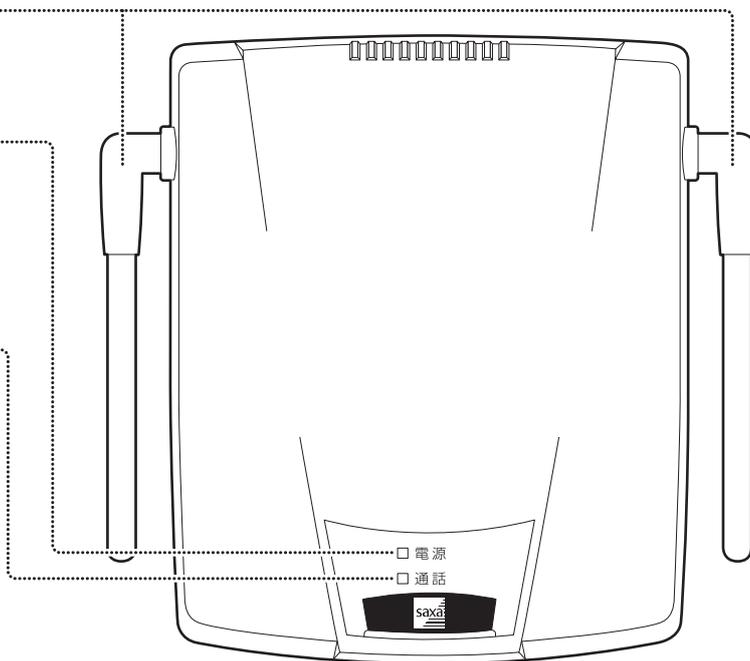
- 消灯のときは電源が供給されていません。
- 電源供給直後は一時的に点滅します。

### 通話ランプ(緑色)

通電中のときに点灯します。

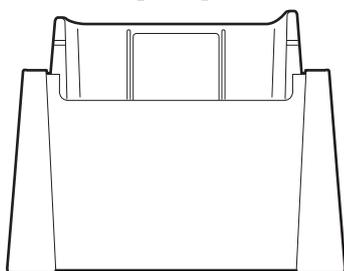
点灯	正常状態です。
点滅	無線のチャンネルを使用している状態です。 (通話中などのとき、点滅します)

- 電源供給直後は数秒間点滅します。
- 両ランプの点灯または点滅パターンが上記以外か、消灯している場合は、故障の可能性が  
あります。お買い上げの販売店にご相談  
ください。

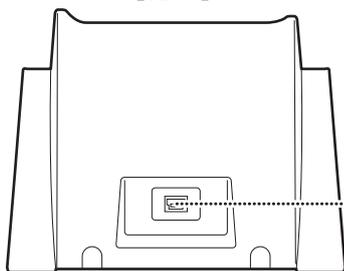


## 充電器

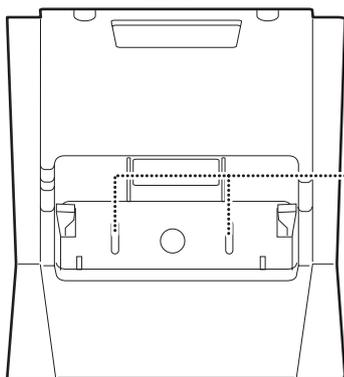
【正面】



【背面】

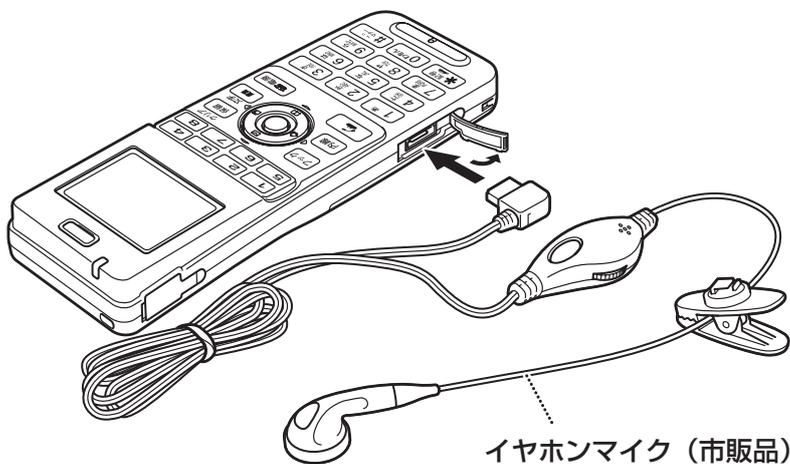


【上面】



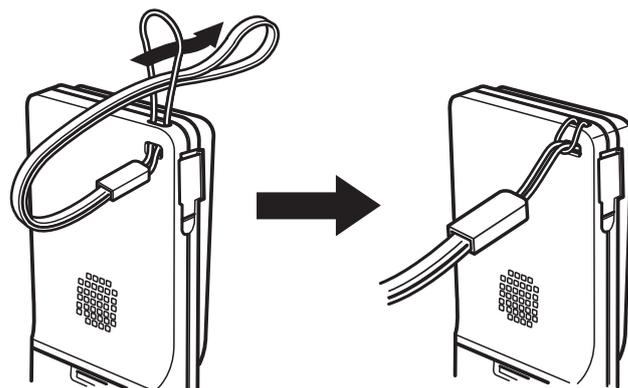
### イヤホンマイク用コネクタ

イヤホンマイク(市販品)のプラグを接続するコネクタ。平型プラグ方式のものを使用してください。



### ハンドストラップの取り付けかた

ハンドストラップの取り付け方法は次のとおりです。



# 電話機の種類と各部の名称

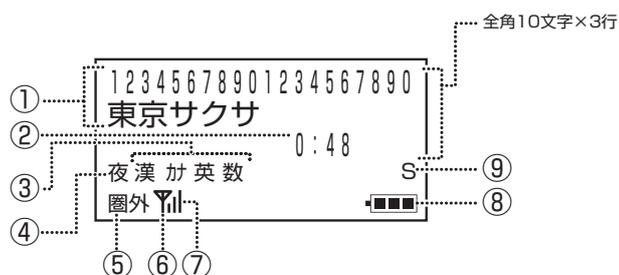
多機能電話機、CL625親機、およびDC600電話機のカレンダー・時計表示は例です。

## 多機能電話機、CL625親機の表示部



番号	表示例	内容
①	あかサタABC東京1234567	通話時間、通話料金、内線番号などを表示する
②	11月5日(土) 午前9:00	カレンダー、時計を表示する ・設定(☞37ページ)により横倍、縦倍、標準の表示ができます
③	夜間A	夜間モードに設定すると表示する
④	留守1	留守番モードを設定すると表示する
⑤	🔔	時刻アラームが設定されたとき表示する
⑥	漢カナ英数	文字入力時のモードを表示する
⑦	マイク	ハンズフリー通話が設定されたとき表示する
⑧	■■■■□□□□	各種音量の大きさを調整すると表示が変わる
⑨	迷惑	迷惑電話拒否を設定すると表示する
⑩	メモ	通話メモを設定すると表示する
⑪	メモ99件	録音された通話メモの件数を表示する
⑫	非通知	非通知拒否を設定すると表示する

## CL625子機、WS605電話機の表示部



番号	表示例	内容
①	12345678901234567890 東京サクサ	内線名、電話番号、内線番号などを表示する
②	0:48	通話時間、各種音量表示をする
③	漢カナ英数	文字入力時のモードを表示する
④	夜	夜間モードに設定すると表示する
⑤	圏外	子機と親機の距離が離れすぎると表示する
⑥	📶	親機の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示する
⑦	📶	4段階の電波の強さ(電界強度)を表示する
⑧	■■■■	電池残量を4段階で表示する
⑨	S	外線の着信音を止めると表示する

## DC600電話機の表示部



番号	表示例	内容
①	📶	接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示する
②	📶	6段階の電波の強さ(電界強度)を表示する
③	公、会1	接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに、設定中の動作モード(公衆モード:公、会社モード:会1)を表示する
④	圏外	電波が届かない場所にいると表示する
⑤	📧	未読メールがある場合に表示する(公衆モード利用時のみ)
⑥	♡(または👤)	マナーモード(♡)やユーザーモード(👤)に設定すると表示する
⑦	🔒	不正利用防止のパスワードロックを設定すると表示する
⑧	🔋	電池残量を4段階で表示する
⑨	10/10(水)11:10AM サクサ 内線10	カレンダー、時刻、名前、電話番号、内線番号などを表示する
⑩	12345678	外線(または機能割り付け)ランプと連動して表示する
⑪	🚗	ドライブモードに設定すると表示する(公衆モード利用時のみ)
⑫	分	分計発信モードに設定すると表示する(公衆モード利用時のみ)
⑬	漢	文字入力時モードを表示する
⑭	🔊	バイブレータを設定すると表示する
⑮	📞	待ち受け中または着信中は5段階の着信音量を表示する また、通話中は3段階の受話音量を表示する

# ご使用前の注意事項

## CL625、WS605電話機

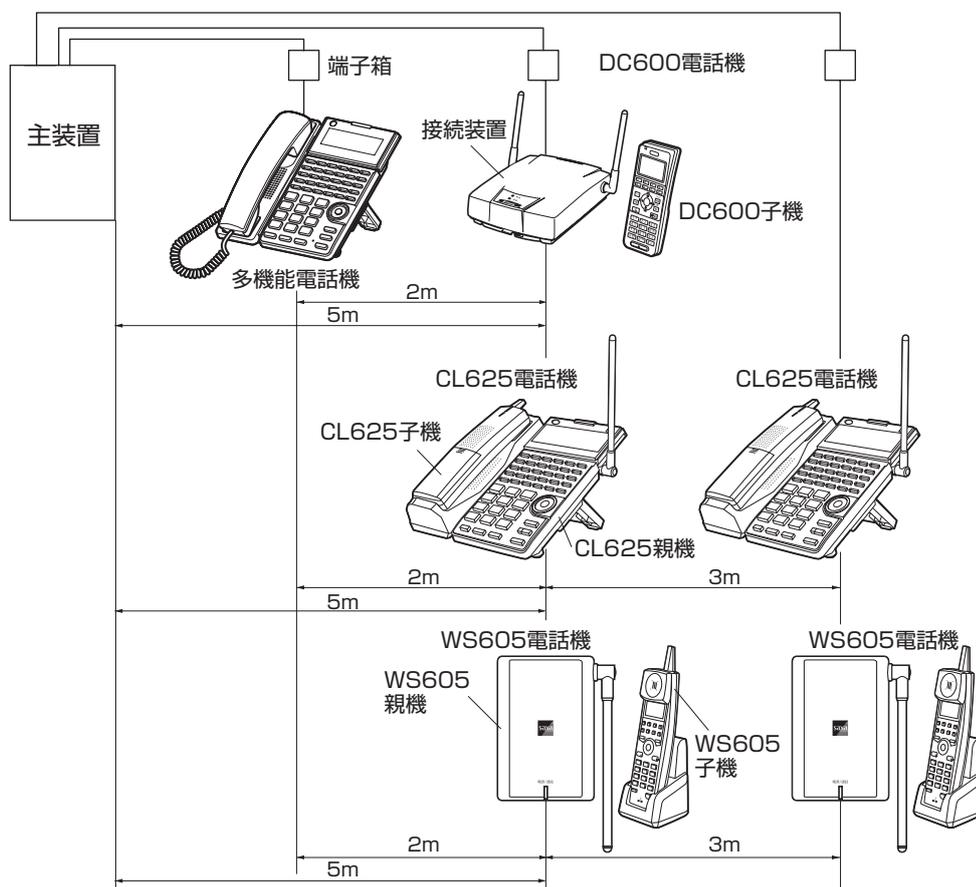
### 1. 使用上のご注意

- ①CL625親機・WS605親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。
- ②子機は、お使いになる前に充電してください。  
・CL625子機、WS605子機：約8時間以上の充電で約8時間の連続通話ができます。
- ③子機の電池パックは、専用のものを使用してください。
- ④親機の上に、物を載せないでください。雑音が入ることがあります。
- ⑤CL625電話機とWS605電話機を合わせて複数台ご使用の場合、他の子機をCL625親機に置きますと、注意音「ピッ」が約2秒間隔で鳴りますが、故障ではありません。子機を元のCL625親機に置いてください。

- CL625親機にはCL625子機以外の子機を置かないでください。また、CL625子機をCL625親機またはWS605充電器以外の充電器に置かないでください。その状態では充電ができません。
- WS605の充電器にはWS605子機以外の子機を置かないでください。また、WS605子機をWS605充電器以外の充電器に置かないでください。その状態では充電ができません。

### 2. 無線に関するご注意

- ①CL625、WS605電話機は以下の技術により、傍受されにくくなっておりますが、電波を使用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点について十分配慮してご使用ください。  
機密が必要な通話は、多機能電話機のいずれかをご使用することをおすすめします。  
・CL625、WS605電話機：デジタル信号
- ②移動しながら使用するとき、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
- ③CL625、WS605電話機は、通常半径100m（見通し距離）以内でご使用できますが、親機と子機間に下記の障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。このため、設置環境を確認のうえ、親機の設置場所を決めてください。
  - 金属製のドア
  - アルミはく入りの断熱材が入っている壁
  - コンクリートやトタン製の壁
- ④同一室内で無線LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。
- ⑤親機は主装置から5m以上、多機能電話機から2m以上、他の親機から3m以上離して設置してください。通話中に雑音が入ることがあります。



# ご使用前の注意事項

⑥CL625、WS605電話機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。この機器（親機、子機ともに）には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2、4FH8



## ●電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにこの機器の電波の発射を停止した上で（親機に接続されている電話機コードを引き抜き、子機の電池パックを取り外します）、お買い上げの販売店あるいは下記のお客さま相談室にご連絡頂き、混線回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店あるいは下記のお客さま相談室へお問い合わせください。

お客さま相談室 電話：0570-001-393 または 050-5507-8039

## 3. CL625子機、WS605子機が圏外にでると

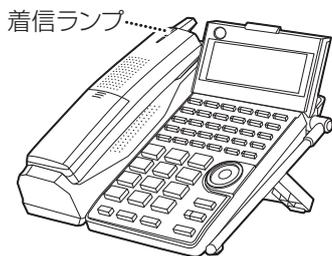
- ①通話中に、親機・子機の距離が遠くなり子機が通話圏外にでると、子機の表示部に「圏外」が表示され、通話圏外警報音「ピーピーピー……」が鳴ります。
- ②通話圏外では電話をかけることも、受けることもできません。・電話がかかってきたときは、着信音が鳴りません。

## 4. 充電と接続のしかた

子機の充電やWS605電話機のACアダプタは、次のようになります。

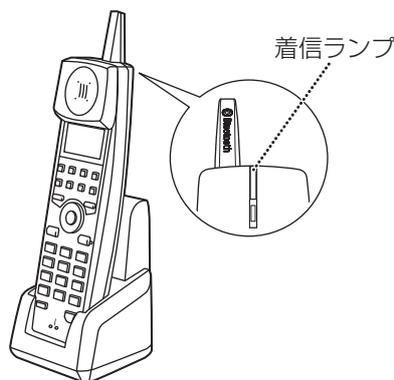
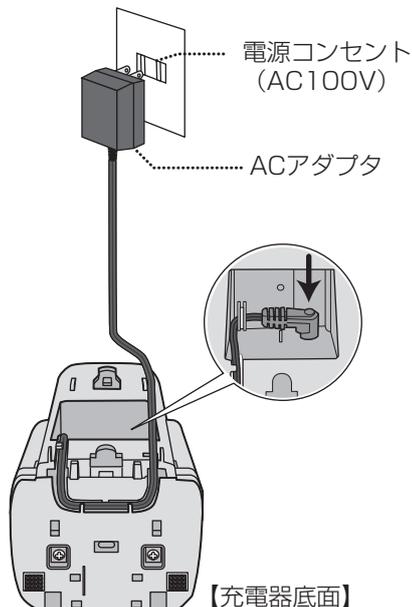
- ①子機はお買い上げ時、電池パックが接続されておりません。お使いになる前に電池パックを接続してください。（P.22ページ）
- ②はじめてお使いになるときは、CL625子機、WS605子機は約8時間以上充電してください。

### CL625電話機



- CL625子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にしてCL625親機に置いてください。
- CL625子機充電中は、CL625子機の着信ランプが赤点灯します。満充電時は、緑点灯します。

### WS605電話機



- WS605子機を充電する場合は、ダイヤル面を表にして充電器に置いてください。
- WS605子機充電中は、LCDに「充電中」と表示し、CL625子機と同様に着信ランプが赤点灯します。満充電時は、緑点灯します。

# ご使用前の注意事項

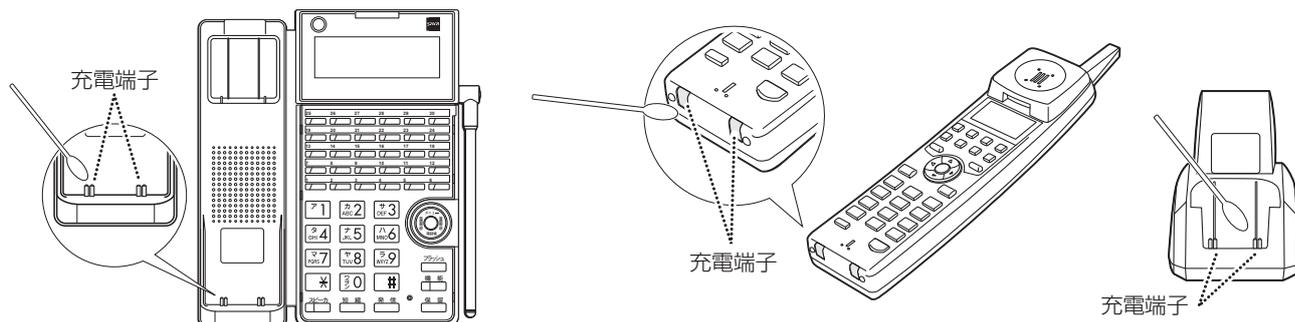
## MEMO

- 子機を使用しないときは、CL625親機や充電器に置いてください。
- 充電中や充電直後に子機の電池カバー付近が温かいことがありますが、異常ではありません。
- 満充電時の使用時間は、次のとおりです。

	連続通話時間	連続待受時間 <sup>※1</sup>
CL625子機	約8時間	約24時間
WS605子機		

※1 電源が入った状態で、通話をしないで親機の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。

## 5. 充電端子のお手入れ

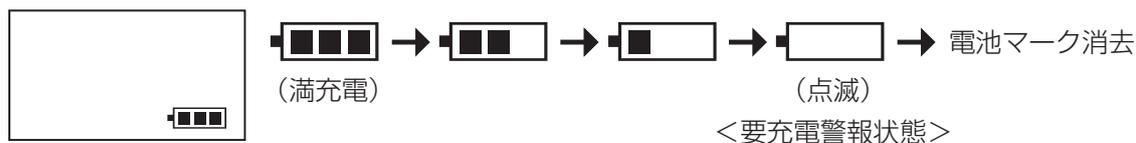


- ① 子機、CL625親機、および充電器の充電端子（金属部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。
- ② 端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回以上、乾いた綿棒で清掃してください。
  - ・ シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。

## 6. 電池残量

### CL625、WS605電話機

CL625子機、WS605子機の表示部に電池残容量を下図の4段階表示しますので、充電の目安としてお使いください。



- ① 要充電警報状態のときは、約10秒ごとに要充電警報音「ブーピー」が鳴ります。
- ② 電池残量が少なくなった場合、通常使用状態になるまで充電してください。
  - ・ 要充電警報音が鳴ってから充電すると、約8時間で通常の使用状態になります。この場合、約8時間の連続通話ができます。
  - ・ 通話中に要充電警報音が鳴り始めると、約90秒で通話が切れます。
  - ・ 電池パックを取り外した状態でCL625子機、WS605子機をCL625親機や充電器に置かないでください。
  - ・ 要充電警報状態のまま充電せずに放置すると、CL625、WS605電話機が使用不可の状態となりますが、故障ではありません。CL625子機、WS605子機をCL625親機や充電器に置いて充電してください。この場合、CL625子機、WS605子機の着信ランプがすぐに赤点灯しない場合がありますが、故障ではありません。（約10～20分後に着信ランプが赤点灯します）

## 7. 電池パックの交換

CL625子機、WS605子機の電池パックは、消耗品です。満充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は、新しい電池パック（型名：BP3711L-A）をお買い求めのうえ交換してください。

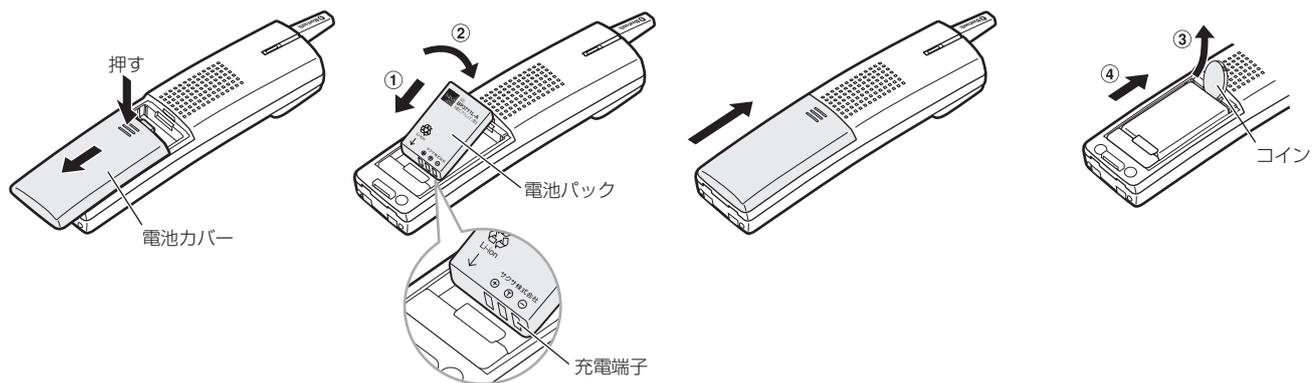
- ・ 電池の購入方法については、お買い上げになった販売店またはP.277ページの「お問い合わせ窓口のご案内」の営業所などへお問い合わせください。
- ・ 電池の抜き差しを行うと、CL625子機、WS605子機は一時的に  が表示されますが故障ではありません。

# ご使用前の注意事項

## CL625、WS605電話機

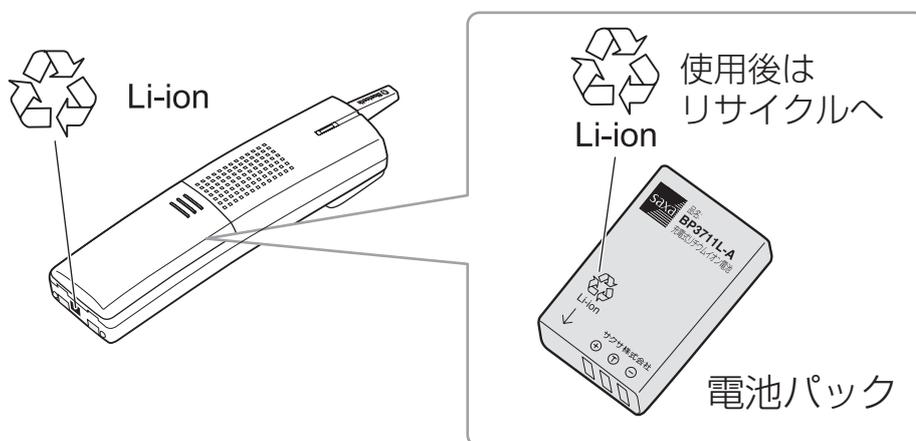
### ●電池パックの取り付け・取り外し

- 1 電池カバーを押しながらスライドさせて、電池カバーを取り外します。
  - 2 電池パックのラベル面を上にして、①方向に差し込みながら、②方向にはめこみます。
    - 子機と電池パックの充電端子が接触します。
  - 3 「カチッ」音がするまで、電池カバーを押し込みます。
- 電池パックを取り外すときは、電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。



### ●リサイクル推進へのお願い

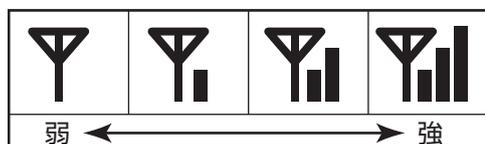
CL625子機、WS605子機の電池パック（型名：BP3711L-A）はリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池パックを廃棄しないで、お買い上げになった販売店またはお近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。



## 8. 電波の強さ

CL625子機、WS605子機は、CL625親機、WS605親機からの電波状態を4段階で表します。

- 電話をかける前に電波の強さを確認してください。



強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。 (電波状態の良い場所へ移動してください)
圏外	電話をかけることも受けることもできません。 • 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー……」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。 圏外になると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

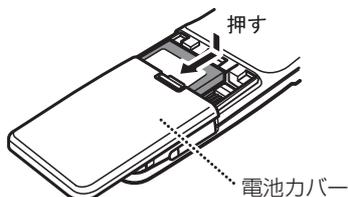
# ご使用前の注意事項

## DC600電話機

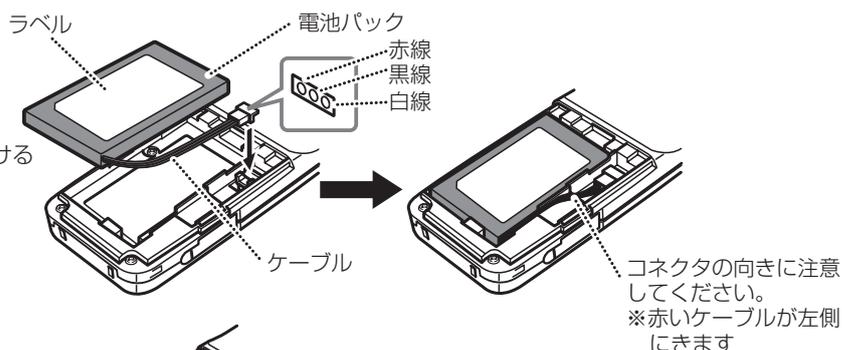
① はじめに

### 1. 電池パックを取り付ける

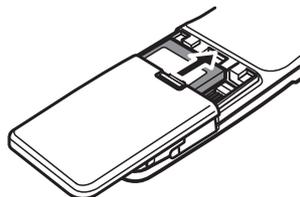
- ① 電池カバーを押しながら、スライドさせて電池カバーを取り外す。



- ② ラベルを上面にして、電池パックを取り付ける
- ケーブルはしっかりと差し込み、はさまないように注意して収納してください。



- ③ 電池カバーを取り付ける
- 電池カバーで電池パックのケーブルをはさみ込まないように注意してください。



#### MEMO

DC600子機の電源が入ったままで電池パックを取り外すと、故障の原因となります。

### 電池パックの交換

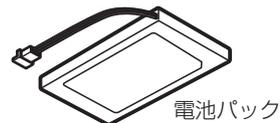
電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。電池パックは消耗品です。いっばいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は新しい当社指定の電池パック (BP3772L-A) をお買い求めのうえ交換してください。

- 電池パックの購入方法については、お買い上げになった販売店などへお問い合わせください。



#### リサイクル推進へのお願い

電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池を廃棄しないで、お買い上げになった販売店または、お近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進に協力をお願いいたします。

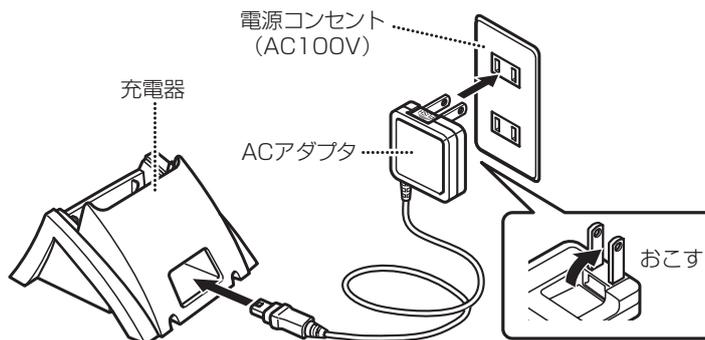


### 2. 充電する

ACアダプタの接続およびDC600子機の充電は、次のようになります。

はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず3時間以上、充電してください。

- ① ACアダプタを充電器と電源コンセントに差し込む。



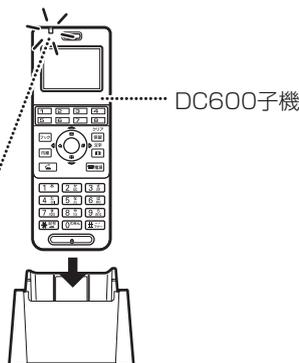
つづく →

# ご使用前の注意事項

- ② 図のようにDC600子機を充電器に置く。
- 充電を開始します。
  - DC600子機を充電器に置くとき、方向を間違えると充電できません。

※1 充電ランプが点灯しない場合は、再度DC600子機を充電器に置き直してください。それでも、充電ランプが点灯しない場合は、充電端子が汚れていないかを確認してください。

充電ランプ ※1  
赤点灯：充電中  
緑点灯：満充電

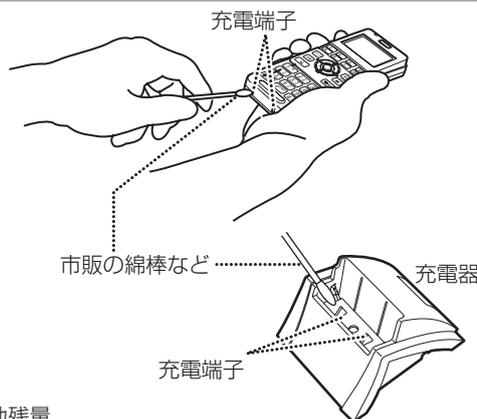


## MEMO

- 充電中のDC600子機や充電器、およびACアダプタは温かくなりますが、異常ではありません。
- 満充電後の使用可能時間  
連続通話をする場合……約8時間、連続待ち受けの場合……約250時間 ※2、※3  
※2 通話をしないで電源が入った状態で、接続装置の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。それ以外は短い時間となります。  
※3 発信モードの設定 (P.218ページ) を「会社1・公衆モード」または「公衆・会社1モード」に設定した場合は、連続待ち受け時間が短くなります。
- 充電器は平らなところに置いてください。充電器が傾いていると充電できない場合があります。
- DC600子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。
- ACアダプタのDCプラグ (USB-miniB) を直接、DC600子機の通信ケーブルコネクタに差し込むことで、電池パックの充電が可能です。
- PCとUSBケーブルで接続することで、電池パックの充電を行うことができます。ただし、PCの種類によっては、充電できない場合があります。

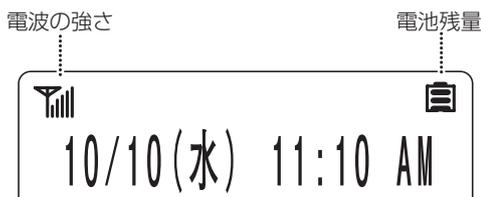
## ●充電端子のお手入れ

- ① DC600子機と充電器の充電端子 (金属の部分) は、いつもきれいに保つようにしてください。
  - ② 充電端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回または汚れているときは、やわらかい布でからぶきするか、市販の綿棒などでふいてください。
- シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。



## 3. 電源を入れる／電源を切る

電源を入れたり、切るときは **電源** を長く押し続けます。  
※電源が入ると「カレンダー・時計」が表示されます。

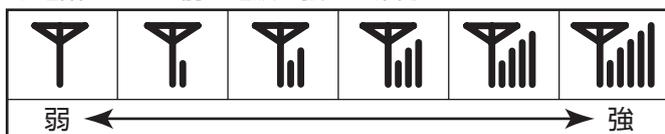


## MEMO

- 電源を一度切って再度、電源を入れる場合は、3秒以上待つてから入れます。

## ●電波の強さ

接続装置からの電波状態を6段階で表します。  
●電話をかける前に電波の強さを確認してください。

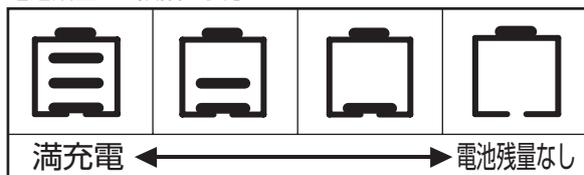


強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。(電波状態の良い場所へ移動してください)
圏外	電話をかけることも受けることもできません。また、一時的に圏外となっている場合は、発信できることもあります。 • 圏外に近づくと、警報音「プップッ……(断続音)」が鳴り、圏外に出ると通話が切れます。

# ご使用前の注意事項

## ●電池残量

電池残量を4段階で表示します。



特別な表示



通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒ごとに鳴ります。

※充電異常が表示された場合は、すぐに電源を切り、販売店にご相談ください。

### MEMO

- DC600子機の内線番号や名前などの待機時表示を変更しても、その内容が更新されないときは、再度、発信捕捉したあとに切る操作をしてください。
- 他の電話機を使って変更したときも、対象となるDC600子機で上記の操作をしてください。
- DC600子機の時計データ（年月日、曜日、時分）は、システムから自動的にダウンロードされます。
- 他の電話機の時計表示とは一致しないことがあります。（誤差が生じます）
- 待機状態のカレンダー・時計表示形式は、他の電話機と異なります。
- システムのカレンダー・時計設定をしたときや電池パックを取り外したときなどは、DC600子機で発信を捕捉し、他の多機能電話機での時刻（分）表示が変わるのを待って切る操作をすると、時計データをすぐに更新することができます。
- DC600子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

## ● VoIPユニットの自動ファームアップ

VoIPユニットはIP電話サービス提供会社の仕様変更や更新要求などにより、自動的にファームアップを行うことがあります。

- この機能を利用するには、VoIPユニットが必要です。

(例) VoIPユニット1の場合

# 1

### 最新ファーム受信中

VoIP1 F/W受信中  
11月 5日(土)  
午前 9:00

↓ ●最新ファームウェアをサーバーからダウンロード中です。

VoIP1 F/W書き換え中  
11月 5日(土)  
午前 9:00

- ダウンロードしたファームを書き換え中です。

# 2

### 再起動中

IP電話回線はご利用できません 208\*1  
11月 5日(土)  
午前 9:00

↓ ●ファームアップ書き換え終了後、自動的にVoIPユニットの再起動がかかります。

※1 208（表示例）は、サーバ登録中です。

VoIPユニット起動中  
11月 5日(土)  
午前 9:00

### MEMO

- 自動ファームアップしているときは、約5分間IP電話での通話ができなくなります。（CL625子機、WS605電話機、DC600電話機は通常表示のままです）

## ●主装置のプログラム自動更新

主装置は、機能変更などにより、自動的にプログラムを更新します。

- この機能を利用するには、主装置がインターネットに接続できる環境が必要となります。（ブロードバンドルータユニットが必要です）

主装置は、定期的にインターネットのサーバをチェックし、最新プログラムがある場合には自動的にダウンロードします。プログラムが更新される場合は、電話機などを使用していないときに、システムが自動的にリセットします。

### MEMO

- 自動プログラム更新をしているときは、約2分間システムが使用できなくなります。

# 各種音量の調節

## ● 着信音量を調節する(着信音量調節)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

### 外線着信の場合

- 1 ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押し、「音関係」を選択し、●を押す
- 3 を押し、「外線着信音量」を選択し、●を押す

多機能電話機、CL625親機の場合は  
●お買い上げ時は「レベル9」です。  
CL625子機、WS605電話機の場合は  
●お買い上げ時は「レベル2」です。

### 4 を押して音量を調節する

- 大きくする場合はを押します。
- 小さくする場合はを押します。
- 着信音量を確認したい場合、を押すとスピーカから鳴動します。  
再度、を押すと停止します。
- 調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL625親機の場合は  
●調節範囲はレベル4(最小)～レベル16(最大)です。  
CL625子機、WS605電話機の場合は  
●調節範囲はレベル1(最小)～レベル3(最大)です。

### 5 ●を押す

- 外線着信音量が設定され、手順3に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番71として、電話機のに登録できます。(☎157ページ)

### 内線呼出の場合

- 1 「外線着信の場合」の手順1～2を行う
- 2 を押し、「内線着信音量」を選択し、●を押す
- 3 「外線着信の場合」の手順4～5の操作をする

#### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番72として、電話機のに登録できます。(☎157ページ)
- 内線着信音量を変えると、保留警報音も変わります。

### ドアホン呼出の場合

- 1 「外線着信の場合」の手順1～2の操作をする
- 2 を押し、「ドアホン着信音量」を選択し、●を押す
- 3 「外線着信の場合」の手順4～5の操作をする

#### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番73として、電話機のに登録できます。(☎157ページ)

# ● 着信音量を調節する（着信音量調節）

DC600電話機

着信鳴動中に  を押すことにより、着信音量を切・小・中・大・漸増の5段階に調節できます。

- 着信鳴動中に変更した音量は、「カレンダー・時計」表示になると、元の設定音量に戻ります。
- 設定音量は、ご使用中の動作モードの着信音量設定（ 219ページ）から変更できます。
- お買い上げ時は「中（通常モード）」です。

着信中の画面表示

								
切	⇄	小	⇄	中	⇄	大	⇄	漸増

## MEMO

- 着信音鳴動中に  を押すと、着信音が停止します。
- 着信音量を「切」に設定すると、工事設定に関係なく着信音は鳴動しません。夜間モードのとき工事設定により、着信音が鳴動しないことがあります。夜間モード設定状態は、夜間モード切替（ 174ページ）で確認できます。
- 外線着信、内線呼出、ドアホン呼出などの着信後に、「着信あり」の表示が残ることがありますが、 を押すと「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# ● 外線着信音を停止する（外線着信鳴動拒否）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

## セット／解除のしかた

- 1** ● を押す
  - CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。
- 2**  を押してメニューから「その他」を選択し、● を押す
- 3**  を押して「電話機」を選択し、● を押す
- 4**  を押して「外線着信鳴動拒否設定」を選択し、● を押す
  - CL625子機、WS605電話機の場合は、「子機サイレント設定」を選択します。
- 5**  を押してON/OFFを選択する
  - お買い上げ時は「OFF」です。
- 6** ● を押す
  - 外線着信鳴動拒否が設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

「ON」場合は

- 着信音が停止します。

→  機能ランプ：赤点滅

- CL625子機、WS605電話機の場合は、表示部の右下に「S」を表示します。

「OFF」の場合は

- 着信音が鳴動します。

→  機能ランプ：消灯

- CL625子機、WS605電話機の場合は、表示部右下の「S」が消えます。

## MEMO

- 外線着信鳴動拒否セット時、サブアドレスなどの個別着信、内線呼出、ドアホン呼出音は鳴動します。
- 手順1～4はメニュー特番921として、電話機の  オート に登録できます。（ 157ページ）
- CL625子機、WS605電話機の場合は、手順1～4をメニュー特番92#として、電話機の  オート に登録できます。（ 157ページ）登録後は、 オート を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。
- 付属のステッカ「着信鳴動拒否」（多機能電話機、CL625親機）、「サイレント」（CL625子機、WS605子機）シールを貼ると便利です。
- CL625親機とCL625子機は別々に設定できます。

# ● 受話音量を調節する（受話音量調節）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

① はじめに

各種音量の調節

## 1 ● を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

## 2 を押し、[音関係] を選択し、 ● を押す

## 3 を押し、[受話音量] を選 択し、● を押す

多機能電話機の場合は

- お買い上げ時は「レベル9」です。

CL625親機、CL625子機、WS605電話機の場合は

- お買い上げ時は「レベル2」です。

## 4 を押して音量を調節する

- 大きくする場合はを押します。
- 小さくする場合はを押します。
- 調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機の場合は

- 調節範囲はレベル3（最小）～レベル16（最大）です。

CL625親機、CL625子機、WS605電話機の場合は

- 調節範囲はレベル1（最小）～レベル3（最大）です。

## 5 ● を押す

- 受話音量が設定され、手順3に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番74として、電話機の[オート]に登録できます。（☎157ページ）
- 通話中にを押すことによって、受話音量を調節することもできます。

# ● 受話音量を調節する（受話音量調節）

DC600電話機

通話中にを押すことにより、受話音量を小・中・大の3段階に調節できます。

- 通話中に変更した音量は、「カレンダー・時計」表示になると、元の設定音量に戻ります。
- 設定音量は、ご使用中の動作モードの受話音量設定（☎219ページ）から変更できます。
- お買い上げ時は「大（通常モード）」です。

通話中の画面表示

		
小	⇄ 中	⇄ 大

## ● スピーカ受話音量を調節する(スピーカ受話音量調節)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

# 1

●を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

# 2

 を押し、「音関係」を選択し、  
●を押す

# 3

 を押し、「スピーカ受話音量」を選択し、●を押す

多機能電話機、CL625親機の場合は

- お買い上げ時は「レベル5」です。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- お買い上げ時は「レベル2」です。

# 4

 を押して音量を調節する

- 大きくする場合は  を押します。
- 小さくする場合は  を押します。
- 調節範囲は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL625親機の場合は

- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル8(最大)です。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル3(最大)です。

# 5

●を押す

- スピーカ受話音量が設定され、手順3に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番75として、電話機の  /オート に登録できます。(☎157ページ)
- スピーカ受話中に  を押すことによって、スピーカ受話音量を調節することもできます。

## ● 話中着信音量を調節する(話中着信音量調節)

多機能電話機、CL625子機、WS605電話機

# 1

●を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

# 2

 を押し、「音関係」を選択し、  
●を押す

# 3

 を押し、「話中着信音量」を選択し、●を押す

多機能電話機の場合は

- お買い上げ時は「レベル3」です。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- 「話中着信音設定」を選択します。

- お買い上げ時は「ON」です。

# 4

 を押して音量を調節する

多機能電話機の場合は

- 調節範囲はレベル1(最小)～レベル8(最大)です。

- 大きくする場合は  を押します。

- 小さくする場合は  を押します。

- 話中着信音量を確認したい場合、 すると 

-  すると、話中着信音量を停止します。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- 調節範囲はON(セット)またはOFF(解除)です。

# 5

●を押す

- 話中着信音量が設定され、手順3に戻ります。
- CL625子機、WS605電話機の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 外線着信音量 (☎26ページ) より大きくなりません。  
話中着信音を大きくしたい場合は外線着信音量を大きくしてください。
- 手順1～3はメニュー特番76として、電話機の  /オート に登録できます。(☎157ページ)  
CL625子機、WS605電話機の場合は、 /オート を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。

## ● ボタン押し下げ音を停止する(キー押下音)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

### セット／解除のしかた

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

2

●を押し、[音関係] を選択し、●を押す

3

●を押し、[ボタン押し下げ音設定] を選択し、●を押す

- お買い上げ時は「ON」です。

4

●を押して「ON」か「OFF」を選択し、●を押す

- 「ON」を選択するとボタン押し下げ音がセットされ「設定しました」の表示後、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 「OFF」を選択するとボタン押し下げ音が解除され「解除しました」の表示後、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番78として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)登録後、[オート]を押すたびに「セット」→「解除」を繰り返します。
- キー押し下げ音を止めた状態で停電から復旧すると、お買い上げ時の設定「ON」に戻ります。
- CL625親機とCL625子機は別々に設定できます。

## ● ボタン押し下げ音を停止する(キー押下音)

DC600電話機

### セット／解除のしかた

1

●を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押す。
- 機能メニュー表示になります。

2

を押す

- 動作モード設定メニュー表示になります。

3

●を押し、ご使用中の動作モード設定を選択し、●を押す

- 動作モードは、「通常モード」、「マナーモード」、「ユーザーモード」のいずれかから選択します。
- お買い上げ時は「通常モード」です。

4

●を押し、[キータッチトーン] を選択し、●を押す

5

●を押して [ON] か [OFF] を選択し、●を押す

- お買い上げ時は「ON」です。

6

を押す

- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# 外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

## 外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

CL625子機、WS605電話機

CL625子機、WS605電話機の未使用(外線)に(外線/オート)、(会議)、(機能)、(内線)を割り付けると、各種機能の設定・変更などがCL625子機、WS605電話機からも操作できるようになります。

●お買い上げ時は「外線ボタン」です。

### 登録のしかた

- 1 を押す
  - CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[キー登録]を選択し、を押す
- 4 を押して外線1～8を選択し、を押す

- 5 を押して割り付けたい機能を選択し、を押す
  - 「会議」「機能」「内線」を割り付ける場合はでカーソルを上下移動させます。
  - 外線/オートを選択し、を押した場合は手順6の操作を実施します。「会議」「機能」「内線」を割り付けた場合は「設定しました」の表示後、手順4に戻ります。
- 6 外線番号またはオート番号を入力する
  - ダイヤルボタンを使用して登録したい外線番号またはオート番号(01～30)を入力します。
  - 必ず2桁入力してください。
  - 2桁入力すると登録され、手順4に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番9#として、電話機の(外線)に登録できます。(☎157ページ)
- 登録済みのボタンと同じ内容を、別の(外線)に割り付けると、双方のボタンの内容が入れ替わります。
- 付属のステッカ「会議」「機能」シールを貼ると便利です。

### 確認のしかた

「登録のしかた」の手順1～4の操作をする

①はじめに

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

# ● 外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

DC600電話機

DC600電話機の未使用「外線」に「機/オート」、「会議」、「機能(F)」、「発信」、「応答」、「短縮」を割り付けると、各種機能の設定・変更などがDC600電話機からも操作できるようになります。

● お買い上げ時は「外線ボタン」です。

## 登録のしかた

1

クリア  
内線 保留 を押す

2

を押し、[その他] を選択し、  
を押す

3

を押し、[キー登録] を選  
択し、を押す

4

を押して外線1～8を選  
択し、を押す

5

を押して割り付けたい機能  
を選択し、を押す

- 「会議」「機能(F)」「発信」「応答」「短縮」を割り付ける場合はでカーソルを上下移動させます。
- 「会議」「機能(F)」「発信」「応答」「短縮」を割り付けた場合は「設定しました」の表示後、手順4に戻ります。
- 外線/オートを選択し、を押した場合は手順6の操作を実施します。

6

外線番号またはオート番号を  
入力する

- ダイヤルボタンを使用して登録したい外線番号またはオート番号(01～30)を入力します。
- 必ず2桁入力してください。
- 2桁入力すると登録され、手順4に戻ります。

## MEMO

- 手順1～3はメニュー特番9#として、電話機の「オート」に登録できます。(P157ページ)
- 登録済みのボタンと同じ内容を、別の「外線」に割り付けると、双方のボタンの内容が入れ替わります。

## 確認のしかた

「登録のしかた」の手順1～4の操作  
をする

①はじめに

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

# メニューの説明

## メニューの説明

多機能電話機、CL625親機

メインメニューから $\odot$ で選択して $\bullet$ を押すか、またはメニュー画面の左端の番号を押すことにより各種機能を選択できます。  
[保 留]を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

### メインメニューの概要

## 1

### $\bullet$ を押す

- ①履歴（発信／着信）
  - ①発信履歴（☎49ページ）
  - ②内線発信履歴（☎54ページ）
  - ③システム着信履歴（☎52ページ）
  - ④個別着信履歴（☎52ページ）
  - ⑤テナント着信履歴（☎52ページ）
  - ⑥内線着信履歴（☎56ページ）
- ②電話帳
  - ①新規登録（☎63ページ）
  - ②一覧表示（☎48ページ）
  - ③カナ検索（☎45ページ）
  - ④グループ検索（☎47ページ）
  - ⑤個別カナ検索（☎45ページ）
- ③内線一覧  
内線番号、名前を表示（☎137ページ）  
内線番号呼び出し（☎138ページ）

## 2

### $\odot$ を押す

- ④外線転送関係
  - ①外線自動転送モード（☎93ページ）
  - ②外線転送先設定（☎91ページ）
  - ③外線転送タイマ連動（☎163ページ）
  - ④外線自動転送起動時間（☎95ページ）
  - ⑤外線転送リモコン用暗証番号（☎98ページ）
- ⑤留守番関係
  - ①各種メッセージの設定（☎108ページ）
  - ②留守番自動応答時間（☎111ページ）
  - ③用件の一括消去（☎123ページ）
  - ④留守番サイレント設定（☎111ページ）
  - ⑤追っかけ転送先電話番号（☎113ページ）
  - ⑥留守番タイマ連動（☎165ページ）
  - ⑦留守番リモコン用暗証番号（☎124ページ）
- ⑥オートダイヤル  
オートダイヤルの登録、確認（☎155ページ）

## 3

### $\odot$ を押す

- ⑦音関係
  - ①外線着信音量（☎26ページ）
  - ②内線着信音量（☎26ページ）
  - ③ドアホン着信音量（☎26ページ）
  - ④受話音量（☎28ページ）
  - ⑤スピーカ受話音量（☎29ページ）
  - ⑥話中着信音量（☎29ページ）
  - ⑦メロディ設定（☎86ページ）
  - ⑧ボタン押下音設定（☎30ページ）
  - ⑨メロディダウンロード（☎186ページ）
- ⑧コンテンツ表示
  - ①一覧表示（☎199ページ）
  - ②スクロール設定（☎199ページ）
  - ③手動更新（☎199ページ）
  - ④掲示板登録（☎200ページ）
- ⑨その他
  - ①システム
  - ②電話機
  - ③通話料金集計（☎179ページ）
  - ④ネットワーク（☎245ページ）
  - ⑤ユーザー登録（☎8ページ）
  - ⑥セーフティ関係※1
  - ⑦システム一覧（☎191ページ）

## 4

### $\odot$ を押す

- ※外線一覧  
外線一覧の表示（☎134ページ）

※1：取扱説明書～セーフティ機能編を参照してください。

メインメニューから $\odot$ で選択して $\bullet$ を押すことにより各種機能を選択できます。

$\square$ を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

## メインメニューの概要

1

### $\bullet$ を押す

- CL625子機の場合は、 $\swarrow$   $\square$ を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから $\bullet$ を押します。

履歴（発信／着信）

- 発信履歴（ $\textcircled{P}$ 49ページ）
- 内線発信履歴（ $\textcircled{P}$ 54ページ）
- システム着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- 個別着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- テナント着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- 内線着信履歴（ $\textcircled{P}$ 56ページ）

電話帳

- 新規登録（ $\textcircled{P}$ 63ページ）
- 一覧表示（ $\textcircled{P}$ 48ページ）
- カナ検索（ $\textcircled{P}$ 45ページ）
- グループ検索（ $\textcircled{P}$ 47ページ）
- 個別カナ検索（ $\textcircled{P}$ 45ページ）

2

### $\odot$ を押す

内線一覧

- 内線番号、名前を表示（ $\textcircled{P}$ 137ページ）
- 内線番号呼び出し（ $\textcircled{P}$ 138ページ）

外線転送関係

- 外線自動転送モード（ $\textcircled{P}$ 93ページ）

3

### $\odot$ を押す

オートダイヤル

- オートダイヤルの登録、確認（ $\textcircled{P}$ 155ページ）
- 音関係
  - 外線着信音量（ $\textcircled{P}$ 26ページ）
  - 内線着信音量（ $\textcircled{P}$ 26ページ）
  - ドアホン着信音量（ $\textcircled{P}$ 26ページ）
  - 受話音量（ $\textcircled{P}$ 28ページ）
  - スピーカ受話音量（ $\textcircled{P}$ 29ページ）
  - 話中着信音設定（ $\textcircled{P}$ 29ページ）
  - ボタン押下音設定（ $\textcircled{P}$ 30ページ）

4

### $\odot$ を押す

その他

- システム
  - 手動夜間設定（ $\textcircled{P}$ 174ページ）
- 電話機
  - 子機サイレント設定（ $\textcircled{P}$ 27ページ）
  - 不在設定（ $\textcircled{P}$ 146ページ）
  - ハンズフリー応答設定（ $\textcircled{P}$ 171ページ）
  - コントラスト調整（ $\textcircled{P}$ 35ページ）
  - 自己内線情報の確認（ $\textcircled{P}$ 173ページ）
  - LCDバックライト設定（ $\textcircled{P}$ 38ページ）
- キー登録（ $\textcircled{P}$ 31ページ）
- 外線一覧
  - 外線一覧の表示（ $\textcircled{P}$ 134ページ）

メインメニューから $\odot$ で選択して $\bullet$ を押すことにより、各種機能を選択できます。

$\square$ を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

## メインメニューの概要

1

### $\bullet$ を押す

履歴（発／着）

- 発信履歴（ $\textcircled{P}$ 49ページ）
- 内線発信履歴（ $\textcircled{P}$ 55ページ）
- システム着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- 個別着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- テナント着信履歴（ $\textcircled{P}$ 52ページ）
- 内線着信履歴（ $\textcircled{P}$ 56ページ）

2

### $\odot$ を押す

電話帳

- 新規登録
- 一覧表示（ $\textcircled{P}$ 48ページ）
- カナ検索（ $\textcircled{P}$ 46ページ）
- グループ検索（ $\textcircled{P}$ 47ページ）
- 個別カナ検索

3

### $\odot$ を押す

内線一覧

- 内線番号、名前を表示（ $\textcircled{P}$ 138ページ）
- 内線番号へ発信（ $\textcircled{P}$ 138ページ）

4

### $\odot$ を押す

外線転送関係

- 外線自動転送モード（ $\textcircled{P}$ 94ページ）

5

### $\odot$ を押す

オートダイヤル

- オートダイヤルの登録、確認（ $\textcircled{P}$ 158ページ）

6

### $\odot$ を押す

その他

- システム
  - 手動夜間設定（ $\textcircled{P}$ 175ページ）
- 電話機
  - 不在設定（ $\textcircled{P}$ 147ページ）
  - 自己内線情報確認（ $\textcircled{P}$ 173ページ）
- キー登録（ $\textcircled{P}$ 32ページ）

7

### $\odot$ を押す

外線一覧

- 外線一覧の表示（ $\textcircled{P}$ 134ページ）

# コントラスト調整

## ● コントラスト調整

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

◀▶を押し、「その他」を選択し、●を押す

3

◀▶を押し、「電話機」を選択し、●を押す

4

◀▶を押し、「コントラスト調整」を選択し、●を押す

多機能電話機、CL625親機の場合は

- お買い上げ時は「レベル4」です。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- お買い上げ時は「レベル5」です。

5

◀▶を押してコントラストを調整する

- 濃くする場合はを押します。
- 薄くする場合はを押します。
- 調整範囲はレベル1（薄い）～レベル8（濃い）です。

6

●を押す

- コントラスト調整値が設定され、手順4の表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番924として、電話機の/オートに登録できます。（157ページ）

①はじめに

コントラスト調整

## ● コントラスト調整

DC600電話機

1

●   を押す



2

◀▶を押してコントラストを調整する

- 濃くする場合はを押します。
- 淡くする場合はを押します。
- 調整範囲は5段階です。
- お買い上げ時は「中」です。

3

●を押す

- コントラスト調整が設定されます。

4

電源を押す

- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# カレンダー・時計の設定

## カレンダー・時計の設定

多機能電話機、CL625親機

①はじめに

カレンダー・時計の設定

### カレンダーの設定

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押し、[その他]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押し、[システム]を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押し、[カレンダー／時計設定]を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押し、[カレンダー]を選択し、●を押す
- 6 年／月／日を入力する
  - 00～99のいずれかで西暦の下2桁を入力します。
  - 01～12のいずれかで月を入力します。
  - 01～31のいずれかで日を入力します。
  - 年、月、日を入力すると自動的に曜日が表示されます。
- 7 ●を押す
  - カレンダーが更新され、手順5の表示に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9161として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

### 時計の設定

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押し、[その他]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押し、[システム]を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押し、[カレンダー／時計設定]を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押し、[時刻]を選択し、●を押す
  - 時刻は24時間制で入力してください。
- 6 時間を入力する
- 7 ●を押す
  - 時計が更新され、手順5の表示に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9162として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

## 待機状態でのカレンダー・時計表示

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押し、[その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押し、[システム] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押し、[表示設定] を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押し、[待機表示] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「横倍」です。
- 6 ◀▶を押して文字サイズを選択する
  - 横倍 (カレンダー・時計表示が2行)
  - 縦倍 (カレンダー・時計表示が1行)
  - 標準 (カレンダー・時計表示が1行)
- 7 ●を押す
  - 文字サイズが設定され、手順5の表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9155として、電話機の☎/オートに登録できます。(☎157ページ)登録後、☎/オートを押すたびに「横倍」→「縦倍」→「標準」を繰り返します。
- コンテンツ表示を利用しているときは、「標準」となります。

## 待機状態での時刻表示

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押し、[その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押し、[システム] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押し、[表示設定] を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押し、[時刻表示] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「12時間」制です。
- 6 ◀▶を押して時刻表示を選択する
  - 12時間制 (午前12:00～午後11:59)
  - 24時間制 (00:00～23:59)
- 7 ●を押す
  - 時刻表示が設定され、手順5の表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9156として、電話機の☎/オートに登録できます。(☎157ページ)登録後、☎/オートを押すたびに「12時間」制→「24時間」制を繰り返します。

# バックライトの設定

## バックライトの設定

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

①はじめに

バックライトの設定

多機能電話機、CL625親機の場合は

- 表示部のバックライトは、3つの状態に変更できます。

バックライトの状態	内容
都度点灯	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。(待機中は消灯)
常時点灯	使用中または待機中、常に点灯状態です。
常時消灯	使用中または待機中、常に消灯状態です。

CL625子機、WS605電話機は

バックライトの状態	内容
ON (都度点灯)	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。(待機中は消灯)
OFF (常時消灯)	使用中または待機中、常に消灯状態です。

### 1 ●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

### 2 ◀▶を押し、[その他]を選択し、●を押す

### 3 ◀▶を押し、[電話機]を選択し、●を押す

### 4 ◀▶を押し、[LCDバックライト設定]を選択し、●を押す

- お買い上げ時は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL625親機の場合は

- 都度点灯です。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- ONです。

### 5 ◀▶を押してバックライトの点灯の設定を選択する

- 設定の選択は以下のとおりとなります。

多機能電話機、CL625親機の場合は

- 都度点灯、常時点灯、常時消灯より選択します。

CL625子機、WS605電話機の場合は

- ON / OFFより選択します。

### 6 ●を押す

- LCDバックライト設定が設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番927として、電話機の[]に登録できます。(P.157ページ)  
登録後、[]を押すたびに「都度点灯」→「常時点灯」→「常時消灯」を繰り返します。(CL625子機、WS605電話機の場合は「ON」→「OFF」を繰り返します)

# 誤動作防止機能

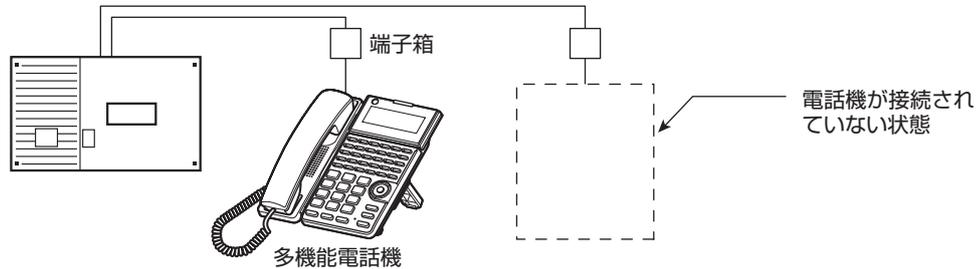
## 誤動作防止機能

多機能電話機、CL625親機

端子箱に一定時間（※1）電話機が接続されていないと、誤動作防止機能が自動的に働きます。  
この機能が働くと電話機を端子箱に接続しても動作しません。

電話機をご使用になりたいときは、主装置の電源スイッチをいったん切るか、他の電話機から解除操作を行ってください。

※1：電源スイッチを入れてから約24時間または、電話機を端子箱から外して24時間以上経過すると誤動作防止機能が働きます。



### 誤動作防止機能の解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [内線一覧] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押してご使用になりたい内線番号を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して [子機給電] を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して [はい] を選択し、●を押す

#### MEMO

- 誤動作防止機能の解除は、多機能電話機、CL625親機のみ操作できます。
- 誤動作防止機能が自動的に働くのは、多機能電話機、CL625電話機、WS605電話機、DC600電話機です。

# CL625電話機の独自機能

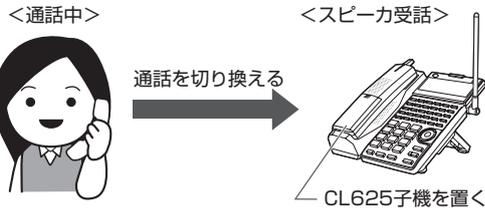
## CL625子機からCL625親機へ通話を切り換える

CL625親機、CL625子機

CL625子機が通話中またはスピーカ受話中のとき、CL625親機へ通話を切り替えることができます。

- スピーカ受話とは、通話相手の声をスピーカから聞くだけで、こちらの声は相手に流れません。ただし、CL625親機は外線ハンズフリーセットのとき、こちらの声が相手に流れます。

### CL625子機で通話中の場合



#### 1 外線または内線通話中

- CL625子機が通話中です。  
→ 外線ランプ：緑点灯（外線通話中の場合）

#### 2 スピーカを押す

- CL625親機のスピーカを押します。  
→ スピーカランプ：赤点灯

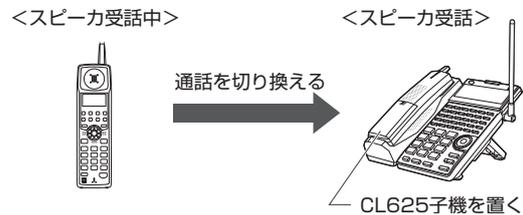
#### 3

- CL625子機をCL625親機に置きます。

#### 4 スピーカ受話になる

- CL625親機のスピーカから相手の声が聞こえます。

### CL625子機がスピーカ受話中の場合



#### 1 スピーカ受話中

- CL625子機がスピーカ受話中です。

#### 2

- CL625子機をCL625親機に置きます。

#### 3 スピーカを押す

- CL625親機のスピーカを押します。  
→ スピーカランプ：赤点灯

#### 4 スピーカ受話になる

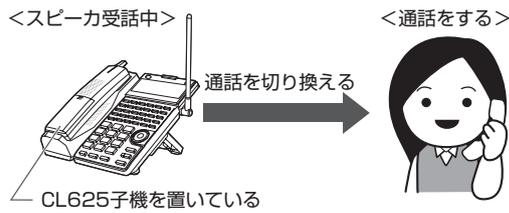
- CL625親機のスピーカから相手の声が聞こえます。
- CL625子機はスピーカ受話が止まります。

# CL625親機からCL625子機へ通話を切り換える

CL625親機、CL625子機

CL625親機がスピーカ受話中のとき、CL625子機へ通話を切り換えることができます。

## CL625子機を置いている場合



### 1 スピーカ受話中

- CL625親機がスピーカ受話中です。  
→ スピーカランプ：赤点灯

### 2

- CL625子機をCL625親機から上げます。  
→ スピーカランプ：消灯

### 3 通話をする

- CL625子機と相手とが通話します。

## CL625子機を置いていない場合



### 1 スピーカ受話中

- CL625親機がスピーカ受話中です。  
→ スピーカランプ：赤点灯

### 2 通話 を押す

- CL625子機の 通話 を押します。  
→ スピーカランプ：消灯

### 3 通話をする

- CL625子機と相手とが通話します。

①はじめに

CL625 電話機の独自機能

# 電話をかける（外線発信）

電話をかける方法は以下の方法があります。

- プリセットダイヤル（電話番号を押してから電話をかける）
- 自動選局発信（未使用外線を自動的につかむ）
- オンフックダイヤル（受話器を置いたまま電話をかける）
- オフフックダイヤル（受話器を上げて電話をかける）
- オフフック発信（受話器を上げるだけで電話をかける）
- 短縮番号検索発信
- 電話帳カナ検索発信
- 電話帳グループ検索発信
- 電話帳一覧からの発信
- 発信履歴からの発信
- リダイヤル
- オートリピートダイヤル
- 着信履歴からの発信
- 外線一覧（☎134ページ）

## 電話を終えた時の操作

- 多機能電話機、CL625親機の場合は、受話器を置きます。外線ハンズフリー機能を使用している場合は $\square$ を押します。
- CL625子機、WS605電話機の場合は、 $\square$ または、 $\square$ を押します。
- DC600電話機の場合は、 $\square$ を押します。

## 電話番号の入力間違いの訂正

- プリセットダイヤルのみです。
- 電話番号を途中で間違えたときは、 $\square$ を押すたびに最後の番号から1つつつ消去されます。
- $\square$ を長押しすると、入力したすべての番号が消去されます。
- DC600電話機の場合は、 $\square$ を押します。

## 短縮番号検索発信、電話帳カナ検索発信、電話帳グループ検索発信、電話帳一覧からの発信、発信履歴発信、着信履歴発信の発信方法について

メニュー操作中に $\square$ にて以下の発信方法から選択し、 $\square$ を押します。

- 発信：「発信」を選択すると、「通知発信」または「非通知発信」となります。（お買い上げ時は「通知発信」です。変更する場合は工事設定が必要です）
- 184発信：184を付与して発信します。
- 186発信：186を付与して発信します。

## 発信電話番号の通知／非通知

### 手順A

- 相手先電話番号の前に184（非通知）／186（通知）を押す。

### 発信者番号を通知したくない場合

- $\square$ を押してから発信相手先の電話番号を押します。

### 発信者番号を通知したい場合

- $\square$ を押してから発信相手先の電話番号を押します。

### 手順B

- 外線捕捉後、 $\square$ を押すことで非通知／通知を選択する。（DC600電話機の場合は $\square$ の代わりに $\square$ を押します）
- デジタル回線またはIP電話回線のときは、 $\square$ を押した後に $\square$ を押すたびに発信者番号の「通知」→「非通知」を繰り返します。
- アナログ回線のときは、発信電話番号の通知状態の契約により次のとおりとなります。（変更する場合は、工事設定が必要です）

- ・ 通常通知の場合、外線を捕捉したあとに $\square$ を押すたびに「非通知」→「契約」を繰り返します。
- ・ 通常非通知の場合、外線を捕捉したあとに $\square$ を押すたびに「通知」→「契約」を繰り返します。

## ● プリセットダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

### 1

#### 電話番号を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから電話番号を押します。
- プリセットダイヤルの電話番号を押す間隔は10秒以内に行ってください。10秒以上あけると、入力したすべての番号が消えます。また、プリセットダイヤル時はポーズを入れることはできません。

### 2

#### (または ) を押す

- CL625子機、WS605電話機は  を押し、DC600電話機は  を押します。  
→  ランプ：緑点灯  
→  ランプ：赤点灯

### 3



#### 受話器をあげて通話する

- CL625子機、DC600電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。  
→  ランプ：消灯

## ● 自動選局発信(オンフックダイヤル)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

### 1

#### を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。
- WS605電話機は  を押し、DC600電話機は  を押します。
-  の代わりに  を押すことも出来ます。(オンフックダイヤル)
-  の代わりに  (または )  を押すと未使用のNTT外線やIP電話回線などの自動選局状態となります。  
また、 (または )    を押すとIP電話回線を優先的に捕捉します。
- DC600電話機の場合は、 の代わりに  を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

### 2

#### 電話番号を押す

- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内に行ってください。5秒以上になると相手につながらないことがあります。(デジタル回線)
- 構内交換機(PBX)に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にPBXへアクセスする番号を押します。

### 3



- CL625子機、DC600電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

## ● オフフックダイヤル

多機能電話機、CL625親機

### 1



- 内線発信音「フッフッフ・・・」が聞こえます。

### 2

#### 「自動選局発信」の手順1～2の操作をする

##### ダイヤルボタンで入力します

- 電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。
- デジタル回線、IP電話回線の場合は、電話番号のあとに  を押すとすぐに電話がかかります。

## 1 電話番号を押す

## 2

- 未使用の外線を選択して発信します。  
→ 未使用  外線 ランプ：緑点灯

### MEMO

- 本機能を利用する場合には、工事設定が必要です
- 電話機の  外線 が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。使用中の  外線 を押すと話中音「ブーブー……」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。
- 外線自動選局を行うとき、お買い上げ時は老番の外線番号を選びます。工事設定により、若番の未使用外線から選ぶように変更することができます。
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。
- 構内交換機（PBX）やアダプタ等に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

# 短縮番号検索発信

## 1 を押す

- CL625子機の場合は、  切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

## 2 短縮番号を入力する

- 短縮番号をダイヤルボタンで4桁（0000～3999）入力すると登録内容の＜詳細画面＞が表示されます。
-  にて登録されている詳細内容を確認できます。

## 3 を押して発信したい短縮番号を選択する

## 4 を押す

## 5 短縮番号検索発信での発信方法にて発信する（ 42ページ）

### MEMO

- 手順4で  を押すと未使用の  外線 を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。（CL625子機、WS605電話機は  通話 を押し、DC600電話機は  を押します）
- 手順4で未使用  外線 を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- DC600電話機の場合は、未使用  外線 に  を登録します。（ 32ページ）

## かけかた（カナ検索）

- 1 ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して「電話帳」を選択し、●を押す
- 3 を押して「カナ検索」を選択し、●を押す
- 4 カナ入力後、●（または)を押す
  - カナ入力は、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大5文字）
  - 文字入力モードは「短縮」でモード変更をします。
  - 入力できる文字は文字入力一覧（270ページ）をご覧ください。

- 5 を押して発信する相手を選択する
  - を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
  - 候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の1つ後の名前を表示します。
  - を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと元の表示に戻ります。
  - 詳細画面にてを押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。
- 6 ●を押す
- 7 電話帳カナ検索発信の発信方法にて発信する（42ページ）

### MEMO

- 手順6で未使用を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順6でを押すと未使用の外線を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。（CL625子機、WS605電話機はを押して、DC600電話機はを押します）
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は次のとおりです。
- 「-（バー）」→「°（濁点）」→「ˆ（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「0」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「!」→「"」→「#」→「\$」→「%」→「&」→「'」→「(」→「)」→「\*」→「+」→「,」→「-（マイナス）」→「.」→「/」→「:」→「;」→「<」→「=」→「>」→「?」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「^」→「\_」→「`」→「{」→「|」→「}」→「~」→「。」→「[」→「」」→「,」→「.」→「（スペース）」
- 手順1～3はメニュー特番23として電話機のに登録できます。（157ページ）

## かけかた（個別カナ検索）

- 1 「かけかた（カナ検索）」の手順1～2の操作をする
- 2 を押して「個別カナ検索」を選択し、●を押す

- 3 「かけかた（カナ検索）」の手順4～7の操作をする

### MEMO

- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は上記の「メモ」をご覧ください。
- 手順1～2はメニュー特番25として電話機のに登録できます。（157ページ）
- 付属のステッカ「個別カナ検索」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL625親機のみ）

## かけかた（カナ検索）

1

クリア  
内線 保留 を押す

2

を押して「電話帳」を選択し、を押す

3

を押して「カナ検索」を選択し、を押す

4

カナを入力し、を押す

- カナ入力、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大5文字）
- 文字入力モードは<sup>文字</sup>でモード変更をします。
- 入力できる文字は文字入力一覧（☎270ページ）をご覧ください。

5

を押して発信する相手を選択する

- を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- 候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の1つ後の名前を表示します。
- を押すと詳細画面が表示されます。再度、<sup>文字</sup>を押すと元の一覧表示に戻ります。
- 詳細画面にてを押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

6

を押す

7

電話帳カナ検索発信の発信方法にて発信する（☞42ページ）

### MEMO

- 手順6で未使用「外線」を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順6でを押すと未使用の「外線」を捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は次のとおりです。  
「-（バー）」→「`（濁点）」→「ˆ（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「O」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「!」→「'」→「#」→「\$」→「%」→「&」→「'」→「(」→「)」→「\*」→「+」→「,」→「-（マイナス）」→「.」→「/」→「:」→「;」→「<」→「=」→「>」→「?」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「^」→「\_」→「`」→「{」→「|」→「}」→「~」→「。」→「[」→「]」→「,」→「.」→「 （スペース）」
- 手順1～3はメニュー特番23として電話機の「オート」に登録できます。（☎159ページ）

## 電話帳グループ検索発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

⬇️を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「グループ検索」を選択し、●を押す

4

⬇️を押して検索するグループを選択し、●を押す

- 候補がない場合には、「登録なし」を表示し、手順4に戻ります。

5

⬇️を押して発信する相手を選択する

- ⬇️を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にてを押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

6

●を押す

7

電話帳グループ検索発信の発信方法にて発信する（42ページ）

## 電話帳グループ検索発信

DC600電話機

1

を押す

2

⬇️を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「グループ検索」を選択し、●を押す

4

⬇️を押して検索するグループを選択し、●を押す

- 候補がない場合には、「登録なし」を表示し、手順4に戻ります。

5

⬇️を押して発信する相手を選択する

- ⬇️を押して、短縮番号4桁（0000～3999）のいずれかを選択します。
- を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと元の表示に戻ります。
- 詳細画面にてを押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

6

●を押す

7

電話帳グループ検索発信の発信方法にて発信する（42ページ）

### MEMO

- 手順6で未使用を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順6でを押すと未使用のを捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。(CL625子機、WS605電話機はを押して、DC600電話機はを押します)
- 電話帳検索で、文字の表示優先順位は45、46ページの「メモ」をご覧ください。
- 手順1～3はメニュー特番24、手順1～4はメニュー特番24Xとして電話機のに登録できます。(img alt="memo key icon" data-bbox="345 929 365 946"/>157、159ページ)  
(X：グループ0～グループ9、個別)
- 付属のステッカ「グループ検索」シールを貼ると便利です。(多機能電話機、CL625親機のみ)

## 電話帳一覧から発信する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

●CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

2

⬇️を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「一覧表示」を選択し、●を押す

4

⬇️を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

電話帳一覧からの発信方法にて発信する (👉42ページ)

②基本編

電話をかける(外線発信)

## 電話帳一覧から発信する

DC600電話機

1

を押す

内線

保留

2

⬇️を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「一覧表示」を選択し、●を押す

4

⬇️を押して発信する相手を選択する

●⬇️を押して、短縮番号4桁(0000~3999)のいずれかを選択します。

●候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の1つ後の名前を表示します。

●を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと元の表示に戻ります。

●詳細画面にて●を押すと、登録されている詳細内容を確認出来ます。

5

●を押す

6

電話帳一覧からの発信方法にて発信する (👉42ページ)

### MEMO

- 手順5で未使用を押すと選択された短縮番号へ発信します。
- 手順5でを押すと未使用のを捕捉し、選択された短縮番号へ発信します。(CL625子機、WS605電話機はを押し、DC600電話機はを押します)
- 手順1~3はメニュー特番22として電話機のに登録できます。(👉157、159ページ)

## ● 発信履歴発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

●CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2

を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

を押して「発信履歴」を選択し、●を押す

●発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

発信履歴からの発信方法にて発信する（42ページ）

②基本編

電話をかける（外線発信）

## ● 発信履歴発信

DC600電話機

1

 を押す

2

を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

3

を押して「発信履歴」を選択し、●を押す

●最後にかけた電話番号が表示されます。  
●発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

発信履歴からの発信方法にて発信する（42ページ）

### MEMO

- 手順1～3の代わりに を押しても発信履歴が表示されます。（DC600電話機は除く）
- 手順5で未使用 を押すと選択された発信履歴へ発信します。
- 手順5で を押すと未使用の を捕捉し、選択された発信履歴へ発信します。（CL625子機、WS605電話機は を押し、DC600電話機は を押します）
- 手順1～3はメニュー特番11として電話機の に登録できます。（157、159ページ）

# DC600電話機が持つ、発信履歴機能を利用する

# 1

を押す

- 発信した電話番号の最新から表示します。
- を押して、発信履歴の1～20のいずれかを選択します。

# 2

を押す

- 未使用  ランプ：緑点灯
-  ランプ：緑点灯

## MEMO

### DC600電話機が持つ、発信履歴機能の留意事項について

- プリセットダイヤルで発信した時のみ記憶されます。
- 電池が無くなると発信履歴に記憶された電話番号が消える場合があります。
- 短縮ダイヤルおよび指定外線捕捉の電話番号は、発信履歴の番号として記憶されません。

## ● リダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

# 1

（または  /  ）を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから （または  ）を押します。
- WS605電話機は （または  ）を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  -  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：赤点灯

# 2

 / （または  ）を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。

### 多機能電話機、CL625親機の場合は

- 電話番号は13桁まで表示されます。
- 発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

### CL625子機、WS605電話機の場合は

- 電話番号は17桁まで表示されます。
- 発信履歴がない場合は、「ERROR」を表示します。

## MEMO

- 電話機の  が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。使用中の  を押すと話中音「ブーブー…」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。
- 手順2の代わりに   を押しでもリダイヤルできます。
-  を押すだけでも最後にかけた電話番号へ自動発信します。オートリピートダイヤルとなります。
- （特殊番号43）は、電話機の  に登録できます。（☎157ページ）
- 付属のステッカ「リダイヤル」シールを貼ると便利です。
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。
- 構内交換機（PBX）に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

## ● リダイヤル

DC600電話機

# 1

（または  /  ）を押す

- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - 老番の未使用  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：緑点灯

# 2

 を押す

# 3

 を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。
- 電話番号は13桁まで表示されます。
- 発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

## MEMO

- 未使用  に  を登録します。（☎32ページ）
- 相手が応答しても通話時間は表示されません。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名（会社名など）を表示します。

## 1 相手が話中

- 外線 ランプ：緑点灯
- スピーカ ランプ：赤点灯

## 2 /リダイヤル (または 機能 短縮) を押す

- 最後にかけた電話番号へ自動発信します。
- 機能 ランプ：赤点滅

## 3 自動的にオートリPEATを行う

- 途中でオートリPEATダイヤルを解除するときは  スピーカ を押します。

### MEMO

- 工事設定によりオートリPEATダイヤルの呼出時間（話中でない場合）、待ち時間、回数を変更できます。

呼出時間 (秒)	待ち時間 (秒)	回数
120	3	15
120	10	15
120	30	15
120	60	100

← お買い上げ時

- オートリPEAT中は、プッシュ信号を送出できません。
- /リダイヤル (特殊番号43) は、電話機の  /オート に登録できます。(☎157ページ)
- 相手が応答すると通話時間が表示されます。
- 構内交換機 (PBX) に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
- 通話時間は目安としてご利用下さい。
- 電話帳登録済みの電話番号であれば登録名 (会社名など) を表示します。
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用  外線 に  機能を登録します。(☎31ページ)

## ● 着信履歴発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

⬇️を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「システム着信履歴」、[個別着信履歴]、[テナント着信履歴]のいずれかを選択し、●を押す

- システム着信履歴から発信したい場合は「システム着信履歴」を選択します。

4

⬇️を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

着信履歴からの発信方法にて発信する（42ページ）

- 個別着信履歴から発信したい場合は「個別着信履歴」を選択します。

- テナント着信履歴から発信したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。

- 各着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

②基本編

電話をかける（外線発信）

## ● 着信履歴発信

DC600電話機

1

クリア  
内線 保留 ●を押す

2

⬇️を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

3

⬇️を押して「システム着信履歴」、[個別着信履歴]、[テナント着信履歴]のいずれかを選択し、●を押す

- システム着信履歴から発信したい場合は「システム着信履歴」を選択します。

- 個別着信履歴から発信したい場合は「個別着信履歴」を選択します。

4

⬇️を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

着信履歴からの発信方法にて発信する（42ページ）

- テナント着信履歴から発信したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。

- 各着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

### MEMO

- システム着信履歴は手順1～3の代わりにを押しても、表示されます。（DC600電話機は除く）
- 手順5で未使用を押すと選択された着信履歴へ発信します。
- 手順5でを押すと未使用のを捕捉し、選択された着信履歴へ発信します。
- ネーム・ディスプレイ（238ページ）の着信履歴が一覧表示の場合、例「001>東京サクサ」が表示されます。
- 手順1～3はメニュー特番13（システム着信履歴）、14（個別着信履歴）、15（テナント着信履歴）として電話機のに登録できます。（157、159ページ）
- DC600電話機が持つ着信履歴機能は利用できません。

# 電話をかける（内線発信）

電話をかける方法は以下の方法があります。

- 内線オンフック発信（受話器を置いたまま内線呼び出しする）
- 内線オフフック発信（受話器を上げて内線をかける）
- 内線プリセットダイヤル（内線番号を押してから内線をかける）
- 内線発信履歴からの発信
- 内線リダイヤル
- 内線着信履歴からの発信

## ●内線オンフック発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

 **スピーカー** を押す

- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯

2

**内線番号を押す**

- 呼出音「ブー」が聞こえます。
-  を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、 を押すことで音声に戻すことができます。

3



- 相手が出たら通話します。  
→  ランプ：消灯

## ●内線オフフック発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

1



- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 **スピーカー** を押します。
- DC600電話機の場合は、 **内線** を押します。  
→  ランプ：緑点灯

2

**内線番号を押す**

- 呼出音「ブー」が聞こえます。
-  を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、 を押すことで音声に戻すことができます。

3

**内線通話をする**

- 相手が出たら通話します。

# ● 内線プリセットダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

## 1 内線番号を押す

## 2 を押す

- 呼出音「ブー」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→  ランプ：緑点灯
-  を押すと発信先の呼出音を音声から信号音に変更できます。
- 再度、 を押すことで音声に戻すことができます。

## 3

- 相手が出たら通話します。  
→  ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

### MEMO

- 工事設定により内線呼出音は音声の他に信号音でも呼び出せます。(お買い上げ時は「音声」です)ただし、DC600電話機や単独電話機へは信号音のみです。
- 内線発信でダイヤルを操作しないで、約3分経過するとビジートーン「ブーブー…」が鳴り、さらに約20秒するとハウラ音「ビビビ…」が鳴り、着信ランプが7色に点滅 (DC600電話機は除く) します。
- 内線通話が終わると、内線呼出音の切替は初期に戻ります。
- 工事設定により、信号音を複合音 (低) から、単音、複合音 (中)、複合音 (高) に変更できます。(DC600電話機は除く)
- 工事設定により、電話機ごとに音声呼び出しから信号音呼出に変更できます。

# ● 内線発信履歴発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

## 1 を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

## 2 を押して [履歴 (発信/着信)] を選択し、 を押す

## 3 を押して [内線発信履歴] を選択し、 を押す

- 内線発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

## 4 を押して発信する相手を選択する

## 5 を押す

## 6 [呼び出し] を選択し、 を押すと内線オンフック発信の方法で発信する

1   を押す

2 を押して [履歴 (発/着)] を選択し、 を押す

3 を押して [内線発信履歴] を選択し、 を押す

- 最後にかけた内線番号が表示されます。
- 内線発信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4 を押して発信する相手を選択する

5 を押す

6 [呼び出し] を選択し、 を押すと内線オフフック発信の方法で発信する

## MEMO

- 手順1～3はメニュー特番12として電話機の  に登録できます。(☎157、159ページ)

# ● 内線リダイヤル

1  を押す

- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯

2  (または ) を押す

- 最後にかけた内線番号へ自動発信します。

### 多機能電話機、CL625親機の場合は

- 内線発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

### CL625子機、WS605電話機の場合は

- 内線発信履歴がない場合は、「ERROR」を表示します。

## MEMO

- (特殊番号43) は、電話機の  に登録できます。(☎157ページ)
- 付属のステッカ「リダイヤル」シールを貼ると便利です。

## ● 内線着信履歴発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

●CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

2

◀▶を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して「内線着信履歴」を選択し、●を押す

●内線着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

◀▶を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

「呼び出し」を選択し、●を押すと内線オンフック発信の方法で発信する

## ● 内線着信履歴発信

DC600電話機

1

内線 <sup>クリア</sup>保留を押す

2

◀▶を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して「内線着信履歴」を選択し、●を押す

●内線着信履歴が無い場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

◀▶を押して発信する相手を選択する

5

●を押す

6

「呼び出し」を選択し、●を押すと内線オフフック発信の方法で発信する

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番16（内線着信履歴）として電話機の  に登録できます。（☎157、159ページ）
- DC600電話機が持つ着信履歴機能は利用できません。

# 電話を受ける

電話を受ける方法は以下の方法があります。

- 着信自動応答（受話器を上げるだけで応答する）
- 任意外線応答（電話がかかってきたら外線ボタンを押す）
- 外線一覧（☎134ページ）
- 自動転送（内線通話後に外線を転送する）
- 外線通話を保留する
- 強制転送（内線通話しないで外線を転送する）
- パーク（他テナントへ外線を転送する）
- 口頭転送（相手に呼びかけて転送する）

## ● 着信自動応答

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

# 1

### 着信音が鳴る

- 外線ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：点滅

# 2



- 外線ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯

- WS605電話機の場合は、通話を押しても応答できません。
- DC600電話機の場合は、通話を押します。

### MEMO

- 外線通話中の電話機に別の外線着信が鳴ったときは、外線着信中の外線を押しと通話が出来ます。ただし、前の外線との通話は切れます。
- 外線通話中の電話機を保留して別の外線着信の相手と通話するときは、次の操作を行って下さい。  
保留、外線着信中の外線、外線着信の相手と通話、終話、保留中の外線を押します。最初の相手と通話できます。
- 工事設定により、外線着信音を8種類の着信音またはメロディに変更できます。メロディに変更した場合は、10曲のメロディから選択して利用できます。（☎84、86ページ）（DC600電話機は除く）
- 電話機ごとに、外線着信音を停止することができます。（☎27ページ）
- 工事設定により、自動応答しないようにできます。（DC600電話機は除く）
- 外線着信表示ランプを8種類の表示色から選択して利用できます。（☎85ページ）（DC600電話機は除く）
- 電話帳登録済みの電話番号であれば、登録名（会社名など）または電話番号を縦倍で表示することができます。  
・縦倍表示の設定方法は、9 1 5 4 を押して ABC2 を押します。（多機能電話機、CL625親機のみ）

## ● 任意外線応答

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

# 1

### 着信音が鳴る

- 外線ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：点滅
- DC600電話機の場合は  
→ 外線ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：赤点滅

# 2

### 外線を押す

- かかってきた外線に対応する外線がないときは、指定外線捕捉（☎129ページ）またはコールピックアップ（☎129ページ）または外線一覧（☎134ページ）の操作をしてください。
- 外線着信音が止まります。  
→ 外線ランプ：緑点灯  
→ スピーカランプ：赤点灯  
→ 着信ランプ：消灯

# 3



- スピーカランプ：消灯

- DC600電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

## 1 外線通話中

-  ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：緑点灯

## 2 保留を押す

- 外線相手に保留音を流します。
  -  ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：消灯
  -  ランプ：緑点滅
  -  ランプ：緑点灯
- 外線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。
- 保留後3分経過すると保留警報音「プープー・・・」が鳴ります。
- 工事設定により1分、2分、4分、無制限のいずれかに変更できます。

## 3

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- CL625子機、WS605電話機の場合は  または  を押します。
- DC600電話機の場合は  を押します。
  -  ランプ：赤点滅（点滅周期も変わります）
  -  ランプ：消灯

### MEMO

- 保留音をメロディ（10曲）から選択して利用できます。（☎86ページ）  
また、お客様がご用意された曲をWeb設定から登録することで、保留音として利用することができます。（☎249ページ）
- 工事設定により、保留音を外部保留音源にすることが出来ます。

## 保留再応答のしかた

### 1



- 外線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。（WS605電話機除く）
  -  ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は手順2のみの操作となります。

### 2 保留中の を押す

- 保留中の  を押すと、再通話ができます。
  -  ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：緑点灯

### MEMO

- 外線に対応する  が無いときや、複数の外線を保留したときは、「☎→962」の操作で最後に保留した外線に再応答します。（DC600電話機の場合は、 の代わりに  を押します）

## 転送する側の操作

### 1 外線通話中

- ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯
- ランプ：緑点灯

### 2 保留を押す

- 外線相手に保留音を流します。  
→ ランプ：緑点滅
- 内線発信音「ブツブツッ・・・」が聞こえます。
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：消灯
- ランプ：緑点滅
- ランプ：緑点灯

### 3 転送先の内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

### 4 転送先の相手と通話する

- 例：〇〇さんからの電話です。

### 5

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ ランプ：赤点灯
- CL625子機、WS605電話機の場合は または を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→ ランプ：赤点灯
- ランプ：消灯

## 転送される側の操作

### 1 呼出音が鳴る

- 内線呼出音が鳴り、音声聞こえます。  
→ ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：消滅
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：赤点滅
- ランプ：緑点滅

### 2

- 受話器を上げて内線相手と通話します。  
→ 着信ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は を押します。  
→ ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯
- 転送元が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。  
→ ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯
- ランプ：緑点灯

#### MEMO

- 内線番号は電話機の に登録できます。  
( 137、156、158ページ)  
内線番号一覧は 257ページを参照して下さい。
- 内線番号を登録したあと、「転送する側」の手順2、3の代わりに外線通話中に などを直接押し、保留、内線呼出がワンタッチで可能になります。
- 工事設定により、自動転送が停止できます。
- 他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送になります。

## 転送する側の操作

### 1 外線通話中

- ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯  
→ ランプ：緑点灯

### 2 保留を押す

- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。
- 外線相手に保留音を流します。  
→ ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：消灯  
→ ランプ：緑点滅  
→ ランプ：緑点灯

### 3 転送先の内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

### 4

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ ランプ：赤点滅
- CL625子機、WS605電話機の場合は または を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→ ランプ：赤点滅  
→ ランプ：消灯

転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、次の手順5' ~ 7'の操作をします。

### 5' 保留警報音が鳴る

- 保留警報音「プープー・・・」が鳴ります。  
→ ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点滅  
→ 着信ランプ：赤点滅

### 6'

- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。
- DC600電話機の場合は、本操作を行う必要はありません。

### 7' を押す

- 保留中の を押して、再度外線相手と通話します。  
→ ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯  
→ ランプ：緑点灯

#### MEMO

- 内線番号は、電話機の に登録できます。  
(☎137、156、158ページ)
- 内線番号を登録したあと、「転送する側」の手順2、3の代わりに外線通話中に を直接押し、保留、内線呼び出しがワンタッチで可能になります。
- 工事設定により、強制転送が停止できます。
- 他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送となります。
- 「転送する側」の手順2~4で、他テナントへ転送後、約30秒経過し、保留警報音が鳴ってから再度、外線相手と通話する場合は、緑点滅中の を押します。 は、特殊番号80~99として、電話機の に登録できます。  
(☎157、159ページ)

## 転送される側の操作

### 1 呼出音が鳴る

- 転送されたことを表す呼出音が鳴ります  
→ ランプ：緑点滅  
→ 着信ランプ：点滅
- 約30秒後経過した場合、呼出音が止まり「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき転送する側に保留警報音が鳴ります。
- DC600電話機の場合は、転送されたことを表す呼出音が鳴ります。  
→ ランプ：緑点滅  
→ 着信ランプ：赤点滅

### 2

- 呼出音が鳴ってから、約30秒以内に受話器を上げると、自動的に外線とつながります。  
→ ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は、保留中の (または ) を押すと外線相手とつながります。  
→ ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯  
→ ランプ：緑点灯

## 転送する側の操作

### 1 外線通話中

-  ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：緑点灯

### 2 保留を押す

- 内線発信音「ブップッブッ・・・」が聞こえます。
- 外線相手に保留音を流します。
  -  ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：緑点滅
  -  ランプ：消灯
  -  ランプ：緑点灯

### 3

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- CL625子機、WS605電話機の場合は  または  を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。
  -  ランプ：赤点滅
  -  ランプ：消灯

### 4 口頭で呼びかける

- 例：〇〇さんからの電話です！

#### MEMO

- 「転送する側」の手順4で、口頭で呼びかけるときに、保留した外線が何番か伝えるようにしてください。

## 転送される側の操作

### 1

- 内線発信音「ブップッブッ・・・」が聞こえます。(WS605電話機除く)
  -  ランプ：赤点滅
- DC600電話機の場合は、本操作を行う必要はありません。
  -  ランプ：赤点滅

### 2 保留中の を押す

-  ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は
  -  ランプ：緑点灯
  -  ランプ：緑点灯

### 3 外線相手と通話する

- 外線相手と通話します。

## 転送する側の操作

### 1 外線通話中

- ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯  
→ ランプ：緑点灯

### 2 保留を押す

- 外線相手に保留音を流します。  
→ ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：消灯  
→ ランプ：緑点滅  
→ ランプ：緑点灯
- 内線発信音「ブップブツ・・・」が聞こえます。
- 保留後3分経過すると保留警報音「ピリリピリリ・・・」が鳴ります。
- 工事設定により、1分、2分、4分、無制限のいずれかに変更できます。

### 3 /パークを押す

- 保留している外線がパークに転送されます。
- パーク転送音「ピピピピツ・・・」が聞こえます。  
→ パーク保留中の ランプ：赤点灯  
→ ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は  
→ パーク保留中の ランプ：赤点灯  
→ ランプ：緑点滅
- の代わりに「969→転送するパーク番号00~19のいずれか」を押します。

### 4

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- CL625子機、WS605電話機の場合は または を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→ ランプ：赤点滅  
→ ランプ：消灯

## 転送される側の操作

### 1

- 内線発信音「ブップブツ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 (スピーカ) を押します。  
→ ランプ：赤点滅
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：赤点滅

### 2 /パークを押す

- ランプ：緑点灯
- DC600電話機の場合は  
→ ランプ：緑点灯  
→ ランプ：緑点灯
- の代わりに「969→保留中のパーク番号00~19のいずれか」を押します。

### 3 外線相手と通話する

- 外線相手と通話します。

#### MEMO

- パークを使用する場合は必ず (特殊番号80~99) を電話機の に登録してください。  
( 157、159ページ)
- 転送された側で再度、 を押すと が緑点滅します。再度応答する場合は受話器を上げて点滅している を押して下さい。
- 外線通話を保留して他のテナントの電話機へ内線転送した場合でも、パーク経由での転送になります。

# 電話帳に登録する

## 電話帳に登録する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

を押し、「電話帳」を選択し、●を押す

3

を押し、「新規登録」を選択し、●を押す

4

登録したい短縮番号をダイヤルボタンで入力する

- 短縮番号をダイヤルボタンで4桁(0000~3999)入力すると、短縮番号が仮登録され、「電話帳登録」へ進みます。
- 入力された短縮番号が登録済みの場合は、登録内容が表示されます。ただし、他の電話機でグループ登録「個別」に登録されている短縮番号は指定できません。
- を押すと空きの短縮番号が自動で入力されます。ただし、空き短縮番号がない場合は登録できません。

5

を押し、「グループ」を選択し、●を押す

- 64ページの「グループの入力のしかた」をご覧ください。

6

を押し、「電話番号」を選択し、●を押す

- 必ず登録してください。
- 64ページの「電話番号の入力のしかた」をご覧ください。

7

を押し、「名前」を選択し、●を押す

- 64ページの「名前の入力のしかた」をご覧ください。

8

を押し、「カナ」を選択し、●を押す

- 必ず登録してください。
- 64ページの「カナの入力のしかた」をご覧ください。

9

を押し、「着信音」を選択し、●を押す

- 64ページの「着信音の入力のしかた」をご覧ください。

10

を押し、「着信先」を選択し、●を押す

- 65ページの「着信先の入力のしかた」をご覧ください。

11

を押し、「メモ」を選択し、●を押す

- 65ページの「メモの入力のしかた」をご覧ください。

12

を押し、「登録」を選択し、●を押す

- 本登録され手順3に戻ります。
- 電話番号またはカナが仮登録されていないと、本登録はできません。
- 指定した短縮番号が登録済みの場合、上書き確認へ移ります。

## グループの入力のしかた

### 1 を押して登録するグループを選択する

-  でグループを選択するのではなく、ダイヤルボタンでも選択可能です。  
(CL625子機、WS605電話機除く)  
⑩グループ0～⑨グループ9、☒個別
- グループ名の設定は⑧82ページを参照して下さい。

### 2 登録するグループを確認し、 を押す

-  を押すとグループが仮登録され、手順5 (⑧63ページ) に戻ります。

## 電話番号の入力のしかた

### 1 登録する電話番号をダイヤルボタンで入力する

- 電話番号を登録します。
- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- **短縮** を押すと特殊コードを入力できます。  
(⑧65ページ)
- 複数番号を組み合わせで登録するネ스팅グダイヤルの場合は、[ ] 内に短縮番号を入れてください。(最大4つ)
- 入力した番号を間違えた場合は **フラッシュ** を押して消去します。

### 2 入力した番号に間違いがないか確認し、 を押す

-  を押すと電話番号が仮登録され、手順6 (⑧63ページ) に戻ります。

## 名前入力のしかた

### 1 登録する名前をダイヤルボタンで入力する

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。(文字数は全角で最大16文字です)
- **短縮** で文字入力モードを変更します。  
かな(漢) → カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数) を繰り返します。
- 入力出来る文字は、⑧270ページの文字入力一覧をご覧ください。

### 2 を押して変換し で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
-  で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは  を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、**フラッシュ** を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

### 3 入力した名前に間違いがないか確認し、 を押す

-  を押すと名前が仮登録され、手順7 (⑧63ページ) に戻ります。

## カナの入力のしかた

カナは⑧63ページの名前入力時に自動的に入力されます。

### 1 カナを編集する

- 入力文字はダイヤルボタンから入力します。(文字数は半角で最大16文字です)
-  カーソル移動し、カナを編集します。
- **短縮** で文字入力モードを変更します。  
カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数) を繰り返します。
- 入力出来る文字は、⑧270ページの文字入力一覧をご覧ください。ただし、「英字」モードで  を押したときの「～」は「」になります。
- 「カナ」モードで  を押すとスペース(空)が入力できます。

### 2 入力したカナに間違いがないか確認し、 を押す

-  を押すとカナが仮登録され、手順8 (⑧63ページ) に戻ります。

## 着信音の入力のしかた

識別着信の設定をします。

この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

### 1 を押して着信音を選択する

- 「設定なし」、「着信音A～着信音H」、「保留メロディ1～保留メロディ2」、「着信メロディ1～着信メロディ2」から着信音を選択できます。
- グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、手順9 (⑧63ページ) に戻ります。
- 保留メロディに設定すると、保留音と兼用となります。
- お買い上げ時は「設定なし」です。

### 2 を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、識別着信音が仮登録され、手順9 (⑧63ページ) に戻ります。

### 3 試聴したい場合は にて、[試聴] を選択する

- 選択した曲を試聴したい場合は [試聴] (または ) を選択します。 を押した場合は試聴が始まります。 を押すと、試聴が停止します。
- 試聴しない場合には、手順4へ進みます。

### 4 選択した項目を確認し、 を押す

-  を押すと識別着信音が仮登録され、手順9 ( 63ページ) に戻ります。

#### 着信先の入力のしかた

発ID識別着信の設定をします。発ID識別着信のグループ着信はこの手順のグループA～グループIを設定します。この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

### 1 を押して着信先のグループを選択する

- 発ID識別着信の個別着信はこの手順の  電話機を設定します。
-  でグループを選択するのではなく、ダイヤルボタンでも選択可能です。ダイヤルボタンで選択した場合は手順10 ( 63ページ) に戻ります。 設定なし (一斉)、 グループA～ グループI、 電話機
- お買い上げ時は「設定なし (一斉)」です。
- 「内線グループA～I」は工事設定により指定された内線電話機が外線着信のときに鳴ります。
- 「電話機」を選択したあとの操作は「 →  を押して内線を選ぶ → 」です。
- グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、手順10 ( 63ページ) に戻ります。

#### MEMO

- 電話番号入力時、 を押すと特殊コードが入力できます。
  - ・  を1回押すと「P」(ポーズ) を入力することが出来ます。(待ち時間：お買い上げ時は約3秒) 電話番号の途中にポーズを入れないで下さい。相手につながらないことがあります。(デジタル回線) (登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します)
  - ・  を2回押すと「E」(切断コード) を入力することが出来ます。(電話番号の最終桁のみ有効です。何も入力していない状態では入力出来ません)
  - ・  を3回押すと「-」(ハイフン) を入力することが出来ます。
  - ・  を4回押すと「[]」(ネスティング) を入力することが出来ます。短縮Aに短縮A(ネスティングさせたい短縮番号)を登録することは出来ません。共通短縮番号に個別短縮番号を登録することは出来ません。
  - ・  を5回押すと「P」(ポーズ) に戻ります。
- 構内交換機 (PBX) に接続している (PBXと一般外線との混在収容を含む) ときは、必ずPBXから外線へのアクセス番号を登録します。(アクセスする番号の後にポーズを登録する必要はありません)
- 入力モードが「数字」の場合には、「\*」と「#」は入力出来ません。
-  を押すと1つ前のメニューに戻ります。

### 2 選択した項目を確認し、 を押す

-  を押すと着信先グループが仮登録され、手順10 ( 63ページ) に戻ります。

#### メモの入力のしかた

メモを入力しておく、電話帳に登録した電話番号の相手から着信があったとき、内線電話機にメモの内容が表示されます。

### 1 登録するメモをダイヤルボタンで入力する

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。(文字数は全角で最大16文字です)
-  で文字入力モードを変更します。かな (漢) → カナ (カナ) → 英字 (英) → 数字 (数) を繰り返します。
- 入力出来る文字は、 270ページの文字入力一覧をご覧ください。

### 2 を押して変換し で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
-  で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは  を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、 を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

### 3 入力したメモに間違いがないか確認し、 を押す

-  を押すとメモが仮登録され、手順11 ( 63ページ) に戻ります。

## ● 発信履歴から電話帳に登録する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

を押して「発信履歴」を選択し、●を押す

- 発信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して登録する電話番号を選択し、●を押す

5

を押して「電話帳登録」を選択し、●を押す

- 既に電話帳に登録されている場合、短縮番号が表示されます。

6

電話帳登録の「電話帳に登録する」（63ページ）の手順4～12の操作をする

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番11として電話機のに登録できます。（157ページ）
- 手順1～3の代わりにを押しても発信履歴が表示されません。

## ● 着信履歴から電話帳に登録する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

を押して「システム着信履歴」、「個別着信履歴」、「テナント着信履歴」のいずれかを選択し、●を押す

- システム着信履歴から登録したい場合は「システム着信履歴」を選択します。
- 個別着信履歴から登録したい場合は「個別着信履歴」を選択します。
- テナント着信履歴から登録したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。
- 着信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して登録する電話番号を選択し、●を押す

5

を押して「電話帳登録」を選択し、●を押す

- 既に電話帳に登録されている場合、短縮番号が表示されます。

6

電話帳登録の「電話帳に登録する」（63ページ）の手順4～12の操作をする

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番13（システム着信履歴）、14（個別着信履歴）、15（テナント着信履歴）として電話機のに登録できます。（157ページ）
- システム着信履歴は手順1～3の代わりにを押しても表示されます。

## ● 発信履歴から電話帳を変更する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2

を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

を押して「発信履歴」を選択し、●を押す

- 発信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して変更する電話帳の名前を選択し、●を押す

5

を押して「電話帳登録」を選択し、●を押す

- 電話帳に登録されている短縮番号が表示されます。

6

●を押す

7

電話帳登録の「電話帳を変更する」（68ページ）の手順6～8の操作をする

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番11として電話機の に登録できます。（157ページ）
- 手順1～3の代わりに を押しても発信履歴が表示されません。

②基本編

電話帳に登録する

## ● 着信履歴から電話帳を変更する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2

を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

を押して「システム着信履歴」、「個別着信履歴」、「テナント着信履歴」のいずれかを選択し、●を押す

- システム着信履歴から登録したい場合は「システム着信履歴」を選択します。
- 個別着信履歴から登録したい場合は「個別着信履歴」を選択します。
- テナント着信履歴から登録したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。
- 着信履歴がない場合、「登録なし」が約2秒間表示されます。

4

を押して変更する電話帳の名前を選択し、●を押す

5

を押して「電話帳登録」を選択し、●を押す

- 電話帳に登録されている短縮番号が表示されます。

6

●を押す

7

電話帳登録の「電話帳を変更する」（68ページ）の手順6～8の操作をする

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番13（システム着信履歴）、14（個別着信履歴）、15（テナント着信履歴）として電話機の に登録できます。（157ページ）
- システム着信履歴は手順1～3の代わりに を押しても表示されます。

変更のしかたは、「短縮番号検索発信」(☎44ページ)、「電話帳カナ検索発信」(☎45ページ)、「電話帳グループ検索発信」(☎47ページ)、「電話帳一覧」(☎48ページ)のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順4～8を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

## 1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

## 2

を押して「電話帳」を選択し、●を押す

## 3

を押して「一覧表示」を選択し、●を押す

## 4

を押して変更する短縮番号を選択し、●を押す

## 5

を押して「変更」を選択し、●を押す

- 「電話帳登録」へ進みます

## 6

を押して変更する内容を選択し、●を押して変更する

- 「短縮番号」(☎63ページ)
- 「グループ」(☎64ページ)
- 「電話番号」(☎64ページ)
- 「名前」(☎64ページ)
- 「カナ」(☎64ページ)
- 「識別着信音」(☎64ページ)
- 「着信先」(☎65ページ)
- 「メモ」(☎65ページ)
- 短縮番号を変更して、本登録をした場合は元の短縮番号のデータは残っています。必要がない場合は消去してください。

## 7

を押して「登録」を選択し、●を押す

- 「上書き確認」へ進みます。

## 8

を押して「はい」を選択し、●を押す

- 「はい」を選択すると上書きが実行され、本登録が実行され、手順4に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番22として電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

確認のしかたは、「短縮番号検索発信」(☎44ページ)、「電話帳カナ検索発信」(☎45ページ)、「電話帳グループ検索発信」(☎47ページ)、「電話帳一覧」(☎48ページ)のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順4、5を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

## 1 ●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

## 2 ◀▶を押して [電話帳] を選択し、●を押す

## 3 ◀▶を押して [一覧表示] を選択し、●を押す

## 4 ◀▶を押して確認する短縮番号を選択し、短縮を押す

## 5 ◀▶を押して詳細を確認する

### <詳細画面1>

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「電話番号」「名前」「カナ」が表示されます。(多機能電話機、CL625親機)
- 「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。
- ◀を押すと<詳細画面2>に進みます。さらに、▶を押すと<詳細画面3>に進みます。
- 再度、短縮を押すと手順3に戻ります。

### <詳細画面2>

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「グループ」「着信音」「着信先」が表示されます。(多機能電話機、CL625親機)
- ▶を押すと<詳細画面3>に進みます。
- ◀を押すと<詳細画面1>に戻ります。
- 再度、短縮を押すと手順3に戻ります。
- 「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。

### <詳細画面3>

- 選択された短縮番号の登録内容が上から順に「短縮番号」「メモ」が表示されます。(多機能電話機、CL625親機)
- ▶を押すと<詳細画面2>に戻ります。
- ◀を押すと<詳細画面1>に戻ります。
- 再度、短縮を押すと手順3に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番22として電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)
- CL625子機、WS605電話機の場合、手順5の詳細画面1～3で表示する情報は、それぞれ<詳細画面1>は「短縮番号」「電話番号」「名前」、<詳細画面2>は「カナ」「グループ」「着信音」、<詳細画面3>は「着信先」「メモ」となります。

# 発信履歴を確認する

## ● 初期表示設定 (一覧／詳細) のしかた

多機能電話機、CL625親機

システム全体で発信履歴を一覧での表示と詳細での表示を設定することが出来ます。お買い上げ時は「一覧表示」です。

1 ●を押す

2 ◀を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀を押して [システム] を選択し、●を押す

4 ◀を押して [表示設定] を選択し、●を押す

5 ◀を押して [発信履歴表示] を選択し、●を押す

6 ◀を押して表示設定を選択する

- 「一覧表示」を選択すると発信履歴を一覧で表示します。
- 「詳細表示」を選択すると発信履歴を詳細で表示します。

7 ●を押す

- 「初期表示」が設定され、手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5は、メニュー特番9152として、電話機の [ /オート ] に登録できます。(☎157ページ)
- その場合は、 [ /オート ] を押すたびに「一覧表示」→「詳細表示」を繰り返します。

## ● 発信履歴を確認する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

電話機ごとに最後にかけた電話番号から順に10件まで記録して、一覧表示または詳細表示させることができます。

1 ●を押す

- CL625子機の場合は、☎ [ 切 ] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから [ 確定 ] を押します。

2 ◀を押して [履歴 (発信／着信)] を選択し、●を押す

3 ◀を押して [発信履歴] を選択し、●を押す

4 ◀を押して確認したい発信履歴を選択する

- 発信した電話番号の最新から順に表示します。
- ◀を押して、発信履歴の01～10のいずれかを選択します。

5 [ 短縮 ] を押す

- 選択した発信履歴の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、履歴番号、電話番号、名前、発信日時を表示します。
- 再度、 [ 短縮 ] を押すと一覧表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は◀を押しても同じ操作になります。
- 発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は [ 短縮 ] で「一覧表示」に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番11として、電話機の [ /オート ] に登録できます。(☎157ページ)

1 .....  
内線 <sup>クリア</sup> 保留 を押す

2 .....  
◁○▷ を押して [履歴 (発/着)] を選択し、● を押す

3 .....  
◁○▷ を押して [発信履歴] を選択し、● を押す

4 .....  
◁○▷ を押して確認したい発信履歴を選択する

- <sup>文字</sup>  を押すと詳細画面が表示されます。再度、<sup>文字</sup>  を押すと一覧表示に戻ります。
- 詳細画面では、履歴番号、電話番号、名前、発信日時を表示します。
- 詳細画面にて  を押すと表示内容が切り替わります。

## MEMO

- 手順4で詳細画面後、 を押すと次の発信履歴を表示させることができます。
- 発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は <sup>文字</sup>  で「一覧表示」に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番11として、電話機の  に登録できます。(☎P159ページ)

## ● 内線発信履歴を確認する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

電話機ごとに最後にかけた内線番号から順に10件まで記録して、一覧表示または詳細表示させることができます。

### 1 ●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

### 2 を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

### 3 を押して「内線発信履歴」を選択し、●を押す

### 4 を押して確認したい内線発信履歴を選択する

- 発信した内線番号の最新から順に表示します。
- を押して、発信履歴の01～10のいずれかを選択します。

### 5 を押す

- 選択した内線発信履歴の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、履歴番号、内線番号、名前、発信日時を表示します。
- 再度、を押すと一覧表示に戻ります。

#### MEMO

- 内線発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合はで「一覧表示」に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番12として、電話機のに登録できます。(☎157ページ)

## ● 内線発信履歴を確認する

DC600電話機

### 1 を押す

### 2 を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

### 3 を押して「内線発信履歴」を選択し、●を押す

### 4 を押して確認したい内線発信履歴を選択する

- を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと一覧表示に戻ります。
- 詳細画面では、履歴番号、内線番号、名前、発信日時を表示します。
- 詳細画面にてを押すと表示内容が切り替わります。

#### MEMO

- 手順4で詳細画面後、を押すと次の内線発信履歴を表示させることができます。
- 内線発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合はで「一覧表示」に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番12として、電話機のに登録できます。(☎159ページ)

# 着信履歴を確認する

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで400件までを記録して、表示することができます。着信履歴には、システム着信履歴、個別着信履歴およびテナント着信履歴があります。

- 電話帳に登録してある場合には、名前が表示されます。
- 着信履歴には、最後にその通話に応答した内線番号が記録され、個別着信履歴として一覧表示できます。
- ナンバー・ディスプレイ契約時、公衆電話機からの発信や相手非通知、サービス提供不可なども着信履歴に残ります。工事設定により、残らないようにすることもできます。
- 個別着信履歴は、システム着信履歴400件の中から電話機毎に履歴された電話番号を表示させることができます。
- テナント着信履歴はシステム着信履歴400件の中から各電話機が所属しているテナントに着信した履歴を表示させることができます。テナント設定は工事設定が必要です。(お買い上げ時はテナント1です)
- この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

## ● 初期表示設定 (一覧／詳細) のしかた

多機能電話機、CL625親機

システム全体で着信履歴を一覧での表示と詳細での表示を設定することができます。お買い上げ時は「一覧表示」です。

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して「表示設定」を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して「着信履歴表示」を選択し、●を押す
- 6 ◀▶を押して表示設定を選択する
  - 「一覧表示」を選択すると着信履歴を一覧で表示します。
  - 「詳細表示」を選択すると着信履歴を詳細で表示します。
- 7 ●を押す
  - 「初期表示」が設定され、手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5は、メニュー特番9153として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ) その場合は、[オート]を押すたびに「一覧表示」→「詳細表示」を繰り返します。

## ● 着信履歴を確認する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

# 1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

# 2

●を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

# 3

●を押して「システム着信履歴」、[個別着信履歴]、[テナント着信履歴]のいずれかを選択し、●を押す

- システム着信履歴から確認したい場合は「システム着信履歴」を選択します。
- 個別着信履歴から確認したい場合は「個別着信履歴」を選択します。
- テナント着信履歴から確認したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。

# 4

●を押して確認したい着信履歴を選択する

- 着信した電話番号の最新から順に表示します。
- を押して、着信履歴の001～400のいずれかを選択します。

# 5

短縮を押す

- 選択した着信履歴の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、履歴番号、電話番号、名前、着信日時、応答内線、着信テナント、着信外線を表示します。
- 個別着信履歴の場合、「応答内線」は表示されません。
- テナント着信履歴の場合、「着信テナント」は表示されません。
- CL625子機、WS605電話機の場合、詳細画面にて●を押すと、表示内容が切り替わります。
- 再度、短縮を押すと一覧表示に戻ります。

## ● 着信履歴を確認する

DC600電話機

# 1

内線 <sup>クリア</sup> 保留を押す

# 2

●を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

# 3

●を押して「システム着信履歴」、[個別着信履歴]、[テナント着信履歴]のいずれかを選択し、●を押す

# 4

●を押して確認したい着信履歴を選択する

- 着信した電話番号の最新から順に表示されます。
- を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと一覧表示に戻ります。
- 詳細画面では、履歴番号、電話番号、名前、着信日時、応答内線、着信テナント、着信外線を表示します。
- 個別着信履歴の場合、「応答内線」は表示されません。
- テナント着信履歴の場合、「着信テナント」は表示されません。
- 詳細画面にて●を押すと、表示内容が切り替わります。

### MEMO

- システム着信履歴は手順1～3のかわりに●を押しても、システム着信履歴を表示できます。(DC600電話機は除く)
- 手順1～3は、メニュー特番13（システム着信履歴）、14（個別着信履歴）、15（テナント着信履歴）として電話機の[オート]に登録できます。(P157、159ページ)
- 各着信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- ネームディスプレイの着信履歴が一覧表示の場合、例「001>東京サクサ」が表示されます。
- 工事設定により、電話機ごとに「着信した履歴を残す／残さない」の設定を行うことができます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は短縮で「一覧表示」に戻ります。

## ● 内線着信履歴を確認する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

電話機ごとに着信した内線番号を最新の10件まで記録します。

1

●を押す

- CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2

◀▶を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して「内線着信履歴」を選択し、●を押す

4

◀▶を押して確認したい着信履歴を選択する

- 着信した内線番号の最新から順に表示します。
- ◀▶を押して、内線着信履歴の01～10のいずれかを選択します。

5

を押す

- 選択した内線着信履歴の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、履歴番号、内線番号、名前、着信日時、応答内線を表示します。
- CL625子機、WS605電話機の場合、詳細画面にて を押すと、表示内容が切り替わります。
- 再度、を押すと一覧表示に戻ります。

② 基本編

着信履歴を確認する

## ● 内線着信履歴を確認する

DC600電話機

1

  を押す

2

◀▶を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して「内線着信履歴」を選択し、●を押す

4

◀▶を押して確認したい内線着信履歴を選択する

- 着信した内線番号の最新から順に表示されます。
- を押すと詳細画面が表示されます。再度、を押すと一覧表示に戻ります。
- 詳細画面では、履歴番号、内線番号、名前、着信日時、応答内線を表示します。
- 詳細画面にて を押すと、表示内容が切り替わります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番16（内線着信履歴）として電話機の  に登録できます。（ 157、159ページ）
- 各着信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 初期設定で「詳細表示」を設定している場合は手順4で「詳細表示」が表示されます。
- 「詳細表示」を設定している場合は  で「一覧表示」に戻ります。

# 電話帳、各履歴情報を消去する

消去のしかたは、「短縮番号検索発信」(☎44ページ)、「電話帳カナ検索発信」(☎45ページ)、「電話帳グループ検索発信」(☎47ページ)、「電話帳一覧」(☎48ページ)のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、下記の手順4～6を行います。ここでは「電話帳一覧」による、すべての操作について説明します。

## 電話帳を消去する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1 ●を押す

●CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2 を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3 を押して「一覧表示」を選択し、●を押す

4 を押して消去する短縮番号を選択し、●を押す

5 を押して「消去」を選択し、●を押す

6 を押して「はい」を選択し、●を押す

●選択された短縮番号が消去され、手順4に戻ります。

## 電話帳を消去する

DC600電話機

1  を押す

2 を押して「電話帳」を選択し、●を押す

3 を押して「一覧表示」を選択し、●を押す

4 を押して消去する短縮番号を選択し、●を押す

5 を押して「消去」を選択し、●を押す

6  (消去) を押す

●選択された短縮番号が消去され、手順4に戻ります。

## ● 発信履歴を消去する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、 [切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

2

◀▶を押して [履歴 (発信/着信)] を選択し、●を押す

3

◀▶を押して発信履歴の種類を選択し、●を押す

- 発信履歴から消去したい場合、[発信履歴] を選択します。
- 内線発信履歴から消去したい場合、[内線発信履歴] を選択します。

4

◀▶を押して消去する番号を選択し、●を押す

5

◀▶を押して [一件消去] を選択し、●を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去] を選択します。

6

◀▶を押して [はい] を選択し、●を押す

- 選択された発信履歴が消去され、手順4に戻ります。(全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります)

② 基本編

電話帳、各履歴情報を消去する

## ● 発信履歴を消去する

DC600電話機

1

クリア  
内線 保留 を押す

2

◀▶を押して [履歴 (発/着)] を選択し、●を押す

3

◀▶を押して発信履歴の種類を選択し、●を押す

- 発信履歴から消去したい場合、[発信履歴] を選択します。
- 内線発信履歴から消去したい場合、[内線発信履歴] を選択します。

4

◀▶を押して消去する番号を選択し、●を押す

5

◀▶を押して [一件消去] を選択し、●を押す

- 全件消去をする場合、[全件消去] を選択します。

6

1 あ (消去) を押す

- 選択された発信履歴が消去され、手順4に戻ります。(全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります)

### MEMO

- 発信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- 手順1～3の代わりに  を押しても、発信履歴が表示されます。(DC600電話機は除く)
- 手順1～6は、メニュー特番11\* (発信履歴)、12\* (内線発信履歴) として、電話機の  に登録できます。(P157ページ)

## ● 着信履歴を消去する

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

●を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。

2

◀▶を押して「履歴（発信／着信）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して着信履歴の種類を選択し、●を押す

- システム着信履歴から消去したい場合は「システム着信履歴」を選択します。
- 個別着信履歴から消去したい場合は「個別着信履歴」を選択します。
- テナント着信履歴から消去したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。
- 内線着信履歴から消去したい場合は「内線着信履歴」を選択します。

4

◀▶を押して消去する番号を選択し、●を押す

5

◀▶を押して「一件消去」を選択し、●を押す

- 全件消去をする場合、「全件消去」を選択します。

6

◀▶を押して「はい」を選択し、●を押す

- 選択された着信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

## ● 着信履歴を消去する

DC600電話機

1

クリア  
内線 保留 ●を押す

2

◀▶を押して「履歴（発／着）」を選択し、●を押す

3

◀▶を押して着信履歴の種類を選択し、●を押す

- システム着信履歴から消去したい場合は「システム着信履歴」を選択します。
- 個別着信履歴から消去したい場合は「個別着信履歴」を選択します。
- テナント着信履歴から消去したい場合は「テナント着信履歴」を選択します。
- 内線着信履歴から消去したい場合は「内線着信履歴」を選択します。

4

◀▶を押して消去する番号を選択し、●を押す

5

◀▶を押して「一件消去」を選択し、●を押す

- 全件消去をする場合、「全件消去」を選択します。

6

1あ（消去）を押す

- 選択された着信履歴が消去され、手順4に戻ります。（全件消去の場合は、「カレンダー・時計」表示に戻ります）

### MEMO

- 着信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。
- ネームディスプレイの着信履歴が一覧表示の場合、例「001>東京サクサ」が表示されます。
- システム着信履歴は手順1～3の代わりに●を押しても、システム着信履歴が表示されます。（DC600電話機は除く）
- 手順1～6は、メニュー特番13\*（システム着信履歴）、14\*（個別着信履歴）、15\*（テナント着信履歴）、16\*（内線着信履歴）として、電話機の□/オートに登録できます。（☎157ページ）

# 迷惑電話を登録する

迷惑電話に対して、迷惑電話拒否メッセージで応答して外線を自動開放します。

本システムには、あらかじめ、迷惑電話拒否固定メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」があります。ご自分でメッセージを作成することもできますし、メッセージでなくビジートーンとすることもできます。

迷惑電話拒否メッセージの録音方法は☎108ページを、確認/変更/消去方法は☎109ページを参照してください。

- 迷惑電話拒否メッセージ応答を使用するときは、工事設定とナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要となります。
- 登録は、300件までできます。登録が満杯になったとき、消去するには「一件消去」と「全件消去」があります。(満杯になったときは、その内容のメッセージを表示します)
- 工事設定により、300件を超えると、古いものから順に自動的に消去できます。
- 工事設定により、「公衆電話」および「表示圏外」の着信を拒否することができます。

## 通話中からの登録のしかた

多機能電話機、CL625親機

外線通話中（着信応答したときのみ）に次の操作を行ってください。

1  を押す

### MEMO

-  (特殊番号28) は、電話機の  に登録できます。(☎157ページ)
- 付属のステッカ「迷惑電話」シールを貼ると便利です。

## 登録のしかた

多機能電話機、CL625親機

1  を押す

2  を押して [その他] を選択し、 を押す

3  を押して [システム] を選択し、 を押す

4  を押して [迷惑電話] を選択し、 を押す

5  を押して [新規登録] を選択し、 を押す

6 迷惑電話として登録する電話番号を入力し、 を押す

- 電話番号を市外局番から登録します。
- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- 入力番号を間違えた場合は  を押して消去します。
- PBX内線との混在の場合は、PBXアクセスコード（お買い上げ時：0）を先頭につけます。
- 迷惑電話を登録し、約2秒後に手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9131として電話機の  に登録できます。(☎157ページ)

## 1

● を押す

- CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

## 2

を押して [履歴 (発信/着信)] を選択し、● を押す

## 3

を押して [システム着信履歴]、[個別着信履歴]、[テナント着信履歴] のいずれかを選択し、● を押す

- システム着信履歴から登録したい場合は [システム着信履歴] を選択します。
- 個別着信履歴から登録したい場合は [個別着信履歴] を選択します。
- テナント着信履歴から登録したい場合は [テナント着信履歴] を選択します。

## 4

を押して登録する電話番号を選択し、● を押す

## 5

を押して [迷惑電話登録] を選択し、● を押す

## 6

を押して [はい] を選択し、● を押す

- 着信履歴から選択された電話番号を迷惑電話に登録して、検索した着信履歴の「一覧表示」に戻ります。

### MEMO

- システム着信履歴は手順1～3の代わりに を押しても表示されます。
- 手順1～3は、メニュー特番13 (システム着信履歴)、14 (個別着信履歴)、15 (テナント着信履歴) として電話機の に登録できます。(☎157ページ)
- 着信履歴がない場合、手順1～3を行うと「登録なし」が約2秒間表示されます。

## 確認のしかた

「確認のしかた」ができるのは、多機能電話機、CL625親機のみです。

## 1

「迷惑電話の登録のしかた」( 79ページ) の手順1～4と同じ操作をする

## 2

を押して [一覧表示] を選択し、● を押す

### MEMO

- 手順1～2は、メニュー特番9132として電話機の に登録できます。(☎157ページ)

## ● 一件消去のしかた

多機能電話機、CL625親機

- 1 「迷惑電話の登録のしかた」(☞79ページ)の手順1~4の操作をする
- 2 を押して「一覧表示」を選択し、を押す
- 3 を押して消去したい電話番号を選択し、を押す

- 4 を押して「一件消去」を選択し、を押す

- 5 を押して「はい」を選択し、を押す

- 選択した電話番号が「迷惑電話」から消去して、手順3に戻ります。

## ● 全件消去のしかた

多機能電話機、CL625親機

- 1 「迷惑電話の登録のしかた」(☞79ページ)の手順1~4の操作をする
- 2 を押して「一覧表示」を選択し、を押す
- 3 を押す

- 4 を押して「全件消去」を選択し、を押す

- 5 を押して「はい」を選択し、を押す

- 登録されている「迷惑電話」を全件消去して、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## ● 迷惑電話拒否機能のセット／解除のしかた

多機能電話機、CL625親機

工事設定により、迷惑電話に対して留守番指定電話機が応答し、メッセージまたはビジートーンが流れます。迷惑電話拒否を設定できる留守番指定電話機より操作します。

- 1 を押す

迷惑電話拒否  
1 1月 5日(土)  
午前 9:00  


- オートダイヤルに登録されたを押します。
- 迷惑電話拒否機能をセットします。このとき「迷惑」を表示します。(ビジートーン設定時除く)  
→ ランプ：赤点灯
- 再度を押すと、迷惑電話拒否機能を解除し、「迷惑」が消えます。(ビジートーン設定時除く)  
→ ランプ：消灯

### MEMO

-  (特殊番号20)は、電話機のに登録できます。(☞157ページ)
- 工事設定により、「迷惑電話拒否」、「非通知着信拒否&迷惑電話拒否」のいずれかを選択します。
- 「非通知着信拒否&迷惑電話拒否」に工事設定すると、「非通知着信拒否のセット／解除のしかた」も同時に操作されます。

# グループ名を登録する(グループ名登録)

グループ名の登録を行います。(グループ0～9)

グループ名を登録しておくこと、電話帳のグループ検索など、グループごとの操作を行うのに便利です。

グループごとに、以下の機能を使用することができます。

この機能を使用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

## ◆グループ識別着信(グループによって着信音を変える)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに着信音(パターンA～H、保留メロディ1～2、着信メロディ1～2)を設定しておくことにより、着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、グループ識別着信に登録されている着信音で、着信音を鳴動させることができます。ただし、実際の着信音は、設定の優先度(識別着信>グループ識別着信>各外線ごとの着信音)によります。

## ◆誰カラー着信(グループによって着信ランプの色を変える)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時の着信ランプの色(シグナルレッド、レモンイエロー、グラスグリーン、ロイヤルブルー、ライトブルー、ピーチホワイト、バイオレット、7色)を設定しておくことにより、外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、グループごとに色分けすることができます。

## ◆グループFAX指定(グループによってFAX指定の有無を設定する)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、FAX指定ありの場合は、SLI2に接続のFAX(初期)が自動的に受信することができます。FAX指定なしの場合は、通常の着信動作を行います。

## ◆リモートコールバック(グループによってリモートコールバック指定の有無を設定する) (☎182ページ)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、リモートコールバック指定ありの場合は本システムから着信した電話機にコールバックします。リモートコールバック指定なしの場合は通常の着信動作を行います。

※短縮番号ごとにグループ(グループ0～9)分けを行うには、「短縮番号検索発信」(☎44ページ)、「電話帳カナ検索発信」(☎45ページ)、「電話帳グループ検索発信」(☎47ページ)、「電話帳一覧」(☎48ページ)のいずれかの操作で、短縮番号を選択します。そのあと、「電話帳を変更する」の手順5～8の操作をします。

その他として、以下の機能があります。

## ◆メロディ切替(保留/着信メロディを切り替える)

### 【保留メロディ】

工事設定により、保留メロディ1、保留メロディ2を使用して外線・内線・パーク保留音のメロディを選択できます。

- 「外線保留時」は保留メロディ1、保留メロディ2のどちらかを外線ごとに指定できます。
- 「内線保留時」は保留メロディ1、保留メロディ2のどちらかを指定できます。
- 「パーク保留時」は保留メロディ1、保留メロディ2のどちらかをパークごとに指定できます。

### 【着信メロディ】

保留メロディ1、保留メロディ2、着信メロディ1、着信メロディ2を使用して外線着信のメロディを選択できます。

- 通常の外線着信音をメロディに指定するときは工事設定が必要です。

# ● グループ名を登録する（グループ名登録）

多機能電話機、CL625親機

## 登録のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して「グループ設定」を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して名前を登録したいグループを選択し、●を押す

● 0グループ0～9グループ9

- 6 ◀▶を押して「グループ名前登録」を選択し、●を押す
- 7 ◀▶を押して「名前登録」を選択し、●を押す
- 8 グループ名を入力し、●を押す

- グループ名は最大10桁まで入力できます。
- グループ名の入力方法は、☎268ページをご覧ください。
- グループ名が登録され、手順6に戻ります。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X、手順1～6はメニュー特番914X3、手順1～7はメニュー特番914X31として電話機の「オート」に登録できます。（☎157ページ）（X: 0グループ0～9グループ9）

## 消去のしかた

- 1 「登録のしかた」の手順1～6の操作をする
- 2 ◀▶を押して「名前消去」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「はい」を選択し、●を押す

- グループ名前が消去され「登録のしかた」の手順6に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番914X32として電話機の「オート」に登録できます。（☎157ページ）（X: 0グループ0～9グループ9）

1 ●を押す

2 ◀▶を押して「その他」を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して「システム」を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して「グループ設定」を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して着信音を変えたいグループを選択し、●を押す

- 0グループ0～9グループ9

6 ◀▶を押して「着信音設定」を選択し、●を押す

7 ◀▶を押して登録したい着信音を選択し、●を押す

8 着信音を試聴する場合は、◀▶を押して「試聴」を選択し、●を押す

- ●を押すと試聴を停止します。
- 試聴しない場合は、手順9へ進みます。

9 ◀▶を押して「登録」を選択し、●を押す

- 着信音が設定され手順6に戻ります。

## MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X、手順1～6はメニュー特番914X1として電話機の「オート」に登録できます。（P157ページ）（X：0グループ0～9グループ9）

## ● 誰カラー着信

多機能電話機、CL625親機

- 1 ●を押す
- 2 ◀を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- 4 ▶を押して [グループ設定] を選択し、●を押す
- 5 ▶を押して着信ランプの色を変えるグループを選択し、●を押す
  - 0グループ0～9グループ9

- 6 ▶を押して [着信ランプ設定] を選択し、●を押す
- 7 ▶を押して登録したい着信ランプの色を選択し、●を押す
  - ▶を押してカーソルを移動させた場合、着信ランプが各色で点滅し、確認できます。
  - 着信ランプの色を選択します。
    - ①シグナルレッド ②レモンイエロー
    - ③グラスグリーン ④ロイヤルブルー
    - ⑤ライトブルー ⑥ピーチホワイト
    - ⑦バイオレット ⑧7色
  - 着信ランプの色が設定され手順6に戻ります。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X、手順1～6はメニュー特番914X2として電話機の [オート] に登録できます。(P157ページ) (X: 0グループ0～9グループ9)

② 基本編

グループ名を登録する (グループ名登録)

## ● グループFAX指定

多機能電話機、CL625親機

- 1 ●を押す
- 2 ▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- 4 ▶を押して [グループ設定] を選択し、●を押す
- 5 ▶を押してFAX指定の有無を設定したいグループを選択し、●を押す
  - 0グループ0～9グループ9

- 6 ▶を押して [FAX指定] を選択し、●を押す
- 7 ▶を押して [する] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「しない」です。
  - FAX指定が有に設定され、手順6に戻ります。
  - FAX指定を無に設定する場合には、[しない] を選択します。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X、手順1～6はメニュー特番914X4 (※1) として電話機の [オート] に登録できます。(P157ページ) (X: 0グループ0～9グループ9)
  - ※1: 登録後は、[オート] を押すだけでFAX指定のセット解除ができます。
- FAX指定が有の場合、SLI2に接続のFAXに着信が入ります。(初期)

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [音関係] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [メロディ設定] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [保留メロディ 1]、[保留メロディ 2]、[着信メロディ 1]、[着信メロディ 2] のいずれかを選択し、●を押す

- 保留メロディ 1を変更したい場合は [保留メロディ 1] を選択します。
- 保留メロディ 2を変更したい場合は [保留メロディ 2] を選択します。
- 着信メロディ 1を変更したい場合は [着信メロディ 1] を選択します。
- 着信メロディ 2を変更したい場合は [着信メロディ 2] を選択します。
- 保留メロディ 1,2のお買い上げ時は「愛の挨拶」です。
- 着信メロディ 1,2のお買い上げ時は「黒電話」です。

## MEMO

- 通常の外線着信音をメロディに設定するときは工事設定が必要です。
- 手順1～4はメニュー特番として、電話機の [フォート] に登録できます。(☎157ページ)
  - ・ 保留メロディ 1：771
  - ・ 保留メロディ 2：772
  - ・ 着信メロディ 1：773
  - ・ 着信メロディ 2：774
- ユーザーメロディ 1～4には、お客様がご用意された曲をWeb設定 (☎249ページ)、あるいは電話機から登録 (☎186ページ) することで、保留メロディ、着信メロディとして利用することができます。

5 ◀▶を押して変更したいメロディを選択し、●を押す

- 現在設定されているメロディに「♪」が表示されます。

6 着信音を試聴する場合は、◀▶を押して [試聴] を選択し、●を押す

- ●を押すと試聴を停止します。
- 試聴しない場合は、手順7へ進みます。

7 ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す

- メロディが設定され手順4に戻ります。

原題名	作曲者名
愛の挨拶	ELGAR EDWARD
さくら	森山 直太郎
夏を抱きしめて	春畑 道哉
秋桜	さだ まさし
Everything	松本 俊明
花	ORANGE RANGE
世界に一つだけの花	槇原 敬之
ニューヨーク・シティ・セレナーデ	ALLEN PETER W
組曲「惑星」の木星	Gustav Holst
カノン	Johann Pachelbel

- 黒電話、ステーション、ハーブ、朝、ネクストステージ、琴は「着信メロディ 1～2」のメロディです。

# 外線転送について

本システムは、外線からかかってきた電話を外出先などの電話に転送する、外線転送機能があります。

- 転送先が一般回線（特に遠方）の場合、転送先で電話に 응답しても、初めの2秒間の通話が途切れる場合があります。
- 発信元／転送先に使用する回線が共にアナログ回線の場合、設置場所によりご利用できないことがあります。
- 本機能を使用する場合には、工事設定が必要です。

## 外線自動転送

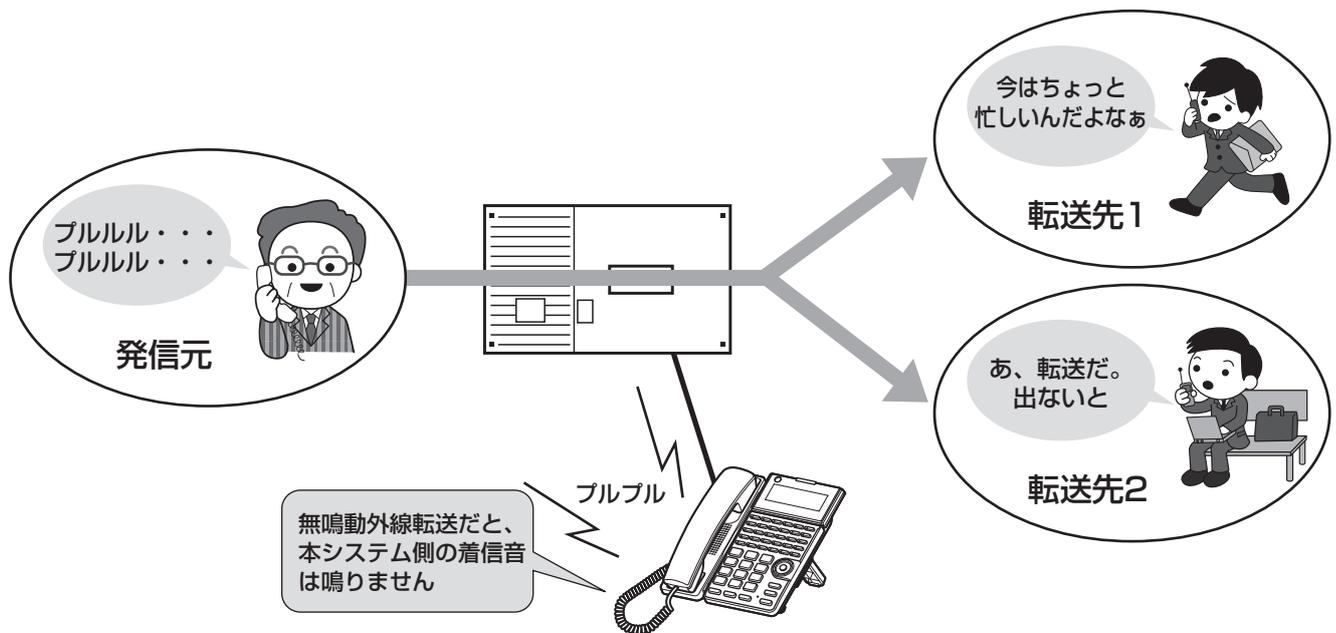
外線自動転送の転送先電話番号登録は最大8ヶ所、転送セットは4組できます。

転送のセット／解除はオートダイヤルに登録してワンタッチで利用するのはもちろん、メニューからも簡単に操作できます。

外線自動転送には、転送先を呼び出し中であっても（外線着信鳴動中）、本システムの電話機を受話器を上げると電話をかけてきたお客様と通話ができる「着信鳴動外線転送」と、転送先が応答するまでの間、本システム側の着信音を鳴らないようにする「無鳴動外線転送」があります。

また、1つの転送につき転送先を2ヶ所までセットし、外線自動転送時に2つの転送先を同時に呼び出す機能（ツインショット転送）や、2つの転送先を順番に呼び出す機能（順次転送）を搭載していますので、より確実に転送することができます。

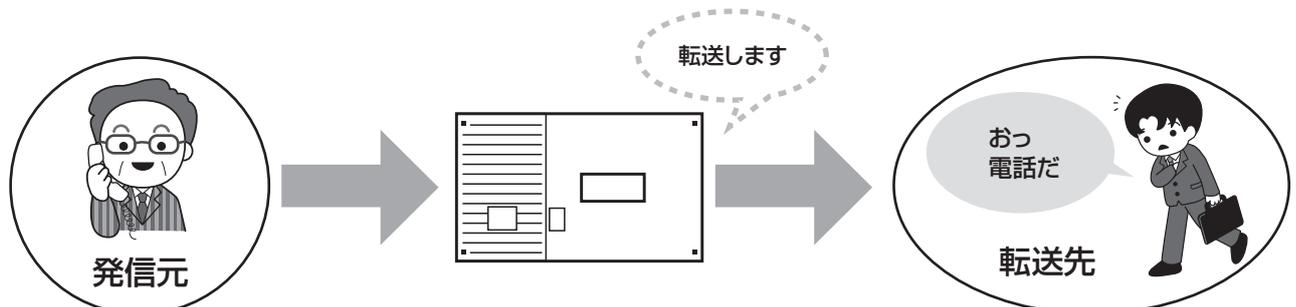
※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。



## 一次応答付き外線自動転送

電話をかけてきた相手にメッセージを流しながら、転送先へ自動転送できます。メッセージは固定メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください」または、ご自身に入れていただいたメッセージが流れます。

※一次応答付き外線自動転送では、転送先は1ヶ所のみとなります。



## 外線手動転送、外線転送コールバック

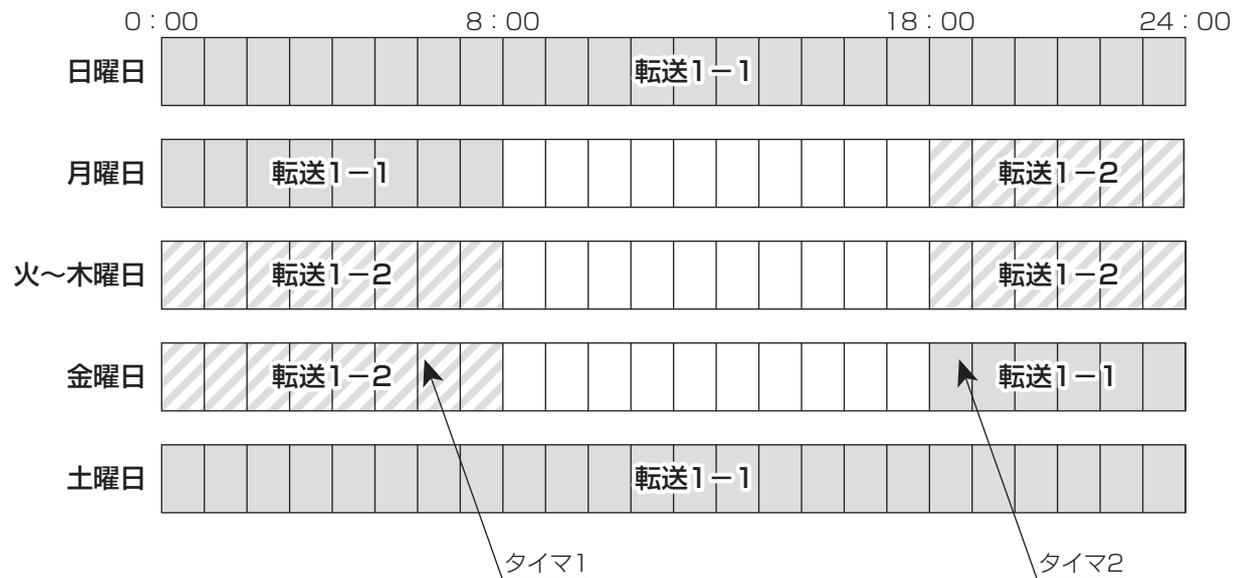
応答した電話を、空いている回線から転送先を呼び出して転送することができます。  
 更に、外線転送（手動／自動）の通話が終了後、電話をかけた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。



## 外線転送タイマ連動

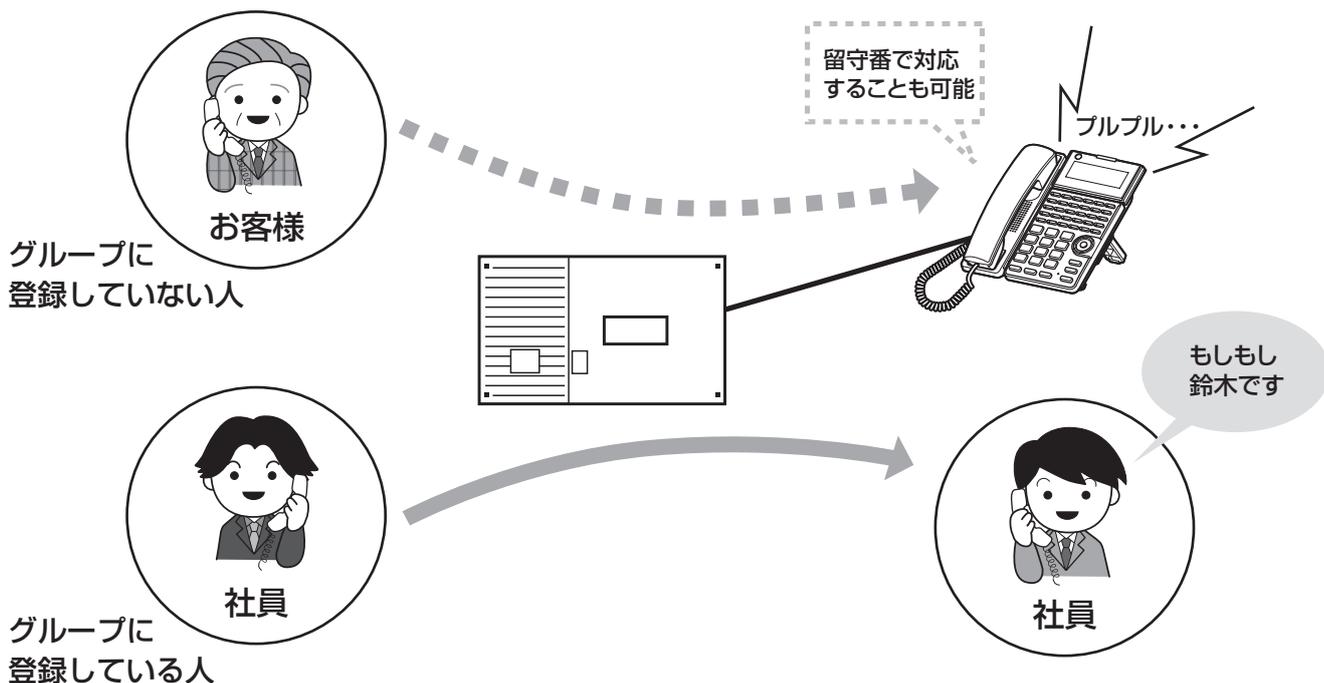
あらかじめ設定しておいた時刻になると、自動的に外線自動転送をセット／解除することができます。タイマは各曜日毎に2個のタイマを設定することができます。

※外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。



## グループ識別着信転送

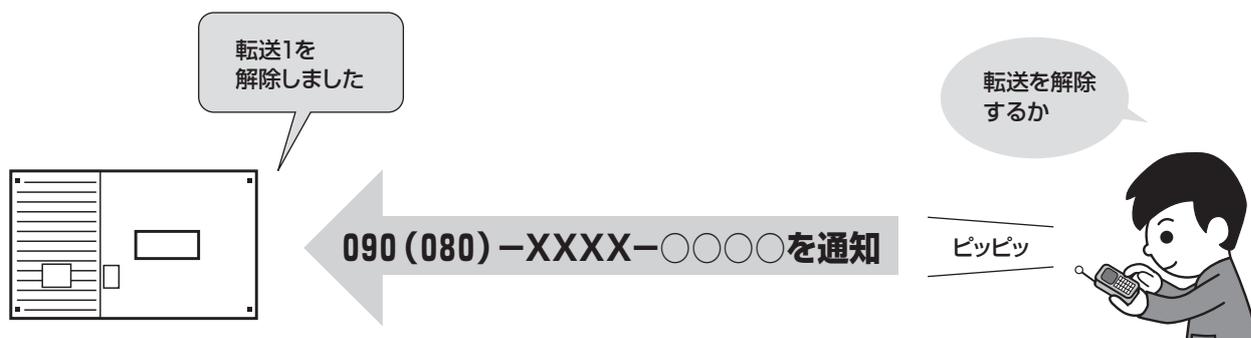
電話帳に登録されたグループ毎に外線転送するか、しないかを設定することができます。また、転送させない着信を留守番で応答させることもできます。



## 外線転送リモコン機能

外出先でプッシュ信号（PB）が送出できる電話機から、リモコン操作で外線自動転送セット、または解除したり、転送先電話番号の変更もできます。

その他、メールによるリモコン操作もできます。詳細については、サクサ株式会社ホームページ（<http://www.saxa.co.jp>）のWEB設定マニュアルを参照してください。



## 外線自動転送のメール送信について

メールアドレスは「外線転送先電話番号」に対し1件登録することができ、以下の機能を利用することができます。

メールには、外線転送の結果と着信日時、電話番号、名前が入ります。

- 電話番号はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。
- 名前は電話帳の登録が必要です。

## 外線転送不成立メール送信

外線自動転送が成功しなかった場合、下記の条件により指定メールアドレスにメール送信を行います。

- ①転送先が応答しなかったケース
- ②転送先呼出し中に転送元がキャンセルしたケース

## 外線転送完了メール送信

外線自動転送がツインショット転送または順次転送の場合、転送先のどちらか一方が応答したとき、応答しなかった転送先の指定メールアドレスに外線転送が完了したことをメール送信します。

- 指定メールアドレス編集の詳細については、  
サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照してください。

# 外線転送のセット

転送先は最大8ヶ所まで登録できます。外線転送をセットする際に、ここで登録した中から転送先をセットすることができます。

## ● 転送先電話番号の登録

多機能電話機、CL625親機

### 登録／変更／消去のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀を押して [外線転送関係] を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して [外線転送先設定] を選択し、●を押す
- 4 ▶を押して設定する各外線転送先を選択し、●を押す  
●①外線転送先1～⑧外線転送先8
- 5 ▶を押して [登録] を選択し、●を押す

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番42、手順1～4はメニュー特番42X、手順1～5はメニュー特番42X1（※1）として電話機の [オート] に登録できます。（☎157ページ）  
（X：①外線転送先1～⑧外線転送先8）  
※1：登録後、[オート] を押すだけで転送先電話番号が確認できます。

### 確認のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ▶を押して [外線転送関係] を選択し、●を押す

- 6 ▶を押して [電話番号] を選択し、●を押す

- 7 転送先電話番号を入力し、●を押す

- 電話番号は最大24桁まで入力できます。（転送先電話番号の途中にポーズを入れないで下さい。相手につながらないことがあります）
- 入力番号を間違えた場合は [フラッシュ] を押して消去します。

- 8 ▶を押して [登録] を選択し、●を押す

- 選択された外線転送先電話番号が登録され、手順4に戻ります。

- 消去するときは、手順5で [消去] を選択し、●を押す。次の操作で、[はい] を選択し、●を押す

- 3 ▶を押して [外線転送先設定] を選択し、●を押す

- 4 ▶を押して設定する各外線転送先を選択し、●を押す

- 5 ▶を押して [登録] を選択し、●を押す

- 転送先電話番号が確認できます。

## 登録／変更／消去のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [外線転送関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [外線転送先設定] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して設定する各外線転送先を選択し、●を押す
  - ①外線転送先1～⑧外線転送先8
- 5 ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す

- 6 ◀▶を押して [メール送信先] を選択し、●を押す

- 7 E-mailアドレスを入力し、●を押す

- E-mailアドレスは最大64桁まで入力できます。
- 入力できる文字は英字、数字です。特に英字の記号は「@」→「.」→「\_」→「-（マイナス）」だけ入力できます。英字の場合、小文字から表示されます。(☎270ページ)
- [短縮] で文字入力モードを変更します。英字(英)→数字(数)を繰り返します。
- 入力番号を間違えた場合は[フラッシュ]を押して消去します。

- 8 ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す

- 選択されたメール送信先が登録され、手順4に戻ります。

- 消去するときは、手順5で [消去] を選択し、●を押す。次の操作で、[はい] を選択し、●を押す

## MEMO

- 手順1～3はメニュー特番42、手順1～4はメニュー特番42X、手順1～5はメニュー特番42X1 (※1) として電話機の [オート] に登録できます。(☎157ページ)
- (X: ①外線転送先1～⑧外線転送先8)
- ※1: 登録後、[オート]を押すだけで外線転送不成立メールが確認できます。

## 確認のしかた

転送先電話番号の「確認のしかた」(☎91ページ)と同じ操作をする

- 外線転送不成立メールが確認できます。

## 登録／変更のしかた

- 1 ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して「外線転送関係」を選択し、●を押す
- 3 を押して「外線自動転送モード」を選択し、●を押す
- 4 を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、●を押す
  - ①外線転送1～④外線転送4
  - お買い上げ時は「設定なし」です。

- 5 を押して「登録」を選択し、●を押す
- 6 を押して外線転送先を選択し、●を押す
  - 外線転送先1～外線転送先8から最大2カ所まで選択出来ます。（工事設定が必要です）
  - 多機能電話機、CL625親機の場合は、外線転送先に選択されると「」を表示します。選択されていない場合は、「」になります。●を押すたびに「」→「」を繰り返します。
  - CL625子機、WS605電話機の場合は、外線転送先に選択されると「○」を表示します。選択されていない場合は、「」になります。●を押すたびに「○」→「」を繰り返します。
- 7 を押す
  - 外線自動転送モードが登録され、手順4に戻ります。

## セット／解除のしかた

- 1 「登録／変更のしかた」の手順1～4の操作をする
- 2 を押して「セット／解除」を選択し、●を押す
  - セット
    - 外線自動転送モードがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき、選択された外線転送モードと転送先を表示します。

[2→2・3]  
1 1月 5日(土)  
午前 9:00

    - 発信側 外線ランプ：赤点灯
    - 着信側 外線ランプ：赤点滅
  - 解除
    - 外線自動転送モードが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
    - 発信側 外線ランプ：消灯
    - 着信側 外線ランプ：消灯

## 消去のしかた

- 1 「登録／変更のしかた」の手順1～4の操作をする
- 2 を押して「消去」を選択し、●を押す
- 3 を押して「はい」を選択し、●を押す
  - 登録された外線自動転送モードが消去され、「登録／変更のしかた」の手順4に戻ります。

## 登録／変更のしかた

- 1 を押す
- 2 を押して [外線転送関係] を選択し、 を押す
- 3 を押して [外線自動転送モード] を選択し、 を押す
- 4 を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、 を押す
  - 外線転送1～4のいずれかを選択します。

- 5 を押して [登録] を選択し、 を押す
- 6 1 あ ～ 8 や TUV のいずれかを押し、外線転送先を選択する
  - 外線転送先1～外線転送先8から最大2カ所まで選択できます。(工事設定が必要です)
- 7 を押す
  - 外線自動転送モードが登録され、手順4に戻ります。

## セット／解除のしかた

- 1 「登録／変更のしかた」の手順1～4の操作をする
- 2 を押して [セット／解除] を選択し、 を押す

### ●セット

- 外線自動転送モードがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 発信側 ランプ：赤点灯
  - 着信側 ランプ：赤点滅

### ●解除

- 外線自動転送モードが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 発信側 ランプ：消灯
  - 着信側 ランプ：消灯

## 消去のしかた

- 1 「登録／変更のしかた」の手順1～4の操作をする
- 2 を押して [消去] を選択し、 を押す
- 3 1 あ (消去) を押す
  - 登録された外線自動転送モードが消去され、「登録／変更のしかた」の手順4に戻ります。

## MEMO

- 転送先相手が（発信側）話中のとき、電話にでないときは約60秒呼び出したあと、自動的に電話を切って約10秒後に再度かけ直します。（合計3回）
- 外線自動転送中に着信があったときでも転送先（発信側）または転送元（着信側）、どちらからでも応答できます。
- 外線自動転送後の通話中に「電話をかけた相手」と「転送先相手」との通話が、工事設定による通話時間を経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ、約30秒後に電話が切れます。工事設定により30分、1時間、2時間、3時間のいずれかに設定できます。お買い上げ時は2時間です。
- 着信側外線は通常どおり発信、着信できます。転送先（発信側）外線は発信できません。ただし、着信は受けることができます。
- 転送先の電話番号が登録されていない場合はセットされません。
- 外線自動転送起動時間により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。
- 工事設定により、転送の着信側外線に着信が入ったとき、電話機から着信音を鳴動しないように変更することができます。
- 「登録／変更のしかた」の手順1～3はメニュー特番41、手順1～4はメニュー特番41X、手順1～6はメニュー特番41XYZ（※1）として、電話機の に登録できます。（☎157、159ページ）（X：1外線転送1～4外線転送4）（Y、Z：1外線転送先1～8外線転送先8）
- ※1：登録後は、 を押すだけで外線自動転送のセット／解除ができます。
- 付属のステッカ「外線転送1」、「外線転送2」、「外線転送3」、「外線転送4」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL625親機のみ）

## ● 外線自動転送起動時間

多機能電話機、CL625親機

### 登録／変更のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「外線転送関係」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「外線自動転送起動時間」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、●を押す
  - ①外線転送1～④外線転送4
  - お買い上げ時は「00」秒です。
- 5 外線自動転送起動時間を入力する
  - 00～30を入力します。
  - 2桁入力されると自動で登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 必ず2桁入力してください。

## ● 外線転送タイマ連動

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

決まった日時に外線転送機能のセット／解除を自動的に行います。外線転送タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ1、2があります。

- 外線転送タイマ連動の詳細は、☎163ページをご覧ください。
- 外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。

## ● 一次応答付き外線自動転送

本システムにかけてきた相手に、一次応答メッセージを送出しながら外線自動転送をすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

一次応答メッセージの録音／確認／消去のしかたは、留守番機能の各種メッセージ（外線転送用メッセージ）の「録音のしかた」（☎108ページ）を参照してください。

- 一次応答メッセージは、固定メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください。」を用意しています。

### MEMO

- 外線自動転送起動時間により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。

## ● グループ識別着信転送

あらかじめ電話帳に登録したグループごとに、外線自動転送をセットしたとき、外線自動転送しないようにすることができます。この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

### MEMO

- 転送させない着信を留守番で対応させることもできます。

# 外線手動転送

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線通話中に、他の外線から転送先を呼び出して、転送することができます。

# 1

## 外線通話中

→ 外線ランプ1：緑点灯

# 2

## 保留を押す

→ 外線ランプ1：緑点滅

# 3

## 外線を押す

- 未使用の外線を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→ 外線ランプ2：緑点灯

# 4

## 転送先電話番号を押す

# 5

## 転送先と通話をする

- 転送先相手が応答したら転送することを話します。

# 6

## 手動転送を押す

- 着信側、転送側の外線ランプが赤点灯します。  
→ 外線ランプ1：赤点灯  
→ 外線ランプ2：赤点灯

# 7



- CL625子機、WS605電話機の場合は、またはを押す、DC600電話機の場合は電源を押します。
- 「電話をかけた相手」と「転送先の相手」が通話します。
- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手動転送は、特殊番号10として電話機のオートに登録できます。(P157、159ページ)

#### 多機能電話機の場合は

- 手順6の手動転送の代わりに、機能の後にフラッシュでも操作できます。
- 付属のステッカ「手動転送」シールを貼ると便利です。(DC600電話機は除く)

#### CL625子機、WS605電話機の場合は

- 未使用外線に機能を登録します。(P31ページ)
- 手順6の手動転送の代わりに、機能の後にフラッシュでも操作できます。

#### DC600電話機の場合は

- 未使用外線に機能(F)に登録します。(P32ページ)
- 手順6の手動転送の代わりに、機能(F)の後にフックでも操作できます。

③ 外線転送機能編

外線転送のセット

# 外線会議転送

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

三者での外線会議通話中（三者会議、外線二人、内線一人）に、内線一人が終話する（ぬける）と、外線手動転送と同様に、外線二人がそのまま外線転送状態になります。

## 外線会議転送（外線二人、内線一人）

# 1

## 外線会議通話中

- 外線2人、内線1人が外線会議通話中  
→ 外線ランプ1：緑点灯  
→ 外線ランプ2：緑点灯  
→ 会議ランプ：赤点灯

### MEMO

- 上記内容は外線会議通話中の外線2人・内線1人の場合のみ機能する内容です。
- 会議（特殊番号42）は、電話機のオートに登録できます。(P157ページ)
- DC600電話機の場合、未使用外線に会議に登録します。(P32ページ)
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用外線に会議に登録します。(P31ページ)

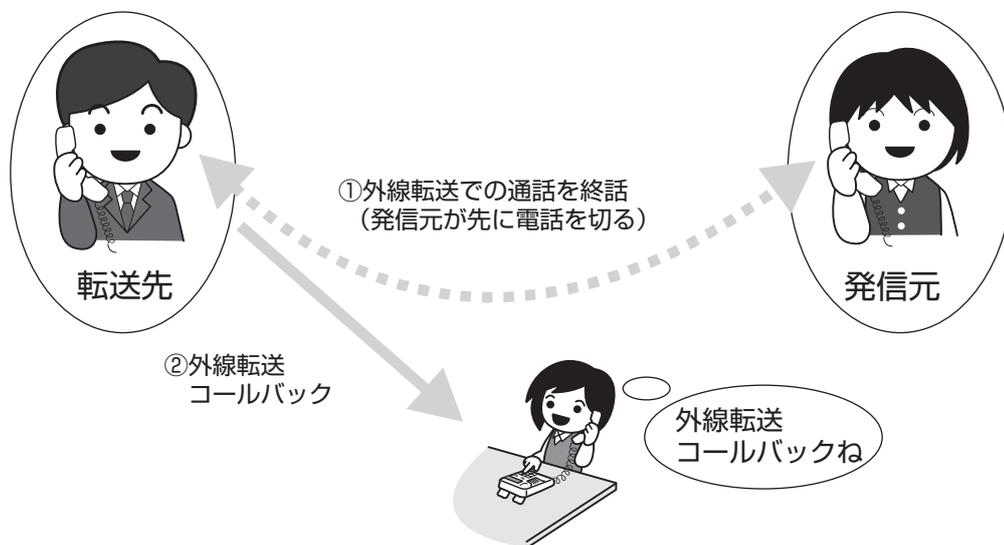
# 2



- CL625子機、WS605電話機の場合は、またはを押す、DC600電話機の場合は電源を押します。
- 内線1人が通話を終了します。外線2人が外線転送状態に移行します。  
→ 外線ランプ1：赤点灯  
→ 外線ランプ2：赤点灯  
→ 会議ランプ：消灯

## ● 外線転送コールバック

外線転送（手動／自動）の通話終了後、電話をかけてきた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。自動転送の場合、工事設定が必要です。



### 1 外線転送通話中

- 「電話をかけてきた相手」と「転送先相手」が通話する。

### 2 通話が終わって「電話をかけてきた相手」が受話器を置く

### 3 転送先相手は、そのまま待っていると（受話側は受話器をあげたまま）、約4秒間、ビジーサイン「プープープー」が聞こえる

### 4 約2秒後※1に本システムに着信音が鳴る

- ※1：お買い上げ時は約2秒です。工事設定により0（コールバックしない）～6秒のいずれかに変更できます。

### 5 本システムの電話機で応答すると、転送先相手と通話できる

#### MEMO

- 外線自動転送、外線手動転送のどちらも外線転送コールバックができますが、お買い上げ時は外線手動転送のみです。
- 工事設定により、外線自動転送を「コールバックにする」に設定できます。

# リモコン機能

## ● 外線転送リモコン用暗証番号

多機能電話機、CL625親機

### 設定／解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ●を押して [外線転送関係] を選択し、●を押す
- 3 ●を押して [外線転送リモコン用暗証番号] を選択し、●を押す

- 4 暗証番号（4桁）を入力する
  - 登録されていない場合は「―――」を表示します。
  - 0000～9999を入力します。
  - 4桁入力されると自動で登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 必ず4桁入力してください。

●解除するときは、暗証番号の代わりに **フラッシュ** → ●を押す

### MEMO

- 暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。
- 手順1～4（設定する場合）はメニュー特番45XXXX（XXXXX:0000～9999）として、電話機の **（オート）** に登録できます。（☎157ページ）
- 暗証番号の確認はできません。
- 暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。

## ● ダイレクトリモコン

工事設定により、発信者番号通知を利用して、転送先番号に登録されている番号と通知された番号が一致すると、リモコン操作ができます。  
この機能を利用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。

- 1 外出先から電話をかける
  - プッシュ信号送出と発信者番号通知ができる外出先（転送先）の電話機から、工事設定をした本システムのアナログ回線またはデジタル回線へ電話をかけます。
- 2 自動応答する
  - 受付メッセージ「リモコンを開始します。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。

- 3 操作するリモコン番号を押す
  - メッセージ（☎101ページ）が聞こえます。
  - 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照下さい。（☎101ページ）
- 4 \*0（終了）を押す
  - 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

- 転送先にサブアドレスが入力されている場合、ダイレクトリモコンは利用できません。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- 転送先に登録された電話番号からだけ利用できます。
- 暗証番号の登録は必要ありません。
- 外線自動転送の転送先電話から発信者番号を通知して、工事設定した本システムのアナログ回線またはデジタル回線へ電話をかけると、外線転送のセット状態または解除状態にかかわらずリモコン状態に入ります。
- 外線自動転送の転送先電話から、工事設定した本システムのアナログ回線またはデジタル回線へリモコン以外の用事で電話をかけるときは、電話番号の前に「184」をダイヤルします。(発信者番号を通知不可にして電話をかけます)
- 受付メッセージ「リモコンを開始します。リモコン番号を入力してください。」が聞こえてから約20秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。
- 携帯電話からリモコン操作をする場合は、携帯電話の設定を「発信者番号通知あり」にしてください。

## サブアドレスリモコン

デジタル回線の基本サービスであるサブアドレス通知を利用して、外線自動転送機能のリモコン操作ができます。このサブアドレスを付加すれば、システムのどのデジタル回線にかけてもリモコン操作が可能です。

### 1 電話番号の後にサブアドレス 9 0を付加して電話をかける

- プッシュ信号送出とサブアドレスが通知できる外出先の電話機から、本システムのデジタル回線へ電話をかけます。(☎236ページ)
- デジタル公衆電話機からかける場合は、「電話番号 → サブアドレスボタン → 90 → スタートボタン」の順にダイヤルします。

### 2 自動応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

### 3 暗証番号(4桁)を押す

- 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。
- 自動応答後、20秒以内に暗証番号の1桁目を押し、続けて残りの3桁を押します。
- 暗証番号が間違っていると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力して下さい。」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を押します。

### 4 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ(☎101ページ)が聞こえます。
- 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照してください。(☎101ページ)

### 5 \* 0 (終了) を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

#### MEMO

- 暗証番号は3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
- サブアドレス通知ができる電話機からだけ利用できます。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- サブアドレス通知ができる電話機は、デジタル公衆電話機、PHS、デジタル回線に接続された電話機だけです。携帯電話は、サブアドレス通知できません。
- リモコン操作で、最後にダイヤルしてから約20秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

# ● 自動着信リモコン

外線自動転送の転送先外線（転送セット中のとき、赤点灯になる外線）に指定回数（約 42 秒）着信させて、リモコン操作ができます。

## 1 転送先外線へ電話をかける

- プッシュ信号が送出できる外出先の電話機から本システムへ電話をかけます。

## 2 自動応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。
- 約42秒（初期値）呼出後、本システムが自動応答します。

## 3 暗証番号（4桁）を押す

- 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。
- 自動応答後、20秒以内に暗証番号の1桁目を押し、続けて残りの3桁を押します。
- 暗証番号が間違っていると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力して下さい。」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を押します。

## 4 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☎101ページ）が聞こえます。
- 操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧」を参照してください。（☎101ページ）

## 5 ※ 0（終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

### MEMO

- 暗証番号は3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。
- 工事設定により自動応答する時間を1～180秒のいずれかに設定できます。（0秒に設定すると自動応答しません）
- リモコン操作で、最後にダイヤルしてから約20秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

# リモコン操作一覧

種類	リモコン番号	動作内容
自動転送1 セット <sup>※1</sup>	☒ 1 ☒ Y (X:1~8:転送先1組目) (Y:0~8:転送先2組目、 なお2組目を設定しない 場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送1で転送 先X Yをセット
自動転送2 セット <sup>※1</sup>	☒ 2 ☒ Y (X:1~8:転送先1組目) (Y:0~8:転送先2組目、 なお2組目を設定しない 場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送2で転送 先X Yをセット
自動転送3 セット <sup>※1</sup>	☒ 3 ☒ Y (X:1~8:転送先1組目) (Y:0~8:転送先2組目、 なお2組目を設定しない 場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送3で転送 先X Yをセット
自動転送4 セット <sup>※1</sup>	☒ 4 ☒ Y (X:1~8:転送先1組目) (Y:0~8:転送先2組目、 なお2組目を設定しない 場合には“0”とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送4で転送 先X Yをセット
自動転送1解除 <sup>※2</sup>	☒ 5 1	自動転送1を解除
自動転送2解除 <sup>※2</sup>	☒ 5 2	自動転送2を解除
自動転送3解除 <sup>※2</sup>	☒ 5 3	自動転送3を解除
自動転送4解除 <sup>※2</sup>	☒ 5 4	自動転送4を解除

※1 メッセージ「外線転送Xをセットしました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。(X:1~4)

※2 メッセージ「外線転送Xを解除しました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。(X:1~4)

種類	リモコン番号	動作内容
転送先電話 番号の 登録 (変更) <sup>※3</sup>	転送先1 ☒ 6 1 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先1の電話番 号の登録 (変更)
	転送先2 ☒ 6 2 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先2の電話番 号の登録 (変更)
	転送先3 ☒ 6 3 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先3の電話番 号の登録 (変更)
	転送先4 ☒ 6 4 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先4の電話番 号の登録 (変更)
	転送先5 ☒ 6 5 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先5の電話番 号の登録 (変更)
	転送先6 ☒ 6 6 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先6の電話番 号の登録 (変更)
	転送先7 ☒ 6 7 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先7の電話番 号の登録 (変更)
	転送先8 ☒ 6 8 ↓ 転送先電話番号を押す (最大24桁) ↓ ☒ ☒	転送先8の電話番 号の登録 (変更)
終了	☒ 0	リモコン操作終了 (*0を押さないと、 受話器を置くと、 自動的に切れます)

※3 メッセージ「転送先Xは△△△…… (電話番号) です。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。(X:1~8)

## MEMO

- リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作できないリモコン番号を押すと、エラーメッセージ「エラーです。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作を途中で間違えたときは、☒ ☒ (訂正) を押してから、正しいリモコン番号を押してください。

# 留守番の概要について

本システムは、基本的に留守番機能をStdの場合3系統、Proの場合4系統利用できます。

- 本機能を使用する場合には、工事設定により留守番指定電話機の設定が必要です。
- 本機能は、多機能電話機、CL625親機のみで使用できます。

## デジタル留守録の録音時間

- Stdは留守番1～3の3チャンネルで、Proは留守番1～4の4チャンネルで、録音時間は、お買い上げ時にそれぞれ約60分です。工事設定により、録音時間はチャンネルごとに10分単位でStdは0～180分、Proは0～240分の範囲で変更することができます。

留守番1台のみでStdは180分、Proは240分を使用することも可能です。

### HM700Std

留守1 約60分	留守2 約60分	留守3 約60分
-------------	-------------	-------------

### HM700Pro

留守1 約60分	留守2 約60分	留守3 約60分	留守4 約60分
-------------	-------------	-------------	-------------

## 留守番モード

### 《応答録音（留守番）》

- 留守番セット中にかかってきた電話に、応答録音メッセージを流して、相手の用件を録音します。用件が録音されると、電話機表示部に用件録音の件数が表示されます。（最大99件）応答録音には、モード1～3があり、使用状況により使い分けすることができます。また、モード1には固定メッセージ「ただいま、留守にしております。ピーという音のあとに、ご用件をお話ください」を用意してあります。

### 《応答専用（お知らせ）》

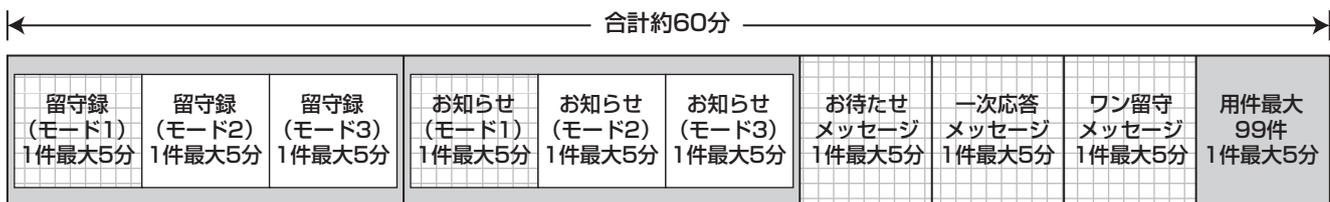
- 留守番セット中にかかってきた電話機に応答専用メッセージを2回流して、通話を終了します。（相手の用件は、録音されません）応答専用には、モード1～3があり、使用状況により使い分けすることができます。また、モード1には固定メッセージ「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」を用意してあります。

応答録音と応答専用には、それぞれ3つのモードがあります。

#### ■各モード毎のメッセージ例

- モード1・・・「本日の業務は終了しました。」
- モード2・・・「・・・営業開始時間は、朝9：00からとなっております」
- モード3・・・「・・・本日は、休業となっております。後日あらためて・・・」

### ■留守番1のみで使用する場合 ※留守番2～4を使用する場合は、それぞれの留守番録音とお知らせのメッセージがあります。



「留守録」と「お知らせ」で別々のメッセージ

## 《追っかけ転送》

- 留守番セット中に用件が録音されると、あらかじめ登録しておいた携帯電話などへ自動的に電話をかけ、録音されたことを通知します。そのまま外出先からリモコン操作で用件を再生し、確認することもできます。  
転送先へは、用件が録音されてから約1分後に約50秒間呼び出し、応答しない場合は3分後に繰り返しかけ直します。  
※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

## 《留守番サイレント》

- 留守番応答時に、相手の声を留守番指定電話機のスピーカから送出不ないようにすることができます。  
留守番1～4でそれぞれ別々に設定することができます。  
※一度サイレントモードにセットすると、留守番のセット／解除にかかわらず、サイレントモードを解除するまではサイレント留守番のままになります。

## 留守番子機切替

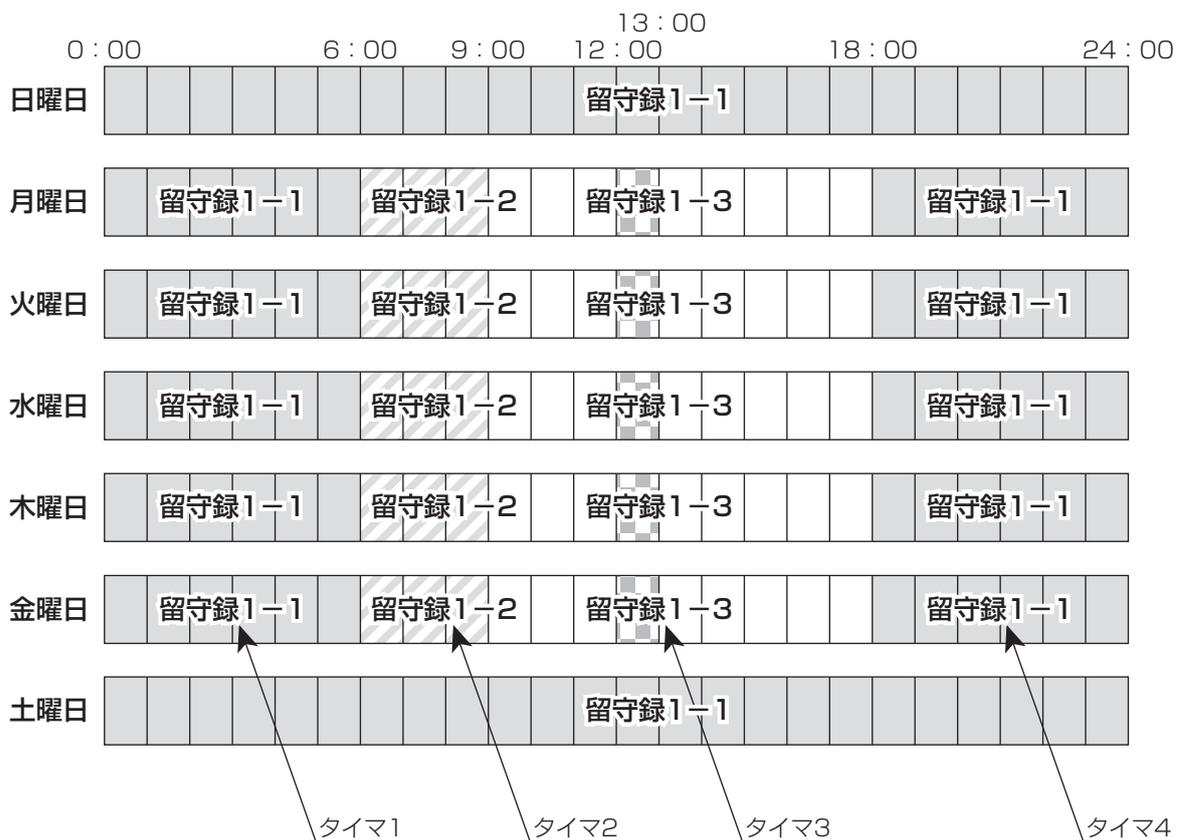
- を押下した電話機を、留守番指定電話機に切り替えて、各留守番の操作を行うことができます。  
※Stdの場合は、留守番1→2→3→REC Busy→1・・・  
※Proの場合は、留守番1→2→3→4→REC Busy→1・・・  
※ (特殊番号29) は、電話機のに登録します。(P.157ページ)

## 留守番タイマ連動

- あらかじめ設定した時刻になると、留守番のセット／解除を自動で行います。  
各曜日ごとに4パターンの留守番セット／解除のタイマを設定できます。  
平日用、休日用、昼休み用などに分けて、留守番タイマを設定できます。  
※Stdの場合 留守番1～3、Proの場合 留守番1～4でそれぞれタイマを設定することができます。  
※留守番タイマ連動は、手動で留守番設定が設定されている場合、留守番タイマ連動は無効となり、手動での留守番設定で動作します。

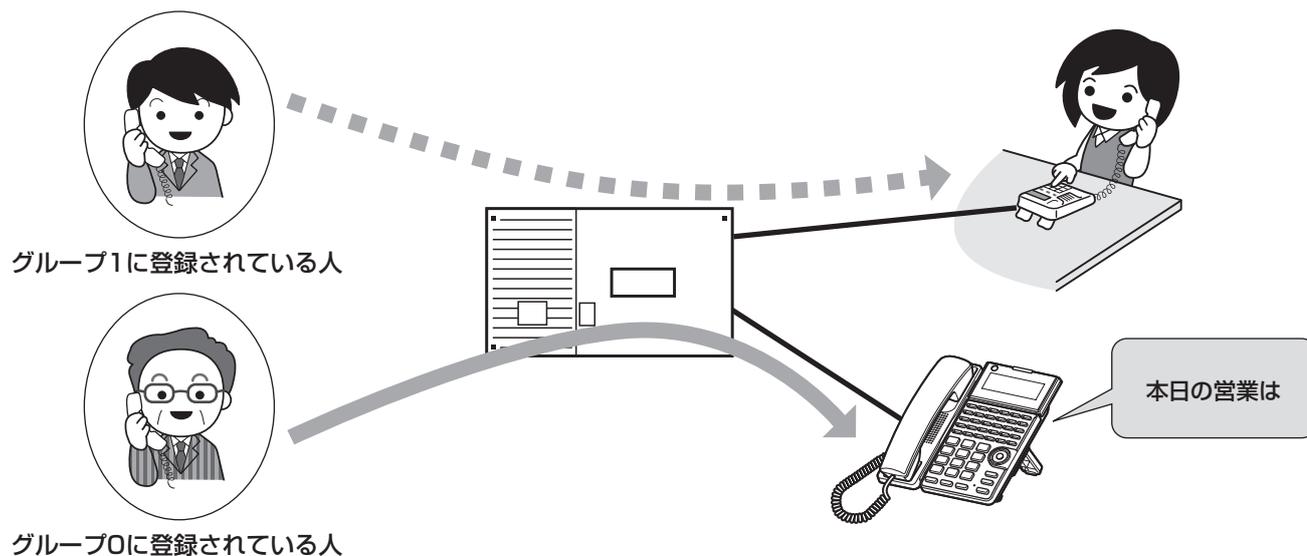
### 《例》

営業時間は月曜～金曜 9：00～18：00 途中12：00～13：00まで昼休み  
留守録1-1:「本日の営業は終了しました。営業時間は月曜から金曜の9:00からとなっております」  
留守録1-2:「本日の営業は、9：00からとなっております。9:00以降におかけ直してください」  
留守録1-3:「ただいまお昼休みとなっております。13:00以降におかけ直してください」



## グループ識別着信留守番

- 電話帳に登録されたグループ毎に留守番応答するか、しないかを指定することができます。



## 手動応答（お待たせメッセージ応答）

- 外線通話中のときに、ほかの外線へ着信があっても、応答できる人がいないときなど、通話中の電話機操作で **[お待たせ]** を押すと、お待たせメッセージを流して応答させることができます。メッセージが流れた後、自動的に保留状態になります。お待たせメッセージは固定メッセージ「ただいま電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちいただくか、のちほどおかけ直してください」を用意してあります。

※ **[お待たせ]**（特殊番号12）は、電話機の **[オート]** に登録します。（☎157ページ）

## ワンショット留守番

- 外線通話中に他の外線に着信があり電話に回答できる人がいないとき、通話中の電話機で **[ワン留守]** を押すと、ワンショット留守番メッセージで応答させることができます。メッセージ送出後は、相手にメッセージを録音してもらうことができますので、通話が終了したら録音されたメッセージを再生し、対応することができます。また、ワンショット留守番メッセージには固定メッセージ「ただ今、電話が混み合っております。ピーという音のあとにご用件をお話ください」を用意してあります。

※ **[ワン留守]**（特殊番号30）は、電話機の **[オート]** に登録します。

※本機能は、留守番指定電話機以外でも使用できます。（☎157ページ）

## 通話メモ

- 通話中に連絡先やアポイントを取るときなど、ちょっとした予定などをメモする代わりに録音しておくことができます。録音は、電話機共通で録音するモードと電話機個別で録音するモードがあります。
- **電話機共通**・・・通話メモに使用するRECチャンネルが同一のRECチャンネルグループ同士で共通で録音／再生をします。同一グループであれば、どの電話機からでも再生可能です。
- **電話機個別**・・・各電話機毎に録音／再生をします。録音した電話機からのみ再生可能です。

※最大録音件数は、Std / Pro共に99件です。

※工事設定により、電話機共通と電話機個別を切り替えることができます。

## 留守番リモコン機能

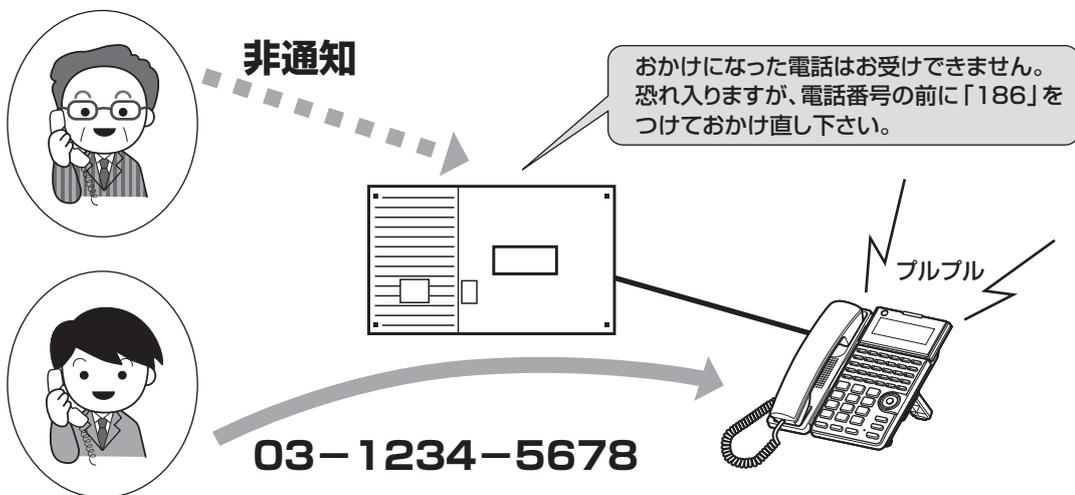
- 外出先の電話機から、留守番のセット／解除／用件再生などを行うことができます。プッシュ信号を送出できる電話機からであれば、どこからでも操作できます。その他、メールによるリモコン操作もできます。詳細については、サクサ株式会社ホームページ（<http://www.saxa.co.jp>）のWEB設定マニュアルを参照してください。

## その他の留守番機能

- ①用件自動消去・・・一度再生した用件は、次回留守番セットされたときに自動的に一括消去することができます。（工事設定によります）
- ②用件自動再生・・・留守番セットを解除すると、録音された用件を自動再生します。用件再生するときに、用件が録音された日時が電話機表示部に表示されます。

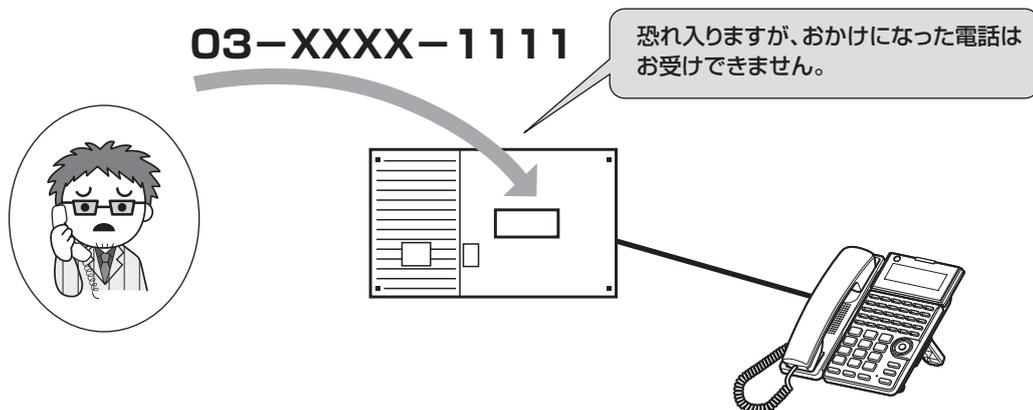
## 非通知着信拒否

- 発信者番号が非通知状態で電話がかかってきたら、自動応答して非通知着信拒否メッセージを1回流したあとに電話を切ります。
- 非通知拒否用メッセージが録音されていない場合は、固定メッセージ「おかけになった電話番号はお受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけておかけ直してください」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、非通知の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



## 迷惑電話拒否

- 迷惑電話の発信者番号を登録し（最大300件）、登録されている番号から電話がかかってきたときには、自動応答して迷惑電話拒否メッセージを1回流したあとに電話を切ります。
- 迷惑電話拒否メッセージが録音されていない場合は、固定メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により、「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、迷惑電話の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



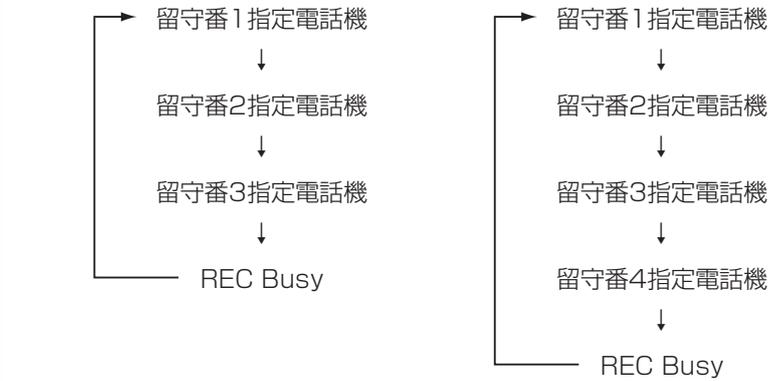
# 留守番指定電話機

工事設定により、留守番指定電話機をStdは3台、Proは4台まで設定できます。  
留守番指定電話機に設定されたとき、次の留守番用ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	用件再生	スキップ	消去	留守
TD615電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
TD625電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD600電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

## 登録のしかた

- 留守番指定電話機のオートダイヤルのボタンを変更する場合、電話機の[オート]に特殊番号が登録できます。(P.157ページ)

特殊番号	ボタン名称	動作内容
25	レビュー	用件および通話メモ再生中に、1つ前の用件を再生するとき使用する
24	用件再生	1件目の用件から再生したり、再生中にメッセージの頭出しに使用する
23	スキップ	用件および通話メモ再生中に、次の用件を再生するとき使用する
22	消去	用件、通話メモの消去に使用する
20	留守	留守番セットまたは解除するとき使用する
21	再生	用件番号を指定して、用件再生をするときに使用する 例：3件目の用件を再生する場合 [再生] → [30] [3] (用件番号を2桁で入力)
26	通話メモ	通話メモを録音するとき使用する
27	メモ再生	通話メモを再生するとき使用する
29	留守 子機切替	留守番指定電話機に切り替えて操作できます。 Std Pro  <p>・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。</p>
30	ワン留守	ワンショット留守番セットするとき使用する ・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。
31	用件一覧	用件を一覧表示して、用件再生、消去に使用する
32	通話メモ一覧	通話メモを一覧表示して、通話メモ再生、消去に使用する

## 確認のしかた

- オートダイヤルの「確認のしかた」と同じ操作をする。  
(☞157ページ)

例：オートダイヤル22～30ボタンに登録された場合  
(TD625電話機の場合)

オートダイヤルボタン	表示
レビュー (オート26)	オート26：特殊番号 25 レビュー
用件再生 (オート27)	オート27：特殊番号 24 用件再生
スキップ (オート28)	オート28：特殊番号 23 スキップ
消去 (オート29)	オート29：特殊番号 22 消去
留守 (オート30)	オート30：特殊番号 20 留守
再生 (オート22)	オート22：特殊番号 21 再生
通話メモ (オート23)	オート23：特殊番号 26 通話メモ
メモ再生 (オート24)	オート24：特殊番号 27 メモ再生
留守子機切替 (オート25)	オート25：特殊番号 29 留守子機切替

## 消去のしかた

- オートダイヤルの「消去のしかた」と同じ操作をする。  
(☞158ページ)

## 変更のしかた

- オートダイヤルの「変更のしかた」と同じ操作をする。  
(☞157ページ)

# 各種メッセージの録音／確認／変更／消去のしかた

各種メッセージを留守番指定電話機から録音します。(録音時間は各メッセージごとに最大5分です) 内蔵の固定メッセージで利用する場合は、メッセージの録音は不要です。各留守番指定電話機から別々に操作します。

## 各種メッセージの録音／確認／変更／消去のしかた

多機能電話機、CL625親機

### 録音のしかた

1 ●を押す

2 ◂を押して「留守番関係」を選択し、●を押す

3 ◂を押して「各種メッセージの設定」を選択し、●を押す

4 ◂を押して設定したいメッセージを選択し、●を押す

●メッセージは以下から選択します。

- ①留守録メッセージ1
- ②留守録メッセージ2
- ③留守録メッセージ3
- ④応答専用メッセージ1
- ⑤応答専用メッセージ2
- ⑥応答専用メッセージ3
- ⑦お待たせメッセージ
- ⑧外線転送用メッセージ
- ⑨非通知着信拒否メッセージ
- ⑩迷惑電話拒否メッセージ
- ⓧワン留守メッセージ

5 ◂を押して「録音」を選択し、●を押す

→ スピーカランプ：赤点灯

6 

→ スピーカランプ：消灯

7 ●を押す

- 「録音」を開始します。
- 受話器を上げないで●を押しても、マイクで録音を開始します。

8 受話器からメッセージを録音する

- 録音中に●を押すと、録音を終了します。

9 

- マイクから録音した場合は スピーカ を押します。
- 手順4に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番51、手順1～4は、メニュー特番51X、手順1～5は、メニュー特番51X1(※1)として電話機の オート に登録できます。(☎157ページ)(X: ①～⑩、ⓧ)
- ※1: 登録後は オート → ● → マイク (または ) からメッセージを録音 → スピーカ (または ) 操作になります。

## 確認のしかた

1 .....  
「録音のしかた」(☞108ページ)の手順1~4の操作をする

2 .....  
◀▶を押して[再生]を選択し、  
●を押す

3 .....  
●を押す

- 再生を開始します。
- 再生が終わると「録音のしかた」の手順4に戻ります。
- 再生中に●を押すと再生を終了し、「録音のしかた」の手順4に戻ります。

### MEMO

- 手順1~3は、メニュー特番51X2(※1)として電話機の☞/オートに登録できます。(☞157ページ)(X: 1~0、✕)
- ※1: 登録後は☞/オート→●を押すと、選択されたメッセージを再生します。

## 変更のしかた

1 .....  
「録音のしかた」(☞108ページ)の手順1~9の操作をする

## 消去のしかた

1 .....  
「録音のしかた」(☞108ページ)の手順1~4の操作をする

2 .....  
◀▶を押して[消去]を選択し、  
●を押す

3 .....  
◀▶を押して[はい]を選択し、  
●を押す

- 選択されたメッセージが消去され、「録音のしかた」の手順4に戻ります。

### MEMO

- 手順1~3は、メニュー特番51X3(※1)として電話機の☞/オートに登録できます。(☞157ページ)(X: 1~0、✕)
- ※1: 登録後は☞/オート→●を押すと、選択されたメッセージを消去します。

# 留守番電話機をセットする

## 留守番セットのしかた

多機能電話機、CL625親機

[オート]に登録された[留守]を押すと、留守番セット/解除の操作ができます。各留守番指定電話機から別々に操作します。

- 留守番を利用する場合は、工事設定が必要です。

### 1

#### [留守]を押す

留守録 1-1

あと98件録音できます(※1)  
およそ 59分録音できます(※2)

[留守1]

- ※1：録音可能件数です。(5秒後消灯します)
- ※2：録音可能時間です。(5秒後消灯します)

留守録 1-1

1 1月 5日(土)

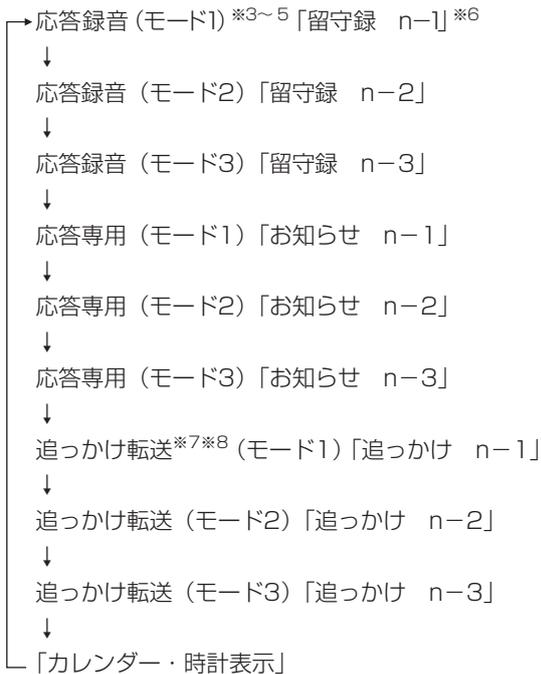
午前 9:00

[留守1]

- [留守]を押すたびにモードが変わります。

→ [留守]ランプ：赤点灯

- 表示例：留守番1指定電話機で応答録音モード1



※3：応答録音で使うか、応答専用で使うかは工事設定によります。

※4：応答録音(モード2、3)および応答専用(モード2、3)のモードは、応答録音メッセージ(モード2、3)、応答専用メッセージ(モード2、3)が録音されている場合だけセットできます。

※5：応答録音メッセージ(モード1)または、応答専用メッセージ(モード1)が録音(☎108ページ)されていない場合、内蔵の固定メッセージを流します。

※6：「n」の表記は留守番指定電話機の番号を表示します。(Stdの場合：n=1~3、Proの場合：n=1~4)

※7：転送先電話番号の登録および、リモコン機能の暗証番号の登録がされていない場合、追っかけ転送の留守番セットはできません。(追っかけ転送先電話番号の登録は☎113ページ、暗証番号の登録は☎124ページ)

※8：追っかけ転送のメッセージは、応答録音メッセージ(モード1~3)と共通です。

#### MEMO

- 用件自動消去が設定されているときに、未再生用件が残っている場合、手順1を行うと用件は消去されずに留守番セットになります。
- 録音可能時間は、お買い上げ時、約60分です。(工事設定により録音可能時間は変更できます)

## 留守番自動応答時間指定

多機能電話機、CL625親機

留守番モードで、着信してから留守番電話が応答するまでの時間を設定できます。各留守番指定電話機で別々に設定します。

### 変更のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [留守番関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [留守番自動応答時間] を選択し、●を押す

### 4 応答時間を入力する

- 001～180秒のいずれかを入力してください。
- 000は入力できません。
- お買い上げ時は「9秒」です。
- 必ず3桁入力してください。
- 3桁入力されると「留守番自動応答時間」が登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番52、手順1～4は、メニュー特番52XXX (X:001～180) として電話機の [オート] に登録できます。(☎157ページ)

## 留守番サイレント設定

多機能電話機、CL625親機

留守番応答時に留守番指定電話機のスピーカから音声（応答メッセージ、相手の音声）を流さないように設定できます。各留守番指定電話機から別々に操作します。

### セット／解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [留守番関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [留守番サイレント設定] を選択し、●を押す

### 4 ◀▶を押して [ON] を選択し、●を押す

- お買い上げ時は「OFF」です。
- 留守番サイレントに設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●解除するときは、「OFF」を選択し、●を押す

#### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番54として電話機の [オート] に登録できます。(☎157ページ) 登録後は、[オート] を押すごとに、「セット」→「解除」を繰り返します。
- 留守番サイレントをONに設定すると、留守番セット中の留守番指定電話機の表示部に「S」が表示されます。

## 応答録音

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答録音メッセージを流す

- 応答録音用のメッセージを録音していないときモード1の場合、固定応答メッセージ「ただ今、留守にしております。ピーという音の後にご用件をお話してください」を流します。

3 信号音「ピー」音を送出する

4 用件を録音する

留守録	1-1	6件
1	1月	5日(土)
	午前	9:00
	留守1	

- 表示例：留守番1指定電話機で応答録音に用件6件あり  
→ ランプ：赤点滅  
→ 着信ランプ：点滅

## 応答専用

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答メッセージを流す

- 応答専用のメッセージを録音していないときモード1の場合、固定応答専用メッセージ「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」を続けて2回流します。

3 メッセージが終了すると自動的に電話を切る

## 追っかけ転送

1 留守セット中に用件録音される

- 用件が満杯のときは、追っかけ転送しません。

2 転送先電話に自動発信

- 転送先電話番号の登録方法は、☎113ページを参照してください。
- 用件が録音されると、約1分後に転送先電話番号へ自動発信します。
- 約50秒間転送先を呼出します。応答しないと電話を切ります。
- 転送先が通話中のときは、合計3回までかけ直します。

3 転送先電話が応答する

- 受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

4 リモコン操作で録音された用件を確認する

- 約20秒以内に暗証番号をダイヤルするとリモコン操作ができます。
- リモコンの操作は、プッシュ信号（PB）での操作になります。
- 以降は、操作するリモコン番号を押します。（☎126ページ）

## MEMO

- 留守機能応答後、留守番指定電話機のスピーカから相手の声が聞こえます。そのとき、留守番指定電話機の手話器をあげれば通話ができます。
- 用件録音が満杯になると、応答専用で自動で切り替わります。（応答専用メッセージまたは固定応答専用メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」を2回流したあと、自動的に電話を切ります。用件録音できなくなります）
- 工事設定により、グループ識別着信ごとに留守番応答するか、しないかを指定できます。
- 暗証番号を間違えると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力してください」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号の入力は、3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話が切れます。

追っかけ転送先の電話番号を登録します。各留守番指定電話機から別々に操作します。

## 登録のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [留守番関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [追っかけ転送先電話番号] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す
- 5 追っかけ転送先の電話番号を入力し、●を押す

- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- 短縮**を押すと特殊コードを入力できます。
- 短縮**を押すごとに、ポーズ：「P」→ハイフン：「-」→ネスティングコード：「[ ]」を繰り返します。
- 入力番号を間違えた場合は**フラッシュ**を押して消去します。
- 「追っかけ転送先電話番号」が登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番55、手順1～4は、メニュー特番551として電話機の**フオート**に登録できます。(☎157ページ)

## 確認のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [留守番関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [追っかけ転送先電話番号] を選択し、●を押す
  - 【 】内に追っかけ転送先電話番号が表示されます。

## 変更のしかた

- 「登録のしかた」の手順1～5の操作をする
- 登録済みの電話番号は**フラッシュ**を押すと一文字消せます。

## 消去のしかた

- 1 「登録のしかた」の手順1～3の操作をする
- 2 ◀▶を押して [消去] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [はい] を選択し、●を押す
  - 追っかけ転送先電話番号を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番552として電話機の**フオート**に登録できます。(☎157ページ)

用件が録音されていれば、留守番解除することで、用件が自動再生されます。

## 用件再生のしかた

### 留守番セットの状態から

留守録 1-1 7件  
11月 5日(土)  
午前 9:00  
留守1

●表示例：7件の用件録音あり

→ 留守 ランプ：赤点滅

→ 着信ランプ：点滅

# 1

留守 を押す

用件再生 1件  
10月 12日(水)  
午前 9:30  
留守録

●用件が録音された日時を表示します。

●用件は連続で再生されます。

●再生開始音「ピー」が聞こえます。

→ 留守 ランプ：消灯

→ 用件再生 ランプ：赤点灯

→ スピーカ ランプ：赤点灯

11月 5日(土) 内線10  
午前 9:00

●再生がすべて終了すると、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

●再生終了音「ピー」が聞こえます。

→ 用件再生 ランプ：消灯

→ スピーカ ランプ：消灯

→ 着信ランプ：消灯

## 用件をもう一度初めから聞きたいとき

# 1

用件再生 を押す

用件再生 1件  
10月 12日(水)  
午前 9:30  
留守録

●用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。

●用件再生 ランプが消灯しているときは、1件目から再生します。

●再生開始音「ピー」が聞こえます。

→ 用件再生 ランプ：赤点灯

→ スピーカ ランプ：赤点灯

## MEMO

- 工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。
- 用件再生中に、用件再生 を押すと、再生が停止され今の用件を初めから再生します。
- 用件再生中に、スキップ を押すと、再生が停止され次の用件を再生します。
- 用件再生中に、レビュー を押すと、再生が停止され1つ前の用件を再生します。

## 用件消去のしかた（個別消去）

# 1

用件再生 を押す

用件再生 1 件  
1 0 月 1 2 日 (水)  
午前 9 : 3 0  
留守録

- 用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。
- 用件再生 ランプが消灯しているときは、1件目から再生します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  - 用件再生 ランプ：赤点灯
  - スピーカ ランプ：赤点灯

# 2

消 去 を押す

用件個別消去  
消去しますか？

確定 で消去

- 再生中の用件を停止し、消去確認へ進みます。

# 3

を押す

用件個別消去  
消去しました

- 再生していた用件を消去します。

## 用件消去のしかた（一括消去）

用件の一括消去は、「用件一括消去」(☎123ページ) をご覧ください。

# 4

● 次の用件がある場合

用件再生 1 件  
1 0 月 1 2 日 (水)  
午前 9 : 3 0  
留守録

- 次の用件がある場合、次の用件を再生します。

● 次の用件がない場合

1 1 月 5 日 (土) 内線10  
午前 9 : 0 0

- 次の用件がない場合、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 用件再生 ランプ：消灯
  - スピーカ ランプ：消灯
- 再生終了音「ピー」が聞こえます。

## 用件一覧のしかた

# 1

を押す

《用件一覧》

01:サクサ株式会社  
02:0312345678  
03:10月12日(水)午前 9:30

- 表示例：3件の用件録音あり
- 録音された用件を一覧表示します。
- 未再生の用件は右端に\*を表示します。  
→ ランプ：赤点灯
- を押すと詳細画面を表示します。

# 2

を押して用件を選択し、  
を押す

01:10月12日(水)午前 9:15  
サクサ株式会社  
①再生  
②消去

## 用件一覧から再生のしかた

# 1

「用件一覧のしかた」の手順1  
～2の操作をする

# 2

を押して[再生]を選択し、  
を押す

用件再生 3件  
10月12日(水)  
午前 9:15  
留守録

- 表示例：3件の用件録音あり
- 用件が録音された日時を表示します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
- 再生が終了すると再生終了音「ピー」が聞こえ、「用件一覧のしかた」の手順1に戻ります。

## 用件一覧から消去のしかた

# 1

「用件一覧のしかた」の手順1  
～2の操作をする

# 2

を押して[消去]を選択し、  
を押す

用件個別消去  
消去しますか？

で消去

# 3

を押す

用件個別消去  
消去しました

- 用件を消去して、「用件一覧のしかた」の手順1に戻ります。

### MEMO

- (特殊番号31) を電話機の に登録すると使用できます。(P157ページ)
- 用件一覧は留守番セット中でも留守番解除の状態から使用できます。
- 付属のステッカ「用件一覧」シールを貼ると便利です。
- 用件一覧からの再生中、とは使用できません。

## 留守番タイマ連動

多機能電話機、CL625親機

決まった日時に留守番機能のセット・解除を自動的に行います。各留守番指定電話機から別々に操作します。留守番タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ1～4があります。

- 留守番タイマ連動の詳細は、P165ページをご覧ください。
- 自動留守設定（留守番タイマ連動）は、手動で留守設定されている場合、自動留守設定は無効となり、手動での留守設定で動作します。

留守番に設定されていないときでも、かかってきた電話に応答録音メッセージを流して相手の用件を録音します。また、留守番指定電話機以外でも本機能が操作できます。

- 以下の条件では、ワンショット留守番することができません。
  - (1) 外線着信がテナント外のと看
  - (2) 外線着信が個別着信のと看
  - (3) ワンショット留守番が工事設定されていないとき
  - (4) 工事設定で指定されている留守番チャンネルが使用中のと看

## ワンショット留守番応答

(例) 外線1通話中に外線2に着信が入ってきたときの操作

### 1 外線2着信中

外線通話中 1 : 00

- 外線2ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：赤点滅（初期）

### 2 ワン留守を押す

- 外線2ランプ：赤点灯
- ワン留守ランプ：赤点灯
- 着信ランプ：消灯

- 外線2の相手に応答メッセージ「ただいま電話が混み合っております。ピーという音の後にご用件をお話ください」を1回流したあと、用件録音を開始します。

### 3 用件録音終了

- 外線2ランプ：消灯
- ワン留守ランプ：消灯
- 着信ランプ：点滅

## 用件再生のしかた

留守子機切替の後、用件再生を押します。

用件の再生は、「用件をもう一度初めから聞きたいとき」(114ページ)をご覧ください。

## 用件消去のしかた（個別消去）

留守子機切替の後、用件の個別消去を行います。

用件の個別消去は、「用件消去のしかた（個別消去）」(115ページ)をご覧ください。

## 用件消去のしかた（一括消去）

留守子機切替の後、用件の一括消去を行います。

用件の一括消去は、「用件一括消去（留守録用件の一括消去のしかた）」(123ページ)をご覧ください。

### MEMO

- ワン留守（特殊番号30）は、電話機のオートに登録できます。（157ページ）
- 付属のステッカ「ワン留守」シールを貼ると便利です。
- 最大件数を超えたとき、または最大録音時間を超えたときは、「これ以上録音できません」が表示され、以降ワンショット留守番ができなくなります。

# 留守子機切替

他の留守番指定電話機の操作を行うことができます。

### 1 留守子機切替を押す

### 2 留守番機能の操作をする

- 留守子機切替を押したあと、約20秒以内に留守番機能を操作してください。
- 約20秒以内に留守番機能操作を行わないと、自動的に「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 切り替え操作を行うためには、あらかじめ電話機のオートに留守子機切替（特殊番号29）に登録する必要があります。（157ページ）
- 付属のステッカ「留守子機切替」シールを貼ると便利です。

# グループ識別着信留守番

あらかじめ電話帳に登録したグループごとに、留守番セットしたとき、留守番応答せずに着信させることができます。

識別着信による留守番応答設定は、工事設定によりグループ（グループ0～9）ごとにそれぞれ留守番応答するか、しないかを指定することができます。

この機能を利用される場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。

## MEMO

- 留守番応答せずに着信させた場合、その着信を外線自動転送で転送することができます。（☎95ページ）

# お待たせメッセージ応答

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線通話中に別外線に着信がかかってきたとき、すぐに応答できない場合は、電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に1回流したあと、保留音を流します。

## 基本的な操作

(例) 外線1通話中に外線2に着信が入ってきたときの操作

# 1

**機能** を押す

- **機能** ランプ：赤点灯
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用  **外線** に  **機能** を登録します。（☎31ページ）
- DC600電話機の場合、未使用  **外線** に  **機能(F)** を登録します。（☎32ページ）

# 2

**外線** （外線2ボタン）を押す

- 着信が入った外線2ボタンを押します。
- 外線2ボタンの相手に応答メッセージを1回流した後に、保留音を開始します。
  - **機能** ランプ：消灯
  - **外線** 2ランプ：緑点滅
- 外線1との通話終了後に、保留中の  **外線** 2 を押し、外線2の相手と通話することが出来ます。

## ワンタッチでの操作

オートダイヤルに  **お待たせ** を登録しておくと、ワンタッチでお待たせメッセージ応答操作ができます。

**お待たせ** （特殊番号12）の登録方法は、☎157ページを参照してください。

DS600電話機の場合は、☎159ページを参照してください。

# 1

**お待たせ** を押す

- 外線2の相手にお待たせメッセージを1回流した後に、保留音を開始します。
  - **外線** 2ランプ：緑点滅
- 外線1との通話終了後に保留中の  **外線** 2 を押し、外線2の相手と通話することが出来ます。

## MEMO

- 全ての留守番指定電話機が留守番機能を操作中のとき、お待たせ応答は使用できません。
- 外線通話中以外に、内線通話中、ドアホン通話中、未使用状態からでも操作できます。
- お待たせ応答できる外線は、着信鳴動している外線で、お待たせメッセージ送出中に他の外線着信に対してもお待たせ応答できます。
- お待たせ応答後、再応答せずに約3分経過すると再び着信音が鳴動します。（お買上げ時）（工事設定により、再び着信音が鳴動するまでの時間設定を変更できます）
- お待たせ応答中に、相手が通話を切ると、保留中は自動的に切れます。
- 付属のステッカ「お待たせ」シールを貼ると便利です。（DC600電話機は除く）

発信者番号通知が非通知の着信について、非通知着信拒否メッセージまたはビジートーンで応答して外線を自動開放します。非通知着信拒否メッセージの録音方法は☎108ページを、確認/変更/消去方法は☎109ページを参照してください。

- 非通知着信拒否メッセージ応答を使用するときは、工事設定とナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要となります。

## 設定/解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して「非通知着信メッセージ外線設定」を選択し、●を押す

- 5 ◀▶を押して外線を選択し、●を押す
  - ◀▶を押して非通知着信拒否をする外線を選択し、●を押すと選択されます。
  - 非通知着信拒否する外線が選択されると「☑」を表示します。
  - 選択されていない場合は、「☐」になります。●を押すたびに「☑」→「☐」を繰り返します。
- 6 ◀▶を押して「登録」を選択し、●を押す
  - 選択された外線が非通知着信拒否外線に登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 「設定/解除のしかた」手順1~4は、メニュー特番91\*として電話機の☐/オートに登録できます。(☎157ページ)
- 工事設定により、テナント分けした場合、テナントごとに非通知着信拒否する外線が登録できます。
- 工事設定により、「非通知着信拒否メッセージ」、「非通知着信拒否メッセージ&迷惑電話拒否メッセージ」のいずれかを選択します。
- 「非通知着信拒否&迷惑電話拒否」に工事設定すると、「迷惑電話拒否のセット/解除」も同時に操作されます。
- 非通知着信拒否メッセージが録音されていない場合、内蔵の固定メッセージ「おかけになった電話は、お受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けて、おかけ直してください」が流れます。
- 話中設定(☎133ページ)にしている外線では、非通知着信拒否機能が動きません。

## 非通知着信拒否機能のセット/解除のしかた

工事設定により、非通知着信を留守番指定電話機が応答し、メッセージまたはビジートーンが流れます。非通知着信拒否を設定した留守番指定電話機から操作します。

- 1 ☐/留守を押す
  - ☐/オートに登録された☐/留守を押します。
  - 非通知着信拒否機能をセットします。
  - 「非通知」を表示します。(ビジートーン設定時除く)
    - ☐/留守ランプ：赤点灯
  - 再度、☐/留守を押すと非通知着信拒否機能を解除し、「非通知」が消えます。(ビジートーン設定時除く)
    - ☐/留守ランプ：消灯

外線通話を録音することができます。通話メモをするためには工事設定が必要です。(CL625子機、WS605電話機、DC600電話機はできません)

- 最大99件、1件あたりの録音時間は最大時間内で制限なしです。

## 録音のしかた

### 1 外線通話中に 通話メモ を押す

通話メモ 1 : 0 0  
あと98件録音できます (※1)  
およそ 59分録音できます (※2)  
通話メモ録音中 確定 で停止

- 通話メモ録音を行います。
  - 外線 ランプ：緑点灯
  - 通話メモ ランプ：赤点滅
- ※1：録音可能件数です。(5秒後消灯します)
- ※2：録音可能時間です。(5秒後消灯します)

外線通話中 1 : 0 5  
0 1 :  
通話メモ録音中 確定 で停止

外線通話中 1 : 1 5  
0 1 :

- 録音中に  を押すと通話メモ録音を停止します。
  - 通話メモ ランプ：消灯
  - メモ再生 ランプ：赤点滅
  - 着信ランプ：点滅

通話メモ 1 : 3 0  
あと97件録音できます  
およそ 59分録音できます  
通話メモ録音中 確定 で停止

- 再度、通話メモ を押すと録音を再開します。
  - 通話メモ ランプ：赤点滅

### 2 (終話)

通話終了 1 : 4 5

- 外線 ランプ：消灯
- 通話メモ ランプ：消灯

1 1 月 5 日 (土) 内線 12  
午前 9 : 0 0  
メモ 2件

#### MEMO

- 通話メモ (特殊番号26)、メモ再生 (特殊番号27) は、電話機の オート に登録できます。(P157ページ)
- 付属のステッカ「通話メモ」シールを貼ると便利です。
- 最大件数を超えたとき、または最大録音時間を超えたときは、「これ以上録音できません」が表示され、以降通話メモができなくなります。
- 録音可能時間はお買い上げ時、約60分です。(工事設定により録音可能時間は変更できます)
- 通話メモ録音中に、保留にすると録音は、停止されます。

## 再生のしかた

### 1 「カレンダー・時計」表示



- 表示部に件数が表示されています。
  - メモ再生ランプ：赤点滅
  - 着信ランプ：点滅

### 2 メモ再生を押す



- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
- 通話メモ1の再生が開始されます。
- 通話メモの録音された日時が表示されます。
  - 通話メモランプ：赤点灯
  - メモ再生ランプ：赤点灯
  - スピーカランプ：赤点灯

### 3 再生が終わると、続けて次のメモを連続再生する



- 表示例：「通話メモ2」再生開始
- 全てのメモが再生されると、再生終了音「ピー」が聞こえ「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 通話メモランプ：消灯
  - メモ再生ランプ：消灯
  - スピーカランプ：消灯
  - 着信ランプ：消灯

#### MEMO

- メモ再生（特殊番号27）は、電話機のオートに登録できます。（☎157ページ）
- 付属のステッカ「メモ再生」シールを貼ると便利です。
- 通話メモ再生中にメモ再生を押すと、再生が停止され今の通話メモを初めから再生します。
- 通話メモ再生中にスキップを押すと、再生が停止され次の通話メモを再生します。
- 通話メモ再生中にレビュを押すと、再生が停止され1つ前の通話メモを再生します。

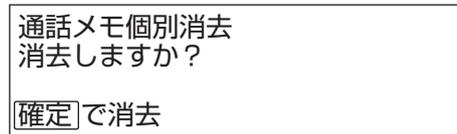
## 消去のしかた（個別消去）

### 1 メモ再生を押す



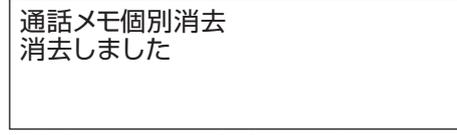
- メモ再生ランプが赤点滅しているときは未再生メモがあります。この場合は未再生メモから再生します。
- メモ再生ランプが消灯しているときは、1件目から再生します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
  - 通話メモランプ：赤点灯
  - メモ再生ランプ：赤点灯
  - スピーカランプ：赤点灯

### 2 消去を押す



- 再生中のメモを停止し、消去確認へ進みます。

### 3 ●を押す



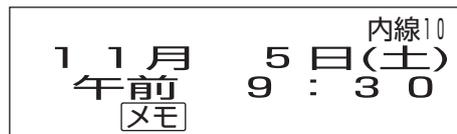
- 再生していたメモを消去します。

### 4 ●次のメモがある場合



- 次のメモがある場合、次のメモを再生します。

### ●次のメモがない場合



- 次のメモがない場合、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 通話メモランプ：消灯
  - メモ再生ランプ：消灯
  - スピーカランプ：消灯
- 再生終了音「ピー」が聞こえます。

## 消去のしかた（一括消去）

メモの一括消去は、「通話メモの一括消去のしかた」（☎123ページ）をご覧ください。

### MEMO

- **[消去]**（特殊番号22）は、電話機の**[オート]**に登録できます。（☎157ページ）
- 付属のステッカ「消去」シールを貼ると便利です。

## 通話メモ一覧のしかた

# 1

**[通話メモ一覧]**を押す

《通話メモ一覧》

01:サクサ株式会社

02:0312345678

03:10月12日(水)午前 9:30

- 表示例：3件の通話メモ録音あり
- 録音された通話メモを一覧表示します。
- 未再生の用件は右端に\*を表示します。  
→ **[スピーカ]**ランプ：赤点灯  
→ **[通話メモ]**ランプ：赤点灯
- **[短縮]**を押すと詳細画面を表示します。

# 2

**[方向キー]**を押して通話メモを選択し、**[決定]**を押す

01:10月12日(水)午前 9:15

サクサ株式会社

**[1]**再生

**[2]**消去

## 通話メモ一覧から再生のしかた

# 1

「通話メモ一覧のしかた」の手順1～2の操作をする

# 2

**[方向キー]**を押して**[再生]**を選択し、**[決定]**を押す

通話メモ再生 1件  
10月12日(水)  
午前 9:15  
**[メモ]** 3件

- 表示例：3件の通話メモあり
- 通話メモが録音された日時を表示します。
- 再生開始音「ピー」が聞こえます。
- 再生が終了すると再生終了音「ピー」が聞こえ、「通話メモ一覧のしかた」の手順1に戻ります。

## 通話メモ一覧から消去のしかた

# 1

「通話メモ一覧のしかた」の手順1～2の操作をする

# 2

**[方向キー]**を押して**[消去]**を選択し、**[決定]**を押す

通話メモ個別消去  
消去しますか？

**[決定]**で消去

# 3

**[決定]**を押す

通話メモ個別消去  
消去しました

- 通話メモを消去して、「通話メモ一覧のしかた」の手順1に戻ります。

### MEMO

- **[通話メモ]**（特殊番号32）を電話機の**[オート]**に登録すると使用できます。（☎157ページ）
- 付属のステッカ「通話メモ一覧」シールを貼ると便利です。

留守番用件および通話メモの一括消去ができます。留守番用件の一括消去は留守番指定電話機より操作します。

## 留守番用件の一括消去のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「留守番関係」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「用件の一括消去」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して「留守番用件の一括消去」を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して「はい」を選択し、●を押す
  - 留守番用件を一括消去し、手順3に戻ります。
  - 消去する用件が多いときは、消去している間「消去中です」を表示します。

### MEMO

- 手順1～4は、メニュー特番531として電話機の〔/オート〕に登録できます。(☎157ページ)
- 工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。

## 通話メモの一括消去のしかた

- 1 「留守番用件の一括消去のしかた」の手順1～3の操作をする
- 2 ◀▶を押して「通話メモの一括消去」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「はい」を選択し、●を押す
  - 通話メモを一括消去し、「留守番用件の一括消去のしかた」の手順3に戻ります。
  - 消去する用件が多いときは、消去している間「消去中です」を表示します。

### MEMO

- 手順1、2は、メニュー特番532として電話機の〔/オート〕に登録できます。(☎157ページ)

# リモコン機能

## 留守番リモコン用暗証番号

多機能電話機、CL625親機

### 設定／解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [留守番関係] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [留守番リモコン用暗証番号] を選択し、●を押す

### 4 暗証番号（4桁）を入力する

- 登録されている場合は「\*\*\*\*」を表示します。登録されていない場合は「----」を表示します。
- 0000～9999を入力します。
- 4桁入力されると自動で登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 必ず4桁入力してください。

●解除するときは、暗証番号の代わりに **フラッシュ** → ●を押す

#### MEMO

- 手順1～4（設定する場合）はメニュー特番57XXXX（XXXX：0000～9999（暗証番号））として、電話機の **（オート）** に登録できます。（☎157ページ）
- 暗証番号の確認はできません。
- 暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。
- 暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。

# ● 外出先からリモコン操作をする

外出先でプッシュ信号（PB）が送出できる電話機から、リモコン操作で用件を聞いたり、応答録音メッセージなどの変更ができます。

## 1 外出先の電話機からシステムへ電話をかける

## 2 本システムが自動応答する

- 留守番セット中でのお買い上げ時の留守番応答時間は約9秒です。（留守番応答時間は任意に変更することができます。（☎111ページを参照してください）
- 留守番セットされていないときは、約45秒で自動応答します。（工事設定により応答時間を変更することができます）この後は、手順5から操作してください。

## 3 応答メッセージが聞こえる

- 手順4は応答メッセージが流れているときに操作してください。

## 4 ※を押す

- 応答メッセージが停止し、受付メッセージ「リモコンを開始します。暗証番号を入力してください。」が聞こえます。

## 5 暗証番号（4桁）を押す

- 約20秒以内に暗証番号を押し始めてください。

## 6 受付メッセージ「リモコン番号を入力してください。」が聞こえる

## 7 操作するリモコン番号を押す

- メッセージ（☎126ページ）が聞こえます。
- 詳細は☎126ページを参照してください。

## 8 ※0（終了）を押す

- 終了メッセージ「終了します。」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

### MEMO

- 受付メッセージが聞こえてから、約20秒以内にリモコン番号を押さないと自動的に電話が切れます。
- 暗証番号を間違えると、エラーメッセージ「暗証番号が違います。暗証番号を入力してください」が聞こえます。再度、正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号の入力は、3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話が切れます。
- デジタル回線で外出先からリモコン操作をしたいときは、本システムの電話番号にサブアドレス（☎236ページ）を付加して電話をかけると、すぐに留守番指定電話機が自動応答します。その後、上記手順5～8を行います。  
留守番1：サブアドレス9 ①  
留守番2：サブアドレス9 ②  
留守番3：サブアドレス9 ③  
留守番4：サブアドレス9 ④（Proのみ）
- いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンは利用できません。

# リモコン操作一覧

機能項目		リモコン番号	動作内容	
レビュー※1		☒ 1	1つ前の用件を再生	
用件再生※2		☒ 2	録音された用件を再生	
キュー（スキップ）※3		☒ 3	1つ後の用件を再生	
応答録音メッセージ	モード1	再生※4	☒ 4 1	応答録音メッセージ（モード1）の再生
		録音（変更）※5	☒ 5 1	応答録音メッセージ（モード1）録音（変更）
	モード2	再生※4	☒ 4 2	応答録音メッセージ（モード2）の再生
		録音（変更）※5	☒ 5 2	応答録音メッセージ（モード2）録音（変更）
	モード3	再生※4	☒ 4 3	応答録音メッセージ（モード3）の再生
		録音（変更）※5	☒ 5 3	応答録音メッセージ（モード3）録音（変更）
応答専用メッセージ	モード1	再生※6	☒ 4 4	応答専用メッセージ（モード1）の再生
		録音（変更）※7	☒ 5 4	応答専用メッセージ（モード1）録音（変更）
	モード2	再生※6	☒ 4 5	応答専用メッセージ（モード2）の再生
		録音（変更）※7	☒ 5 5	応答専用メッセージ（モード2）録音（変更）
	モード3	再生※6	☒ 4 6	応答専用メッセージ（モード3）の再生
		録音（変更）※7	☒ 5 6	応答専用メッセージ（モード3）録音（変更）
追っかけ転送の 転送先電話番号の登録（変更）※8		☒ 6 ↓ 転送先電話番号 （最大24桁） ↓ ☒ ☒	追っかけ転送の 転送先電話番号の登録（変更）	
留守番セット	応答録音※9	☒ 8 1	応答録音（モード1）のセット	
		☒ 8 2	応答録音（モード2）のセット	
		☒ 8 3	応答録音（モード3）のセット	
	応答専用※10	☒ 8 4	応答専用（モード1）のセット	
		☒ 8 5	応答専用（モード2）のセット	
		☒ 8 6	応答専用（モード3）のセット	
	追っかけ転送※11	☒ 8 7	追っかけ転送留守番（モード1）のセット	
		☒ 8 8	追っかけ転送留守番（モード2）のセット	
		☒ 8 9	追っかけ転送留守番（モード3）のセット	
留守番セットの解除※12		☒ 8 0	留守番セットの解除	
用件オールクリア※13		☒ 9 1	すべての用件を消去	
終了※14		☒ 0	リモコン操作の終了	

- ※1：メッセージ「前の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。  
 ※2：メッセージ「××件です。最初の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。  
 ※3：メッセージ「次の用件は……（用件の内容）」が聞こえます。  
 ※4：メッセージ「留守録メッセージXを再生します。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※5：メッセージ「留守録メッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※6：メッセージ「お知らせメッセージXを再生します。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※7：メッセージ「お知らせメッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※8：メッセージ「追っかけ転送先は△△△……（電話番号）です。」が聞こえます。  
 ※9：メッセージ「留守録Xをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※10：メッセージ「お知らせXをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※11：メッセージ「追っかけXをセットしました。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※12：メッセージ「留守録X（お知らせX、追っかけX）を解除しました。」が聞こえます。（X：1～3）  
 ※13：メッセージ「すべての用件を消去します。しばらくお待ちください。……消去しました。」が聞こえます。  
 ※14：メッセージ「終了します。」が聞こえます。

## MEMO

- 各種メッセージの録音時に☒を押すと、録音を停止します。
- リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- 操作できないリモコン番号を押すと、エラーメッセージ「エラーです。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
- リモコン操作を間違えたとき、☒☒（訂正）を押してから、正しいリモコン番号を押してください。

# 外線の便利な機能

## ワンタッチで電話をかける（ワンタッチ発信）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

[**オート**]に電話番号または短縮番号を登録することでワンタッチで発信できます。  
名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。  
●ご利用されていない[**外線**]は、[**オート**]として使用することができます。

### 登録のしかた

オートダイヤルの「登録のしかた（電話番号）」と同じ操作をします。（☎155、158ページ）

### 消去のしかた

オートダイヤルの「消去のしかた」と同じ操作をします。（☎158、159ページ）

### かけかた

1

#### [**発信**]を押す

- WS605電話機の場合は、[**通話**]を押します。
- DC600電話機の場合は、[**発信**]を押します。
- 空き外線を自動で捕捉します。  
→ [**スピーカ**]ランプ：赤点灯  
（多機能電話機、CL625親機のみ）  
→ 未使用[**外線**]ランプ：緑点灯

2

#### [**オート**]を押す

- 登録された電話番号へ自動発信します。

3



- 相手が出たら通話します。  
→ [**スピーカ**]ランプ：消灯  
（多機能電話機、CL625親機）
- DC600電話機の場合は、受話器を上げる必要はありません。

#### MEMO

- 工事設定により、受話器をおいたままで[**オート**]を押すと発信できるようにすることもできます。

## 子機を上げてすぐにダイヤルできる（クイック通話）

CL625親機、CL625子機、WS605電話機

工事設定により「外線優先」に変更すると、すぐに外線発信ができます。  
●外線自動選択を行うとき、お買い上げ時は老番の外線から選びます。

### かけかた

1



- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
- 空き外線を自動で捕捉します。  
→ 未使用[**外線**]ランプ：緑点灯

#### MEMO

- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）

2

#### 電話番号を押す

- デジタル回線、IP電話回線の場合は、電話番号のあとに[**＃**]を押すとすぐに電話がかかります。
- 電話番号の1桁目は[**外線**]が点灯してから約10秒以内に押してください。

# ● こちらの声を相手に聞こえなくする（送話ミュート）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線、内線通話中にこちらの音声相手に聞こえず、相手の音声のみが聞こえるようになります。  
●送話ミュート状態で通話を終了すると自動的に解除されます。

## 送話ミュートの設定のしかた

1 外線または内線通話中

2 機能 を押す

- DC600電話機の場合は、機能(F)を押します。  
→ 機能ランプ：赤点灯

3 カ ABC 2 を押す

- 送話ミュートがセットされます。
- 同じ操作を繰り返すと「送話ミュート」が解除されます。  
→ 機能ランプ：消灯

### MEMO

- 手順2、3は、機能特番2として電話機のオートに登録できます。(☎157、158ページ)  
登録後、外線・内線通話中にオートを押します。この場合、オートを押すごとに、「セット」→「解除」を繰り返します。
- 未使用状態(☎)から「送話ミュート」の設定方法は次の操作を行います。但し、DC600電話機は操作することが出来ません。  
機能 → 2 → ☎ (5秒以内)
- 未使用(外線)に機能を登録します。(CL625子機、WS605電話機)(☎31ページ)
- 未使用(外線)に機能(F)を登録します。(DC600電話機)(☎32ページ)

# ● 複数の短縮番号を組み合わせて発信する（ネスティングダイヤル）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

短縮ダイヤルに、いくつかの短縮ダイヤルを組み合わせて登録しておくと、1回の短縮ダイヤル発信操作で長い電話番号へかけられ、通話できます。1つの短縮番号には最大4つの短縮番号を登録できます。

## 登録のしかた

1 電話帳の「登録のしかた」(☎63ページ)の手順1～6の操作をする

2 短縮 で [(ネスティングコード) を選択する

- 短縮 を押すたびに、P (ポーズ) → E (切断コード) → - (ハイフン) → [(ネスティングコード) 表示を繰り返します。  
※先頭にE (切断コード)を入力することはできません。

3 短縮番号を入力する

- ネスティングさせたい短縮番号を押します。
- 短縮番号を2つ以上ネスティングさせる場合は、手順2、3を繰り返します。

4  を押す

5 「電話帳に登録する」(☎63ページ)の手順7～12の操作をする

### MEMO

- 短縮Aに短縮A (ネスティングさせたい短縮番号)を登録することはできません。
- 名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。
- DC600電話機の場合、未使用(外線)に短縮を登録します。(☎32ページ)

## かけかた

「短縮番号検索発信」(☎44ページ)、「電話帳カナ検索発信」(☎45ページ)、「電話帳グループ検索発信」(☎47ページ)、「電話帳一覧」(☎48ページ)のいずれかの「かけかた」で操作します。

# ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線発信時、ダイヤル操作で使用したい外線番号を指定して捕捉することができます。特に該当する外線のない電話機で〔外線〕を捕捉するときに便利です。

1



- WS605電話機の場合は、〔スピード〕を押します。
- DC600電話機の場合は、〔内線〕を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

2

＊（または ラ WXYZ 9 ハ MNQ 6 サ DEF 3）を押す

3

## 外線番号を押す

- ダイヤルボタンで使用したい外線番号を2桁で押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→〔外線〕ランプ：緑点灯

4

## 電話番号を押す

- デジタル回線、IP電話回線の場合は、電話番号のあとにを押すとすぐに電話がかかります。

### MEMO

- 手順2、3は、内線特番963XX（XX：01～30）として、電話機の〔オート〕に登録できます。（☎156、158ページ）
- 内線特番の一覧は☎257ページを参照してください。
- 登録後は、〔オート〕を押すだけで、外線を捕捉します。

# 自動応答できない外線着信に应答する（コールピックアップ）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

着信应答できない設定の電話機でも、コールピックアップの番号をダイヤルすると外線の着信に应答できます。

1

## 外線着信中

→〔外線〕ランプ：赤点滅（自テナントの場合）

2



- WS605電話機の場合は、〔スピード〕を押します。
- DC600電話機の場合は、〔内線〕を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

3

## 内線特番を押す

- ラ WXYZ 9 ハ MNQ 6 ハ MNQ 6：自テナント
- ラ WXYZ 9 ハ MNQ 6 0：他テナント

4

## 外線相手と通話する

→〔外線〕ランプ：緑点灯（自テナントの場合）

### MEMO

- 手順3は、内線特番96X（X：6（自テナント）、0（他テナント））として、電話機の〔オート〕に登録できます。（☎156、158ページ）
- 他テナント外線をコールピックアップ（内線特番）で应答した後、保留し、再应答する場合は、登録してある緑点滅中の〔パークX〕（X：パーク保留番号00～19）を押すと应答します。〔パークX〕（X：パーク保留番号00～19）は、特殊番号80～99として、電話機の〔オート〕に登録できます。（☎157、159ページ）

# ● 他の外線通話中の電話に割り込む（外線通話割込）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機に割り込むことができます。

## 1 他の電話機が外線通話中

→ 外線ランプ：赤点灯

## 2

- WS605電話機の場合は、スピーカーを押します。
- DC600電話機の場合は、内線を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

## 3 機能を押す

→ 機能ランプ：赤点灯

## 4 会議を押す

- 会議を押すと、外線入力待ちになります。
- 機能ランプ：赤点滅

## 5 外線を押す

- 割り込む外線を押すと、他の電話機の通話中外線に割り込みます。
- 外線ランプ：緑点灯
- 会議ランプ：赤点灯
- 機能ランプ：消灯

### MEMO

- 未使用外線に会議（特殊番号42）を登録します。（☎157ページ）
- 未使用外線に機能と会議を登録します。（CL625子機、WS605電話機）（☎31ページ）
- 未使用外線に機能(F)と会議を登録します。（DC600電話機）（☎32ページ）
- 該当する外線のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みが出来ます。
  - ① スピーカー → 機能 → 会議 → ✳ → ダイヤルボタンで割り込む外線を2桁で押す → 機能を押す。
  - ② スピーカー → 機能 → 会議 → ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（2桁の場合10～89、または3桁の場合100～899）のいずれかを押す → 機能を押す。
    - ・ DC600電話機の場合は、スピーカーの代わりに内線を押します。

# ● 他の外線通話に受話だけで割り込む（送話ミュート付き外線通話割込）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機にこちらの声が相手に聞こえないように割り込むことができます。

## 1 他の電話機が外線通話中

→ 外線ランプ：赤点灯

## 2

- WS605電話機の場合は、スピーカーを押します。
- DC600電話機の場合は、内線を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

## 3 ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 ハ MNO 6を押す

→ 機能ランプ：赤点滅

## 4 外線を押す

- 割り込む外線を押すと、他の電話機の通話中外線に割り込みます。
- 外線ランプ：緑点灯
- 会議ランプ：赤点灯
- 機能ランプ：消灯

### MEMO

- 手順3は、内線特番986として電話機のオートに登録できます。（☎156、158ページ）登録後は次のような操作になります。オート → 割り込みたい外線を押す。
- 未使用外線に機能を登録します。（CL625子機、WS605電話機）（☎31ページ）
- 未使用外線に機能(F)を登録します。（DC600電話機）（☎32ページ）
- 該当する外線のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みができます。
  - ① スピーカー → ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 ハ MNO 6 → ✳ → ダイヤルボタンで割り込む外線を2桁で押す → 機能を押す。
  - ② スピーカー → ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 ハ MNO 6 → ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（2桁の場合10～89、または3桁の場合100～899）のいずれかを押す → 機能を押す。
    - ・ DC600電話機の場合は、スピーカーの代わりに内線を押します。

# 短縮番号などを続けて発信する（チェーンダイヤル）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

ダイヤル、短縮ダイヤル操作を連続してダイヤルすることができます。

1

## ダイヤルボタンを押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからダイヤルボタンを押します。

2

## を押す

3

## 短縮番号を押す

- ダイヤルボタンで短縮番号0000～3999のいずれかを押します。

4

## （または ）を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、（または ）を押します。
- DC600電話機の場合は、（または ）を押します。
  - ランプ：緑点灯
  - ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL625親機のみ）

### MEMO

- 短縮ダイヤルを  に登録することで、 でもチェーンダイヤルを利用できます。
-  に短縮ダイヤル（ネスティングコードと短縮番号<4桁>）を登録します。（ 155、158ページ）
- 未使用  に  を登録します。（DC600電話機）（ 32ページ）

# 携帯電話対応ACR機能

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

- 本機能を利用するには、別途業者へのサービス申し込みと工事設定が必要です。

## かけかた

1

## 携帯電話の電話番号を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからダイヤルボタンを押します。

2

## を押す

- 「携帯ACR アクセス」表示します。
- CL625子機、WS605電話機の場合は、を押します。
- DC600電話機の場合は、を押します。
- 携帯電話へ発信します。
  - ランプ：緑点灯
  - ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL625親機のみ）

## NTT回線を利用して外線をかけるとき

NTT回線を利用する場合は、0000（NTT強制接続コード）を付けてダイヤルしてください。

1

## を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから     を押します。

2

## 携帯電話の電話番号を押す

3

## を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、を押します。
- DC600電話機の場合は、を押します。
- NTT回線を選択して、携帯電話へ発信します。
  - ランプ：緑点灯
  - ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL625親機のみ）

⑤ 応用編

外線の便利な機能

デジタル回線で通話中に他の着信があったとき、通話中の外線を保留して、着信に応答できます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えることもできます。

- 本機能を使用するには工事設定が必要です。
- TEL/FAX自動切替の「受話器を置くだけで転送する」機能との併用はできません。

## 1 外線通話中に着信

- 外線通話中に着信が入るとスピーカから外線着信音が鳴動します。
- CL625子機の場合、受話から外線着信音が聞こえます。  
→ 外線ランプ：緑点滅。

## 2 フラッシュを押す

- 入ってきた着信相手と通話できます。
- 話していた相手は保留されます。
- 外線着信音停止  
→ 外線ランプ：緑点灯

## 3 フラッシュを押す

- 再度、フラッシュを押すと、以前に話していた相手と通話ができます。
- 今話していた相手は保留されます。

### MEMO

- 保留されている相手が終話したあとにフラッシュを押すと、通話が切れます。

# ● 外線を再捕捉する（フラッシュ機能）

## キャッチホンサービスを受ける

アナログ回線でキャッチホンサービスを受けるときには、工事設定が必要です。

## 1 外線通話中

- 通話中にキャッチホン信号「ブルルブブッ…」が聞こえたら  
→ 外線ランプ：緑点灯。

## 2 フラッシュを押す

- DC600電話機の場合は、フックを押します。
- フラッシュを押すたびに、通話相手が切り替わります。

### MEMO

- パーク通話中は、キャッチホンサービスによる通話相手に切り替えることはできません。

#### キャッチホンサービスについて

- キャッチホンサービスとはお話中に他からかかってきたときに、通話相手を切り替えることができるNTTサービスです。
- 現在は、従来のキャッチホンサービスとコールウェイティングを総称してキャッチホンサービスと呼びます。
- キャッチホンサービスのご依頼は、最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
- デジタル回線でキャッチホンサービスを受けることはできません。
- キャッチホンサービスを受けていないときや、キャッチホン信号が聞こえないときにフラッシュを押すと通話が切れることがあります。

## 続けて電話をかける

## 1 外線通話中

- 受話器を上げたまま  
→ 外線ランプ：緑点灯

## 2 フラッシュを押す

- DC600電話機の場合は、フックを押します。
- フラッシュを押すと、通話中の外線を開放し、再度、捕捉し直します。

### MEMO

- アナログ回線でキャッチホンサービスをご利用の場合、「続けて電話をかける」操作はできません。

# ● 使用しない外線を話中にする（話中設定）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

使用しない外線を一時的に話中状態（発信、着信ともに不可）にできます。

●本機能は、PBX内線では利用できません。

## 設定／解除のしかた

# 1

機能 を押す

●CL625子機の場合は、 切 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  機能 を押します。

→  機能ランプ：赤点灯

# 2

ヤ 8 タ 4 を押す  
TUV GHI

→  機能ランプ：赤点滅

# 3

外線番号（または  外線）を押す

●ダイヤルボタンで設定したい外線番号を2桁で押します。

●複数の外線を設定する場合は、連続で押します。

→ 話中設定された  外線ランプ：赤点灯

# 4

機能 を押す

→  機能ランプ：消灯

●解除するときは、話中設定された外線に対して「設定のしかた」と同じ操作を行います。

→ 話中解除された  外線ランプ：消灯

## MEMO

●「設定／解除のしかた」の手順1～4は、機能特番84XX（XX：01～30）として、電話機の  オート に登録できます。（☎157、158ページ）

●未使用  外線 に  機能 を登録します。（CL625子機、WS605電話機）（☎31ページ）

●未使用  外線 に  機能(F) を登録します。（DC600電話機）（☎32ページ）

●話中設定された状態で停電から復旧すると、話中解除の状態に戻ります。

●アナログ回線の場合、話中状態で着信不可にするには付加サービス（ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイ）の契約が必要です。

# ● 外線通話中のメニュー操作（外線通話中メニュー）

多機能電話機、CL625親機

外線通話中に以下のメニュー操作を行うことができます。

No.	機能名	機能内容	参照ページ
1	電話帳	「電話帳」メニューを表示	—
1-1	一覧表示	電話帳の一覧表示、および詳細表示	☎48ページ
1-2	カナ検索	電話帳に登録された中からカナ（最大5文字）により検索を行い、50音順に表示	☎45ページ
1-3	グループ検索	電話帳に登録された中からグループ別に検索を行い、50音順に表示	☎47ページ
1-4	個別カナ検索	電話機ごと個別に登録された中からカナ（最大5文字）により検索を行い、50音順に表示	☎45ページ
2	通話メモ	通話メモの開始	☎120ページ
3	迷惑電話登録	通話中の相手の電話番号を迷惑電話に登録	☎79ページ
4	終了	外線通話中メニューから抜けます。	—

# 1

外線通話中

# 2

を押す

## MEMO

●外線通話中メニュー起動中、相手切断などが発生すると、外線通話中メニューから抜けます。

●外線通話中メニュー起動時でも、 保留 を押すと、外線保留となります。

●外線通話中メニュー起動時、 フラッシュ を押すと、外線通話中メニューから抜けます。

# ● 外線一覧を表示する (外線一覧)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線番号と外線の状態を一覧表示することができます。

- 外線の状態により、外線捕捉、外線着信応答、保留再応答、または使用者表示などがあります。特に「外線」に割付けられていない外線を利用するときに便利です。

## 確認のしかた

- 1 ●を押す
  - DC600電話機の場合は、「内線」を押してから「クリア保留」を押します。
- 2 を押して、「外線一覧」を選択し、●を押す
  - 外線一覧が表示されます。

### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番\*として電話機の「オート」に登録できます。(P157、159ページ)

## 電話を受ける

- 1 「確認のしかた」の手順1～2の操作をする
- 2 を押して、「着信中」の外線を選択し、●を押す
  - 外線着信音が止まります。
    - スピーカランプ：赤点灯 (多機能電話機、CL625親機)
    - ：緑点灯 (DC600電話機)
    - 外線ランプ：緑点灯 (選択した外線が「外線」に割付けられている場合)

## 電話をかける

- 1 「確認のしかた」の手順1～2の操作をする
- 2 を押して、「未使用」の外線を選択し、●を押す
  - 外線発信音「ツーン」が聞こえます。
    - スピーカランプ：赤点灯 (多機能電話機、CL625親機)
    - ：緑点灯 (DC600電話機)
    - 未使用「外線」ランプ：緑点灯 (選択した外線が「外線」に割付けられている場合)

## 保留再応答

- 1 「確認のしかた」の手順1～2の操作をする
- 2 を押して、「保留中」の外線を選択し、●を押す
  - 再通話ができます。
    - スピーカランプ：赤点灯 (多機能電話機、CL625親機)
    - ：緑点灯 (DC600電話機)
    - 外線ランプ：緑点灯 (選択した外線が「外線」に割付けられている場合)

- 3 電話番号を押す

## 使用者表示

- 1 「確認のしかた」(☞ 134ページ)の手順1～2の操作をする

- 2 を押して、[使用中]の外線を選択し、**短縮**を押す

- 使用している外線の種類と電話機の内線番号、または名前を表示します。

## FAX着信お知らせ

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

FAXに着信があったことを表示と着信ランプで知らせます。

- 本機能を使用するためには工事設定が必要です。

- 1 外線着信にFAXが応答

- ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：点滅

### 解除のしかた

- 1 を押す

- ランプ：消灯
- 着信ランプ：消灯

### MEMO

-  (単独電話ポート1の場合、特殊番号70、単独電話ポート2の場合、特殊番号71)は電話機の  に登録できます。(☞ 157ページ)
- 工事設定でFAX着信お知らせ表示電話機に指定すると「FAX着信あり」と表示します。(多機能電話機、CL625親機のみ)
- 着信ランプの色はグラスグリーン(お買い上げ時)です。

## 不在着信お知らせ

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

IP電話自動交換やISDNのサブアドレス通知により内線を個別に呼び出す外線着信があり、着信に応答しなかった場合、着信があったことを表示と着信ランプで知らせます。

- 本機能を使用するためには工事設定が必要です。

- 1 着信音が鳴る

- ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：点滅

- 2 着信音が止まる

- 「個別着信あり」が表示されます

### 解除のしかた

- 1 「着信履歴を確認する」(☞ 74ページ)の手順1～4の操作をする

- 着信ランプ：消灯

### MEMO

- 着信ランプの色は7色(お買い上げ時)です。
- 着信履歴のうち、テナント着信履歴では解除されません。

# ● 外線の状態を表示する (外線状態表示)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線の状態と使用者を表示することができます。  
外線の保留者を確認するときに便利です。

## 表示のしかた

1

を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。  
→  ランプ：赤点灯

2

を押す

→  ランプ：赤点滅

3

外線番号 (または ) を押す

- 外線の状態と使用者を表示します。
- 外線番号は、ダイヤルボタンで2桁押します。
- 続けて操作すると、他の外線も確認できます。

4

または  を押す

- 「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 何も操作しないで約10秒たつと、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# 内線の便利な機能

## ● 内線をワンタッチで呼び出す（内線ワンタッチ発信）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

内線番号（内線特番）や特殊番号を未使用の[オート]に登録しておく、ワンタッチで内線呼出などができます。TD615は18件（オート01～オート18）、TD625、CL625親機は30件（オート01～オート30）、LD600は10件（オート01～オート10）、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機は8件（オート01～オート30の中から外線ボタンにキー登録（☞31、32ページ）したもの）登録できます。

### 登録のしかた

オートダイヤルの「登録のしかた（内線番号／内線特番）」（☞156、158ページ）と同じ操作をする

### 消去のしかた

オートダイヤルの「消去のしかた」（☞158、159ページ）と同じ操作をする

#### MEMO

- 未使用[外線]に[オート]を登録します。（CL625子機、WS605電話機、DC600電話機）（☞31、32ページ）

### かけかた

1

[オート]を押す

- CL625子機の場合は、☞[切]を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから[オート]を押します。
  - [オート]ランプ：赤点灯
  - [スピーカ]ランプ：赤点灯（多機能電話機、CL625親機のみ）

## ● 内線一覧を表示する（内線一覧）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

内線番号と名前を一覧表示することができます。名前登録のしかたは☞139ページを参照ください。

- 不在設定（☞146ページ）や不在転送（☞148ページ）をセットすると、画面に不在の「？」が表示されます。
- 誤動作防止機能（☞39ページ）が働くと、画面に給電停止の「X」が表示されます。

### 確認のしかた

1

●を押す

- CL625子機の場合は、☞[切]を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから☞[確定]を押します。

2

☞[方向キー]を押して [内線一覧] を選択し、●を押す

3

☞[方向キー]を押して内線番号を選択し、

[短縮]を押す

- 選択した内線番号の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、内線番号、在席／不在、名前、テナント番号、不在理由（不在の場合のみ）を表示します。
- CL625子機、WS605電話機の場合、詳細画面にて☞[方向キー]を押すと、表示内容が切り替わります。
- 再度、[短縮]を押すと内線一覧表示に戻ります。

#### MEMO

- 手順1、2は、メニュー特番3として[オート]に登録できます。（☞157ページ）
- 手順3で不在の場合の表示例を示します。（多機能電話機、CL625親機の場合）

内線 10：不在  
東京太郎  
テナント1  
会議中\*1

[更新]

※1：「会議中」の不在理由設定は、☞145ページをご覧ください。

- 付属のステッカ「内線一覧」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL625親機のみ）
- 手順3のあと、☞[0]を押すと、最新詳細画面が表示されます。

## 呼び出しする

1 「確認のしかた」(☞137ページ)の手順1、2の操作をする

2 を押して内線番号を選択し、  
を押す

3 を押して「呼び出し」を選択し、  
を押す

- 選択した内線番号を呼び出します。
- 自己呼出の場合は、呼び出しをしないで「Error」を表示します。  
→ ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

### MEMO

- 手順1は、メニュー特番3として $\square$ オートに登録できます。(☞157ページ)

## ● 内線一覧を表示する (内線一覧)

DC600電話機

### 確認のしかた

1   を押す

2 を押して「内線一覧」を選択し、  
を押す

- 「?」表示は不在、「:」表示は在席、「×」表示は給電停止。

3 を押して内線番号を選択し、  
 を押す

- 選択した内線番号の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、内線番号、在席/不在、名前、テナント番号、不在理由(不在の場合のみ)を表示します。
- 詳細画面にて $\odot$ を押すと、表示内容が切り替わります。
- 再度、を押すと一覧表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1、2は、メニュー特番3として $\square$ オートに登録できます。(☞159ページ)

## 呼び出しする

1 「確認のしかた」の手順1、2の操作をする

2 を押して内線番号を選択し、  
を押す

3 を押して「呼び出し」を選択し、  
を押す

- 選択した内線番号を呼び出します。
- 自己呼出の場合は、呼び出しをしないで「Error」を表示します。

# ● 内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

あらかじめ内線／ドアホン番号に名前を登録（最大10文字）しておく、内線の発着信時、他の人が使用している（）を押したときに登録されている名前が表示されます。  
電話機未使用時に名前を表示します。

## 登録のしかた（内線の場合）

- を押す  
●CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。
- を押して「内線一覧」を選択し、●を押す  
●「？」表示は不在、「：」表示は在席、「×」表示は給電停止。
- を押して内線番号を選択し、●を押す

- を押して「名前登録」を選択し、●を押す

- 名前を入力し、●を押す  
●名前は最大10桁まで入力できます。  
●名前の入力方法は、268ページをご覧ください。  
●選択された内線番号の名前が登録され、手順3に戻ります。

### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番3として（）に登録できます。（157ページ）

## 消去のしかた（内線の場合）

- 「登録のしかた」の手順1～3の操作をする
- を押して「名前消去」を選択し、●を押す

- を押して「はい」を選択し、●を押す  
●選択された内線番号の名前が消去され、「登録のしかた」の手順3に戻ります。

# ● 内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

DC600電話機

DC600電話機の場合、消去のみできます。

## 消去のしかた（内線の場合）

- を押す
- を押して「内線一覧」を選択し、●を押す  
●「？」表示は不在、「：」表示は在席、「×」表示は給電停止。
- を押して内線番号を選択し、●を押す

- を押して「名前消去」を選択し、●を押す

- 1 （消去）を押す  
●選択された内線番号の名前が消去され、手順3に戻ります。

### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番3として（）に登録できます。（159ページ）

# ● 内線／ドアホンに名前を登録する（内線／ドアホン名前登録）

多機能電話機、CL625親機

## 登録のしかた（ドアホンの場合）

- 1 ●を押す
- 2 ◀を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ◀を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4 ◀を押して「ドアホン／外部センサ」を選択し、●を押す

- 5 ◀を押してドアホンNo.を選択し、●を押す

- 6 ◀を押して「名前登録」を選択し、●を押す

- 7 名前を入力し、●を押す

- 名前は最大10桁まで入力できます。
- 名前の入力方法は、☎268ページをご覧ください。
- 選択された内線番号の名前が登録され、手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番917、手順1～5はメニュー特番917X、手順1～6はメニュー特番917X1として電話機の☎/オートに登録できます。（☎157ページ）（X：①ドアホン1、②ドアホン2、③ドアホン3）

## 消去のしかた（ドアホンの場合）

- 1 「登録のしかた」の手順1～5の操作をする
- 2 ◀を押して「名前消去」を選択し、●を押す

- 3 ◀を押して「はい」を選択し、●を押す

- 選択された内線番号の名前が消去され、「登録のしかた」の手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番917X2として電話機の☎/オートに登録できます。（☎157ページ）（X：①ドアホン1、②ドアホン2、③ドアホン3）

# ● 続けて別の内線を呼び出す（リセットコール）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

内線呼出ししている相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。（例）内線10の電話機から内線11を呼び出したが、不応答のため、続けて内線12を呼び出す

## 【内線10】

- 1  内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
● WS605電話機の場合は、☎(ビカ)を押し、DC600電話機の場合は、内線を押しします。
- 2 [ア1] [ア1]を押す  
● 内線リングバックトーン「ブーッ」（音声呼出の場合）  
● 内線リングバックトーン「ブルル、ブルル、ブルル・・・」（信号呼出の場合）

## 【内線11不応答】

- 3 [ア1] [カABC2]を押す  
● 続けて[ア1] [カABC2]を押します。  
● 内線リングバックトーン「ブーッ」（音声呼出の場合）  
● 内線リングバックトーン「ブルル、ブルル、ブルル・・・」（信号呼出の場合）

## 【内線12応答】

- 4 内線通話

## ● 他の内線呼出に回答する（内線代理応答）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答できます。

1

他の内線が呼び出されている

2



- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 (呼びか) を押し、DC600電話機の場合は、 (内線) を押します。

### MEMO

- 手順3は、内線特番961として電話機の (オート) に登録できます。(☎156、158ページ)
- 付属のステッカ「内線代理応答」シールを貼ると便利です。(多機能電話機、CL625親機のみ)
- 自テナントの内線、およびサブアドレス着信のときに内線代理応答できます。

3

ラ9 WXYZ ハ6 MNO ア1 を押す

4

内線通話

## ● 使用中の内線を呼び出したとき他の内線を呼び出す（スライド着信）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

工事設定により代表番号を呼び出したとき、内線の代表番号が話中の場合は、工事設定で指定した電話機を呼び出します。

(例) 内線14が通話中などで呼び出せない場合、内線15を呼び出す

1



- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 (呼びか) を押し、DC600電話機の場合は、 (内線) を押します。

2

内線代表番号 ア1 タ4 GHI を押す

- 内線リングバックトーン「ブーッ」(音声呼出の場合)
- 内線リングバックトーン「ブルル、ブルル、ブルル・・・」(信号呼出の場合)

### 【内線15応答】

3

内線通話

- 相手が出たら通話します。

### MEMO

- 内線代表番号は、電話機の (オート) に登録できます。(☎156、158ページ)

# すべての内線呼び出す（一斉呼出／電話機グループ呼出）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

電話機から未使用の電話機を一斉またはグループ呼出します。

- グループ呼出を行う場合、電話機および構内放送ごとに内線グループA～Iのいずれかに工事設定します。構内放送を呼び出す場合は、ドア・ページングユニットが必要です。
- 単独電話機は、着信鳴動しません。

## 呼び出す側

# 1

 **スピーカ** を押す

- WS605電話機の場合は、 **スピーカ** を押し、DC600電話機の場合は、**内線** を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

# 2

**内線特番（3または4桁）を押す**

- 9 7 0** : 一斉呼出
- 9 7 1 1** : 内線グループA呼出
- 9 7 1 2** : 内線グループB呼出
- 9 7 1 3** : 内線グループC呼出
- 9 7 1 4** : 内線グループD呼出
- 9 7 1 5** : 内線グループE呼出
- 9 7 1 6** : 内線グループF呼出
- 9 7 1 7** : 内線グループG呼出
- 9 7 1 8** : 内線グループH呼出
- 9 7 1 9** : 内線グループI呼出
- 9 7 7** : 未使用の全電話機と構内放送を同時に行う

# 3

**呼びかける**

- 多機能電話機、CL625親機の場合は、 呼びかけます。  
→  ランプ：消灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

## MEMO

- 呼び出す側の操作および、受ける側の操作は、内線特番970、9711～9719、977、979として電話機の  **オート** に登録できます。  
(☎156、158ページ)
- 付属のステッカ「一斉呼出」、「呼出応答」シールを貼ると便利です。(DC600電話機は除く)
- 工事設定により、グループ呼出をしたときに、各グループごとに構内放送から音声を出すように変更することもできます。
- 工事設定により、「音声呼」を「信号呼」に変更できます。
- 個別着信中の一斉着信についての表示は、個別着信のままとなります。

## 受ける側

# 1

**呼出音が鳴る**

- 呼び出し音「ブー」が鳴り相手の声が聞こえます。  
→ 着信ランプ：点滅
- DC600電話機の場合、信号音呼びとなります。

# 2



- WS605電話機の場合は、 **スピーカ** を押し、DC600電話機の場合は、**内線** を押します。
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

# 3

 **ラ 9**  **マ 7**  **ラ 9** を押す

→ 着信ランプ：消灯

# 4

**内線通話**

# ● 内線通話を保留する(内線独占保留)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

## 内線独占保留のしかた

1

内線通話中

2

**保留** を押す

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。  
→ **会議** ランプ：赤点滅

【内線独占保留中】

3



- WS605電話機の場合は、**切** または **切** を押します。
- “解除する場合は受話器を上げ内線捕捉中メニューから解除してください”を表示します。

### MEMO

- 内線独占保留操作後に受話器をおいても内線独占保留は切れません。
- 内線通話を保留した電話機のみ、再通話の操作ができます。
- 「再応答のしかた」の手順2～4は **会議** (特殊番号42) として、電話機の **オート** に登録できます。(☎157ページ)
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用 **外線** に **会議** を登録します。(☎31ページ)
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

## 再応答のしかた

1



- 内線発信音「ブップッブッ・・・」が聞こえます。  
→ **会議** ランプ：赤点滅
- WS605電話機の場合は、**スピーカ** を押します。

2

**●** を押す

- 「内線捕捉中メニュー」を表示します。

3



を押して **応答関係** を選択し、

**●** を押す

- 「応答関係」メニューを表示します。

4



を押して **内線保留再応答** を  
選択し、**●** を押す

- 再度、内線通話ができます。  
→ **会議** ランプ：消灯

# ● 内線通話を保留する(内線独占保留)

DC600電話機

## 内線独占保留のしかた

1

内線通話中

→ **内線** ランプ：緑点灯

2

**クリア**  
**保留** を押す

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。  
→ **会議** ランプ：赤点滅

3

**電源** を押す

→ **内線** ランプ：消灯

## 再応答のしかた

1

**内線** を押す

- 内線発信音「ブップッブッ・・・」が聞こえます。  
→ **内線** ランプ：緑点灯  
→ **会議** ランプ：赤点滅

2

**会議** を押す

- 再度、内線通話ができます。  
→ **会議** ランプ：消灯

### MEMO

- 内線独占保留操作後に **電源** を押しても内線独占保留は切れません。
- 内線通話を保留した電話機のみ、再通話の操作ができます。
- 未使用 **外線** に **会議** を登録します。(☎32ページ)

# ● 内線通話を保留して、他の子機で再応答する（内線システム保留）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

## 内線システム保留のしかた

1 内線通話中

2  を押す

- 内線通話相手へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。
- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。

【内線システム保留中】

3 

- WS605電話機の場合は、 または  を押し、DC600電話機の場合は、 を押します。

## 再応答のしかた

1 

- WS605電話機の場合は、 を押し、DC600電話機の場合は、 を押します。
- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。

2  を押す

- 再度、内線通話ができます。

### MEMO

- 内線システム保留と再応答の手順2は機能特番3として電話機の  に登録できます。（☎157、158ページ）
- CL625子機、WS605電話機の場合は、未使用  に  を登録します。（☎31ページ）
- DC600電話機の場合は、未使用  に  を登録します。（☎32ページ）

# ● 内線通話を保留して、他の子機で再応答する（内線パーク保留）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

## 内線パーク保留のしかた

1 内線通話中

- DC600電話機の場合は  
→  ランプ：緑点灯

2  を押す

- 内線通話相手に保留音を流します。
- DC600電話機の場合は  
→  ランプ：緑点灯
- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。

3  を押す

- 保留している内線がパークに転送されます。
- パーク転送音「ピピピピッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：緑点滅
- DC600電話機の場合は  
→  ランプ：緑点滅
-  の代わりに「   → 転送するパーク番号   ~   のいずれか」を押します。

4 

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- CL625子機、WS605電話機の場合は  または  を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→  ランプ：赤点滅  
→  ランプ：消灯

## 再応答のしかた

1 

- 内線発信音「ブップッッ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 を押します。  
→  ランプ：赤点滅
- DC600電話機の場合は  
→  ランプ：赤点滅

2  を押す

- 再度、内線通話ができます。  
→  ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は  
→  ランプ：消灯  
→  ランプ：緑点灯
-  の代わりに「   → 保留中のパーク番号   ~   のいずれか」を押します。

### MEMO

- 内線パーク保留を使用する場合は必ず  （特殊番号80～99）を電話機の  に登録してください。（☎157、159ページ）

# ● 不在理由を登録する（不在理由表示機能）

多機能電話機、CL625親機

内線電話機に最大10種類の不在理由を設定できます。

## 登録／消去のしかた

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [不在関係] を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して [不在理由設定] を選択し、●を押す

6 ◀▶を押して不在理由（0～9）を選択し、●を押す

●不在理由の初期値は、以下のとおりです。

- |        |          |       |       |
|--------|----------|-------|-------|
| 0 外出中  | 1 会議中    | 2 来客中 | 3 食事中 |
| 4 出張中  | 5 休暇中    | 6 帰宅  | 7 直帰  |
| 8 直行直帰 | 9 (登録なし) |       |       |

7 ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す

8 不在理由を入力し、●を押す

- 不在理由は最大10桁まで入力できます。
- 不在理由の入力方法は、☎268ページをご覧ください。
- 選択された不在理由が登録され、手順6に戻ります。

●消去するときは、手順7で [消去] を選択し、●を押す。次の操作で、[はい] を選択し、●を押す

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番919、手順1～5はメニュー特番9191、手順1～6はメニュー特番9191X（X：0～9）として、電話機の☎/オートに登録できます。（☎157ページ）

# ● 内線を受けられないようにする（不在設定）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

席を離れるときなどに内線呼出音を停止するようにセットします。  
また、不在設定電話機を内線で呼び出した場合、呼び出した電話機に不在理由を表示させることができます。

## 設定のしかた

- を押す  
●CL625子機の場合は、 切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定を押します。
- を押して「その他」を選択し、●を押す
- を押して「電話機」を選択し、●を押す
- を押して「不在設定」を選択し、●を押す  
●お買い上げ時は「設定なし」です。

- を押して「不在モード」を選択し、●を押す
- を押して不在理由（0～9）を選択し、●を押す  
●不在理由がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ 機能ランプ：赤点滅  
●不在理由の初期値は、以下のとおりです。  

0	外出中	1	会議中	2	来客中	3	食事中
4	出張中	5	休暇中	6	帰宅	7	直帰
8	直行直帰	9	(登録なし)				

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番922、手順1～5はメニュー特番9221、手順1～6はメニュー特番9221X（※1）（X：0～9）として、電話機の オート に登録できます。（☎157ページ）  
※1：登録後は オート を押すだけで不在設定のセット／解除ができます。
- 未使用 外線 に 機能 を登録します。（CL625子機、WS605電話機）（☎31ページ）
- 付属のステッカ「不在設定」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL625親機のみ）

## 解除のしかた

- 不在設定中  
→ 機能ランプ：赤点滅
- を押す  
●CL625子機の場合は、 切を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから 確定を押します。
- を押して「その他」を選択し、●を押す
- を押して「電話機」を選択し、●を押す

- を押して「不在設定」を選択し、●を押す
- を押して「解除（設定なし）」を選択し、●を押す  
●不在設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ 機能ランプ：消灯

### MEMO

- 手順2～5はメニュー特番922、手順2～6はメニュー特番9220として、電話機の オート に登録できます。（☎157ページ）

## 設定のしかた

- 1   を押す
- 2  を押して [その他] を選択し、  
 を押す
- 3  を押して [電話機] を選択し、  
 を押す
- 4  を押して [不在設定] を選択し、  
 を押す  
● お買い上げ時は「設定なし」です。

- 5  を押して [不在モード] を選択し、  
 を押す
- 6  を押して不在理由 (0~9) を  
選択し、 を押す  
● 不在理由がセットされ、「カレンダー・時計」表示  
に戻ります。  
→  ランプ：赤点滅

### MEMO

- 未使用  に  を登録します。(☎32ページ)

## 解除のしかた

- 1 不在設定中
- 2   を押す  
→  ランプ：赤点滅
- 3  を押して [その他] を選択し、  
 を押す
- 4  を押して [電話機] を選択し、  
 を押す

- 5  を押して [不在設定] を選択し、  
 を押す
- 6  を押して [解除 (設定なし)]  
を選択し、 を押す  
● 不在理由が解除され、「カレンダー・時計」表示に  
戻ります。  
→  ランプ：消灯

# ● 不在時の内線呼出を他の子機に転送する（不在転送）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

不在時の内線呼出を他の電話機へ転送するようにセットします。

## 設定のしかた

- を押す  
●CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- を押して「その他」を選択し、●を押す
- を押して「電話機」を選択し、●を押す
- を押して「不在設定」を選択し、●を押す  
●お買い上げ時は「設定なし」です。
- を押して「不在転送」を選択し、●を押す

- を押して転送先（内線番号）を選択し、●を押す

●転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

→ランプ：赤点滅

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番922、手順1～5はメニュー特番9222、手順1～6はメニュー特番9222XXまたは9222YYY（XX：10～89（内線2桁モード時）、YY Y：100～899（内線3桁モード時））として、電話機のに登録できます。（ページ）
- 未使用（外線）にを登録します。（ページ）（CL625子機、WS605電話機）

## 解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」（ページ）と同じ操作をする

# ● 不在時の内線呼出を他の子機に転送する（不在転送）

DC600電話機

## 設定のしかた

- を押す
- を押して「その他」を選択し、●を押す
- を押して「電話機」を選択し、●を押す
- を押して「不在設定」を選択し、●を押す  
●お買い上げ時は「設定なし」です。

- を押して「不在転送」を選択し、●を押す

- を押して転送先（内線番号）を選択し、●を押す

●転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

→ランプ：赤点滅

### MEMO

- 未使用（外線）にを登録します。（ページ）

## 解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」（ページ）と同じ操作をする

# ● 通話中に他の電話機へ転送する（話中／不応答転送）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

話中／不応答転送にセットすることで、内線呼出に対して、話中時や一定時間不応答の場合あらかじめ指定された他の内線へ転送することができます。

## 設定のしかた

- を押す
  - CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。
- ◀を押して「その他」を選択し、●を押す
- ◀を押して「電話機」を選択し、●を押す
- ◀を押して「不在設定」を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「設定なし」です。
- ◀を押して「話中／不応答転送」を選択し、●を押す

- 6 ▶を押して転送先（内線番号）を選択し、●を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ ランプ：赤点滅

## MEMO

- 手順1～4はメニュー特番922、手順1～5はメニュー特番9223、手順1～6はメニュー特番9223XXまたは9223YYY（XX：10～89（内線2桁モード時）、YY Y：100～899（内線3桁モード時））として、電話機の  に登録できます。（ 157ページ）
- 未使用  に  を登録します。（ 31ページ）（CL625子機、WS605電話機）
- 付属のステッカ「話中設定」シールを貼ると便利です。（多機能電話機、CL625親機のみ）
- 不応答の場合は、転送先へ転送する時間を工事設定により変更することができます。（10秒～55秒まで5秒間隔で設定）

## 解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」（ 146ページ）と同じ操作をする

# ● 通話中に他の電話機へ転送する（話中／不応答転送）

DC600電話機

## 設定のしかた

- 1 クリア  
  を押す
- 2 ▶を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して「電話機」を選択し、●を押す
- 4 ▶を押して「不在設定」を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「設定なし」です。

- 5 ▶を押して「話中／不応答転送」を選択し、●を押す

- 6 ▶を押して転送先（内線番号）を選択し、●を押す

- 転送先がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→ ランプ：赤点滅

## MEMO

- 未使用  に  を登録します。（ 32ページ）

## 解除のしかた

不在設定の「解除のしかた」（ 147ページ）と同じ操作をする

# ● 全電話機の不在設定を一括解除する（不在設定一括解除）

多機能電話機、CL625親機

全ての電話機の不在設定を一括解除します。

## 解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して「不在関係」を選択し、●を押す

- 5 ◀▶を押して「全電話機の不在設定解除」を選択し、●を押す

- 6 ◀▶を押して「はい」を選択し、●を押す
- 全ての電話機の不在設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～6はメニュー特番9192として【/オート】に登録できます。（☎157ページ）

# ● 通話中の電話機を呼び出す（話中呼出）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

話中の相手に呼び出し中であることを知らせます。

- 単独電話機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機を話中呼出することはできません。

## 通知をする

- 1  ●WS605電話機の場合は、【スピーカ】を押し、DC600電話機の場合は、【内線】を押します。  
●内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- 2 内線番号を押す  
●相手が通話中のときは話中音「プープープ・・・」が鳴ります。
- 3 【\*】を押す  
●相手のスピーカに話中呼出音「プー」音がでます。

## 応答をする

- 1 内線、外線通話中  
●内線、外線通話中に話中呼出音「プー」がでます。  
→着信ランプ：点滅
- 2 【保留】を押す  
●それまでの通話を保留し、待機者と通話します。  
→着信ランプ：消灯  
→【会議】ランプ：赤点滅（内線通話の場合）  
→【外線】ランプ：緑点滅（外線通話の場合）

## ● 話中のときはそのまま待って相手呼び出す (コールウェイティング)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

内線呼び出して相手が話中のとき、そのまま待っていれば、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

# 1



- WS605電話機の場合は、 (スピーカー) を押し、DC600電話機の場合は、 (内線) を押します。
- 内線発信音「ブブブブッ・・・」が聞こえます。

# 2

### 内線番号を押す

- 相手が通話中のときは話中音「ブーブー・・・」が鳴ります。

# 3

### 相手話中 (そのまま待つ)

- 相手の通話が終わるまでそのまま待ちます。
- 受話器を置くと、コールウェイティングが解除されます。

# 4

### 内線通話

- 相手の通話が終わりしだい呼び出します。
- 相手が出たら通話します。

## ● 受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける (オフック内線自動発信)

多機能電話機、CL625子機、WS605電話機

工事設定により、受話器を上げるだけで設定されている内線電話機、または内線グループ (グループホットライン) を呼び出すことができます。

# 1



- 呼出音「ブー」が聞こえます。

# 2

### 内線通話

- 相手が出たら通話します。

### MEMO

- 工事設定により内線呼出は、音声の他に信号でも呼び出せます。(お買い上げ時は「音声」です)
- (スピーカー) を押して内線発信をする以外は、操作できません。
- 設定した電話機はキーロック状態となります。

## ● 内線オートリピートダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

相手呼び出したあと、「Busy」(CL625子機、WS605電話機は「BUSY」) と表示すると、内線オートリピートダイヤルができます。

- コールウェイティングで相手呼び出したときは、内線オートリピートダイヤルはできません。

# 1

### 相手が話中

→  (スピーカー) ランプ：赤点灯

# 2

### (リダイヤル) (または ) を押す

- 最後にかけた内線番号へ自動発信します。
- (機能) ランプ：赤点滅

# 3

### 自動的にオートリピートを行う

- 内線呼び出ししたら、オートリピートダイヤルを自動的に解除します。
- 途中でオートリピートダイヤルを解除するときは  (スピーカー) を押します。

### MEMO

- 工事設定によりオートリピートダイヤルの待ち時間、回数を変更できます。

待ち時間 (秒)	回数
3	15
10	15
30	15
60	100

← お買い上げ時

- (リダイヤル) (特殊番号43) は、電話機の  (オート) に登録できます。(☎157ページ)

# 内線捕捉中のメニュー操作（内線捕捉中メニュー）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

内線捕捉中に以下のメニュー操作を行うことができます。

No.	機能名	機能内容	参照ページ
1	内線一覧	内線電話機の一覧、および詳細の表示	☞137ページ
1-1	呼び出し	特定の内線電話機を呼び出し、自動転送、強制転送	☞138ページ
2	応答関係	「応答関係」メニューを表示	—
2-1	内線代理応答	呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答	☞141ページ
2-2	自己保留外線再応答	自己保留している外線通話に再応答	—
2-3	内線保留再応答	内線通話を保留し、再度、自内線で保留を解除し再応答（会議通話の保留も同様）	☞143ページ
2-4	呼出応答	電話機からの未使用の電話機への一斉またはグループ呼出に応答	☞142ページ
2-5	構内放送1呼出応答	構内放送1呼び出しに応答	☞203ページ
2-6	構内放送2呼出応答	構内放送2呼び出しに応答	☞203ページ
2-7	コールピックアップ（他テナント）	着信応答できない設定でも、着信の外線に応答できる	☞129ページ
3	呼出関係	「呼出関係」メニューを表示	—
3-1	一斉呼出	「一斉呼出」メニューを表示	—
3-1-1	全電話機	電話機から未使用の電話機への一斉呼出	☞142ページ
3-1-2	全電話機と構内放送	電話機から未使用の電話機と構内放送への一斉呼出	☞142ページ
3-2	内線グループ呼出	内線グループを選択	☞142ページ
3-2-1	内線グループX呼出（X：A～I）	電話機から未使用の電話機へのグループ呼出	☞142ページ
3-3	構内放送呼出	「構内放送呼出」メニューを表示	—
3-3-1	構内放送1	電話機から構内放送1を行う	☞203ページ
3-3-2	構内放送2	電話機から構内放送2を行う	☞203ページ
3-3-3	構内放送一斉	電話機から構内放送一斉を行う	☞203ページ
4	パーク関係	「パーク関係」メニューを表示	—
4-1	パーク保留	外線通話を一時保留してからパーク転送	☞62ページ
4-2	パーク保留応答	パーク保留に再応答	☞62ページ
5	ドアホンモニタ	「ドアホンモニタ」メニューを表示	—
5-1	ドアホンモニタX（X：1～3）	ドアホンの周囲をモニタする	☞188ページ
6	指定外線捕捉	外線発信時、使用したい外線番号を指定して捕捉する	☞129ページ

1



- 内線発信音「ブツブツ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 (呼び出し)を押します。

2

●を押す

- 「内線捕捉中メニュー」を表示します。

# 会議通話

## ● 外線・内線で会議をする(会議通話)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

「外線1人と内線2～3人」または「外線2人と内線1～2人」の会議通話ができます。会議通話は最大4組(内線会議通話と外線会議通話)まで同時に行うことができます。

- 他テナントの内線を含めた外線会議通話はできません。

### 外線会議通話(外線1人、内線2人)

#### 1 外線通話中(例:外線1)

→ 外線 1ランプ: 緑点灯

#### 2 保留 を押す

- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
→ 外線 1ランプ: 緑点滅

#### 3 内線番号を押す

- 会議に加えたい内線番号を押します。

#### 4 内線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

#### 5 会議 を押す

- 三者通話(外線1人、内線2人)となります。  
→ 外線 1ランプ: 緑点灯  
→ 会議 ランプ: 赤点灯

### 外線会議通話(外線1人、内線3人)

外線会議中(外線1人、内線2人)に、もう1人の内線を参加させたい場合、「外線会議通話(外線1人、内線2人)」と同じ操作をする

### 外線会議通話(外線2人、内線1人)

#### 1 外線通話中(例:外線1)

→ 外線 1ランプ: 緑点灯

#### 2 保留 を押す

- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
→ 外線 1ランプ: 緑点滅

#### 3 外線 (例:外線2) を押す

- 空いている外線を押します。  
→ 外線 2ランプ: 緑点灯

#### 4 電話番号を押す

- 会議に加えたい外線相手の電話番号を押します。

#### 5 外線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

#### 6 会議 を押す

- 三者通話(外線2人、内線1人)となります。  
→ 外線 1ランプ: 緑点灯  
→ 外線 2ランプ: 緑点灯  
→ 会議 ランプ: 赤点灯

### 外線会議通話(外線2人、内線2人)

外線会議中(外線2人、内線1人)に、もう1人の内線を参加させたい場合、「外線会議通話(外線1人、内線2人)」と同じ操作をする

#### MEMO

- 外線どうしの通話音量は局線の状態により小さくなる場合があります。
- 会議 (特殊番号42) は、電話機のオートに登録できます。(P157ページ)
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。(DC600電話機は除く)
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用外線に会議を登録します。(P31ページ)
- DC600電話機の場合、未使用外線に会議を登録します。(P32ページ)

# ● 内線で会議をする（内線会議通話）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

内線で会議通話ができます。会議通話は最大4組（内線会議通話と外線会議通話）まで同時に行うことができます。

## 内線会議通話（内線3人）

1

内線通話中

2

**保留** を押す

- 内線発信音「ブツブツッ・・・」が聞こえます。  
→ **会議** 1ランプ：赤点滅

3

内線番号を押す

- 会議に加えたい内線番号を押します。

4

内線通話

- 相手応答後、会議することを伝えます。

5

**会議** を押す

- 三者通話（内線3人）となります。  
→ **会議** ランプ：赤点灯

## 内線会議通話（内線4人）

内線会議中（内線3人）に、もう1人の内線を参加させたい場合、上記と同じ操作をする

### MEMO

- **会議**（特殊番号42）は、電話機の **オート** に登録できます。（☎157ページ）
- 付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。（DC600電話機は除く）
- CL625子機、WS605電話機の場合、未使用 **外線** に **会議** を登録します。（☎31ページ）
- DC600電話機の場合、未使用 **外線** に **会議** を登録します。（☎32ページ）

# オートダイヤルにいろいろな機能を登録する(オートダイヤル)

[**オート**]にいろいろな機能を登録して、ワンタッチで利用できます。

- ご利用されていない[**外線**]を[**オート**]として使用することができます。
- 登録できる機能は次のとおりです。
  1. 電話番号
  2. 内線番号/内線特番 (一覧☞257ページ)
  3. 機能特番 (一覧☞258ページ)
  4. メニュー特番 (一覧☞259ページ)
  5. 特殊番号 (一覧☞264ページ)
- 内線番号/内線特番、機能特番、メニュー特番、特殊番号は、「番号入力による方法」と「名前選択による方法」があります。(DC600電話機は、「番号入力による方法」のみです)

## オートダイヤルにいろいろな機能を登録する(オートダイヤル)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

### 登録のしかた(電話番号)

- 1** ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。
- 2** を押して[オートダイヤル]を選択し、●を押す
- 3** を押してオートNo.を選択し、●を押す
- 4** を押して[登録]を選択し、●を押す
- 5** を押して[登録種別]を選択し、●を押す
- 6** を押して[電話番号]を選択し、●を押す
  - 登録種別が仮登録されます。
  - 登録できる登録種別は次のとおりです。

①電話番号	②内線番号/内線特番	
③機能特番	④メニュー特番	⑤特殊番号
- 7** を押して[番号]を選択し、●を押す
- 8** 番号を入力し、●を押す
  - 番号が仮登録されます。
  - 番号は最大24桁まで入力できます。
  - 番号の入力方法は、☞269ページをご覧ください。
- 9** を押して[名前]を選択し、●を押す
- 10** 名前を入力し、●を押す
  - 名前が仮登録されます。
  - 名前は最大16桁まで入力できます。
  - 名前の入力方法は、☞268ページをご覧ください。
- 11** を押して[登録]を選択し、●を押す
  - 選択されたオートNo.を本登録し、手順3に戻ります。

#### MEMO

- 手順1～2は、メニュー特番6として電話機の[**オート**]に登録できます。(☞157ページ)

## 登録のしかた(内線番号／内線特番)

### ●番号入力による方法

1

を押す

- CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。

2

を押して「オートダイヤル」を選択し、を押す

3

を押してオートNo.を選択し、を押す

4

を押して「登録」を選択し、を押す

5

を押して「登録種別」を選択し、を押す

6

を押して「内線番号／内線特番」を選択し、を押す

- 登録種別が仮登録されます。

### ●名前選択による方法

1

「番号入力による方法」の手順1～7と同じ操作をする

2

機能を押す

#### MEMO

- 未使用(外線)に機能<sup>⑤</sup>を登録します。(CL625子機、WS605電話機) (☎31ページ)

7

を押して「番号」を選択し、を押す

8

番号を入力し、を押す

- 番号が仮登録されます。
- 番号は最大24桁まで入力できます。
- 番号の入力方法は、☎269ページをご覧ください。

9

を押して「名前」を選択し、を押す

10

名前を入力し、を押す

- 名前が仮登録されます。
- 名前は最大16桁まで入力できます。
- 名前の入力方法は、☎268ページをご覧ください。

11

を押す

- 選択されたオートNo.を本登録し、手順3に戻ります。

3

を押して「内線番号」を選択し、を押す

- オートダイヤル登録補助機能(内線番号／内線特番)の[レベル1]の名称が表示されます。[レベル1]でを押して内線番号を選択し、を押すと、[レベル2]の名称が表示されます。(☎265ページ)
- [レベル2]が表示されたあと、を押すと、番号／名前が仮登録されます。

4

を押す

- 選択されたオートNo.を本登録し、「番号入力による方法」の手順3に戻ります。

## 登録のしかた（機能特番）

- 番号入力による方法
- 名前選択による方法

登録種別の選択にて、[機能特番] を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。（☞156ページ）

- 番号は最大16桁まで入力できます。

### MEMO

- 「番号入力による方法」手順8で機能特番881XY、882XY、883XY、884XY、885XY、886Xのいずれかを入力すると、に2つの機能（「機能1」と「機能2」）が同時に登録できます。（☞258ページ）

（例）機能特番881XY [X：1～4（外線転送1～4）、Y：1～3（留守録モード1～3）]

機能1	機能2	備考
外線自動転送モード（外線転送1～4）	留守番モード（留守録1～3）	留守番指定電話機のみ

## 登録のしかた（メニュー特番）

- 番号入力による方法
- 名前選択による方法

登録種別の選択にて、[メニュー特番] を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。（☞156ページ）

- 番号は最大16桁まで入力できます。

## 登録のしかた（特殊番号）

- 番号入力による方法
- 名前選択による方法

登録種別の選択にて、[特殊番号] を選択する以外は「登録のしかた（内線番号／内線特番）」の手順と同様です。（☞156ページ）

- 番号は最大2桁まで入力できます。

## 確認のしかた

- 1 ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して「オートダイヤル」を選択し、●を押す
- 3 を押してオートNo.を選択し、を押す
  - を押すと「詳細画面」を表示します。
  - 選択されたオートNo.の登録内容を順に「オートNo.」、「登録種別」、「番号」、「名前」を表示します。
  - 再度、を押すと、「一覧表示」に戻ります。
  - CL625子機、WS605電話機の場合は、番号が表示桁数以上の場合、を押すと続きの番号を表示します。

## 変更のしかた

変更のしかたは「登録のしかた」と同じです。（☞155ページ）

- 登録種別を変更すると、番号と名前は消去されます。

## 消去のしかた

- を押す  
●CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- を押して「オートダイヤル」を選択し、●を押す
- を押してオートNo.を選択し、●を押す

- を押して「消去」を選択し、●を押す
- を押して「はい」を選択し、●を押す  
●選択されたオートNo.の登録内容が消去され、「登録なし」となり、手順3へ戻ります。

## オートダイヤルにいろいろな機能を登録する(オートダイヤル)

DC600電話機

### 登録のしかた(電話番号)

-   を押す
- を押して「オートダイヤル」を選択し、●を押す
- を押してオートNo.を選択し、●を押す  
●オートNo.以外を選択した場合、●は押せません。
- を押して「登録」を選択し、●を押す
- を押して「電話番号」を選択し、●を押す
- 番号を入力し、●を押す  
●番号は最大24桁まで入力できます。
-  (登録)を押す  
●選択されたオートNo.を本登録し、手順3に戻ります。

### 登録のしかた(内線番号/内線特番)

左記の「登録のしかた(電話番号)」の手順5で「内線番号/特番」を選択する。それ以外の手順は同様です。

- 番号は最大24桁まで入力できます。

### 登録のしかた(機能特番)

左記の「登録のしかた(電話番号)」の手順5で「機能特番」を選択する。それ以外の手順は同様です。

- 番号は最大16桁まで入力できます。

## 登録のしかた（メニュー特番）

「登録のしかた（電話番号）」（☞158ページ）の手順5で「メニュー特番」を選択する。それ以外の手順は同様です。

- 番号は最大16桁まで入力できます。

## 登録のしかた（特殊番号）

「登録のしかた（電話番号）」（☞158ページ）の手順5で「特殊番号」を選択する。それ以外の手順は同様です。

- 番号は最大2桁まで入力できます。

## 確認のしかた

1

☞  
内線   を押す

2

☞を押して「オートダイヤル」を選択し、●を押す

3

☞を押してオートNo.を選択し、  
文字  を押す

- 選択したオートNo.の詳細画面を表示します。
- 詳細画面にて●を押すと詳細内容（オートNo.、割り付け先外線ボタン番号、登録種別、番号、名前）を確認できます。
- 再度、 を押すと元の一覧表示に戻ります。

## 変更のしかた

変更のしかたは「登録のしかた」と同じです。（☞158ページ）

- 登録種別を変更すると、番号と名前は消去されます。

## 消去のしかた

1

☞  
内線   を押す

2

☞を押して「オートダイヤル」を選択し、●を押す

3

☞を押してオートNo.を選択し、●を押す

- オートNo.以外を選択した場合、●は押せません。

4

☞を押して「消去」を選択し、●を押す

5

（消去）を押す

- 選択されたオートNo.の登録内容が消去され、「登録なし」となり、手順3に戻ります。

# タイマ連動について

特定日テーブルに設定した登録日は、他の曜日のタイマ動作に割り付けることができます。

- タイマ動作を行う機能は、以下の4組です。(各曜日ごとにタイマ設定ができます)
  - (1) 留守番タイマ連動・・・詳細はP165ページ
  - (2) 夜間タイマ連動・・・詳細はP167ページ
  - (3) 外線転送タイマ連動・・・詳細はP163ページ
  - (4) チャイムタイマ連動・・・詳細はP169ページ

## 特定日について

特定日の定義は、以下のとおりです。

### 1. 特定日テーブル種別

- ①特定日1
- ②特定日2

### 2. 特定日の登録方法

- ①固定日指定 [年/月/日]
  - ②毎年日指定 [月/日] (年を省略)
- テーブル登録時は、1件ごとに日付順で並び替えます。

### 3. 特定日の使用例

それぞれのテーブルを「日曜日～土曜日」のいずれかの曜日として動作させることができます。使用例は以下のとおりです。

<使用例>

- ・特定日1……ウィークリ平日 (月曜日～金曜日) の除外日として、日曜日として動作
- ・特定日2……ウィークリ休日 (土曜日、日曜日) の除外日として、月曜日として動作

### 4. 特定日の最大登録数

特定日1と特定日2を合わせて、最大100件です。

◆ご注意

- ①すでに登録されている固定日を追加登録された場合、古いデータが無効となります。また、毎年日も同様です。

使用例を以下に示します。

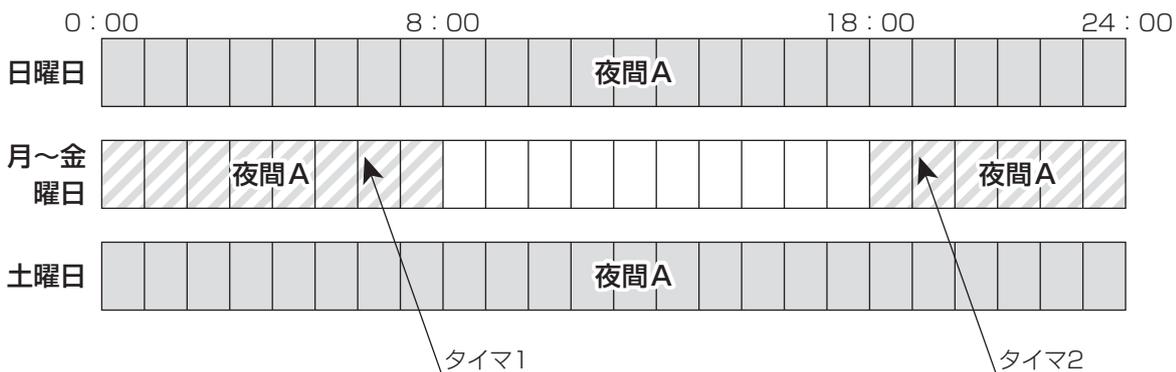
<使用例>

すでに「特定日1」に「2008/3/21」が登録されていて、「特定日2」へ同一「2008/3/21」を登録した場合、「特定日1」の「2008/3/21」は削除されます。

- ②固定日と毎年日で、「月/日」が同じものが登録されている場合、固定日が優先されます。

## 夜間タイマ連動

あらかじめ設定しておいた時刻になると、夜間モード切替を自動的に行うことができます。タイマは各曜日毎に2個のタイマを設定することができます。※夜間タイマ連動は「夜間A」のみです。※手動で「夜間A」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。※手動で「夜間B」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間B」設定で動作します。

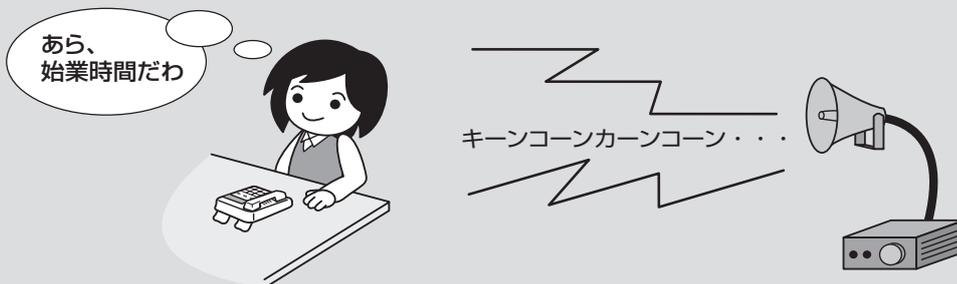


# チャイムタイマ連動

あらかじめ登録された時刻になると、電話機のスピーカや外部スピーカからチャイム音が鳴ります。タイマは各曜日毎に20個のタイマを設定することができます。

《例》始業/終業や昼休み時に、電話機や外部スピーカからチャイムを鳴動させることができます。

タイマ No.	日曜日	月曜日～金曜日	土曜日	内 容
タイマ01		8:30		予 鈴
タイマ02		8:45	8:45	始 業
タイマ03		10:00		休 憩 時 間
タイマ04		10:15		休 憩 終 了
タイマ05		12:00	12:00	昼 休 み
タイマ06		12:30		予 鈴
タイマ07		12:45		昼 休 み 終 了
タイマ08		15:00		休 憩 時 間
タイマ09		15:15		休 憩 終 了
タイマ10		17:30	17:30	終 業
タイマ11				
タイマ20				



## ● 特定日を設定する (特定日設定)

多機能電話機、CL625親機

特定日の登録/確認/曜日指定を行うことができます。

### 登録のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀を押して [システム] を選択し、●を押す
- 4 ◀を押して [カレンダー・時計設定] を選択し、●を押す
- 5 ◀を押して [特定日設定] を選択し、●を押す
- 6 ◀を押して [特定日1] または [特定日2] を選択し、●を押す

- 7 ◀を押して [新規登録] を選択し、●を押す
- 8 特定日を入力する
  - 固定日の場合
    - 年 (西暦下2桁)、月 (2桁)、日 (2桁) を入力する。
    - 曜日は自動的に表示します。
  - 毎年日の場合
    - ① [✖] を押す。
    - 年、および曜日の入力エリアを「\*」にします。
    - ② 特定日を入力する。
    - 月 (2桁)、日 (2桁) を入力する。
- 9 ●を押す
  - 入力した特定日を登録し、操作7へ戻ります。

**MEMO**

- 手順1～5はメニュー特番9163、手順1～6はメニュー特番9163X、手順1～7はメニュー特番9163X1 (※1) として電話機の [オート] に登録できます。(P157ページ)
- ※1: 登録後は、[オート] を押すだけで特定日の登録ができます。(X: ①特定日1、②特定日2)

⑤ 応用編  
タイマ連動について

## 確認のしかた

1 「登録のしかた」(☞161ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「一覧表示」を選択し、  
を押す

● 選択された特定日の「一覧表示」へ進みます。

### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番9163X2 (X: ①特定日1、②特定日2)として電話機の☞(オート)に登録できます。(☞157ページ)

## 曜日指定のしかた

1 「登録のしかた」(☞161ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「曜日指定」を選択し、  
を押す

3 を押して曜日を選択し、  
を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。  
①日曜日 ②月曜日 ③火曜日 ④水曜日  
⑤木曜日 ⑥金曜日 ⑦土曜日
- 選択された特定日の曜日指定を登録し、手順2へ戻ります。

### MEMO

- 手順1、2はメニュー特番9163X3 (X: ①特定日1、②特定日2)(※1)として電話機の☞(オート)に登録できます。(☞157ページ)
- ※1: 登録後は、☞(オート)を押すだけで特定日の曜日指定ができます。

## 消去のしかた (個別消去)

1 「登録のしかた」(☞161ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「一覧表示」を選択し、  
を押す

3 を押して消したい特定曜日を選択し、  
を押す

4 を押して「一件消去」を選択し、  
を押す

5 を押して「はい」を選択し、  
を押す

● 選択された特定日を消去し、手順3へ戻ります。

## 消去のしかた (全件消去)

1 「登録のしかた」(☞161ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「一覧表示」を選択し、  
を押す

3 を押す

4 を押して「全件消去」を選択し、  
を押す

● どの特定日を選択しても全件消去できます。

5 を押して「はい」を選択し、  
を押す

● 選択された特定日を一括消去し、手順2へ戻ります。

# ● 外線転送機能を日時指定で利用する（外線転送タイマ連動）

多機能電話機、CL625親機

決まった日時に外線転送機能のセット・解除を自動的に行います。  
外線転送タイマ連動は、曜日ごとにタイマ1、2があります。

## 登録のしかた

- を押す
- ◀▶を押して「外線転送関係」を選択し、●を押す
- ◀▶を押して「外線転送タイマ連動」を選択し、●を押す
- ◀▶を押して外線転送番号を選択し、●を押す  
●①外線転送1～④外線転送4
- ◀▶を押して曜日を選択し、●を押す  
●曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。  
①日曜日 ②月曜日 ③火曜日 ④水曜日  
⑤木曜日 ⑥金曜日 ⑦土曜日
- ◀▶を押してタイマNo.を選択し、●を押す  
●①タイマ1 ②タイマ2
- ◀▶を押して「登録」を選択し、●を押す  
●お買い上げ時は「登録なし」です。
- ◀▶を押して「転送先」を選択し、●を押す

- 9 外線転送先を選択して、●を押す  
●外線転送先1～8から、最大2ヶ所まで選択します。  
（工事設定が必要です）  
●外線転送先が選択されると、☑を表示します。  
●選択されていない場合は、「□」を表示します。  
●●を押すたびに☑→「□」を繰り返します。
- 10 #を押す  
●「外線転送先」を仮登録します。
- 11 ◀▶を押して「切替時刻」を選択し、●を押す
- 12 切替時刻を入力して、●を押す  
●00：00～24：00で入力してください。  
●[フラッシュ]（または☉）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。  
●既に時刻が入っている場合は上書きします。  
●「切替時刻」を仮登録します。
- 13 #を押す  
●本登録され、手順6に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番43、手順1～4はメニュー特番43X、手順1～5はメニュー特番43XY、手順1～6はメニュー特番43XYZとして電話機の[オート]に登録できます。（☎P157ページ）  
（X：①外線転送1～④外線転送4）  
（Y：①日曜日、②月曜日、③火曜日、④水曜日、⑤木曜日、⑥金曜日、⑦土曜日）  
（Z：①タイマ1、②タイマ2）
- 外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。

## コピーのしかた

1 「登録のしかた」(☞163ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「コピー」を選択し、  
を押す

3 コピー先曜日を選択し、を押す

- 選択されたコピー元曜日は印がついています。
- 曜日が選択されると、を表示します。
- 選択されていない場合は、「」を表示します。
- を押すたびに→を繰り返します。

4

を押す

- 選択されている曜日のタイムの登録内容がコピー先の曜日のタイムに登録され、「登録のしかた」(☞163ページ)の手順6に戻ります。

### MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

## 消去のしかた (タイム単位)

1 「登録のしかた」(☞163ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、  
を押す

3

を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された曜日のタイムNo.が消去され、「登録のしかた」(☞163ページ)の手順6に戻ります。

## 消去のしかた (曜日単位)

1 「登録のしかた」(☞163ページ)の手順1～5の操作をする

2 を押して「消去(曜日単位)」を選択し、  
を押す

3

を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された曜日の全タイムが消去され、手順2に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番43XY\*として電話機の/オート)に登録できます。(☞157ページ)  
(X: 1外線転送1～4外線転送4)  
(Y: 0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)

# 留守番機能を日時指定で利用する（留守番タイマ連動）

多機能電話機、CL625親機

決まった日時に留守番機能をセット・解除を自動的に行います。各留守番指定電話機から別々に操作します。留守番タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ1～4があります。

## 登録のしかた

1 ●を押す

2 ◀▶を押して「留守番関係」を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して「留守番タイマ連動」を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して曜日を選択し、●を押す

- 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。  
0 日曜日 1 月曜日 2 火曜日 3 水曜日  
4 木曜日 5 金曜日 6 土曜日

5 ◀▶を押してタイマNo.を選択し、●を押す

- 1 タイマ1～4 タイマ4

6 ◀▶を押して「登録」を選択し、●を押す

- お買い上げ時は「登録なし」です。

7 ◀▶を押して「切替時刻」を選択し、●を押す

8 切替時刻を入力して、●を押す

- 00:00～24:00で入力してください。
- **フラッシュ**（または●）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
- 既に時刻が入っている場合は上書きします。
- 「切替時刻」を仮登録します。

9 ◀▶を押して「モード」を選択し、●を押す

10 モードを選択して、●を押す

- モードは以下のとおりで、ダイヤルボタンでもできます。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 留守録1  | 2 留守録2  | 3 留守録3  |
| 4 お知らせ1 | 5 お知らせ2 | 6 お知らせ3 |
| 7 追っかけ1 | 8 追っかけ2 | 9 追っかけ3 |

- 「モード」を仮登録します。

11 ◀▶を押して「サイレント」を選択し、●を押す

12 ◀▶を押してサイレントのON / OFFを選択し、●を押す

- 「サイレント」を仮登録します。

13 #を押す

- 本登録し、手順5に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番56、手順1～4はメニュー特番56X、手順1～5はメニュー特番56XYとして電話機の **（オート）** に登録できます。（☎157ページ）  
（X：0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日）  
（Y：1 タイマ1、2 タイマ2、3 タイマ3、4 タイマ4）
- 手で留守番セットされている場合、指定した時刻になっても手でセットした留守番が優先されます。
- タイマをセットした時刻になると、留守番指定電話機の表示に「T」が表示されます。

## コピーのしかた

1 「登録のしかた」(☞165ページ)の手順1～5の操作をする

2 を押して「コピー」を選択し、を押す

- 選択されたタイマNo.のコピー先設定へ進みます。

3 コピー先曜日を選択し、を押す

- 選択されたコピー元曜日は印がついています。
- 曜日が選択されると、を表示します。
- 選択されていない場合は、「」を表示します。
- を押すたびに→「」を繰り返します。

4 を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」(☞165ページ)の手順5に戻ります。

### MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

## 消去のしかた (タイマ単位)

1 「登録のしかた」(☞165ページ)の手順1～5の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、を押す

3 を押して「はい」を選択し、を押す

- 選択された曜日のタイマNo.が消去され、「登録のしかた」(☞165ページ)の手順5に戻ります。

## 消去のしかた (曜日単位)

1 「登録のしかた」(☞165ページ)の手順1～4の操作をする

2 を押して「消去 (曜日単位)」を選択し、を押す

- 選択された曜日の「消去確認 (曜日単位)」へ進みます。

3 を押して「はい」を選択し、を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順2に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番56X\*として電話機の[/オート]に登録できます。(☞157ページ)  
(X: 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日)

# ● 夜に指定した電話機だけ鳴動する（夜間タイマ連動）

多機能電話機、CL625親機

決まった日時に夜間モード切替を自動的に行うことができます。  
夜間タイマ連動は、各曜日ごとにタイマ1、2があります。

## 登録のしかた

- を押す
- ◀▶ を押して [その他] を選択し、● を押す
- ◀▶ を押して [システム] を選択し、● を押す
- ◀▶ を押して [夜間設定] を選択し、● を押す
- ◀▶ を押して [夜間タイマ連動] を選択し、● を押す
- ◀▶ を押して曜日を選択し、● を押す
  - 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。  
0 日曜日 1 月曜日 2 火曜日 3 水曜日  
4 木曜日 5 金曜日 6 土曜日
- ◀▶ を押してタイマNo.を選択し、● を押す
  - 1 タイマ1 2 タイマ2

- ◀▶ を押して [登録] を選択し、● を押す
  - お買い上げ時は「登録なし」です。
- 切替時刻を入力して、● を押す
  - 00 : 00 ~ 24 : 00 で入力してください。
  - **フラッシュ**（または◉）を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
  - 既に時刻が入っている場合は上書きします。
  - 本登録し、手順7に戻ります。

### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番9122、手順1～6はメニュー特番9122X、手順1～7はメニュー特番9122XYとして電話機の **[オート]** に登録できます。（P157ページ）  
(X : 0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日)  
(Y : 1 タイマ1、2 タイマ2)
- 夜間タイマ連動は「夜間A」のみです。
- 手動で「夜間A」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。
- 手動で「夜間B」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間B」設定で動作します。

## コピーのしかた

1 「登録のしかた」(☞167ページ)の手順1～7の操作をする

2 を押して「コピー」を選択し、を押す

3 コピー先曜日を選択し、を押す

- 選択されたコピー元曜日は印がついています。
- 曜日が選択されると、を表示します。
- 選択されていない場合は、「」を表示します。
- を押すたびに→を繰り返します。

## 消去のしかた (タイマ単位)

1 「登録のしかた」(☞167ページ)の手順1～7の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、を押す

## 消去のしかた (曜日単位)

1 「登録のしかた」(☞167ページ)の手順1～6の操作をする

2 を押して「消去 (曜日単位)」を選択し、を押す

- 選択された曜日の「消去確認 (曜日単位)」へ進みます。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番9122X\*として電話機のに登録できます。(☞157ページ)  
(X: 0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)

4 を押す

- 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、「登録のしかた」(☞167ページ)の手順7に戻ります。

### MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

3 を押して「はい」を選択し、を押す

- 選択された曜日のタイマNo.が消去され、「登録のしかた」(☞167ページ)の手順7に戻ります。

3 を押して「はい」を選択し、を押す

- 選択された曜日の全タイマが消去され、手順2に戻ります。

# 指定時刻にチャイムが鳴動する（チャイムタイマ連動）

多機能電話機、CL625親機

あらかじめ登録された時刻になると、電話機のスピーカや外部スピーカからチャイム音が鳴ります。チャイムタイマ連動は、各曜日ごとにタイマが20件あります。

## 登録のしかた

- を押す
- ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [カレンダー・時計設定] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [タイマ連動] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [チャイムタイマ連動] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して曜日を選択し、●を押す
  - 曜日の選択はダイヤルボタンでもできます。  
0 日曜日 1 月曜日 2 火曜日 3 水曜日  
4 木曜日 5 金曜日 6 土曜日
- ◀▶を押してタイマNo.を選択し、●を押す
  - 0 1 タイマ1 ~ 2 0 タイマ20
- ◀▶を押して [登録] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「登録なし」です。
- 切替時刻を入力して、●を押す
  - 00 : 00 ~ 23 : 59 で入力してください。
  - **フラッシュ** (または **☺**) を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
  - 既に時刻が入っている場合は上書きします。
  - 本登録し、手順8に戻ります。

### MEMO

- 手順1~6はメニュー特番91644、手順1~7はメニュー特番91644X、手順1~8はメニュー特番91644XYとて電話機の **[オート]** に登録できます。(P157ページ)  
(X : 0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日)  
(YY : 0 1 タイマ1、2 0 タイマ20)

## コピーのしかた

1 「登録のしかた」(☞169ページ)の  
手順1～8の操作をする

2 を押して「コピー」を選択し、  
を押す

3 コピー先曜日を選択し、を押す

- 選択されたコピー元曜日は印がついています。
- 曜日が選択されると、を表示します。
- 選択されていない場合は、「」を表示します。
- を押すたびに→を繰り返します。

4

を押す

- 選択されている曜日のタイムの登録内容がコピー先の曜日のタイムに登録され、「登録のしかた」(☞169ページ)の手順8に戻ります。

### MEMO

- コピー先の曜日は、他の曜日をすべて選択できます。

## 消去のしかた (タイム単位)

1 「登録のしかた」(☞169ページ)の  
手順1～8の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、  
を押す

3

を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された曜日のタイムNo.が消去され、「登録のしかた」(☞169ページ)の手順8に戻ります。

## 消去のしかた (曜日単位)

1 「登録のしかた」(☞169ページ)の  
手順1～7の操作をする

2 を押して「消去(曜日単位)」  
を選択し、を押す

- 選択された曜日の「消去確認(曜日単位)」へ進みます。

3

を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された曜日の全タイムが消去され、手順2に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番91644X\*として電話機の/オートに登録できます。(☞157ページ)  
(X: ①日曜日、②月曜日、③火曜日、④水曜日、⑤木曜日、⑥金曜日、⑦土曜日)

# その他の便利な機能

## ● 内線呼出時に受話器を置いたままで応答する (パーソナルハンズフリー)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

内線通話の音声呼出をされたときだけ (応答側のみ) ハンズフリーができます。

### セット/解除のしかた

- を押す
  - CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてからを押します。
- を押して [その他] を選択し、●を押す
- を押して [電話機] を選択し、●を押す
- を押して [ハンズフリー応答設定] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「する」です。
- を押して [する] を選択し、●を押す
  - ハンズフリー応答がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 「マイク」を表示します。(多機能電話機、CL625親機のみ)

### ●解除する場合、手順5で [しない] を選択し、●を押す

- 「マイク」を消灯します。(多機能電話機、CL625親機のみ)

#### MEMO

- 手順1~4はメニュー特番923として電話機のに登録できます。(☎157ページ)  
登録後は、を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

### パーソナルハンズフリー中のセット・解除のしかた

- を押す
  - を押すたびにパーソナルハンズフリーの「セット」→「解除」を繰り返します。
  - 待機中でも操作できます。

#### MEMO

- 手順1は、機能特番1として電話機のに登録できます。(☎157ページ)  
登録後は、を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。
- CL625子機、WS605電話機の場合は、未使用に登録します。(☎31ページ)

### 内線の電話を受ける

- 内線の音声呼出を受ける
  - 「マイク」が表示されています。(多機能電話機、CL625親機のみ)
- パーソナルハンズフリー通話をする
  - 電話機のマイクに向かって話します。

#### MEMO

- パーソナルハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話できます。(呼出側はパーソナルハンズフリー通話はできません)
- 音声の反響がある所や、騒がしい所は避けてください。
- 電話機の正面から約30cm離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
- スピーカの受話音量が最大の場合、声が途切れることがあります。その場合は音量を下げてください。
- 信号呼出の場合は、を押してから、ハンズフリー通話になります。(工事設定が必要です)

# 通話中に受話器を置いたままで相手と話す (ハンズフリー)

多機能電話機、CL625親機

通話中に、受話器を置いたままで通話することができます。  
この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

## セット／解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [電話機] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して [ハンズフリー応答設定] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「する」です。

- 5 ◀▶を押して [する] を選択し、●を押す
  - ハンズフリー応答がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 「マイク」を表示します。

●解除する場合、手順5で [しない] を選択し、●を押す

- 「マイク」を消灯します。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番923として電話機の [オート] に登録できます。(P.157ページ)
- 登録後は、[オート] を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

## 外線に電話をかける

### 【操作例 (外線の場合)】

- 1 発信 (または [外線]) を押す
  - 「マイク」が表示されています。
  - 外線発信音「ツー」が聞こえます。
    - [外線] ランプ：緑点灯
    - [スピーカ] ランプ：赤点灯

- 2 電話番号を押す
- 3 ハンズフリー通話をする
  - 相手が応答したら電話機マイクに向かって話します。

## 外線の電話を受ける

- 1 外線着信中
  - 「マイク」が表示されています。
    - [外線] ランプ：赤点滅
- 2 [外線] を押す
  - [外線] ランプ：緑点灯
  - [スピーカ] ランプ：赤点灯

- 3 ハンズフリー通話をする
  - 相手が応答したら電話機マイクに向かって話します。

### MEMO

- ハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話できます。
- 音声の反響がある所や、騒がしい所は避けてください。
- 電話機の正面から約30cm離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話す相手にも聞こえにくいことがあります。
- 相手と交互にお話ください。同時に話すと相手の声が目切れる場合があります。
- 内線通話時もハンズフリー可能です。
- スピーカの受話音量が最大の場合、声が目切れることがあります。その場合は音量を下げてください。

# ● 通話中に相手の声をスピーカから聞く（スピーカ受話）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

外線または内線通話の途中から受話専用にします。

1 外線または内線通話中

2  **スピーカ** を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、 を押すと、スピーカ受話となります。再度  を押すと、相手と通話できます。  
→  ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

3 

- スピーカ受話になり、こちらの声が相手に流れません。ただし、ハンズフリーをセットしていると流れます。(☎172ページ)

4 

- 通話を開始する場合、受話器を上げて再度、相手と通話します。  
→  ランプ：消灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

# ● 内線番号の確認

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1  を押す

- CL625子機の場合は、  を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。

2  を押して「その他」を選択し、  
 を押す

3  を押して「電話機」を選択し、  
 を押す

4  を押して「自己内線情報の確認」を選択し、  
 を押す

- 使っている電話機の内線情報（内線番号、名前、テナント番号）を表示します。

# ● 内線番号の確認

DC600電話機

1   **クリア**  
 **保留** を押す

2  を押して「その他」を選択し、  
 を押す

3  を押して「電話機」を選択し、  
 を押す

4  を押して「自己内線情報確認」  
を選択し、 を押す

- 使っている電話機の内線情報（内線番号、名前、テナント番号）を表示します。
-  を押すと、表示内容が切り替わります。

## MEMO

- 「内線番号の確認」の手順1～4は、メニュー特番926として、電話機の  **フォート** に登録できます。(☎157、159ページ)

# ● 夜に指定した電話機だけ鳴動する（夜間モード切替）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

テナントごとに「昼間モード」と「夜間モード」（着信音の鳴る電話機など）の切り替えができます。夜間モードには夜間モードA／Bの2種類があります。夜間モードの切り替え時刻が毎日同じ場合は、自動的に切り替えることもできます。（夜間タイマ連動は夜間Aモードのみです）お買い上げ時は、昼間モードでは「全電話機が鳴動する」、夜間A／Bでは「内線10、11のみ鳴動する」です。昼間モードと夜間モードA／Bは、工事設定で鳴動する電話機の変更と、発信を規制する電話機の変更ができます。

- DC600電話機は、時計表示横に夜間モードを示すA（またはB）が表示されます。なお、A（またはB）の表示については、「カレンダー・時計」表示では表示されませんが、内線または外線通話終了後の待機状態の画面に戻るときなどに表示されます。

## セット／解除のしかた （手動夜間設定の場合）

- 1** ●を押す
  - CL625子機の場合は、を押して、「カレンダー・時計」表示にしてから●を押します。
- 2** を押して「その他」を選択し、●を押す
- 3** を押して「システム」を選択し、●を押す
- 4** を押して「夜間設定」を選択し、●を押す
  - CL625子機とWS605電話機の場合、手順4は操作しません。手順5へ進みます。
- 5** を押して「手動夜間設定」を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「解除（設定なし）」です。
- 6** を押して「夜間A」または「夜間B」を選択し、●を押す
  - 選択された夜間モードにセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - このとき「夜間A」または「夜間B」を表示します。（多機能電話機、CL625親機）
  - このとき「夜」を表示します。（CL625子機、WS605電話機）

## ●解除するときは、手順6で「解除（設定なし）」を選択し、●を押す

- 夜間設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- このとき、表示されていた「夜間A」または「夜間B」が消灯します。（多機能電話機、CL625親機）
- このとき、表示されていた「夜」が消灯します。（CL625子機、WS605電話機）

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番912、手順1～5はメニュー特番9121、手順1～6はメニュー特番9121X（X：1夜間A、2夜間B）として電話機の「」に登録できます。（157ページ）登録後は、「」を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。
- 付属のステッカ「夜間設定」シールを貼ると便利です。
- 夜間タイマ連動は「夜間A」のみです。
- 手動で「夜間A」設定がされている場合、夜間タイマ連動のタイマに従います。
- 手動で「夜間B」設定がされている場合、夜間タイマ連動は無効となり、手動での「夜間B」設定で動作します。

## 確認のしかた（手動夜間設定の場合）

「セット／解除のしかた」の手順1～5の操作をする

## 登録／コピー／確認／消去 （夜間タイマ連動の場合）

決まった日時に夜間モード切替を自動的にを行います。

- 夜間タイマ連動の詳細は167ページをご覧ください。

## セット／解除のしかた

- 1    を押す
- 2  を押して [その他] を選択し、  
 を押す
- 3  を押して [システム] を選択し、  
 を押す
- 4 [手動夜間設定] を選択し、 を押す  
● お買い上げ時は「設定なし」です。

- 5  を押して [夜間A] または [夜間B] を選択し、 を押す  
● 選択された夜間モードにセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

● 解除するときは、手順5で [解除 (設定なし)] を選択し、 を押す

- 夜間設定が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番9121、手順1～5はメニュー特番9121Xとして電話機の  に登録できます。(☎157ページ) (X:   
①夜間A、②夜間B)  
登録後は、 を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

## 確認のしかた(手動夜間設定の場合)

「セット／解除のしかた」の手順1～4の操作をする

# 指定した電話機からアラーム音を出す(時刻アラーム)

多機能電話機、CL625親機

あらかじめセットした時刻に、「カレンダー・時計」表示のとき電話機から約10秒間、時刻アラーム音「ピピピ・・・」を鳴らすことができます。時刻アラーム1(1回)は、1度時刻アラーム音が鳴ると自動的にリセットされます。時刻アラーム2(毎日)は、リセットされません。(毎日、定刻に鳴ります)

## 登録のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[その他]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[電話機]を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して[時刻アラーム]を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して[時刻アラーム1(1回)]または[時刻アラーム2(毎日)]を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「登録なし」です。

- 6 ◀▶を押して[登録]を選択し、●を押す
- 7 時刻を入力して、●を押す
  - 00:00~23:59で入力してください。
  - [フラッシュ](または◀▶)を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
  - 既に時刻が入っている場合は上書きします。
  - 選択された時刻アラームが登録され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
このとき、時刻アラームの「△」を表示します。

### MEMO

- 手順1~4はメニュー特番925、手順1~5はメニュー特番925X、手順1~6はメニュー特番925X1、手順1~7はメニュー特番925X1HHMMとして電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)  
(X: ①時刻アラーム1、②時刻アラーム2)  
(HH:時、MM:分)

## 確認のしかた

「登録のしかた」の手順1~5の操作をする

## セット/解除のしかた

- 1 「登録のしかた」の手順1~5の操作をする
- 2 ◀▶を押して[セット/解除]を選択し、●を押す

### MEMO

- 手順1~2はメニュー特番925X3として電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)  
(X: ①時刻アラーム1、②時刻アラーム2)
- 登録後は、[オート]を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。

### 【セット時に手順2を操作した場合】

- 選択された時刻アラームが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
このとき、時刻アラームの「△」を消灯します。

### 【解除時に手順2を操作した場合】

- 選択された時刻アラームがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
このとき、時刻アラームの「△」を表示します。

## 消去のしかた

1 「登録のしかた」(☞176ページ)の手順1~5の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、  
を押す

### MEMO

- 手順1~3はメニュー特番925X2として電話機の[/オート]に登録できます。(☞157ページ)  
(X: ①時刻アラーム1、②時刻アラーム2)

3 を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された時刻アラームが消去され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
このとき、時刻アラームの「」を消灯します。

## ● 全電話機の時刻アラームを一括解除する(時刻アラーム一括解除)

多機能電話機、CL625親機

## 解除のしかた

1 を押す

2 を押して「その他」を選択し、  
を押す

3 を押して「システム」を選択し、  
を押す

4 を押して「全電話機の時刻アラーム解除」を選択し、  
を押す

5 を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 全電話機の時刻アラームを解除し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき、時刻アラームの「」を消灯します。

### MEMO

- 手順1~4はメニュー特番910として電話機の[/オート]に登録できます。(☞157ページ)

各種着信時に着信ランプの色を変えることができます。

(全電話機共通です)

●着信ランプの色の種類は、次のとおり8種類です。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| ①シグナルレッド | ②レモンイエロー | ③グラスグリーン | ④ロイヤルブルー |
| ⑤ライトブルー  | ⑥ピーチホワイト | ⑦バイオレット  | ⑧7色      |

●お買い上げ時は、下記の通りです。

- |                  |                     |                 |
|------------------|---------------------|-----------------|
| ①外線着信：シグナルレッド    | ②内線着信：ライトブルー        | ③ドアホン着信：レモンイエロー |
| ④通話メモ／用件：ロイヤルブルー | ⑤時刻アラーム：バイオレット      | ⑥FAX着信：グラスグリーン  |
| ⑦不応答着信：7色        | ⑧ですくde掲示板更新：ピーチホワイト |                 |

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [表示設定] を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して [着信ランプ] を選択し、●を押す

6 ◀▶を押して変更したい着信ランプ状態を選択し、●を押す

→着信ランプ：点滅

7 ◀▶を押して着信ランプの色を選択し、●を押す

●選択された状態の着信ランプの色が登録され、手順6へ戻ります。

### MEMO

●手順1～5はメニュー特番9151、手順1～6はメニュー特番9151Xとして電話機の [オート] に登録できます。(☎157ページ)

(①外線着信、②内線着信、③ドアホン着信、④通話メモ／用件、⑤時刻アラーム、⑥FAX着信、⑦不応答着信、⑧ですくde掲示板更新)

デジタル回線の料金情報（基本サービス）を利用して、いままでに電話をかけた通話料金集計をシステム全体、テナントごと、外線ごと、および電話機ごとに表示できます。また、消去することもできます。

- マイライン、マイラインプラスでNTTグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。
- 通話料金集計表示とNTTで集計した料金の内容がことなることがあります。同一料金とは限りません。あくまで目安としてご利用ください。（最大7桁まで表示されます。7桁を超えた場合には「桁数オーバー」を表示します）

## システム全体の通話料金集計の場合

- を押す
- ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [通話料金集計] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す
  - システム全体の通話料金を集計し、表示します。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番931として電話機の [オート] に登録できます。（☎157ページ）

## テナントごとの通話料金集計の場合

- 「システム全体の通話料金集計の場合」の手順1～3の操作をする
- ◀▶を押して [テナント] を選択し、●を押す
- ◀▶を押してテナント番号を選択し、●を押す
  - 選択されたテナント番号の通話料金を集計し、表示します。

### MEMO

- 手順1～2はメニュー特番932、手順1～3はメニュー特番932Xとして電話機の [オート] に登録できます。（☎157ページ）  
（X：①テナント1～④テナント4）

## 消去する場合

- 「システム全体の通話料金集計の場合」の手順1～4の操作をする
- ◀▶を押して [消去] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [はい] を選択し、●を押す
  - システム全体の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## 消去する場合

- 「テナントごとの通話料金集計の場合」の手順1～3の操作をする
- ◀▶を押して [消去] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [はい] を選択し、●を押す
  - 選択されたテナントの通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## 外線ごとの通話料金集計の場合

1 「システム全体の通話料金集計の場合」(☞179ページ)の手順1～3の操作をする

2 を押して「外線」を選択し、  
を押す

3 を押して外線番号を選択し、  
を押す

- 選択された外線番号の通話料金を集計し、表示します。

### MEMO

- 手順1～2はメニュー特番933、手順1～3はメニュー特番933XXとして電話機の  に登録できます。(☞157ページ)  
(XX:01～30(外線1～30))

## 電話機ごとの通話料金集計の場合

1 「システム全体の通話料金集計の場合」(☞179ページ)の手順1～3の操作をする

2 を押して「電話機」を選択し、  
を押す

3 を押して内線番号を選択し、  
を押す

- 選択された内線番号の通話料金を集計し、表示します。

### MEMO

- 手順1～2はメニュー特番934、手順1～3はメニュー特番934XX(内線2桁モード時)、または934YYY(内線3桁モード時)として電話機の  に登録できます。(☞157ページ)  
(XX:内線10～89、またはYYY:内線100～899)

## 消去する場合

1 「外線ごとの通話料金集計の場合」の手順1～3の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、  
を押す

3 を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された外線番号の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## 消去する場合

1 「電話機ごとの通話料金集計の場合」の手順1～3の操作をする

2 を押して「消去」を選択し、  
を押す

3 を押して「はい」を選択し、  
を押す

- 選択された内線番号の通話料金集計を消去し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

# ● アナログ回線 (DP) からプッシュ信号を送出する (プッシュ信号送出)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

アナログ回線 (DP) からでも、外線発信のときに電話機がつながると自動的にプッシュ信号 (PB) に切り替わり、「ピポパ」音を送出されます。(自動PB切替)  
銀行の残高照会、航空券予約などのサービス、ディスプレイポケベルの操作などができます。  
また、自動でプッシュ信号に切り替わった後、通話中にダイヤル信号 (DP) に戻す場合  (リダイヤル) を押します。  
(\*) (#) を押すと再度、プッシュ信号 (PB) になります)

## 1

### 電話をかける

- サービス提供先などに電話をかけます。

## 2

### 相手につながる

- サービス提供先などに電話につながります。

## 3

### ダイヤルボタンを押す

- サービス提供先などの指示にしたがってダイヤルボタンを押す。

#### MEMO

- NTTのシャープダイヤル (#△△△△)、伝言ダイヤルなどのサービスは、アナログ回線 (PB) 専用ですのでアナログ回線 (DP) では利用できません。
- 外線着信、NTTへのお問い合わせ「113」、「116」(局番なし)、およびフリーダイヤル0120などは自動PB切替になりません。この場合、通話中に \* (#) を押すとプッシュ信号に切り替わります。
- 構内交換機 (PBX) に接続している場合は、自動PB切替ができないこともあります。
- (リダイヤル) (特殊番号43) は、電話機の  (オート) に登録できます。(☎157、159ページ)

# ● キッチンタイマ

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

電話機から任意の時間を設定することにより、タイマ満了時に電話機からアラーム音を鳴動します。  
(設定範囲は、00分01秒～99分59秒です)

## キッチンタイマ設定について

## 1

### 機能 ラ 9 \* を押す

- CL625子機の場合は、 (切) を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  機能  ラ 9  \* を押します。
- 「キッチンタイマ」設定画面へ進みます。  
→  機能ランプ：赤点滅

## 2

### タイマ値を入力する

- 00分01秒～99分59秒の範囲で入力してください。
- 00分00秒の入力はできません。
- お買い上げ時は「3分」です。

## 3

### を押す

### キッチンタイマが満了すると

- アラーム音が鳴動します。  
→ 着信ランプ：点滅

### アラーム鳴動タイマが満了すると

- 機能ランプ：消灯  
→ 着信ランプ：消灯

#### MEMO

- 手順1は、機能特番9\*として、電話機の  (オート) に登録できます。(☎157ページ)
- キッチンタイマ起動中、あるいはアラーム鳴動中に停止する場合は、以下の操作を行います。  
1)  を押す 2)  機能 を押す 3)  フラッシュ を押す
- CL625子機、WS605電話機の場合は、未使用 (外線) に  機能 を登録します。(☎31ページ)

工事設定により、外線着信時、発信者番号があらかじめ登録した電話番号と一致し、設定時間以内に切断された場合、本システムから着信した電話番号にコールバックします。コールバック応答後、プッシュ信号（PB）が送出できる電話機で、ダイヤル操作により内線呼出、内線グループ呼出、内線一斉呼出して通話することができます。

- リモートコールバックを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。
- 登録は、グループで行います。（☎82ページ）

※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

## 登録のしかた

「登録のしかた」ができるのは、多機能電話機、CL625親機のみです。

- を押す
- ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [グループ設定] を選択し、●を押す
- ◀▶を押してリモートコールバック指定の有無を設定したいグループを選択し、●を押す
  - ☐グループ0～☐グループ9

- ◀▶を押して [リモートコールバック指定] を選択し、●を押す
- ◀▶を押して [する] を選択し、●を押す
  - お買い上げ時は「しない」です。
  - リモートコールバック指定が有に設定され、手順6に戻ります。
  - リモートコールバック指定を無に設定する場合には、[しない] を選択します。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番914、手順1～5はメニュー特番914X、手順1～6はメニュー特番914X5（※1）として電話機の [オート] に登録できます。（☎157ページ）  
（X：☐グループ0～☐グループ9）
- ※1：登録後は、[オート] を押すだけでリモートコールバックのセット／解除ができます。

## リモートコールバック (例:内線番号)

# 1

### 外線着信中

- 外線ランプ：赤点灯
- プッシュ信号 (PB) が送出できる外出先の電話機から本システムに着信が入ります。

# 2

### 外線着信停止 (設定時間以内)

- 設定時間以内にかけてきた相手が切断します。

# 3

### 外線着信した電話番号へ発信

# 4

### 相手応答

- 「会社からのコールバックです。内線番号を入力してください。」のガイダンスが1回流れます。

# 5

### (着信相手) リモコン操作

(例：✳ 1 0)

- (例：内線10に着信)
- 外線ランプ：赤点滅
  - 着信ランプ：点滅
  - スピーカから着信音が鳴動します。

# 6

(例：内線10の受話器を上げる)

- 着信先と外線通話します。
- 外線ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯

### ● リモコン操作一覧

機能項目	リモコン番号	動作内容
内線呼出	✳10～89 ✳100～899	内線を呼び出す
一斉呼出	✳970	電話機を一斉に呼び出す
グループ呼出	✳971X	グループを呼び出す (X：①グループA～⑨グループI)
外線発信 キャンセル	✳90 + 電話番号 + ## ✳✳	外線に発信する リモコン操作をキャンセルしてリモコン番号の1桁目待ちになる
リモコン終了	✳0	リモコン操作を終了する

### MEMO

- リモートコールバックによる発信で、20秒 (※1) 以内に相手応答がない場合には、3回リトライします。工事設定によりリトライなしにもできます。
  - 手順5で、20秒 (※1) 以内にダイヤル操作がない場合には、工事設定により回線切断、あるいは一斉着信となります。
  - リモコン番号以外の番号を押すと、エラーメッセージ「番号が違います。内線番号を入力してください。」が聞こえます。20秒 (※1) 以内に正しいリモコン番号を入力してください。
  - いずれかのリモコンを利用しているときは、他のリモコンを操作することはできません。
  - リモコン操作で呼び出した内線が使用中の場合は、工事設定によりそのまま呼び続けるか、一斉着信となります。
  - リモコン操作で呼び出した内線が20秒 (※1) 以内に応答しない場合は、工事設定によりそのまま呼び続けるか、一斉着信となります。
- ※1：お買い上げ時は約20秒です。工事設定により変更できます。

# 電話機のボタン操作を規制する（キーロック）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

電話機からのボタン操作を規制できます。

## キーロック設定について

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で、  
[フラッシュ] を押し続ける
  - CL625子機の場合は、 [切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから [フラッシュ] を押します。
- 2 約5秒経過後
  - キーロック確認が表示されます。
- 3 を押して [はい] を選択し、  
 を押す
  - [いいえ] を選択すると、キーロック設定を中止して「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - 多機能電話機、CL625親機の場合は、「」が表示されます。
  - CL625子機、WS605電話機の場合は、「」が表示されます。
  - 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## キーロック解除について

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で、  
[フラッシュ] を押し続ける
  - CL625子機の場合は、 [切] を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから [フラッシュ] を押します。

↓

約5秒経過後

  - 多機能電話機、CL625親機の場合は、「」が消灯されます。
  - CL625子機、WS605電話機の場合は、「」が消灯されます。

- 2 [フラッシュ] を離す
  - 「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## キーロック中のボタン操作について

- 1 「カレンダー・時計」表示中



↓ ● 「」が表示されています。

[フラッシュ] または [スピーカ] 以外のボタン操作をする

キーロック中です  
この電話機は現在使用できません

### MEMO

- キーロック設定、および解除操作は、待機状態のみ有効です。
- キーロック中は、以下の操作のみが有効となります。
  - ① キーロック解除操作
  - ② 内線発信操作 ( または [スピーカ] を押す → 内線番号のみ可)
  - ③ 着信応答操作 ( または [スピーカ] を押す)
  - ④ 終話操作 ()

# 電話機のボタン操作を規制する（キーロック）

DC600電話機

## キーロック設定について

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で、  
[フック] を押し続ける
  - [フック] と [電源] 以外は無効となります。
  - 着信応答のための 、[外線]、[内線] は有効です。
  - 「キーロック」が表示されます。

## キーロック解除について

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で、  
[フック] を押し続ける
  - 「キーロック」が消灯されます。

2つの機能を同時に登録することができます。登録方法は、次の2とおりがあります。

機能特番	組み合わせ機能		備考
	機能1	機能2	
881XY	外線自動転送モード (外線転送1~4)	留守番モード (留守録1~3)	X=1~4:外線転送1~4 Y=1~3:留守録1~3 留守番指定電話機のみ
882XY	外線自動転送モード (外線転送1~4)	留守番モード (お知らせ1~3)	X=1~4:外線転送1~4 Y=1~3:お知らせ1~3 留守番指定電話機のみ
883XY	外線自動転送モード (外線転送1~4)	手動夜間設定 (夜間A, B)	X=1~4:外線転送1~4 Y=1:夜間A, 2:夜間B
884XY	留守番モード (留守録1~3)	手動夜間設定 (夜間A, B)	X=1~3:留守録1~3 Y=1:夜間A, 2:夜間B 留守番指定電話機のみ
885XY	留守番モード (お知らせ1~3)	手動夜間設定 (夜間A, B)	X=1~3:お知らせ1~3 Y=1:夜間A, 2:夜間B 留守番指定電話機のみ
886X	外線着信鳴動拒否設定	不在設定 (不在モード)	X=0~9(不在理由0~9)

## MEMO

- 外線転送モードは、外線転送 (X:1~4) の自動転送モード (転送先) をあらかじめ選択する必要があります。
- 留守番モード (留守録、お知らせ) は、あらかじめ留守番モードが利用できる状態にする必要があります。
- 本機能のセット/解除の動作は右記のとおりです。

操作前		操作後	
機能1	機能2	機能1	機能2
解除	解除	セット	
解除	セット	解除	
セット	解除		
セット	セット		

## 登録のしかた1 (セット/解除)

【例】外線自動転送モード+留守録モードのセット

1

機能 を押す

→  機能 ランプ: 赤点灯

2

を押す

● 設定画面へ進みます。

3

セットする外線自動転送番号 (1~4)、留守録番号 (1~3) を入力する

4

● を押す

- 以下の表示をします。  
(例) 外線自動転送2+留守録2  
外線転送2                    設定  
留守録2                        設定
- 外線自動転送モードと留守番モードを同時にセットし、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→  機能 ランプ: 消灯

● 解除する場合、セットする場合と同様の操作を行う。手順4の表示が以下のとおりとなります。

- 以下の表示をします。  
(例) 外線自動転送2+留守録2  
外線転送2                    解除  
留守録2                        解除
- 外線自動転送モードと留守録モードを同時に解除し、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## 登録のしかた2 (セット/解除)

【登録のしかた】

オートダイヤル (機能特番) に、2つの機能を同時に登録することができます。  
(☞157ページ)

【セット/解除のしかた】

登録した  オート を押すと、「セット」→「解除」を繰り返します。

# 電話機から着信メロディを登録する（着信メロディ登録）

多機能電話機、CL625親機

●ユーザー情報登録／送信（☎8ページ）を行った次の日以降、この機能はご利用できます。

## 着信メロディについて

●何らかの理由により、主装置の工事設定データなどが初期化されると、お客様が登録したMIDIファイルが再生できなくなります。（この場合、お買い上げ時の曲が再生されます）この場合、再度着信メロディを登録してください。

1 ●を押す

2 ◀▶を押して「音関係」を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して「メロディダウンロード」を選択し、●を押す

4 ◀▶を押してユーザーメロディを選択し、●を押す

- ①ユーザーメロディ1 ②ユーザーメロディ2
- ③ユーザーメロディ3 ④ユーザーメロディ4

5 ◀▶を押して「実行」を選択し、●を押す

《メロディ1 ダウンロード》  
サーバに接続中

※キャンセル

6 サーバ接続が正常終了

《メロディ1 ダウンロード》  
今月はあと【3曲】ダウンロード  
出来ます。  
【確定】次へ

●サーバからのメッセージを表示します。

7 ●を押す

《メロディ1 ダウンロード》  
01: 幻想即興曲/CHOPIN  
02: ワレキューレの騎行/WAGNER  
03: 「四季」より「春」/VIVALDI

●サーバからダウンロード可能なメロディー一覧を表示します。

【曲名】 幻想即興曲  
【アーティスト】 CHOPIN FREDERIC FRACOIS  
【ジャンル】 スタンド  
【備考】

<詳細画面>

●【短縮】を押すと選択されたメロディの詳細情報が、上から順に「曲名」、「アーティスト」、「ジャンル」【備考】と表示されます。

●再度、【短縮】を押すと「一覧表示」に戻ります。

8 ◀▶を押してダウンロードするメロディを選択し、●を押す

01: 幻想即興曲/CHOPIN  
ダウンロードを開始します

【実行】

【保留】 戻る

9 ア1を押す

01: 幻想即興曲/CHOPIN  
ファイル受信中

※キャンセル

●その後、サーバからメロディ情報を受信中です。

10 ダウンロード終了

01: 幻想即興曲/CHOPIN  
ファイルの受信が完了しました

【確定】 戻る

11 ●を押す

●選択されたユーザーメロディにダウンロードされ、手順4に戻ります。

## MEMO

- 手順5で【×】を押すと、サーバ接続を中止し、手順4に戻ります。
- 手順9で【×】を押すと、ファイル受信を中止し、手順7に戻ります。
- 手順1～3は、メニュー特番79として、【/オート】に登録できます。（☎157ページ）
- 本機能は、1台の電話機でのみ利用可能です。他の電話機操作中の場合は、「利用できません」のメッセージを表示します。
- 選択したメロディがシステムで利用中の場合は、「利用できません」のメッセージを表示します。
- メロディダウンロード中に、該当メロディを利用する着信や保留などが発生した場合は、お買い上げ時の曲が流れます。

# ● 着信履歴のメール転送を設定する（着信履歴転送メール設定）

多機能電話機、CL625親機

- 送信先のE-Mailアドレスを登録（☎250ページ）しないと、この機能はご利用できません。

## 設定／解除のしかた

1

機能 を押す

→  機能 ランプ：赤点灯

2

ラ WXYZ 9  タ GHI 4 を押す

→  機能 ランプ：赤点滅

3

メール番号を押す

- ダイヤルボタンで設定したいメール番号（1～5）を押します。

4

機能 を押す

→  機能 ランプ：消灯

- 解除するときは、[設定のしかた]と同じ操作をする

## MEMO

- 「設定／解除のしかた」の手順1～4は、機能特番94X（X：1～5）として、電話機の  オート に登録できます。（☎157ページ）

# ドアホン

本システムは、ドアホンと通話することができます。ドア・ページングユニットが必要です。

## ● ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話）

【ドアホンからの呼び出し】

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

### 1 呼出音が鳴る

- スピーカから呼出音が鳴ります。  
→ 着信ランプ：点滅

### 2 電話機

- DC600電話機の場合は、**内線**を押します。
- ドアホンと通話ができます。  
→ 着信ランプ：消灯

#### MEMO

- ドアホン呼出音の選択は、工事設定によります。
- ドアホン呼出音が鳴り始めてから、約15秒以内に応答してください。約15秒過ぎると応答できません。
- ドアホンは、最大3台まで接続できます。ただし、同時通話は1台です。
- 外線通話中または内線通話中にドアホン呼出があると、スピーカから呼出音「ブツッ」が鳴ります。通話終了するか保留してから応答してください。
- 工事設定により、ドアホン呼出にオフフックしただけでは、自動応答できなくすることもできます。
- カラーテレビドアホンの場合は、約2分30秒後で、通話およびカラーモニタが切れます。
- 工事設定により、電話機ごとにドアホン呼出音の停止ができます。

## ● ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

### 1 スピーカを押す

- CL625子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから  を押します。
- DC600電話機の場合は、**内線**を押します。
- 内線発信音「ブツッブツッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯

### 5 スピーカ（終了）を押す

- CL625子機の場合は、 または  を押し、DC600電話機の場合は、 を押します。
- モニターを止め、「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→  ランプ：消灯

#### MEMO

- 手順2、3は内線特番981～983として、電話機の  に登録できます。（☎156、158ページ）
- 付属のステッカ「ドアホンモニタ」シールを貼ると便利です。（DC600電話機は除く）
- ドアホンモニタを登録した電話機の  （内線特番981～983）のランプ状態は次のとおりです。
  - ・ ドアホン呼出（赤点滅）
  - ・ ドアホン通話中（赤点灯）

### 2 9 8 を押す

### 3 1 ~ 3 のいずれかを押す

- ①：ドアホン1
- ②：ドアホン2
- ③：ドアホン3

### 4 ドアホンモニタ

## ● 玄関などのドアの鍵を解錠する（ドアロック解錠）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

工事設定により、ドアホン通話中に電気錠などを解錠します。ドア・ページングユニットが必要です。

### 1 ドアホン通話中

### 2 機能を押す

-  ランプ：赤点灯

### 3 6 を押す

- ドアロックを解錠します。  
→  ランプ：消灯

#### MEMO

- 手順2、3は機能特番6として、電話機の  に登録できます。（☎157、158ページ）
- 付属のステッカ「ドア解錠」シールを貼ると便利です。（DC600電話機は除く）
- CL625子機、WS605電話機の場合は、未使用  に  を登録します。（☎31ページ）
- DC600電話機の場合は、未使用  に  を登録します。（☎32ページ）

# IP電話

## ● IP電話回線で電話をかける（IP電話対応ACR機能）

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

外線をかけるとき、通話料金の安いIP電話回線を自動的に選択して発信することができます。IP電話回線を利用して発信する場合は、「プリセットダイヤル」や「オフフック発信」を利用して発信します。

IP電話回線を利用される場合は、VoIPユニットと工事設定が必要です。

- IP電話回線を利用するには、IP電話サービスの提供会社との契約が必要です。

### プリセットダイヤル

1

#### 電話番号を押す

- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから電話番号を押します。

2

#### を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、を押します。
- DC600電話機の場合は、を押します。
- IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話回線を選択します。
- 「IP電話サービス アクセス」表示
- IP電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合、一般の電話回線を自動的に選択します。
  - ランプ：緑点灯
  - ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

### オフフック発信

(多機能電話機、CL625親機)

工事設定が必要です

1

#### 電話番号を押す

2

- IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話回線を選択します。
- 「IP電話サービス アクセス」表示
- IP電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合、一般の電話回線を自動的に選択します。
  - ランプ：緑点灯

### NTT回線を利用して外線をかけるとき

1

#### を押す

- 0000は「NTT強制接続コード」です。
- CL625子機の場合は、を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから   を押します。

2

#### 電話番号を押す

3

#### を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、を押します。
- DC600電話機の場合は、を押します。
- NTT回線を選択して発信します。
  - ランプ：緑点灯
  - ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

#### MEMO

- 電話番号の入力は、電話番号を押す以外に、電話帳や発信履歴、着信履歴から選んでかけることができます。
- IP電話回線のを直接選んでから、電話番号を入力することもできますが、IP電話サービスの提供エリア以外の電話番号にはつながりませんのでご注意ください。提供エリアにつきましては、IP電話サービス提供会社にご確認ください。
- VoIPユニットはIP電話サービス提供会社が提供するネットワークサービスに、すべて対応しているものではありません。
- IP電話回線のを直接選んでから、電話番号を入力する場合には、ダイヤルとダイヤルの間が規定時間以上かかったときには、つながりませんのでご注意ください。
- IP電話回線を利用しない場合には、NTT回線のを押します。

# ● 他システムの内線を個別に呼び出す (IP電話自動交換)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

IP電話サービスを利用して各システムをグループ化することで、指定システムの子機を個別に呼び出すことができます。

- 本機能を使用する場合には、VoIPユニットと工事設定が必要です。また、電話帳（工事設定で指定したグループ）に電話番号を登録することが必要です。（相手側の電話番号の登録が必要です）

## 1



- DC600電話機は、手順1の操作を行う必要がありません。
- 内線発信音「プップッッ・・・」が聞こえます。

## 2

**発信**（または **/外線**）を押す

- CL625子機、WS605電話機の場合は、**通話**（または**外線**）を押します。
- DC600電話機の場合は、**発信**（または**外線**）を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→ **/外線**ランプ：緑点灯

## 3

**電話番号を押す**

- ダイヤルボタンで入力します。（相手電話番号 → **\*** → 相手内線番号）
- #**を押すとすぐに電話がかかります。  
**#**を押さなくても約5秒後に電話がかかります。

## 4

**他システムが応答し、内線呼出音が聞こえる**

### MEMO

- 本機能で電話帳（工事設定で指定したグループ）に登録した相手からの着信は、電話番号のあとに内線番号（表示例：050△△△△△△△△\*12）が表示され、また着信履歴にも同様な表示が残ります。
- 本機能は、アナログ回線では使用できません。
- 本機能を使用するとき、相手のキャリアによっては、相手応答にかかわらず通話料金が発生する場合があります。
- 非通知で発信した場合には、通常着信となります。
- 発信元の番号を電話帳に登録していない場合は、着信応答時に「ピポバポ・・・」音が聞こえます。
- オートリピートダイヤルができます。（[P51](#)ページ）

# システム間通話で電話をかける

システム間通話で電話をかけるには、以下の方法があります。

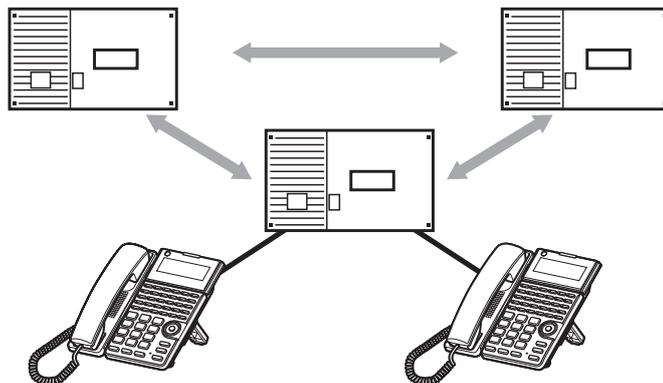
- 内線オンフック発信（受話器を置いたまま別システムの内線を呼び出しする）
- 内線オフフック発信（受話器を上げて別システムの内線を呼び出しする）
- 内線プリセットダイヤル（内線番号を押してから別システムの内線を呼び出しする）
- 内線発信履歴発信
- 内線着信履歴発信
- 内線リダイヤル
- オートリピートダイヤル
- 内線一覧
- 別システムからの外線発信（システム間通話を使用して、別システムの外線から電話をかける）

「システム間通話」は、Agrea HM700のIP端末接続ユニットどうしをシステム間で接続することにより、他のAgrea HM700と内線通話を行うことができます。

また、システム間通話では、接続先システムの外線を利用した発信通話が可能です。

- ・システム間通話をご利用になるには、IP端末接続ユニットが必要です。
- ・システム間通話をご利用になるには、工事設定が必要です。

## システム間接続（例）



## ● システムの一覧を表示する（システム一覧）

多機能電話機、CL625親機

システム番号と名前を一覧表示することができます。

### 確認のしかた

1 ●を押す

2 ◀を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀を押して [システム一覧] を選択し、●を押す

- システムを一覧表示します。
- 自システムには「\*」が表示されます。

4 ◀を押してシステム番号を選択し、[短縮]を押す

- 選択したシステム番号の詳細画面を表示します。
- 詳細画面では、システム番号、システム名、IPアドレスを表示します。
- 再度、[短縮]を押すとシステム一覧表示に戻ります。

### MEMO

- 手順1～3は、メニュー特番97として [ /オート ] に登録できます。（P157ページ）

## ● 内線オンフック発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

# 1

 **スピーカー**を押す

- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯

# 2

**#**を押す

- 内線発信音が止まります。

# 3

システム番号、、内線番号の順に押す

- 内線番号のあとにを押すとすぐに呼出しします。
- 内線呼出し音が聞こえます。
- を押すと発信先の呼出音を信号音から音声に変更できます。
- 再度、を押すことで信号音に戻すことができます。

# 4



- 相手が出たら通話します。  
→  ランプ：消灯

### MEMO

- システム番号は、工事設定で指定されます。

## ● 内線オフフック発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

# 1



- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- WS605電話機の場合は、 (**スピーカ**)を押します。
- DC600電話機の場合は、 (**内線**)を押します。  
→  ランプ：緑点灯

# 2

**#**を押す

- 内線発信音が止まります。

# 3

システム番号、、内線番号の順に押す

- 内線番号のあとにを押すとすぐに呼出しします。
- 内線呼出し音が聞こえます。
- を押すと発信先の呼出音を信号音から音声に変更できます。
- 再度、を押すことで信号音に戻すことができます。

# 4

内線通話をする

- 相手が出たら通話します。

## ● 内線プリセットダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

# 1

**#**、システム番号、、内線番号の順に押す

# 2

 **スピーカー**を押す

- 内線呼出し音が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯
- DC600電話機の場合は、 (**内線**)を押します。  
→  ランプ：緑点灯
- を押すと発信先の呼出音を信号音から音声に変更できます。
- 再度、を押すことで信号音に戻すことができます。

# 3



- 相手が出たら通話します。  
→  ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は受話器を上げる必要はありません。

## ● 内線発信履歴からの発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

- 1 .....  
内線発信履歴発信 (👉54  
ページ) で発信する

## ● 内線発信履歴からの発信

DC600電話機

- 1 .....  
内線発信履歴発信 (👉55  
ページ) で発信する

## ● 内線着信履歴からの発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

- 1 .....  
内線着信履歴発信 (👉56  
ページ) で発信する

## ● 内線着信履歴からの発信

DC600電話機

- 1 .....  
内線着信履歴発信 (👉56  
ページ) で発信する

## ● 内線リダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

- 1 .....  
内線リダイヤル (👉55ペー  
ジ) で発信する

## ● 内線オートリピートダイヤル

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

- 1 .....  
内線オートリピートダイヤル  
(👉151ページ) で発信する

## ● 内線一覧

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

1 「内線一覧を表示する」(  ) の手順1~2の操作をする

- DC600電話機の場合は、 138ページ。

2  を押して「他システム」を選択し、 を押す

- 他システムの一覧を表示します。

3  を押して他システムを選択し、 を押す

4  を押して、[はい] を選択し、 を押す

- 選択したシステムの内線一覧を表示します。(設置環境によっては、表示するまでに時間がかかることがあります)

5  を押して内線を選択し、 を押す

6  を押して、[呼び出し] を選択し、 を押す

- 選択したシステムの内線を呼び出します。  
→  ランプ：赤点灯  
(多機能電話機、CL625親機のみ)

## ● 別システムからの外線発信

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

システム間通話を使用して、別システムの外線から電話をかけることができます。

1  を押す

- 内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。  
→  ランプ：赤点灯

2  を押す

- 内線発信音が止まります。

3 システム番号、 を押す

- 使用するシステムの番号を押します。

4  (または    ) を押す

- 指定した外線をつかむダイヤル(指定外線捕捉)番号を押します。

5 外線番号を押す

- ダイヤルボタンで使用したい外線番号を2桁で押します。

6 電話番号を押す

- 電話番号のあとに  を押すと、すぐに呼び出します。

### MEMO

- 手順4、5の代わりに、自動選局ダイヤル  (NTT外線やIP電話回線) または    (IP電話回線) を使用することもできます。
- システム間通話を利用した通話は全て内線通話となります。(別システムからの外線発信も内線通話です)

# システム間通話で電話を受ける

システム間通話で電話を受けるには、以下の方法があります。

- 内線着信自動応答（受話器を上げるだけで別システムからの内線着信に応答する）
- 内線独占保留（別システムからの内線通話を保留する）
- 内線自動転送（内線通話後に、内線を転送する）
- 内線強制転送（内線通話しないで、内線を転送する）
- 内線システム保留（別システムからの内線通話を保留し、他の電話機で応答できるようにする）
- 内線パーク保留（別システムからの内線通話を保留し、他の電話機や別システムの電話機から応答できるようにする）

## ● 内線着信自動応答

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

1

内線着信音が鳴る

→ 着信ランプ：青点滅

2



→ 着信ランプ：消灯

- WS605電話機の場合は、**通話**を押しても応答できます。
- DC600電話機の場合は、を押します。

## ● 内線独占保留

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

1

内線独占保留（143ページ）の操作をする

## ● 内線独占保留

DC600電話機

1

内線独占保留（143ページ）の操作をする

## 転送する側の操作

### 1 内線通話中

### 2 を押す

- 通話相手に保留音を流します
- 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。

### 3 転送先の内線番号を押す

- 呼出音が聞こえます。

### 4 転送先の相手と通話する

- 例：〇〇さんからの電話です。

### 5

- 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。  
→  ランプ：赤点灯
- CL625子機、WS605電話機の場合は  または  を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。  
→  ランプ：消灯

## 転送される側の操作

### 1 呼出音が鳴る

- 内線呼出音が鳴り、音声聞こえます。  
→ 着信ランプ：青点滅
- DC600電話機の場合は  
→ 着信ランプ：赤点滅  
→  ランプ：緑点滅

### 2

- 受話器を上げて内線相手と通話します。  
→ 着信ランプ：消灯
- DC600電話機の場合は  を押します。  
→  ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯
- 転送元が通話を切ると、内線が自動的に転送されます。

## ● 内線強制転送

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

### 転送する側の操作

- 1 内線通話中
- 2 **保留**を押す
  - 通話相手に保留音を流します。
  - 内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- 3 転送先の内線番号を押す
  - 呼出音が聞こえます。
- 4 
  - 受話器を置くと「カレンダー・時計」表示に戻ります。
  - CL625子機、WS605電話機の場合は  または **切** を押します。
  - DC600電話機の場合は、 を押します。  
→ **内線** ランプ：消灯

### 転送される側の操作

- 1 呼出音が鳴る
  - 転送されてきたことを表す呼出音が鳴ります。  
→ 着信ランプ：青点滅
  - DC600電話機の場合は  
→ 着信ランプ：赤点滅  
→ **内線** ランプ：緑点滅
- 2 
  - 受話器を上げると、自動的に内線とつながります。  
→ 着信ランプ：消灯
  - DC600電話機の場合は **内線** を押します。  
→ **内線** ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯

## ● 内線システム保留

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

- 1 内線システム保留 (  144 ページ ) の操作をする

## ● 内線パーク保留

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

- 1 内線パーク保留 (  144 ページ ) の操作をする

# コンテンツ表示

## ●コンテンツ表示の利用方法について

多機能電話機、CL625親機

コンテンツ表示は、インターネット上にあるRSS対応サイトから、RSSを定期的に自動取得して、電話機に表示させたり、主装置Web設定によりパソコンから編集できる掲示板情報を、電話機に表示させることができます。

- 10種類のRSSまたは5種類の掲示板を電話機に表示できます。
- コンテンツ表示を利用するには、VoIPユニットまたはブロードバンドルータユニットが必要です。(インターネットがご利用できる環境が必要です)
- 掲示板Web編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照してください。
- ここでは、コンテンツ表示の「解除」、「RSSのセット」、「掲示板のセット」のいずれかの設定を行います。
- 利用できるRSSは、RSS1.0とRSS2.0です。ただし、RSS対応サイトによっては正しく表示できない場合があります。

### セットのしかた

### 解除のしかた

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して [コンテンツ表示利用設定] を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して [ですくdeRSS] または [ですくde掲示板] を選択し、●を押す

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して [システム] を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して [コンテンツ表示利用設定] を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して [設定なし] を選択し、●を押す

- コンテンツ表示利用がセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

- コンテンツ表示利用が解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

#### MEMO

#### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番918Xとして電話機の[/オート]に登録できます。(☎P157ページ)  
この場合、[/オート]を押すごとに「セット」→「解除」を繰り返します。(X: [1]ですくdeRSS、[2]ですくde掲示板)

- 手順1～5はメニュー特番9180として電話機の[/オート]に登録できます。(☎P157ページ)

## コンテンツを手動で更新する(コンテンツ更新)

多機能電話機、CL625親機

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[コンテンツ表示]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[手動更新]を選択し、●を押す

- 4 ◀▶を押して[はい]を選択し、●を押す

- RSSまたは掲示板を更新して、「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- 設定内容無効または設定可能時間外の場合は、「無効、または時間外です」が表示されます。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番83として電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

## 電話機ごとに表示する/しないを設定する(コンテンツ個別表示設定)

多機能電話機、CL625親機

表示する場合は、RSSまたは掲示板の流れる速度を設定します。

### 表示する/しない

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[コンテンツ表示]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[スクロール設定]を選択し、●を押す

- 4 ◀▶を押してスクロール表示の速さを選択し、●を押す

- スクロール表示の速さを選択します。  
①表示しない ②遅い ③標準 ④速い
- 選択された速さでスクロール表示するように設定され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

- 表示しない場合、手順4で[表示しない]を選択し、●を押す

### MEMO

- コンテンツ個別表示設定はメニュー特番として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)  
表示する場合：メニュー特番82X (X：②遅い、③標準、④速い)、表示しない場合：メニュー特番821

## コンテンツ一覧を見る(コンテンツ一覧表示)

多機能電話機、CL625親機

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[コンテンツ表示]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[一覧表示]を選択し、●を押す

- 4 ◀▶を押してRSSまたは掲示板を選択し、●を押す

- 選択されたRSSまたは掲示板の内容が表示されます。
- 設定内容無効または設定可能時間外の場合は、「データなし、または更新中です」が表示されます。

### MEMO

- 手順1～3はメニュー特番81として電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)
- 付属のステッカ「コンテンツ一覧」シールを貼ると便利です。

## ですくde掲示板の入力

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[コンテンツ表示]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[掲示板登録]を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して掲示板番号を選択し、●を押す
- 5 ◀▶を押して[登録]を選択し、●を押す

- 6 ◀▶を押して[タイトル]を選択し、●を押す
  - 「掲示板-タイトル」へ進みます。
  - ☎201ページの「タイトルの入力のしかた」をご覧ください。
- 7 ◀▶を押して[本文]を選択し、●を押す
  - 「掲示板-本文」へ進みます。
  - ☎201ページの「本文の入力のしかた」をご覧ください。
- 8 ◀▶を押して[登録]を選択し、●を押す
  - 本登録され、手順4に戻ります。

### MEMO

- ですくde掲示板の入力はメニュー特番84X1(X: 1掲示板1~5掲示板5)として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

## ですくde掲示板の消去

- 1 ●を押す
- 2 ◀▶を押して[コンテンツ表示]を選択し、●を押す
- 3 ◀▶を押して[掲示板登録]を選択し、●を押す
- 4 ◀▶を押して掲示板番号を選択し、●を押す

- 5 ◀▶を押して[消去]を選択し、●を押す
- 6 ◀▶を押して[はい]を選択し、●を押す
  - 選択された掲示板が消去され、手順4に戻ります。

### MEMO

- ですくde掲示板の消去はメニュー特番84X2(X: 1掲示板1~5掲示板5)として、電話機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)

## タイトルの入力のしかた

### 1 登録するタイトルをダイヤルボタンで入力する

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。(文字数は全角で最大16文字です)
- **[短縮]**で文字入力モードを変更します。  
かな(漢) → カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数)を繰り返します。
- 入力出来る文字は、☎270ページの文字入力一覧をご覧ください。

### 2 を押して変換し、で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、**[フラッシュ]**を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

### 3 入力したタイトルに間違いがないか確認し、を押す

- を押すとタイトルが仮登録され、「ですくde掲示板の入力」の手順6(☎200ページ)に戻ります。

## 本文の入力のしかた

### 1 登録する本文をダイヤルボタンで入力する

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。(文字数は全角で最大100文字です)
- **[短縮]**で文字入力モードを変更します。  
かな(漢) → カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数)を繰り返します。
- 入力出来る文字は、☎270ページの文字入力一覧をご覧ください。

### 2 を押して変換し、で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、**[フラッシュ]**を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

### 3 入力した本文に間違いがないか確認し、を押す

- を押すと本文が仮登録され、「ですくde掲示板の入力」の手順7(☎200ページ)に戻ります。

## 掲示板お知らせ

多機能電話機、CL625親機

工事設定により掲示板が更新されたことを着信ランプで知らせます。

### 1 掲示板を更新

→ 着信ランプ：点滅

## 解除のしかた

### 1 電話機ごとに「コンテンツ一覧を見る(コンテンツ一覧表示)」(199ページ)の手順1~3の操作をする

→ 着信ランプ：消灯

#### MEMO

- 着信ランプの色はピーチホワイト(お買い上げ時)です。

# その他のオプション

## FAXを自動的に受信する (TEL/FAX自動切替)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

かかってきた電話をいったんシステムが応答して、FAXからの着信か電話からの着信かを自動的に判断します。

FAXからの着信の場合、自動的にFAXへ転送してFAXを受信します。

この機能を利用するには工事設定が必要です。

工事設定によりFAX信号か通常着信か検出中、電話機に着信表示させることもできます。

### FAXからの着信のとき、電話機が鳴らない場合

#### 1 着信が入るとシステムが自動応答する

→ [外線]ランプ：赤点灯

#### 2 「ポーポー…」という音を検出する

● FAXに自動で転送されます。

#### 3 FAXが応答する

● FAXを受信します。

#### MEMO

- 同時に複数のFAXからの着信、電話機からの着信を自動的に判断することはできません。
- IP電話回線でのFAXの送受信は保証されません。

### FAXからの着信のとき、電話機が鳴る場合

#### 自動でシステムが応答する

#### 1 着信が入ると着信音が鳴り、システムが自動応答する

→ [外線]ランプ：赤点滅

→ 着信ランプ：点滅

#### 2 FAX信号と判断される

- 外線着信音が止まります。
- FAXに自動で転送されます。  
→ [外線]ランプ：赤点灯  
→ 着信ランプ：消灯

#### 3 FAXが応答する

● FAXを受信します。

#### 2 (または [外線] を押す)

外線通話中	0 : 03
01:	

- FAXか、通常着信かをシステムが判断中に受話器を上げた場合。  
→ [外線]ランプ：緑点灯  
→ 着信ランプ：消灯
- DC600電話機は反転表示しません。

#### 3 「ポーポー…」という音が聞こえたらFAX転送有効時間内に

- FAXに自動で転送されます。  
→ [外線]ランプ：赤点灯
- CL625子機、WS605電話機の場合は、 または を押します。
- DC600電話機の場合は、 を押します。

#### 4 FAXが応答する

● FAXを受信します。

#### MEMO

- 受話器を置いて転送する場合、外線通話中の外線番号が反転表示でないときに受話器を置くと、FAXからの着信が切断されます。

## 受話器を置かないで転送する

### 1 着信が入ると着信音が鳴り、システムが自動応答する

- **[外線]**ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：点滅

### 2 (または **[外線]** を押す)

- 外線着信音が止まります。
- **[外線]**ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯

### 3 「ポーポー…」という音を検出する

- FAXに自動で転送されます。
- **[外線]**ランプ：赤点灯
- 電話応答中にFAX信号が通常着信か判断されます。

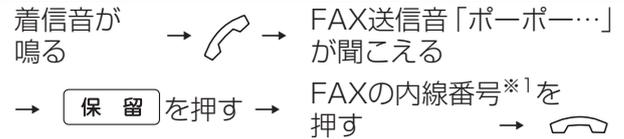
### 4 FAXが応答する

- FAXを受信します。

## 外線着信をFAXに転送する

- FAXの無鳴動着信の受付はできません。
- 電話とFAXを共有してご使用される場合は、ダイヤルインサービスまたはiナンバーサービスを利用しでのFAX接続をおすすめします。

### ●かかってきた電話がFAX送信のとき、FAXへ転送できます。



※1：単独電話機用ポートの場合、

Stdは **[1]** **[8]**または **[1]** **[9]**、

Proは **[4]** **[2]**または **[4]** **[3]**を押します。

- **[1]** **[9]**と **[4]** **[3]**の代わりに **[9]** **[9]** **[9]**を押しても操作ができます。**[9]** **[9]** **[9]**は、内線特番999として電話機の**[オート]**に登録できます。(☎156ページ)登録後は次の手順で操作します。

着信音が鳴る →  → **[オート]** → 

#### MEMO

- 付属のステッカ「FAX」シールを貼ると便利です。(多機能電話機、CL625親機のみ)
- 保留転送後、転送先が約30秒経過しても応答しない場合は、保留警報音が鳴ります。

## ページング接続 (構内放送)

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

ドア・ページングユニットを接続し、ページング (構内放送) 装置と組み合わせると、電話機から構内放送ができます。

### 電話機から構内放送する

- ### 1
- WS605電話機の場合は、 **[スピーカ]** を押し、DC600電話機の場合は、**[内線]** を押します。
  - 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

### 2 内線特番を押す

- **[9]** **[7]** **[5]**：構内放送1
- **[9]** **[7]** **[6]**：構内放送2
- **[9]** **[7]** **[8]**：構内放送一斉
- 予告音が聞こえます。

#### MEMO

- 別々の電話機から、それぞれ、構内放送1と構内放送2を同時に利用できます。
- 工事設定により、構内放送からの予告音を停止することができます。
- 工事設定により、外線着信音を構内放送から流すこともできます。
- 構内放送する、または呼び出し応答するときの操作は、内線特番975、976、978、97\*、97#として、電話機の**[オート]**に登録できます。(☎156、158ページ)
- 付属のステッカ「構内放送1」、「構内放送2」、「構内応答1」、「構内応答2」シールを貼ると便利です。(DC600電話機は除く)

### 構内放送の呼び出しに応答する

- ### 1
- WS605電話機の場合は、 **[スピーカ]** を押し、DC600電話機の場合は、**[内線]** を押します。
  - 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

### 2 内線特番を押す

- **[9]** **[7]** **[x]**：構内放送1呼出応答
- **[9]** **[7]** **[#]**：構内放送2呼出応答
- 構内放送一斉のときは、構内放送1、2呼出応答どちらでも応答できます。

受話器の代わりにヘッドセット（推奨品）を接続して通話することができます。  
ヘッドセットを接続するには、工事設定が必要です。

## ヘッドセットでの発信

1

### 電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

2

### 発信 を押す

- 未使用  外線 を選択して、発信します。  
→ 未使用  外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

## 【ヘッドセットで通話】

3

### スピーカ (終話) を押す

- 終話をします。  
→  外線 ランプ：消灯  
→  スピーカ ランプ：消灯

### MEMO

- 受話器は、置いたままの状態（オンフック状態）で、ヘッドセット通話が利用できます。
- ヘッドセットの取付方法、操作方法は、ヘッドセットに付属の説明書をご覧ください。
- ヘッドセットは、当社推奨品をご利用ください。ヘッドセットの種類によっては、うまく動作しないものがあります。
- ヘッドセットを接続した電話機からは、次の機能は利用できません。
  - ・スピーカ受話
  - ・ハンズフリー通話
- ヘッドセットの購入については、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ヘッドセットでの応答

### 【外線着信に対する応答】

1

### スピーカ を押す

- 外線着信に応答します。  
→  外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

### 【ヘッドセットで通話】

2

### スピーカ (終話) を押す

- 終話をします。  
→  外線 ランプ：消灯  
→  スピーカ ランプ：消灯

# その他の接続（BGM放送）

BGM音源と組み合わせると電話機が未使用のとき、ドア・ページングユニットと接続し、電話機のスピーカや構内放送からBGMを流すことができます。  
工事設定が必要です。

## 設定／解除のしかた

1

### 機能 を押す

- 機能 ランプ：赤点灯

2

### ラ WXYZ 9 サ DEF 3 を押す

- 機能 ランプ：赤点滅

3

### 機能 を押す

- 機能 ランプ：消灯

### MEMO

- 手順1～3は、機能特番93として、電話機の  オート に登録できます。（☎157ページ）  
登録後は、 オート を押すたびに、「設定」→「解除」を繰り返します。
- 解除するときは「設定のしかた」と同じ操作をします。

# 名前を確認してから電話をかける（電話帳機能）

ローカル電話帳には最大400件のデータが登録できます。（登録した電話機からのみ利用できます）  
1件あたり、全角8文字（半角16文字）の名前、半角カタカナ12文字の読み仮名、および2件の電話番号が登録できます。  
登録しておくことで簡単な操作で、相手の名前と電話番号を表示部で確認しながら電話をかけられます。

## 登録のしかた

DC 600電話機

1

●を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2

5 な カを押す

- 電話帳設定メニュー表示になります。

3

▲を押して [新規登録] を選択し、  
●を押す

4

電話番号1を入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

5

電話番号2を入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

6

名前を入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大8文字（半角16文字）入力できます。
- 漢字変換は文字入力後、▲で候補を選択し、●で確定します。
- 変で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字（漢）→全角カナ（ア）→半角カナ（アイ）  
→全角英字（A）→半角英字（AB）→数字（12）  
を繰り返します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

7

読み仮名を入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 半角で最大12文字入力できます。
- 変で文字入力モードを切り替えます。  
半角カナ（アイ）→半角英字（AB）→数字（12）  
を繰り返します。
- 入力しない場合は、●だけを押してください。

8

▲を押して [はい] を選択し、  
●を押す

- 電話帳に登録され、手順3に戻ります。

### MEMO

- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能（271ページ）をご覧ください。
- クリアを押すと最後の1文字（カーソル位置）を消去します。

- 1 を押す  
●登録済みの電話帳を五十音順に一覧表示します。
- 2 を押して発信する相手を選択し、を押す  
●で検索モードを切り替えます。  
名前検索→メモリ番号検索を繰り返します。  
●名前検索は、ダイヤルボタンで読み仮名を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。  
●メモリ番号検索は、ダイヤルボタンでメモリ番号を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。
- 3 を押して電話番号を選択し、を押す
- 4 を押して「発信」を選択し、を押す

- 5 を押して「付加ダイヤル」を選択し、を押す
- 6 を押して電話番号の前に付加する番号を選択し、を押す  
●お買い上げ時は、「184」（非通知）、「186」（通知）が選択できます。  
●184 / 186以外に2件の付加ダイヤルを設定できます。（220ページ）
- 7 を押して「外線発信」を選択し、を押す

### MEMO

- 電話帳を起動したときの検索モード（名前検索、メモリ番号検索）が設定できます。（222ページ）
- 手順4のあと、付加ダイヤルをしない場合は、手順7へ進みます。

# ● 変更のしかた

- 1 「かけかた」の手順1～3の操作をする
- 2 を押して「編集」を選択し、を押す
- 3 電話番号1を変更し、を押す  
●ダイヤルボタンで入力します。  
●変更しない場合は、だけを押してください。
- 4 電話番号2を変更し、を押す  
●ダイヤルボタンで入力します。  
●変更しない場合は、だけを押してください。

- 5 名前を変更し、を押す  
●ダイヤルボタンで入力します。  
●全角で最大8文字（半角16文字）入力できます。  
●漢字変換は文字入力後、で候補を選択し、で確定します。  
●で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字（漢）→全角カナ（ア）→半角カナ（アイ）→全角英字（A）→半角英字（AB）→数字（12）を繰り返します。  
●変更しない場合は、だけを押してください。
- 6 読み仮名を変更し、を押す  
●ダイヤルボタンで入力します。  
●半角で最大12文字入力できます。  
●で文字入力モードを切り替えます。  
半角カナ（アイ）→半角英字（AB）→数字（12）を繰り返します。  
●変更しない場合は、だけを押してください。
- 7 を押して「はい」を選択し、を押す  
●電話帳に登録され、一覧表示に戻ります。

### MEMO

- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能（271ページ）をご覧ください。
- を押すと最後の1文字（カーソル位置）を消去します。

## ● 一件削除のしかた

DC 600電話機

- 1 「かけかた」の手順1～3の操作をする
- 2  を押して「一件削除」を選択し、  
 を押す

- 3  を押して「はい」を選択し、  
 を押す  
● 選択した電話帳を削除し、一覧表示に戻ります。

## ● 全件削除のしかた

DC 600電話機

- 1  を押す  
● 「カレンダー・時計」表示状態で  を押します。  
● 機能メニュー表示になります。
- 2   を押す  
● 電話帳の全件削除メニュー表示になります。
- 3  を押して「はい」を選択し、  
 を押す  
● パスワード入力画面を表示します。

- 4 4桁のパスワードを入力し、 を押す  
● ダイヤルボタンで入力します。  
● お買い上げ時は、「0000」です。  
● 電話帳が全件削除されます。

### MEMO

- 削除すると復元できなくなりますので、ご注意ください。
- パスワードの設定方法については、「パスワード設定」(P.222ページ)を、ご参照ください。

名前を確認してから電話をかける(電話帳機能) / マナーモード

⑧ DC600 独自機能編

## ■ マナーモード

ワンタッチで動作モードをマナーモードにすることができます。

### マナーモードの設定

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で  
 を押し続ける  
● マナーモードが設定され、 を表示します。  
● 設定すると、着信音量は「切」、バイブレータは「入」、キータッチトーンは「切」になります。(お買い上げ時)

### マナーモードの解除

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で  
 を押し続ける  
● マナーモードが解除され、 が消えます。

# 公衆モード

公衆モードでご利用の場合は、多くの付加サービスに対応しているウィルコムへ加入ください。  
詳しくはお買い求めになられた販売店にご相談ください。

- 110番、119番通報時におけるご注意
  - (1) 移動しながらの通報は、通報中に電話が切れてしまうことがありますので、いったん止まった状態で通報してください。
  - (2) PHSからの通報であることを伝えてください。なお、通報場所などが不明の場合は、表札、電柱、看板などで確認するか、付近の住民に聞くなどして、所在、目標をはっきり確かめてから通報してください。
  - (3) 通報終了後、当庁側からお問い合わせのため、呼び出しすることがありますので、約10分間はPHSの電源を切らないでください。
  - (4) 所在などが不明な場合は、近くの公衆電話などを利用して通報してください。
  - (5) 消防・救急（119番）へは、一部地域で接続できない場合があります。

## 電話をかける

DC 600電話機

### 1 電話番号を押す

### 2 を押す

-  ランプが緑速点滅し、そのあと緑点灯に変わり発信します。
- 相手が応答すると通話時間表示になります。

#### MEMO

-  を押してからダイヤルしても発信することができません。
- 市内通話をかける場合でも、必ず市外局番を押してください。
- 電話番号にサブアドレス（内線番号など）を付加して発信する場合は、手順1の相手先電話番号を押した後に  を押し、サブアドレスを押してください。

## 電話帳を使ってかける

DC 600電話機

### 1 を押す

- 登録済みの電話帳を五十音順に一覧表示します。

### 2 を押して発信する相手を選択し、 を押す

-  で検索モードを切り替えます。  
名前検索→メモリ番号検索を繰り返します。
- 名前検索は、ダイヤルボタンで読み仮名を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。
- メモリ番号検索は、ダイヤルボタンでメモリ番号を入力すると、該当する電話帳が先頭に表示されます。

### 3 を押して電話番号を選択し、 を押す

### 4 を押す

-  ランプが緑速点滅し、そのあと緑点灯に変わり発信します。
- 相手が応答すると通話時間表示になります。

## 電話を受ける

DC 600電話機

### 1 着信音が鳴る

-  ランプ：緑点滅
- 電話帳に電話番号が登録されている場合は、登録されている名前を表示します。
- 発信側が発番号非通知発信の場合、相手の電話番号は表示されません。

### 2 を押す

- 着信に応答すると通話時間表示になります。  
→  ランプ：緑点灯

## ● 発番号を通知する／通知しない

DC 600電話機

公衆モードで発信者番号を通知するか、しないかの設定ができます。

- お買い上げ時は、「通知する」です。

1

●を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2

6 は MNO 3 き DEF を押す

- 発番号通知設定メニュー表示になります。

3

●を押して [通知する] か [通知しない] を選択し、●を押す

- 選択した内容を設定します。

## ● 料金分計サービス

DC 600電話機

料金分計サービスは、分計発信の指定をした通話料金の請求先を、通常とは別にすることができるウィルコムが提供するサービスです。ご利用に際しては、別途申し込みが必要です。(有料)

- 分計発信モード時に発信通話した場合、通話料金は第2請求先へ請求されます。
- 一度設定した分計発信モードを解除する時は、待ち受け画面で、●電源を押します。
- 分計発信モードで発信したあと、分計発信モードは解除されます。
- 発信履歴に分計発信の情報が表示されます。リダイヤルも分計発信されます。

1

●を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2

6 は MNO 4 た GHI を押す

- 分計発信モードに設定されます。そのあと数秒後に待ち受け状態に戻り、「分マーク」を表示します。

## ● 留守番電話サービス

DC 600電話機

電源を切っているときや、圏外にいるときに電話がかかってきた場合、留守番電話センターで相手のメッセージを録音し、あとで聞くことができます。

留守番電話サービスはウィルコムの付加サービスです。ご利用に際しては、別途申し込みが必要です。(有料)

- メッセージの再生などの操作については、留守番電話サービスに契約されたときのマニュアルをご覧ください。
- 「メッセージあり」の表示は、メッセージを再生したあとで消えます。ただし、電池パックを取り外すとメッセージを再生していなくても表示されなくなります。

公衆モードで通話を終了したとき、メッセージが録音されていると「メッセージあり」と表示します。

→ 着信ランプ：遅点滅

発信者番号を通知してこない着信の場合、電話を受けないように設定できます。

- 発信者番号を通知してこない着信には、以下の3種類があります。
  - (1) 通知不可能 : 発信者番号通知に対応していないネットワークからの電話のため、通知できません。
  - (2) ユーザー非通知 : 発信者側が非通知設定をしているため、通知できません。
  - (3) 公衆電話発信 : 公衆電話からの発信のため、通知できません。

## 設定のしかた (通知不可能の場合)

- を押す
  - 「カレンダー・時計」表示状態で ● を押します。
  - 機能メニュー表示になります。
- 6 は MNO 1 あ 1 あ を押す
  - 通知不可能の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。
- ◀▶ を押して [許可] か [拒否] を選択し、● を押す
  - 選択した内容を設定します。

## 設定のしかた (公衆電話発信の場合)

- を押す
  - 「カレンダー・時計」表示状態で ● を押します。
  - 機能メニュー表示になります。
- 6 は MNO 1 あ 3 き DEF を押す
  - 公衆電話発信の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。
- ◀▶ を押して [許可] か [拒否] を選択し、● を押す
  - 選択した内容を設定します。

## 設定のしかた (ユーザー非通知の場合)

- を押す
  - 「カレンダー・時計」表示状態で ● を押します。
  - 機能メニュー表示になります。
- 6 は MNO 1 あ 2 か ABC を押す
  - ユーザー非通知の非通知着信拒否設定メニュー表示になります。

- ◀▶ を押して [許可] か [拒否] を選択し、● を押す
  - 選択した内容を設定します。

# 指定着信拒否

迷惑電話を防止するために指定した電話番号からの電話を受けないように設定できます。最大で10件の電話番号を登録できます。

- を押す
  - 「カレンダー・時計」表示状態で ● を押します。
  - 機能メニュー表示になります。
- 6 は MNO 2 か ABC を押す
  - 指定着信拒否設定メニュー表示になります。
- ◀▶ を押して登録先のメモリ番号を選択し、● を押す

- 電話番号を入力し、● を押す
  - ダイヤルボタンで入力します。

### MEMO

- 電話番号を入力するとき、「\*」が使用できます。  
 “\*”は先頭には入力できません。  
 “\*”以降にはダイヤルを入力できません。  
 (例)「070\*」と登録すると、「070」で始まる番号は、すべて着信拒否されます。

公衆モード中（待ち受け中）において、自動車運転中など手が離せない状態のときに設定しておくこと、着信があった場合に発信者に対して電話に出ることができないことを通知します。

- ドライブモード中は、着信があったことを通知するための着信音やバイブレータ駆動はしませんが、着信があったことをディスプレイに表示します。  
なお、110、118、119からの着信に関しては、その限りではありません。
- ネットワーク応答および電話機応答の可否、録音の有無を設定できます。（安全運転モード設定）  
ネットワーク応答のご利用に際しては、別途申し込みが必要です。

## ドライブモードの設定

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で  
\*記号 を押し続ける  
●ドライブモードが設定され、を表示します。

## ドライブモードの解除

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で  
\*記号 を押し続ける  
●ドライブモードが解除され、が消えます。

## 安全運転モード設定のしかた

- 1  を押す  
●「カレンダー・時計」表示状態でを押します。  
●機能メニュー表示になります。
- 2   を押す  
●安全運転モード設定メニュー表示になります。
- 3  を押して設定するモードを選択し、 を押す  
●モードは、「ネットワーク応答録音無」、「ネットワーク応答録音有」、「電話機応答録音無」、「電話機応答録音有」のいずれかから選択します。  
●選択したモードで設定します。

## 録音メッセージの再生

- 1  を押す  
●「カレンダー・時計」表示状態でを押します。  
●機能メニュー表示になります。
- 2   を押す  
●録音メッセージメニュー表示になります。  
●新規メッセージが登録されている場合、メッセージが再生されます。
- 3  を押して [再生] を選択し、  
 を押す  
●録音メッセージが再生されます。  
●録音メッセージがない場合、選択できません。

## 録音メッセージの消去

- 1 「録音メッセージの再生」の手順1～2の操作をする
- 2  を押して [消去] を選択し、  
 を押す  
●録音メッセージを消去されます。  
●録音メッセージがない場合、選択できません。

ウィルコムに公衆登録した場合、公衆モードでのメール機能が一部使用できます。

- 絵文字などの機能はご利用できません。
- 受信10件、送信10件のメールが保存できます。
- メール本文は、最大で全角45文字（半角90文字）まで作成できます。
- 10件以上の送受信を行った場合、古い順に上書きされます。
- メールに保護をかけると、上書きされることを防止できます。（メール保護は最大9件までかけることができます）
- メール本文に電話番号が入っている場合、本文表示から電話番号を選択し、電話をかけることができます。また、電話帳登録、メール作成を行うことができます。

## メールを読む

- 1  を押す
  - メールメニュー表示になります。
- 2  を押して [受信BOX] を選択し、  
 を押す
  - 最新の受信メールのタイトルが表示されます。
  - タイトルは、到着日時、未読/既読、送信者、本文（表示できるだけ）を表示します。
- 3  を押して確認するメールを選択し、  
 を押す
  - 選択したメールの本文が表示されます。

## メール保護の設定/解除

- 1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする
- 2  を押す
  - メールBOXメニュー表示になります。
- 3  を押して [保護設定] を選択し、  
 を押す
  - 保護設定メニュー表示になります。
- 4  を押して [保護設定] を選択し、  
 を押す
  - 選択したメールが保護されます。

● 解除するときは、[保護解除] を選択し、  
 を押す

## メールの削除

- 1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする
- 2  を押す
  - メールBOXメニュー表示になります。
- 3  を押して [一件削除] を選択し、  
 を押す
  - メール1件削除メニュー表示になります。
  - 全件削除をする場合、[受信メール全削除] を選択します。
- 4  を押して [はい] を選択し、  
 を押す
  - 選択したメールが削除されます。（全件削除の場合は、すべての受信メールが削除されます）

## メールの作成

- 1 を押す
  - メールメニュー表示になります。
- 2 を押して「新規作成」を選択し、  
を押す
  - メールの新規作成画面が表示されます。
- 3 を押して「To:」を選択し、  
を押す
  - 宛先選択画面が表示されます。
- 4 を押して「電話帳検索」を選択し、  
を押す
  - 送信先の電話番号を直接入力する場合は、「直接入力」を選択し、を押します。続けてダイヤルボタンで電話番号を入力し、を押す。そのあと手順6へ進みます。
- 5 を押して電話帳から送信先を選択し、  
を押す

## メールの返信／転送

- 1 「メールを読む」の手順1～3の操作をする
- 2 を押す
  - メールBOXメニュー表示になります。
- 3 を押して「返信」を選択し、  
を押す
  - 返信メールの作成画面が表示されます。
  - 転送する場合は、「転送」を選択し、を押します。
- 4 送信先 (To: ) を確認する
  - 変更する場合は、「To:」を選択し、を押して編集します。 (「メールの作成」の手順4～5の操作をする)
- 5 を押して「本文:」を選択し、  
を押す
  - 本文編集画面が表示されます。
  - 転送の場合 (本文を編集しない場合) は、手順7へ進みます。

- 6 を押して「本文:」を選択し、  
を押す
  - 本文編集画面が表示されます。
- 7 本文を入力し、  
を押す
  - ダイヤルボタンで入力します。
  - 全角で最大45文字 (半角90文字) 入力できます。
  - を押すと前回の内容を編集することができます。
  - 漢字変換は文字入力後、で候補を選択し、で確定します。
  - で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字 (漢) → 全角カナ (ア) → 半角カナ (ｱｲ) → 全角英字 (A) → 半角英字 (AB) → 数字 (12) を繰り返します。
  - を押すと改行できます。
- 8 を押して「メール送信」を選択し、  
を押す
  - メール送信メニュー画面が表示されます。
- 9 を押して「メール送信」を選択し、  
を押す
  - 作成したメールが送信されます。
- 6 本文を入力し、  
を押す
  - ダイヤルボタンで入力します。
  - 全角で最大45文字 (半角90文字) 入力できます。
  - を押すと前回の内容を編集することができます。
  - 漢字変換は文字入力後、で候補を選択し、で確定します。
  - で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字 (漢) → 全角カナ (ア) → 半角カナ (ｱｲ) → 全角英字 (A) → 半角英字 (AB) → 数字 (12) を繰り返します。
  - を押すと改行できます。
- 7 を押して「メール送信」を選択し、  
を押す
  - メール送信メニュー画面が表示されます。
- 8 を押して「メール送信」を選択し、  
を押す
  - 作成したメールが送信されます。

## メールの再送

- 1 を押す
  - メールメニュー表示になります。
- 2 を押して [送信BOX] を選択し、  
を押す
  - 最新の送信メールのタイトルが表示されます。
  - タイトルは、送信日時、送信先、本文（表示できるだけ）を表示します。
- 3 を押して確認するメールを選択し、  
を押す
  - 選択したメールの本文が表示されます。
- 4 を押す
  - メールBOXメニュー表示になります。
- 5 を押して [再送] を選択し、  
を押す
  - 再送メールの作成画面が表示されます。

- 6 送信先 (To : ) を確認する
  - 変更する場合は、[To : ] を選択し、を押して編集します。（「メールの作成」の手順4～5の操作をする）
- 7 本文 (本文 : ) を確認する
  - 変更する場合は、[本文 : ] を選択し、を押して編集します。（「メールの作成」(☎213ページ)の手順6～7の操作をする）
- 8 を押して [メール送信] を選択し、  
を押す
  - メール送信メニュー画面が表示されます。
- 9 を押して [メール送信] を選択し、  
を押す
  - 作成したメールが送信されます。

## アンテナサーチ

DC 600電話機

電波の強い接続装置を探し出すことができます。

- 1 「カレンダー・時計」表示状態で  
電源 を押す
  - 一度アンテナマークが消えて、再度アンテナマークが表示されます。

### MEMO

- 電源 を押し続けると、電源が切れますので、ご注意ください。

# 機能モード

## 機能モードの使いかた

DC 600電話機

待機状態で、●を押すと、機能メニュー表示となります。  
機能メニュー表示から機能番号を選ぶことで、各種機能の設定/変更することができます。

1

### ●を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で●を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2

### 機能番号を入力する（または●を押す） を押して機能を選択し、●を押す

3

### 選択機能の設定内容を変更する

- を押して設定を切り替えたり、ダイヤルボタンで番号や文字を入力します。

4

### ●を押す

- 変更した設定内容を登録します。

## 機能項目一覧

DC 600電話機

項目番号	項目	内容	お買い上げ時の設定
0	自局番号表示		
0	自局番号表示	公衆、会社1～8の自局番号を表示します。	(登録なし)
1	発信モード		
1 0	発信モード確認	現在の発信モードを表示します。	—
1 1	自営発信モード選択	自営発信モードを設定します。	会社1モード
1 1 0	自動待ち受けモード	会社1～8を切り替える機能(1面待ち)	—
1 1 1	会社1モード	会社1の1面待ちに設定します。	—
1 1 2	会社2モード	この機能は使用できません。	—
1 1 3	会社3モード		
1 1 4	会社4モード		
1 1 5	会社5モード		
1 1 6	会社6モード		
1 1 7	会社7モード		
1 1 8	会社8モード		
1 2	トランシーバモード選択		
1 2 1	トランシーバ1モード		
1 2 2	トランシーバ2モード		
1 2 3	トランシーバ3モード		
1 2 4	トランシーバ4モード		
1 2 5	トランシーバ5モード		
1 2 6	トランシーバ6モード		
1 2 7	トランシーバ7モード		
1 2 8	トランシーバ8モード		
1 3	公衆発信モード	公衆の1面待ちに設定します。	—
1 4	2面モード(自営優先)	公衆、自営の2面待ちに設定します。	—
1 4 1	会社1、公衆モード	会社1、公衆の2面待ちに設定します。	—
1 4 2	会社2、公衆モード	この機能は使用できません。	—
1 4 3	会社3、公衆モード		
1 4 4	会社4、公衆モード		
1 4 5	会社5、公衆モード		
1 4 6	会社6、公衆モード		
1 4 7	会社7、公衆モード		
1 4 8	会社8、公衆モード		

機能モード

⑧ DC600 独自機能編

つづく➡

項目番号	項目	内容	お買い上げ時の設定	
1	5	2面モード (自営優先)	公衆、自営の2面待ちに設定します。	—
1	5   1	公衆、会社1モード	公衆、会社1の2面待ちに設定します。	—
1	5   2	公衆、会社2モード	この機能は使用できません。	—
1	5   3	公衆、会社3モード		
1	5   4	公衆、会社4モード		
1	5   5	公衆、会社5モード		
1	5   6	公衆、会社6モード		
1	5   7	公衆、会社7モード		
1	5   8	公衆、会社8モード		
2	パスワードロック			
2	パスワードロック	パスワードロックを設定できます。	ロック解除	
3	動作モード			
3	0	動作モード選択	通常・マナー・ユーザーの3種類	通常
3	1	通常モード	通常動作モードを設定します。	—
3	1   1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	中
3	1   2	バイブレータ	切・入	切
3	1   3	キータッチトーン	キー操作時の確認音 (切・入)	入
3	1   4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	1   5	メール送達確認音	切・入	入
3	2	マナーモード	マナーモードを設定します。	—
3	2   1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	切
3	2   2	バイブレータ	入・切	入
3	2   3	キータッチトーン	キー操作時の確認音 (切・入)	切
3	2   4	受話音量	小・中・大の3段階	中
3	2   5	メール送達確認音	入・切	切
3	3	ユーザーモード	ユーザーモードを設定します。	—
3	3   1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	大
3	3   2	バイブレータ	入・切	入
3	3   3	キータッチトーン	キー操作時の確認音 (切・入)	入
3	3   4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	3   5	メール送達確認音	入・切	入
3	4	着信音種	16種類の鳴動音を選択できます。	—
3	4   1	会社外線	会社外線の鳴動音を設定します。	1
3	4   2	会社内線	会社内線の鳴動音を設定します。	2
3	4   3	トランシーバ	この機能は使用できません。	—
3	4   4	公衆	公衆の鳴動音を設定します。	5
3	4   5	メール着信音	メール着信音の鳴動音を設定します。	3
3	5	リレー着信	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します。	切
3	6	着信自動応答回数	この機能は使用できません。	—
3	7	外線一般着信設定	この機能は使用できません。	—
3	8	付加ダイヤル設定	発信時に使用する付加ダイヤルを登録します。 (例：184、186、0発信)	(登録なし)
4	キー機能			
4	1	ファンクションボタン設定	会社モードでファンクションボタンをワンタッチダイヤルとして使用するとき設定します。	—
4	1   1	システム (8Line)	F1～F8をファンクションボタンで使用します。	初期設定
4	1   2	システム (6Line)	F1～F6をファンクションボタン、F7、F8をワンタッチダイヤルで使用します。	—
4	1   3	ワンタッチ	F1～F8をワンタッチダイヤルで使用します。	—
4	2	ワンタッチダイヤル設定 (F1～F8)	ワンタッチダイヤルの電話番号、名前を設定します。	—
4	3	短縮キーモード設定	会社モードでシステムの短縮ダイヤルあるいは電話機のローカル電話帳のいずれかのモードを設定する。(電話帳ボタンの操作時)	ローカル

項目番号	項目	内容	お買い上げ時の設定
5	電話帳機能		
5	1	新規登録 400件までの電話帳を登録します。 電話番号1：32桁までのダイヤル 電話番号2：32桁までのダイヤル 名前：全角8文字（半角16文字）までの名前 読み仮名：カタカナ12文字までの読み仮名	(登録なし)
5	2	初期表示設定 電話帳モードを起動したときに名前検索か、メモリ番号検索のいずれかのモードを設定します。	名前検索
5	3	全件削除 全ての電話帳を削除します。	—
6	公衆機能設定		
6	1	非通知着信拒否設定 公衆モードで発信者番号非通知の着信拒否を設定します。	—
6	1	1 通知不可能 発信者番号が通知不可能な場合の設定	許可
6	1	2 ユーザー非通知 ユーザー非通知の場合の設定	許可
6	1	3 公衆電話発信 公衆電話による発信の場合の設定	許可
6	2	指定着信拒否 指定した番号からの着信拒否を設定します。(10件)	(登録なし)
6	3	発番号通知設定 公衆モードの発信時に発番号の通知・非通知を設定します。	通知する
6	4	分計発信 分計発信時に設定をします。	—
6	5	安全運転モード設定 ドライブモードが設定されている状態でボイスメールを起動するか、しないかの設定をします。	—
6	5	1 ネットワーク応答録音無 ネットワークで応答し、録音はしません。	初期設定
6	5	2 ネットワーク応答録音有 ネットワークで応答し、録音します。	—
6	5	3 電話機応答録音無 電話機が応答し、録音はしません。	—
6	5	4 電話機応答録音有 電話機が応答し、録音します。	—
6	6	録音メッセージ 録音されたメッセージの再生・消去をします。	—
7	オプション機能		
7	データ通信コネクタの設定 データ通信ポートを設定できます。		—
7	1	電話帳編集モード データ通信ポートを電話帳編集モードに設定します。	—
7	2	データ通信（公衆） データ通信ポートを32k/64kベストエフォート方式に設定します。(公衆用)	初期設定
7	3	データ通信（会社） データ通信ポートを32k/64kギャランティ方式に設定します。(会社用)	—
8	保守機能		
8	1	パスワード設定 パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します。	0000
8	2	LCD設定 LCD各種設定を行います。	—
8	2	1 LCDコントラスト LCDコントラストを調節します。	中
8	2	2 LCDバックライト点灯時間 0～60秒で設定可能	10秒
8	2	3 LCD表示サイズ 電話帳操作時に表示する文字サイズを大・小から選択できます。	小
8	3	内線データ特番設定 この機能は使用できません。	—
8	4	圏外警告音設定 設定時に圏外になったときの警告音の有無を設定します。	入
8	5	アラーム機能 各種アラームを設定します。	—
8	5	0 カレンダー時刻設定 年・月・日・時・分を設定します。	2007年1月1日 00時00分 月曜日
8	5	1 アラーム1設定 設定時刻にアラームを鳴動します。	00時00分 切
8	5	2 アラーム2設定 設定時刻にアラームを鳴動します。	00時00分 切
8	6	マイネーム 公衆モードで待ち受けの際、マイネーム表示の有無を設定します。	(設定なし)
8	9	完全消去+初期化 機能モード内の全設定データおよび発着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。	—
9	履歴管理		
9	1	発信履歴表示 20件までの発信を記憶し、履歴情報からリダイヤルまたは電話帳への登録ができます。	—
9	2	着信履歴表示 20件までの着信を記憶し、履歴情報から発信または電話帳への登録ができます。	—

## ● 自局番号表示

DC 600電話機

公衆、会社1～8の自局番号を表示します。

- お買い上げ時は、「登録なし」です。

1

● **0** を押す

- 公衆の自局番号を表示します。

2

● **↑** を押して会社1～8を切り替える

- 会社1～8の自局番号を表示します。

## ● 発信モードの確認

DC 600電話機

現在の発信モードを表示します。

1

● **1** **あ** **0** を押す

- 現在の発信モードを表示します。

## ● 発信モードの設定

DC 600電話機

発信モードを設定します。

- 発信モードは、「会社1モード」、「公衆モード」、「会社1・公衆モード」（2面自営優先）、「公衆・会社1モード」（2面公衆優先）のみに対応しています。誤って他の発信モードを設定したときは、ご利用の発信モードに変更してください。
- お買い上げ時は、「会社1モード」です。

1

● **●** を押す

- 「カレンダー・時計」表示状態で **●** を押します。
- 機能メニュー表示になります。

2

● 設定する発信モードの機能番号を押す

- 対応する発信モードの機能番号は以下のとおりです。

<b>1</b> <b>あ</b> <b>1</b> <b>あ</b> <b>1</b> <b>あ</b>	：会社1モード
<b>1</b> <b>あ</b> <b>3</b> <b>あ</b>	：公衆モード
<b>1</b> <b>あ</b> <b>4</b> <b>あ</b> <b>1</b> <b>あ</b>	：会社1・公衆モード
<b>1</b> <b>あ</b> <b>5</b> <b>あ</b> <b>1</b> <b>あ</b>	：公衆・会社1モード

- 指定した発信モードを設定します。

## ● パスワードの設定／解除

DC 600電話機

他の人が不正に使用することを防止するために、パスワードを必要とするキーロックをかけることができます。

- パスワードを忘れるとパスワードロックが解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

1

● **2** **か** **ABC** を押す

- パスワード入力画面を表示します。

2

● 4桁のパスワードを入力し、 **●** を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- お買い上げ時は「0000」です。
- キーロックを設定します。
- パスワードロック状態を **🔒** で表示します。

●解除するときは、設定の場合と同じ操作をする

- パスワードロックが解除され **🔒** が消えます。

### MEMO

- パスワードの設定方法については、「パスワード設定」（☎222ページ）を、ご参照ください。

ご使用環境にあわせて、「通常モード」、「マナーモード」、「ユーザーモード」の3つのモードから選択できます。また、動作モードごとに、着信音量／バイブレータ／キータッチトーン／受話音量／メール送達音が設定できます。

## 動作モードを選択する

- 1  **3** きDEF **0** わをん を押す  
●動作モードの選択メニューを表示します。
- 2  を押して設定する動作モードを選択し、 を押す  
●動作モードは、「通常モード」、「マナーモード」、「ユーザーモード」のいずれから選択します。  
●選択した動作モードを設定します。

## 着信音量の設定(例:通常モードの場合)

- 1  **3** きDEF **1** あ を押す  
●通常モードの詳細メニューを表示します。  
●マナーモードの場合、 **3** き **2** あ を押します。  
●ユーザーモードの場合、 **3** き **3** あ を押します。
- 2  を押して [着信音量] を選択し、 を押す  
●着信音量の調節画面を表示します。
- 3  を押して音量値を選択し、 を押す  
●音量は、「切」、「小」、「中」、「大」、「漸増」の5段階から選択します。  
●選択した音量を設定します。

## バイブレータの設定(例:通常モードの場合)

- 1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする
- 2  を押して [バイブレータ] を選択し、 を押す  
●バイブレータの設定画面を表示します。
- 3  を押して [ON] か [OFF] を選択し、 を押す  
●選択した内容を設定します。

## キータッチトーンの設定(例:通常モードの場合)

- 1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする
- 2  を押して [キータッチトーン] を選択し、 を押す  
●キータッチトーンの設定画面を表示します。
- 3  を押して [ON] か [OFF] を選択し、 を押す  
●選択した内容を設定します。

## 受話音量の設定(例:通常モードの場合)

- 1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする
- 2  を押して [受話音量] を選択し、 を押す  
●受話音量の調節画面を表示します。
- 3  を押して音量値を選択し、 を押す  
●音量は、「小」、「中」、「大」の3段階から選択します。  
●選択した音量を設定します。

## メール送達音の設定(例:通常モードの場合)

- 1 「着信音量の設定」の手順1の操作をする
- 2  を押して [メール送達音] を選択し、 を押す  
●メール送達音の設定画面を表示します。
- 3  を押して [ON] か [OFF] を選択し、 を押す  
●選択した内容を設定します。

## ● 着信音種の設定

DC 600電話機

会社、公衆、トランシーバ、メールの各発信モードにおける着信音を16種類の中から選ぶことができます。また、外線と内線の着信音を個別に設定できます。

- トランシーバについては、ご利用になれません。

1

● **3** き DEF **4** た GH を押す

- 着信音種メニューを表示します。

2

● **↑** を押して着信種別を選択し、**●** を押す

- 着信種別は、「会社外線」、「会社内線」、「トランシーバ」、「公衆」、「メール着信音」のいずれかから選択できます。
- 「トランシーバ」はご利用になれません。

3

● **○** を押して音種を選択し、**●** を押す

- 音種は「01」～「16」の番号で選択します。
- 音種を選択するごとに、スピーカからそれぞれの音が鳴ります。

### MEMO

- DC600電話機は、システムで設定した着信音種別指定とは異なります。

## ● リレー着信機能の設定

DC 600電話機

着信のときに、初めに音で知らせて約10秒間応答しなかった場合、バイブレータと音が交互に動作するようにできます。また、初めにバイブレータで知らせる場合も同様に動作します。

1

● **●** **3** き DEF **5** な JK を押す

- リレー着信メニューを表示します。

2

● **○** を押して動作モードを選択し、**●** を押す

- 動作モードは、「しない」、「音→パイプ」、「パイプ→音」のいずれかから選択できます。
- 選択した動作モードを設定します。

### MEMO

- リレー着信の動作（充電台から上げている場合）

バイブレータの設定	着信音量	リレー着信機能の設定		
		「音→パイプ」表示	「パイプ→音」表示	「しない」表示
ON	入	バイブレータと音が交互に動作	—	—
ON	切	バイブレータだけ	リレー着信 (パイプ→音)	—
OFF	入	リレー着信 (音→パイプ)	音だけ	—
OFF	切	しばらくしてバイブレータ動作	しばらくして音が漸増	—

- 充電台に置いているときは、バイブレータは動作しません。

## ● 付加ダイヤルの設定

DC 600電話機

発信時の付加ダイヤルをオリジナルデータとして2つ登録できます。

- 付加ダイヤルは電話帳に登録したダイヤルとあわせて32桁まで使用できます。

1

● **●** **3** き DEF **8** や TV を押す

- 付加ダイヤル設定メニューを表示します。

2

● **○** を押して登録先のメモリ番号を選択し、**●** を押す

3

● 付加するダイヤルを入力し、**●** を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

会社1モードのとき、外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使うことができます。

- 「システム (8Line)」は、外線ボタン1～8をシステムで使用する設定です。
  - 「システム (6Line)」は、外線ボタン1～6をシステムで使い、外線ボタン7、8をワンタッチダイヤルとして使用する設定です。
  - 「ワンタッチ」は、外線ボタン1～8をワンタッチダイヤルとして使用する設定です。
- ※システムの外線ボタンとしての機能（割り付け機能を含む）は、すべて使用できなくなります。

## 1

   を押す

- キーモード設定メニューを表示します。

## 2

 を押して利用方法を選択し、  
 を押す

- 利用方法は、「システム (8Line)」、「システム (6Line)」「ワンタッチ」のいずれかから選択できます。
- 設定した利用方法を設定します。

# ワンタッチダイヤルの設定

外線ボタンにワンタッチダイヤルを設定することができます。

電話番号とともに名前も登録できます。名前は最大全角8文字（半角16文字）、電話番号は最大32桁登録できます。

- 外線ボタンのモード設定を「ワンタッチ」または「システム (6Line)」にする必要があります。
- ※「システム (6Line)」の場合は外線ボタン7、8のみワンタッチダイヤルが設定できます。

## 1

   を押す

- ワンタッチダイヤル設定メニューを表示します。

## 2

 を押して設定する外線ボタン  
を押す

## 3

 を押して [編集] を選択し、  
 を押す

## 4

電話番号を入力し、 を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

## 5

名前を入力し、 を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大8文字（半角16文字）入力できます。
- 漢字変換は文字入力後、 で候補を選択し、 で確定します。
-  で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字 (漢) → 全角カナ (ア) → 半角カナ (アイ)  
→ 全角英字 (A) → 半角英字 (AB) → 数字 (12)  
を繰り返します。
- 入力しない場合は、 だけを押してください。

### MEMO

- 入力できる文字は、DC600電話機のローカル機能（ 271ページ）をご覧ください。
-  を押すと最後の1文字（カーソル位置）を消去します。

## 電話帳ボタンの設定

DC 600電話機

会社モードで<sup>文字</sup>☐ (電話帳ボタン) をシステムで使用するか、電話機のローカル電話帳で使用するかを設定できます。

- システムのメニュー操作中は、設定に関係なく短縮ボタンとして動作します。
- システムで使用するに設定した場合、待ち受け画面で<sup>文字</sup>☐を押すと、内線捕捉状態になります。

### 1 ● 4 た GH 3 き DEF を押す

- 短縮モード設定メニューを表示します。

### 2 ● を押して動作モードを選択し、● を押す

- 動作モードは、「ローカル」、「システム」のどちらかを選択します。
- 選択した動作モードを設定します。

## 電話帳の初期表示設定

DC 600電話機

電話機のローカル電話帳を起動したときの検索モード（名前検索、メモリ番号検索）を設定します。

- お買い上げ時は、「名前検索」です。

### 1 ● 5 な JKL 2 か ABC を押す

- 電話帳の初期表示設定メニューを表示します。

### 2 ● を押して検索モードを選択し、● を押す

- 検索モードは、「名前検索」、「メモリ番号検索」のどちらかを選択します。
- 選択した検索モードを設定します。

## パスワードの設定

DC 600電話機

パスワードロックに使用するパスワードを設定します。

- パスワードを忘れると、パスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。
- お買い上げ時は、「0000」です。

### 1 ● 8 や TUV 1 あ を押す

- 旧パスワードの入力画面を表示します。

### 3 新パスワードを入力し、● を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- パスワードは、数字4桁で入力します。

### 2 旧パスワードを入力し、● を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- パスワードは、数字4桁で入力します。

## バックライト点灯時間の設定

DC 600電話機

バックライトの点灯時間を0～60秒に設定できます。

- 「0秒」を設定した場合、バックライトは点灯しなくなります。
- お買い上げ時は、「10秒」です。

### 1 ● 8 や TUV 2 か ABC 2 か ABC を押す

- バックライト点灯時間設定メニューを表示します。

### 2 点灯時間を入力し、● を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 一度、待ち受け画面に戻ったあとに、設定が有効になります。

## LCD表示サイズの設定

DC 600電話機

電話帳操作時の文字サイズを大／小から選択できます。

- 大きな文字を選択した場合、電話帳検索時の表示は1画面につき1件ずつの表示になります。
- お買い上げ時は、「小」です。

1 ● **8** や TUV **2** か ABC **3** さ DEF を押す

- 文字サイズ設定メニューを表示します。

2 ● を押して文字サイズを選択し、● を押す

- 文字サイズは、「小」、「大」のどちらかを選択します。
- 選択した文字サイズを設定します。

## 圏外警告音の設定

DC 600電話機

通話中に圏外になったときの警告音の有無を設定できます。

- お買い上げ時は、「ON」です。

1 ● **8** や TUV **4** た GH を押す

- 圏外警告音設定メニューを表示します。

2 ● を押して [ON] か [OFF] を選択し、● を押す

- 選択した内容を設定します。

## 時計の設定

DC 600電話機

電話機の日付、時刻を設定することができます。

- 会社モードでお使いのときは、システムから自動的に時計データがダウンロードされますので、設定は不要です。
- お買い上げ時は、「2007年1月1日 00時00分 月曜日」です。

1 ● **8** や TUV **5** な JKL **0** わをん を押す

- カレンダー編集画面を表示します。

2 日付、時刻を入力し、● を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 西暦、月、日、時、分の順で入力します。曜日は自動的に入力されます。
- を押したときに、秒の単位を0秒に設定します。

## アラームの設定／解除

DC 600電話機

設定した時刻になるとアラームで知らせる機能を2件設定できます。

- お買い上げ時は、「解除（00時00分）」です。

1 ● **8** や TUV **5** な JKL **1** あ を押す

- アラーム1の設定メニューを表示します。
- アラーム2の場合は、● **8** や TUV **5** な JKL **2** い を押します。

2 ● を押して [設定] を選択し、● を押す

- アラーム時刻の入力画面を表示します。

3 アラーム時刻を入力し、● を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 時刻は24時間制で入力します。  
例：午後3時15分は、「1515」と入力します。

●解除するときには、手順2で「解除」を選択し、● を押す

## ● マイネームの設定

DC 600電話機

公衆モードで表示する名前（マイネーム）を設定できます。

- お買い上げ時は、「設定なし」です。

1

●    を押す

- 名前編集画面を表示します。

2

名前を入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- 全角で最大8文字（半角16文字）入力できます。
- 漢字変換は文字入力後、で候補を選択し、●で確定します。
- で文字入力モードを切り替えます。  
全角漢字（漢）→全角カナ（ア）→半角カナ（アイ）  
→全角英字（A）→半角英字（AB）→数字（12）  
を繰り返します。

## ● 全設定初期化

DC 600電話機

機能モード内の全設定データおよび発着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。

- 全設定初期化を行うとパスワードも、お買い上げ時の「0000」に戻ります。

1

●    を押す

- パスワード入力画面を表示します。

2

4桁のパスワードを入力し、●を押す

- ダイヤルボタンで入力します。
- お買い上げ時は「0000」です。

3

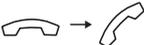
 を押す

- 全設定が初期化されます。

# 自営標準端末

自営標準端末は単独電話機として使用することができます。自営標準端末はProのみです。操作方法は、単独電話機と同じです。

- 自営標準端末を使用するにはシステムコードレスユニットと工事設定が必要です。
- 単独電話機と自営標準端末の操作の違いは以下のとおりです。

操作	単独電話機	自営標準端末
オフフック		
オンフック		
フッキング		

- 自営標準端末は各会社によって異なります。また、操作方法が本書の説明と異なる場合があります。

# 内線優先編

単独電話機ポートの場合、工事設定により、内線優先モードにする必要があります。(お買い上げ時:外線優先モード)

## ● 受話器を上げて電話をかける (外線発信)

単独電話機、自営標準端末

外線に電話をかけます。

1



- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

2

**0** を押す

- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

3

電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

4

**#** を押す

- すぐに電話がかかります。
- #** を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- アナログ回線は**#** を押しません。

5

外線通話

- 相手先が応答したら通話します。

### MEMO

- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。(デジタル回線)
- 構内交換機 (PBX) に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にPBXへアクセスする番号を押します。
- 手順2で**0** を押すと、未使用のNTT外線やIP電話回線などの自動選局状態となります。また、**9 8 9** を押すと、IP電話回線を優先的に捕捉します。

## ● 再度かけ直す (リダイヤル)

単独電話機、自営標準端末

最後にかけた相手に、再度かけ直すことができます。

1



- 内線発信音「ブップブツ…」が聞こえます。

2

**9 8 4** を押す

- プッシュ式の単独電話機の場合は **9 8 4** を押します。

3

**外線通話**

- 相手先が応答したら通話します。

## ● ダイヤル操作で外線をつかむ (指定外線捕捉)

単独電話機、自営標準端末

外線発信時、いずれかの外線を選んで捕捉できます。

1



- 内線発信音「ブップブツ…」が聞こえます。

2

**9 6 3** を押す

3

**外線番号を押す**

- 外線番号は2桁を押します。  
例：外線1の場合は **0 1** を押します。

4

**電話番号を押す**

- ダイヤルボタンで入力します。

5

**#** を押す

- すぐに電話がかかります。
- **#** を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- アナログ回線は **#** を押しません。

## ● 短縮ダイヤルから電話をかける

単独電話機、自営標準端末

電話帳に登録された短縮番号 (☎63ページ) から電話をかけることができます。

- ダイヤル式 (DP) の単独電話機では、ご利用できません。

1



- 内線発信音「ブップブツ…」が聞こえます。

2

**\*** を押す

3

**短縮番号を押す**

- 短縮番号0000～3999のいずれかを押します。

## ● 受話器を上げて応答する（外線着信）

単独電話機、自営標準端末

外線の電話を受けます。

1

### 着信音が鳴る

- 外線着信音「ブルル…」が聞こえます。

2



- 相手と通話します。

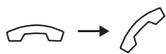
## ● 外線通話を保留にする（外線保留）

単独電話機、自営標準端末

1

### 外線通話中

2



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

### 再通話のしかた

3



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると外線相手と再通話できます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると、保留警報音「ブルルブルル…」が鳴ります。

#### MEMO

- どの電話機からでも再通話できます。

## ● 内線通話後に外線を転送する（自動転送）

単独電話機、自営標準端末

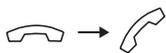
外線を保留して内線通話で転送先に転送することを伝えてから、転送します。

### 転送する側の操作

1

### 外線通話中

2



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3

### 内線番号を押す

4

### 内線通話

- 内線相手と通話します。  
例：「…さんから電話です！」

5



- 受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。

### 転送される側の操作

1

### 呼出音が鳴る

- 呼出音「プププ」が鳴ります。

2



- 受話器を上げて内線相手と通話します。
- 相手が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。

#### MEMO

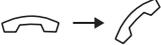
- 信号音個別呼出の場合には、呼出音「ブルル…」が聞こえます。
- 他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送になります。

# ● 内線通話をしないで直接外線を転送する(強制転送)

単独電話機、自営標準端末

## 転送する側の操作

1 外線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに(0.8秒以内)受話器を上げると保留(システム保留)になります。
- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 内線番号を押す

## 転送される側の操作

1 呼出音が鳴る

- 転送されたことを表す呼出音「ブルルル…」が鳴ります。
- 約30秒経過した場合、呼出音が止まります。
- このとき転送する側は保留警報音が鳴ります。

4 

- 受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。

【転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、次の手順5'、6'の操作をします】

5' 呼出音が鳴る

- 保留警報音「ブルル ブルル…」が鳴ります

6' 

- 受話器を上げると、再度外線相手と通話できます。

2 

- 30秒以内に受話器を上げると、自動的に外線とつながります。

### MEMO

- 他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送になります。

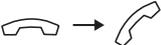
# ● 他テナントへ外線を転送する(パーク)

単独電話機、自営標準端末

外線通話を一時保留してからパークに転送すると、保留している電話機または他のテナントの電話機より再応答できます。パークは00～19まであります。

## 転送する側の操作

1 外線通話中

2 

- 受話器を置いてすぐに(0.8秒以内)受話器を上げると保留(システム保留)になります。
- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3 **9 6 8**を押す

4 **0 0**～**1 9**のいずれかを押す

- 転送するパーク番号**0 0**～**1 9**のいずれかを押します。
- 保留している外線がパークに転送されます。
- パーク転送音「ピピピピッ…」が聞こえます。

5 

- 受話器を置くと保留警報音「ブルルブルル…」が鳴ります。

3 **0 0**～**1 9**のいずれかを押す

- 保留中のパーク番号を押します。

4 外線通話

- 外線相手と通話します。

### MEMO

- 通話を保留して他のテナントの電話機へ内線転送した場合でも、パーク経由での転送になります。

## ● 外線で会議をする（外線会議通話）

単独電話機、自営標準端末

外線1人と内線3人まで会議通話できます。（最大4人）他テナントの内線を含めた外線会議通話はできません。

### 外線1人と内線2人で会議する場合

#### 1 外線通話中



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

#### 3 内線番号を押す

### 会議に参加する側

#### 1 呼出音が鳴る

- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

#### 4 内線通話

- 内線相手が応答したら通話します。



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると会議通話ができます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると自動転送されます。（☎227ページ）
- 内線を3人参加の場合も手順1～5を繰り返してください。



- 受話器を上げ、内線相手と通話します。
- 内線相手が会議操作を行うと会議通話になります。

## ● 内線をかける（内線発信）

単独電話機、自営標準端末

内線を呼び出して通話します。

### 音声個別呼出の場合



- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

#### 2 内線番号を押す

- 呼出音「ブー」が聞こえます。

#### 3 内線通話

- 相手が応答したら通話します。

#### MEMO

- 信号音個別呼出の場合、呼出音「ブルルル…」が聞こえます。
- 内線発信でダイヤル操作をしない場合、ダイヤル式（DP）の単独電話機では約3分、プッシュ式（PB）の単独電話機では約20秒経過するとビジー音「ブーブー…」が鳴り、さらに約20秒経過するとハウラ音「ピピピ…」が鳴ります。

## ● 内線呼出音を切り替える（音声／信号音切替）

単独電話機、自営標準端末

音声個別呼出／信号音個別呼出の切り替え

- ダイヤル信号（DP）の単独電話機では、ご利用になれません。
- 工事設定により、電話機ごとに音声呼出から信号呼出に変更できます。（ただし、DC600電話機や単独電話機への内線呼出は、信号音のみです）

#### 1 音声個別呼出中

- 音声個別呼出音「ブー」が聞こえます。

#### 2 ※を押す

- ※を押すと信号個別呼出音「ブルルル…」に変わります。
- ※を押すたびに音声→信号音を繰り返します。

## ● 続けて別の内線呼び出す (リセットコール)

単独電話機、自営標準端末

内線呼出している相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。

1



- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

2

### 内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

### 【相手不応答】

3

### 別の内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

4

### 内線通話

- 相手が応答したら通話します。

### MEMO

- プッシュ信号の一般電話機から行っている場合は、呼び出し操作後20秒以内に別の内線番号を押してください。

## ● すべての内線呼び出す (一斉呼出/電話機グループ呼出)

単独電話機、自営標準端末

電話機一斉/電話機グループで呼出します。

1



- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

2

### 内線特番を押す

- (9) (7) (0) : 一斉呼出
- (9) (7) (1) (1) : 内線グループA呼出
- (9) (7) (1) (2) : 内線グループB呼出
- (9) (7) (1) (3) : 内線グループC呼出
- (9) (7) (1) (4) : 内線グループD呼出
- (9) (7) (1) (5) : 内線グループE呼出
- (9) (7) (1) (6) : 内線グループF呼出
- (9) (7) (1) (7) : 内線グループG呼出
- (9) (7) (1) (8) : 内線グループH呼出
- (9) (7) (1) (9) : 内線グループI呼出
- (9) (7) (7) : 未使用の全電話機と構内放送の呼び出しを同時に行います。

### 応答のしかた

1



- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

2

### (9) (7) (9) を押す

- 内線通話ができます。

### MEMO

- 単独電話機は電話機一斉/グループ呼出をされたときは、着信鳴動しません。

## ● ページング接続 (構内放送)

単独電話機、自営標準端末

構内放送をします。(ドア・ページングユニットが必要です)

### 放送のしかた

1



- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

2

### 内線特番を押す

- (9) (7) (5) : 構内放送1
- (9) (7) (6) : 構内放送2
- (9) (7) (8) : 構内放送一斉

### 応答のしかた

1



- 内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

2

### 内線特番を押す

- 内線通話ができます。
- (9) (7) (\*) : 構内放送1呼出応答
- (9) (7) (#) : 構内放送2呼出応答
- 構内放送一斉のときは、構内放送1、2呼出応答のどちらでも応答できます。

# ● 話中のときはそのまま待って相手呼び出す（コールウェイティング）

単独電話機、自営標準端末

内線相手が通話中にそのまま待っていると、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

## 単独電話機側

1



- 内線発信音「ブッププッ…」が聞こえます。

2

### 内線番号を押す

- 内線相手が通話中の場合、ビジートーン「ブーブー…」が聞こえます。

3

### そのまま待っていると

- 内線相手が通話終了後、ビジートーンが消え、呼出音「ブー」が鳴ります。
- 相手が応答したら通話します。

## 内線相手側

1

### 呼出音が鳴る

- 通話が終わると呼出音「ブルル ブルル…」が鳴ります。

2



- 受話器を上げると、内線相手と通話できます。

# ● 受話器を上げるだけで特定の内線、または内線グループに電話をかける（オフック内線自動発信）

単独電話機

工事設定により、受話器を上げるだけで設定されている内線電話機、または内線グループを呼び出すことができます。  
ただし、他の操作はできなくなります。

1



- 内線番号を呼び出します。

2

### 内線通話

- 相手が応答したら通話できます。

## MEMO

- 工事設定により呼び出す内線電話機を設定します。

# ● 他の内線呼出に应答する（内線代理应答）

単独電話機、自営標準端末

すべての内線の代わりに应答ができます。

## 他の内線に着信が入ったとき

1



- 内線発信音「ブッププッ…」が聞こえます。

2

### 9 6 1 を押す

- 代理应答として内線通話ができます。

## MEMO

- 自テナント内の内線のときだけ内線代理应答できます。

## ● 内線通話を保留する（内線保留）

単独電話機、自営標準端末

内線を保留します。

### 1 内線通話中



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップッ・・・」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

### 保留再応答のしかた



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると内線相手と再通話できます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると、保留警報音「ブルブルル・・・」が鳴ります。

## ● 内線通話を保留して他の内線と通話後に転送する（内線保留転送）

単独電話機、自営標準端末

内線通話後、別の内線に転送します。

### 転送する側の操作

#### 1 内線通話中



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「プップッ・・・」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

#### 3 内線番号を押す

#### 4 内線通話

- 内線相手と通話します。  
例：「・・・さんから電話です！」



- 受話器を置くと、内線が自動的に転送されます。

### 転送される側の操作

#### 1 呼出音が鳴る

- 呼出音「ブルルブルル・・・」が鳴ります。



- 受話器を上げて内線相手と通話します。
- 相手が通話を切ると、自動的に別の内線が転送します。

### MEMO

- 信号音個別呼出の場合には、呼出音「ブルルル・・・」が鳴ります。

## ● 通話中の電話機を呼び出す（話中呼出）

単独電話機、自営標準端末

内線相手が通話中のときに、自分が待っていることを内線相手に待機中通知音で知らせてくれます。

- 単独電話機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機を話中呼出することはできません。
- ダイヤル式（DP）の単独電話機では、ご利用になれません。

### 待機中通知する側



- 内線発信音「プップッ・・・」が聞こえます。

#### 2 内線番号を押す

- 相手が通話中のとき話中音「プープープ・・・」が鳴ります。

#### 3 \* を押す

- \* を押すと通話中の内線相手のスピーカから、待機中通知音が鳴ります。

## ● 内線で会議をする（内線会議通話）

単独電話機、自営標準端末

内線4人まで会議通話できます。

### 内線3人で会議する場合

1

内線通話中

2



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると保留（システム保留）になります。
- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると電話が切れます。
- 保留中は相手に保留音が流れます。

3

内線番号を押す

4

内線通話

- 内線相手が応答したら通話します。

5



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると会議通話ができます。
- 受話器を0.8秒以上置いていると内線保留転送されます。（☎232ページ）
- 内線を4人参加の場合も手順1～5を繰り返してください。

### 会議に参加する側

1

呼出音が鳴る

- 呼出音「ブルル ブルル…」が鳴ります。

2



- 受話器を上げ、内線相手と通話します。
- 内線相手が会議操作を行うと会議通話になります。

## ● ドアホンからの呼び出しで通話をする（ドアホン通話）

単独電話機、自営標準端末

ドアホンと通話することができます。ドア・ページングユニットが必要です。自営標準端末で使用するには工事設定が必要です。

 ドアホンから呼び出し

1

呼出音が鳴る

- ドアホン呼出音が聞こえます。

2



- ドアホン呼出音が鳴り始めてから約15秒以内に受話器を上げると、ドアホン通話ができます。

## ● ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ）

単独電話機、自営標準端末

ドアホンモニタができます。ドア・ページングユニットが必要です。

1



- 内線発信音「ブップブッ…」が聞こえます。

2

内線特番を押す

- **9 8 1** : ドアホン1
- **9 8 2** : ドアホン2
- **9 8 3** : ドアホン3

# 外線優先編

## ● 受話器を上げて電話をかける（外線発信）

単独電話機、自営標準端末

外線に電話をかけます。

1



- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

2

電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

3

＃を押す

- すぐに電話がかかります。
- 〔＃〕を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- アナログ回線は〔＃〕を押しません。

4

外線通話

- 相手先が応答したら通話します。

### MEMO

- 単独電話機から電話をかけるときは、未使用の空き外線を自動的に捕捉します。
- 外線捕捉後、電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。

## ● 受話器を上げて応答する（外線着信）

単独電話機、自営標準端末

外線の電話を受けます。  
自営標準端末で使用するには工事設定が必要です。

1

着信音が鳴る

- 外線着信音「ブルル…」が聞こえます。

2



- 相手と通話します。

### MEMO

- 単独電話機は、NTTのキャッチホンサービスなどが受けられません。

## ● 内線優先モードと共通操作

単独電話機、自営標準端末

次の機能は内線優先モードの使いかたと同じ操作手順です。

- 外線保留 (☎227ページ)
- 強制転送 (☎228ページ)
- 自動転送 (☎227ページ)
- 外線会議通話 (☎229ページ)

## ● 内線をかける（内線発信）

単独電話機、自営標準端末

受話器を上げると外線発信音が聞こえます。  
● 内線を呼び出す場合は下記操作を行います。

1



- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

2



- 受話器を置いてすぐに（0.8秒以内）受話器を上げると内線発信音「プッププッ…」が聞こえます。

3

内線番号を押す

- 呼出音「プー」が聞こえます。

4

内線通話

- 相手が応答したら通話します。

# ISDNの基本サービス

## ISDNのサービス一覧

NTTのISDNサービス（INSネット64）は、デジタル通信のメリットを生かし、通信からデータ通信、画像通信まで幅広く利用できる通信網サービスです。下記のサービスについて詳細は、最寄のNTT窓口にお問い合わせください。

- 244ページまでの操作は、多機能電話機を例とします。

サービス名		内容
基本サービス	料金情報通知	通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。
	サブアドレス通知	電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、指定した電話機に着信させることができます。
	発信者番号通知	デジタル回線からの着信の場合、かけてきた相手の番号が電話機に表示されます。
付加サービス	迷惑電話おことわり（いたずら電話防止）	迷惑電話を受けた直後、契約者の電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号から着信がある場合、自動的にメッセージで応答します。
	INSボイスワープ	転送元（契約者）にかかってきた電話を転送先の電話や携帯電話へ自動転送できます。
	ダイヤルイン	ダイヤルイン番号を設定することにより、指定した外線電話機に着信させることができます。システムで32個まで使用できます。
	ナンバー・ディスプレイ	アナログ回線ユーザーからの着信時も相手の発信電話番号が通知されます。発信者が番号を通知しなかった場合や番号が通知できない場合には、その理由を通知するサービスです。
	ネーム・ディスプレイ	発信企業名情報を含む着信の場合、その情報を発信者名表示として表示させることができます。
	i・ナンバー	デジタル1回線で、3つの電話番号が持てます。ただし、同時に利用できる通話数は2つまでです。 (代表取扱サービスやダイヤルインサービスなどと重複して契約はできません)

- アナログ回線でも「ダイヤルイン」「ナンバー・ディスプレイ」「ネーム・ディスプレイ」サービスが受けられます。

### MEMO

- 付加サービスは別途、NTTへのお申し込みが必要です。付加機能使用料（月額）がかかります。
- 本システムは、スティミュラスプロトコル手順に対応しています。

## 料金情報通知

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1

### 電話をかける

- 通話をします。

2

通話終了	0 : 15 9円
------	--------------

- 通話を終了すると、表示部に通話料金が表示されます。

### MEMO

- 通話料金は目安としてご利用ください。
- 国際電話をかけたときは通話料金は表示されません。
- 104電話番号案内、携帯電話、PHS、船舶無線、ダイヤルQ2などにかけたときは通話料金が表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。
- マイライン・マイラインプラスでNTTグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。

# サブアドレス通知

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、内線を個別に呼び出すことができます。  
相手の電話設備がサブアドレスに対応している必要があります。

## 電話をかける場合

(例) 電話番号が「03-1234-5678」でサブアドレスが「12」の相手への発信の場合

0 3 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8 \* 1 2

とダイヤルします。

(通常の電話番号の後に[\*]を押します。[\*]の次にサブアドレスを押します)

## 電話を受ける場合

サブアドレスに対応している電話設備（PHSやデジタル公衆電話など）から本システムに電話をかける場合は、内線番号がサブアドレスになります。

# 発信者番号通知

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

デジタル回線から着信の場合、発信者番号情報が通知されると、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます。(ただし、相手が非通知発信の場合、電話番号は表示されません)  
本システムでは、通知された電話番号が共通短縮ダイヤルに漢字登録されている場合、電話番号と一緒に登録されている名前も表示されます。

## 発信時の番号通知

電話をかける場合に、自分の番号を相手に通知するかどうかを、電話をかける度に切り替えることができます。  
お買い上げ時は発信者番号通知は「通知する」になっています。  
通話が終わると番号通知は初期に戻ります。

- 1 
- 2 **【外線】を押す**  
→ **【外線】ランプ**：緑点灯
- 3 **【フラッシュ】を押す**  

外線発信 01:
発信者番号：非通知 <b>【フラッシュ】</b> で変更

  - **【フラッシュ】**を押すごとに発信者番号通知が「通知」→「非通知」に切り替わります。
  - DC600電話機は**【フック】**を押すごとに発信者番号通知が「許可」→「禁止」に切り替わります。
- 4 **電話番号を押す**

## 着信時の相手電話番号の表示

- 1 **外線着信**  

外線着信 01: 0312345678
------------------------

  - 漢字登録なしの場合
  - 表示例：相手の電話番号表示

外線着信 01: 0312345678 東京サクサ
---------------------------------

  - 漢字登録ありの場合
  - 表示例：相手の電話番号および名前表示

### MEMO

- 工事設定により自分の番号とともに、自分のサブアドレスを通知することができます。
- プリセット発信ではご利用になれません。この場合は、184（付加しない）または186（付加する）を電話番号の前に付けてダイヤルしてください。
- 通話中の電話機で、他の外線に着信したとき**【発信番号】**を押してから、着信**【外線】**を押すと発信者番号を確認することができます。
- **【発信番号】**は特殊番号15として電話機の**【オート】**に登録できます。(P.157、159ページ)

# ISDNの付加サービス

## 迷惑電話おことわりの登録／確認／消去

迷惑電話を受けた直後、電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号の相手から電話がかかってきても、着信音を鳴らさず、自動的にメッセージで応答します。登録できる電話番号は最大6件または30件です。限度を超えて登録した場合は、登録された最も古い番号から自動的に解除されます。(新しい電話番号が登録されます)

●別途、NTTへのお申し込みが必要です。

登録以外の電話番号から電話がかかってきた場合、通常どおりの着信音が鳴ります。

### 通話中に登録する

迷惑電話と外線通話中に次の操作を行ってください。

- 1  機能 を押す  
→  機能ランプ：赤点灯
- 2  0 を押す  
→  機能ランプ：消灯
- 3  ア 1  タ GHI 4  タ GHI 4  カ ABC 2 を押す
- 4  # を押す

### 通話終了後に登録する

- 1 通話が終了して1分以内に、サービス契約している  外線 を押す
  - 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - 外線ランプ：緑点灯
  - スピーカランプ：赤点灯
- 2  ア 1  タ GHI 4  タ GHI 4  カ ABC 2 を押す
- 3  # を押す
  - 登録確認のアナウンスが流れます。
- 4  スピーカ を押す  
→  外線ランプ：消灯  
→  スピーカランプ：消灯

#### MEMO

- 「通話中に登録する」操作は、機能特番01442として電話機の  オート に登録できます。(☎157、158ページ)
- 登録された電話番号から電話がかかってくると、「こちらは×××…(契約者の電話番号)です。この電話はお受けできません。ご了承ください」のメッセージが流れます。
- 相手が構内交換機(PBX)経由で発信した場合は、その番号が登録できない場合があります。

### 登録を確認する

迷惑電話相手が登録後、何回かけてきたか件数をアナウンスで確認できます。

- 1  /外線 を押す
  - サービスを契約している  外線 を押します。
  - 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - 外線ランプ：緑点灯
  - スピーカランプ：赤点灯
- 2  ア 1  タ GHI 4  タ GHI 4  タ GHI 4 を押す
- 3  # を押す
  - 確認のアナウンスが流れます。
- 4  スピーカ を押す  
→  外線ランプ：消灯  
→  スピーカランプ：消灯

### 登録を消去する

- 1  /外線 を押す
  - サービスを契約している  外線 を押します。
  - 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - 外線ランプ：緑点灯
  - スピーカランプ：赤点灯
- 2  ア 1  タ GHI 4  タ GHI 4 を押す
- 3  サ DEF 3 または  ラ WXYZ 9 を押す
  - DEF 3 : 最後に登録した番号を消去します。
  - WXYZ 9 : 全ての登録を消去します。
- 4  # を押す
  - 確認のアナウンスが流れます。
- 5  スピーカ を押す  
→  外線ランプ：消灯  
→  スピーカランプ：消灯

# ● ナンバー・ディスプレイ

着信時に発信者の電話番号または番号が通知されないときに、その理由を通知するサービスです。  
アナログ回線からの着信時も、発信者の電話番号が表示されます。

- アナログ回線でもサービスを受けられます。

## 1

### 外線着信中

外線着信  
01：発番号通知なし  
非通知

- 外線の着信音が鳴り、表示部に通知内容が表示されます。
- 表示例：相手番号非通知  
→  /外線ランプ：赤点滅  
→ 着信ランプ：点滅

### 通知内容

通知内容	サービス名
一般回線から発信	例：03-1234-5678 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">外線着信 01：0312345678</div>
公衆電話機から発信	「公衆電話」
相手非通知	「非通知」
サービス提供不可	「表示圏外」 ●番号通知不可のネットワークからの着信など

# ● ネーム・ディスプレイ

発信企業名情報を含む着信の場合、その情報が発信者名表示として電話機に表示され、着信履歴にも残ります。

- アナログ回線でもサービスを受けられます。

## 1

### 外線着信中

外線着信  
01：0312345678  
東京サクサ本社  
ネーム・ディスプレイ着信

- 表示例：発信企業名情報を含む着信  
→  /外線ランプ：赤点滅  
→ 着信ランプ：点滅

### MEMO

- 共通短縮ダイヤルに名前付きで登録されている番号から、発信企業名情報を含む着信があった場合は、短縮登録されている名前を優先して表示します。
- 発信企業名情報を含む着信の場合は、4行目に「ネーム・ディスプレイ着信」と表示されます。(CL625子機、WS605電話機の場合、3行目に表示されます。DC600電話機には電話番号と名前のみ表示されます)
- 発信企業名情報を含む着信の場合は、着信履歴が一覧表示の場合、例「001>東京サクサ」が表示されます。

# INSボイスワープ

## INSボイスワープの転送について

かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送することができます。

- 別途、NTTへのお申し込みと工事設定が必要です。
- 転送のしかたには、次の4種類があり、転送セットするときに選択します。

### 1

#### 無条件転送

- かかってくる電話を無条件で転送します。

### 2

#### 無応答時転送

- 転送元で一定時間応答がない場合のみ転送します。

### 3

#### 話中時転送

- 転送元が通話中の場合のみ転送します。

### 4

#### 無応答および話中時転送

- 転送元で一定時間応答がない場合、および転送元が通話中、双方の場合に転送します。

### MEMO

- 本システムが故障中の場合、ネットワーク（NTT）が自動的にかかってきた電話を転送します。
- INSボイスワープは、NTTの転送サービスです。ご利用の際は、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」を併せてお読みください。
- 転送先は5カ所まで登録できます。5カ所の中から一つの転送先を選びます。

## 転送元電話番号受信サービス対応

INSボイスワープ、アナログ回線のボイスワープを利用して、転送された電話の転送元番号と転送理由を表示することができます。

- 本機能を利用するためには、転送先がISDN回線で、「転送元電話番号受信サービス」への契約が必要です。
- 転送元案内トキ設定を「有り」にしてください。
- 多機能電話機とCL625親機のみ表示が切り替わります。

### 1

#### 転送元から着信が入る

外線着信  
01:0312345678

- 発信者の電話番号を表示します。

↑ ↓ 3秒ごとに切り替わります。

外線着信  
01:0387654321  
ボイスワープ [無条件転送]

- 転送された電話の転送元電話番号と転送理由を表示します。

## 転送先電話番号の登録／確認

転送先電話番号を登録します。転送先は転送先番号リスト0～4を指定することにより、最大5カ所登録できます。  
電話番号の登録は上書き方式です。新しい電話番号を登録すると前の電話番号は消去されます。

### 転送先番号リスト0への登録

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  カ ABC 2 を押す

- アナウンスが流れます。

3

転送先電話番号を押す

- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### 転送先番号リスト1～4への登録

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

3

0 を押す

- アナウンスが流れます。

4

ア 1 ～  タ GHI 4 のいずれかを押す

- 登録するリスト番号 ( ア 1 ～  タ GHI 4) を選択し、押します。
- アナウンスが流れます。

5

転送先電話番号を押す

- アナウンスが流れます。

6

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### 転送先電話番号の確認

現在の転送先電話番号を確認します。

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3

0 を押す

- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## ● 転送先リストの指定

登録されている転送リストの中から、実際に転送される相手を1つ指定します。

### 転送先番号リストの指定

1

外線 を押す

- サービスを契約している  外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

3

ア1 を押す

- アナウンスが流れます。

4

0 ~  タ GHI 4 のいずれかを押す

- 転送先電話番号リスト番号 ( 0 ~  タ GHI 4) を選択し、押します。
- アナウンスが流れます。

5

スピーカ を押す

- 外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### MEMO

- ボイスワープのサービス開始後にこの操作を行うと、転送先を変更することができます。
- 転送先リストを指定せずにボイスワープを開始した場合、リスト0の転送先に転送されます。

## ● サービスの開始／停止／確認

転送先電話番号の登録 (☎240ページ)、および転送先リストの指定を行ったあとで、ボイスワープの開始を行ってください。

### 転送サービスの開始のしかた

1

外線 を押す

- サービスを契約している  外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  ア1 を押す

- アナウンスは流れませんので、すぐに手順3を行います。

3

ア1 ~  タ GHI 4 のいずれかを押す

- 転送方法を以下の ( ア1 ~  タ GHI 4) の番号で選択します。  
 ア1：無条件転送  
 カ ABC 2：無応答時転送  
 タ GHI 3：話中時転送  
 タ GHI 4：無応答および話中時転送
- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- 外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### 転送サービスの停止のしかた

1

外線 を押す

- サービスを契約している  外線 を押します。  
→  外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  0 を押す

- アナウンスが流れます。

3

スピーカ を押す

- 外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## 転送サービス状態の確認のしかた

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - /外線 ランプ：緑点灯
  - スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## 無応答時転送の起動時間の指定

無応答転送を指定した場合に、転送元が何秒後応答しなかった時点で転送を行うかを指定します。

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - /外線 ランプ：緑点灯
  - スピーカ ランプ：赤点灯

3

00 ~  ア1  ア1 のいずれかを押す

- 転送するまでの時間を次の ( 00 ~  ア1  ア1) の番号で選択します。

<input type="checkbox"/> 00 : 5秒	<input type="checkbox"/> ア1 : 10秒	<input type="checkbox"/> カ2 : 15秒
<input type="checkbox"/> タ DEF 3 : 20秒	<input type="checkbox"/> タ GHI 4 : 25秒	<input type="checkbox"/> タ HI 5 : 30秒
<input type="checkbox"/> ハ MNO 6 : 35秒	<input type="checkbox"/> マ PQRS 7 : 40秒	<input type="checkbox"/> テ TUV 8 : 45秒
<input type="checkbox"/> キ WXYZ 9 : 50秒	<input type="checkbox"/> ア1 <input type="checkbox"/> 00 : 55秒	<input type="checkbox"/> ア1 <input type="checkbox"/> ア1 : 60秒

- アナウンスが流れます。

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  サ DEF 3 を押す

- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## 転送通知用トーキの設定／確認

### 転送通知用トーキの設定のしかた

電話をかけてきた人に、転送を通知するアナウンスを設定することができます。アナウンスには3種類の内容があります。

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。
  - /外線 ランプ：緑点灯
  - スピーカ ランプ：赤点灯

4

00 ~  サ DEF 3 のいずれかを押す

- アナウンスを以下の ( 00 ~  サ DEF 3) の番号で選択します。

- 00 : アナウンスなし
- ア1 : 「ただいまより電話を転送いたします」
- カ2 : 「ただいまより電話を転送いたします。転送先までの電話料金は当方で負担いたします」
- サ DEF 3 : 「ただいま電話を呼び出しております」

- アナウンスが流れます。

2

ア1  タ GHI 4  カ ABC 2  タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

5

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

3

カ ABC 2 を押す

- アナウンスが流れます。

## 転送通知用トーキの確認のしかた

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3

ア 1 を押す

- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## 転送元案内トーキの設定／確認

### 転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の設定のしかた

転送先が応答したとき、転送電話であることを通知するアナウンスの設定ができます。

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

3

タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

4

0 または  ア 1 を押す

- 0 または  ア 1 の番号でアナウンスの有無を選択します。  
 0：アナウンスなし  
 ア 1：「この電話は（転送元電話番号）から転送されました」
- アナウンスが流れます。

5

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### 転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の確認のしかた

1

/外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

ア 1  タ GHI 4  カ ABC 2  ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3

サ DEF 3 を押す

- アナウンスが流れます。

4

スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

# リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を利用して、本システム外の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

## 暗証番号の設定

1

### /外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

### ア 1 タ GHI 4 カ ABC 2 タ GHI 4 を押す

- アナウンスが流れます。

3

### サ DEF 3 を押す

- アナウンスが流れます。

4

### ア 1 を押す

- アナウンスが流れます。
- 0 を押すと、リモートコントロール機能を「利用しない」設定となり、手順6へ進みます。

5

### 暗証番号を押す

- 登録する暗証番号（4桁）を押します。
- アナウンスが流れます。

6

### スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

### MEMO

- 暗証番号に  # や  \* を含めて登録することはできません。また1111などのように、同じ数字を4桁続けて登録することもできません。
- 暗証番号登録後、リモートコントロール機能を「利用しない」に設定変更し、再度「利用する」に変更した場合は、改めて暗証番号の登録を行います。

## 利用可否の確認

1

### /外線 を押す

- サービスを契約している  /外線 を押します。
- 外線発信音「ツー」が聞こえます。  
→  /外線 ランプ：緑点灯  
→  スピーカ ランプ：赤点灯

2

### ア 1 タ GHI 4 カ ABC 2 ヤ TUV 8 を押す

- アナウンスが流れます。

3

### カ ABC 2 を押す

- アナウンスが流れます。

4

### スピーカ を押す

- /外線 ランプ：消灯
- スピーカ ランプ：消灯

## リモートコントロール操作のしかた

リモートコントロール機能を利用して、プッシュ信号を送出できる外出先の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

1

### 外出先から次の番号へ電話をかける

2

### 1 4 2 7 を押す

- アナウンスが流れます。

3

### 電話番号を押す

- サービスを契約している電話番号を市外局番から押します。
- アナウンスが流れます。

4

### 暗証番号を押す

- 暗証番号（4桁）を押します。
- アナウンスが流れます。

5

### 0 ~ 2 のいずれかを押す

- 操作の種類により選択します。  
 0：転送サービスの停止  
 1：転送サービスの開始  
 2：転送先リストの変更

6

### 電話を切る

- 転送先リストを変更する場合は、転送先リスト番号（ 0 ~  4 のいずれか）を押します。
- このとき、アナウンスが流れます。

### MEMO

- 暗証番号を4回連続間違えると、一時的に利用できなくなります。この場合、暗証番号を再度登録し直す必要があります。

# 各種情報の確認

## ● システムバージョンを確認する (システムバージョン確認)

多機能電話機、CL625親機

システムのソフトウェアバージョンを確認することができます。

- 1 ● を押す
- 2 ◀ を押して [その他] を選択し、● を押す
- 3 ▶ を押して [システム] を選択し、● を押す

- 4 ◀ を押して [システムバージョン確認] を選択し、● を押す
  - メインCPUおよびサブCPUのソフトウェアバージョンが表示されます。

### MEMO

- 手順1～4はメニュー特番911として、電話機の [オート] に登録できます。(P157ページ)

⑨ その他システム

各種情報の確認

## ● ネットワークの情報を確認する (ネットワーク情報確認)

多機能電話機、CL625親機

主装置、ブロードバンドルータユニット、VoIPユニットのIPアドレスを確認します

### 主装置の場合

- 1 ● を押す
- 2 ▶ を押して [その他] を選択し、● を押す
- 3 ▶ を押して [ネットワーク] を選択し、● を押す

- 4 ▶ を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、● を押す
- 5 ▶ を押して [主装置] を選択し、● を押す
  - 主装置のIPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

## ブロードバンドルータユニットの場合

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して [ルータ] を選択し、●を押す

- ブロードバンドルータユニットのLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
- ブロードバンドルータユニットが実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。

6 ○を押す

- ブロードバンドルータユニットのWAN1側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

7 ○を押す

- ブロードバンドルータユニットのWAN2側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

8 ○を押す

- ブロードバンドルータユニットのDMZ側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

## VoIPユニット1の場合

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して [VoIP1] を選択し、●を押す

- VoIPユニット1のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
- VoIPユニット1が実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。

## VoIPユニット2の場合

1 ●を押す

2 ◀▶を押して [その他] を選択し、●を押す

3 ◀▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す

4 ◀▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す

5 ◀▶を押して [VoIP2] を選択し、●を押す

- VoIPユニット2のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
- VoIPユニット2が実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。

## VoIP1+ブロードバンドルータユニットの場合

- 1 ●を押す
- 2 ◀を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す
- 4 ▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す

- 5 ▶を押して [VoIP1+ルータ] を選択し、●を押す
  - VoIP1+ブロードバンドルータユニットのLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
  - VoIP1+ブロードバンドルータユニットが実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。
- 6 ●を押す
  - VoIP1+ブロードバンドルータユニットのWAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。

## IPSTユニット1の場合

- 1 ●を押す
- 2 ▶を押して [その他] を選択し、●を押す
- 3 ▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す

- 4 ▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す
- 5 ▶を押して [IPST1] を選択し、●を押す
  - IPSTユニット1のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
  - IPSTユニット1が実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。

## IPSTユニット2の場合

- 【Proのみ】
- 1 ●を押す
  - 2 ▶を押して [その他] を選択し、●を押す
  - 3 ▶を押して [ネットワーク] を選択し、●を押す

- 4 ▶を押して [ネットワーク情報の確認] を選択し、●を押す
- 5 ▶を押して [IPST2] を選択し、●を押す
  - IPSTユニット2のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスが表示されます。
  - IPSTユニット2が実装されていない場合には、「実装なし」と表示されます。

### MEMO

- 手順1～5はメニュー特番941Xとして電話機の [オート] に登録できます。(P.157ページ)
- (X: ①主装置、②ブロードバンドルータユニット、③VoIPユニット1 (またはVoIP1+ブロードバンドルータユニット)、④VoIPユニット2、⑤IPSTユニット1、⑥IPSTユニット2)

# Web設定

## ● パソコンから電話帳を編集する（電話帳Web編集）

主装置と同一LAN上に接続したパソコンからブラウザを使用して電話帳の編集ができます。使用可能なブラウザは「Internet Explorer 5.5 以上」または「Netscape 6.0 以上」です。主装置のLAN接続については工事店にお問い合わせください。

- 電話帳Web編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

### Web設定ログインのしかた

1 パソコンのブラウザを起動する

2 ブラウザのアドレスバーに主装置のIPアドレスを入力し、Web設定画面を開く

- 主装置のIPアドレスは、お買い上げ時「192.168.1.253」です。
- 主装置のIPアドレスは、多機能電話機から確認できます。(☎245ページ)

3  をクリックする

4 ログイン画面のユーザー名に、内線番号を入力する

- (例) 内線番号10を使用しているユーザーは、ユーザー名:  と入力します。

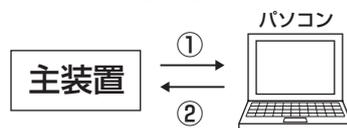
5 パスワードは未登録のため、省略する

- パスワードは、お買い上げ時、未登録のため省略してログインできます。
- Web設定にログインした後に、パスワードを設定することができます。

6  をクリックすると、Web設定（電話帳画面）に進む

## ● 電話帳をパソコンに転送し編集する（電話帳ダウンロード）

主装置と同一LAN上に接続されたパソコンからブラウザを使用して、電話帳を主装置からパソコンへ転送し、電話帳編集ソフト<sup>※1</sup>で編集します。その電話帳をパソコンから主装置に転送できます。



使用可能なブラウザは「Internet Explorer 5.5以上」または「Netscape 6.0 以上」です。主装置のLAN接続については工事店にお問い合わせください。

電話帳ダウンロードは、ユーザー管理者レベルで使用できます。

- 電話帳ダウンロードの詳細な操作資料については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

※1 電話帳編集ソフトはサクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) からダウンロードしてください。

## ユーザー管理者レベルでのログインのしかた

- 1 パソコンのブラウザを起動する
- 2 ブラウザのアドレスに主装置のIPアドレスを入力し、Web設定画面を開く
  - 主装置のIPアドレスは、お買い上げ時「192.168.1.253」です。
  - 主装置のIPアドレスは、多機能電話機から確認できます。(☎245ページ)

- 3 **ログイン** をクリックする
- 4 ユーザー名・パスワードを入力する  
(お買い上げ時)
  - ユーザー名 uadmin
  - パスワード uadmin
  - パスワードは、ログイン後に変更することができます。
- 5 **OK** をクリックすると、ユーザー管理者レベルのページに進む

## ●パソコンから着信メロディを登録する(着信メロディ Web登録)

主装置と同一LAN上に接続されたパソコンから、ブラウザを使用して着信メロディ Web登録ができます。使用可能なブラウザは「Internet Explorer 5.5以上」または「Netscape 6.0以上」です。主装置のLAN接続については工事店にお問い合わせください。着信メロディ Web登録は、上記と同じ「ユーザー管理者レベルでのログインのしかた」を行います。

- 着信メロディ Web登録の詳細な操作資料については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

### 着信メロディについて

- 再生可能な着信メロディのフォーマットは、次の通りです。
- SMF形式(拡張子:.mid) Format 0 1曲のデータサイズ80KB以下

- 上記条件を満たしたMIDIファイルであっても、MIDIファイルの作り方によっては、再生がうまくできない場合があります。あらかじめご了承のうえご利用ください。また、利用される楽曲によっては、お客様ご自身の音楽著作権の利用申請などが必要になる場合があります。あらかじめ、MIDIファイル供給元へご確認のうえご利用ください。
- 何らかの理由により、主装置の工事設定データなどが初期化されると、お客様が登録したMIDIファイルが再生できなくなります。(この場合、お買い上げ時の曲が再生されます) この場合、再度着信メロディを登録してください。
- 登録するMIDIファイルは、パソコンなどへ必ずバックアップをしてください。

## ● グローバルIPアドレスを通知する (グローバルIPアドレス通知)

主装置内ブロードバンドルータのWAN側グローバルIPアドレス変更時に、あらかじめ登録してあるE-Mailアドレス (最大5ヶ所) へ通知します。

グローバルIPアドレス通知は、電話帳ダウンロードの「ユーザー管理者レベルでのログインのしかた」(☞249ページ) を行います。

- 通知先のE-Mailアドレス編集の詳細については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。
- Windows Vistaを利用してメールを受信した場合、ご利用の環境によっては正しくメールが受信できない場合があります。詳細については「お問い合わせ窓口のご案内」(☞277ページ) の窓口にご相談ください。

### MEMO

- 工事設定により、メール通知の有無を設定できます。

## ● 着信履歴をメールで送信する (着信履歴メール送信)

外線着信不応答のとき、着信履歴をあらかじめ登録してあるE-Mailアドレス (最大5ヶ所) へ通知します。着信履歴メール送信は、電話帳ダウンロードの「ユーザー管理者レベルでのログインのしかた」(☞249ページ) を行います。

- 通知先のE-Mailアドレス編集と着信履歴の送信情報の詳細については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。
- Windows Vistaを利用してメールを受信した場合、ご利用の環境によっては正しくメールが受信できない場合があります。詳細については「お問い合わせ窓口のご案内」(☞277ページ) の窓口にご相談ください。

## ● パソコンから相手先を選んで電話する (これde発信)

主装置と同一LAN上に接続されたパソコンのブラウザから相手先電話機の状態を確認し、発信することができます。

使用可能なブラウザは「Internet Explorer5.5以上」または「Netscape6.0以上」です。

主装置のLAN接続については工事店にお問い合わせください。

これde発信は、電話帳Web編集 (☞248ページ) の「Web設定ログインのしかた」を行います。

- これde発信の詳細については、サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照して行ってください。

# 受付システム

## ● 受付システム (WelGuide) から相手先を選んで電話する (受付システム発信)

主装置と同一LAN上に接続された受付けシステム (WelGuide) から、相手先を選んで発信することができます。

- WelGuideの操作方法については、WelGuideのマニュアルを参照してください。

### 発信のしかた

#### 1 WelGuideを操作すると内線着信音が鳴る

内線着信  
10←[Call]  
これ de コール

#### 2 受話器を上げる

- WelGuideで選んだ相手先に発信します。

#### 3 通話をする

- 相手が出たら通話します。

# 緊急地震速報について

## ● 緊急地震速報について

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

気象庁より配信された緊急地震速報を受信すると、電話機や外部スピーカから地震速報ガイダンス（2回）を流します。さらに電話機で表示したり、ランプが点滅して緊急地震速報を知らせます。  
緊急地震速報を行うためには、主装置をLANに接続する必要があります。  
主装置のLAN接続や緊急地震速報については工事店にお問い合わせください。

緊急地震速報には、情報を発表してから主要動が到達するまでの時間は、長くても数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは情報が間に合わないことがあります。また、ごく短時間のデータだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差を伴うことがあります。  
緊急地震速報を受信しても慌てずに落ち着いて行動してください。

緊急地震速報です



# 停電について

## 停電用電源がない場合

通話中に停電になると、通話が切断されます。アナログ回線の場合、TD615、TD625電話機にADA605停電ユニットを、デジタル回線の場合、TD615、TD625電話機にADI605停電ユニットを取り付けると、「停電用電話機」となります。

- 停電用電話機は、停電中に電話をかけたり、受けたりできます。
- 停電用電話機としての停電用シールがあります。

## 停電用電源がある場合

停電用電源の外付けまたは内蔵タイプを接続したとき、ノーマルモードとエコモードによる動作は次のとおりです。

エコモードは、工事設定が必要です。

エコモードは、停電時に使える電話機2台とし、できるだけバッテリーの動作時間を持たせるためのモードです。

- 停電の場合、停電用電源がないときや、停電用電源のバッテリー残量がないときは、停電用電話機で発着信ができます。
- 停電時、多機能電話機、CL625子機、WS605子機のバックライトは点灯しません。
- 停電時、ブロードバンドルータユニット、VoIPユニット、IPSTユニットは使用できません。
- エコモード設定時は、内線10、11の電話機のみ使用できます。

## 【停電用電話機での電話のかけかた（発信）】

- 発信以外は、ダイヤルできません。
- 内線通話はできません。

1



- 外線発信音「ツー」が聞こえます。

2

### 電話番号を押す

- ダイヤルボタンで入力します。

3

### #を押す

- すぐに電話がかかります。
- #を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- アナログ回線は#を押しません。

4

### 外線通話

- 相手先が応答したら通話します。

## 【停電用電話機での電話の受けかた（着信）】

1

### 着信音が鳴る

- 停電時はブザーから着信音が鳴ります。通常の着信音とは異なります。

2



- 相手と通話します。

## MEMO

- 一通話のみ通話が可能です。通話中の着信は受けられません。（相手には話中音が聞こえます）
- デジタル回線の場合は、ボイスワープ設定などの操作はできません。
- 通話中に停電が復旧すると、通話中の通話は切れてしまいます。
- 表示部やランプは表示しません。
- 通話中に停電になった場合は局側（NTT）が回線を開放するまでご利用できないことがありますので、しばらくしてから、おかけ直してください。
- 停電用電話機（ADA605停電ユニット付き）は、アナログ回線の付加サービス（ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイなど）を契約されている場合、応答は最初の着信音鳴動から約6秒経過後（着信音が変わってから）に行ってください。それ以前に応答すると、電話を受けることができないことがあります。

# 機能ランプリセット

機能ランプリセットは各電話機に設定されている外線着信鳴動拒否、不在設定、不在転送のすべてを解除します。

## 機能ランプリセット

多機能電話機、CL625親機

1

機能 を押す

内線 10  
1 1 月 5 日 (土)  
午前 9 : 0 0

→  機能ランプ：赤点灯

2

ラ 9  ラ 9 を押す  
WXYZ WXYZ

《機能ランプ強制リセット》

→  機能ランプ：赤点滅

3

機能 を押す

《機能ランプ強制リセット》  
機能ランプ リセット

→  機能ランプ：消灯

●約5秒後に「カレンダー・時計」表示に戻ります。

## 機能ランプリセット

CL625子機、WS605電話機、DC600電話機

1

機能  ラ 9  ラ 9  機能 を押す  
WXYZ WXYZ

機能ランプ リセット

- 約5秒後に「カレンダー・時計」表示に戻ります。
- DC600電話機は  機能(F)  9  9  機能(F) を押します。

### MEMO

- 各電話機の一連の操作は、機能特番99として電話機の  オート に登録できます。(☎157、158ページ)
- CL625子機、WS605電話機は未使用  外線 に  機能 を登録します。(☎31ページ)
- DC600電話機は未使用  外線 に  機能(F) を登録します。(☎32ページ)

# 故障かな？とお考えになる前に

こんなとき	お確かめ下さい
<b>多機能電話機、CL625親機</b>	
すべての電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	・主装置の電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。
電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	・電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。
電話機の機能ランプが消えなくなった。	・機能ランプリセットを行ってください。(☎254ページ)
電話機の表示が消えている。 または黒く表示されている。	・コントラストがかすれていませんか。 ・コントラスト調整を行ってください。(☎35ページ) ・誤動作防止機能が働いていませんか。(☎39ページ)
<b>CL625子機、WS605電話機</b>	
子機がまったく作動しない。	・電池残量が少なくありませんか。(☎21ページ) ・誤動作防止機能が働いていませんか。(☎39ページ)
子機から着信音が鳴らない。	・着信音量が「OFF」になっていませんか。(☎27ページ) (表示部に「S」マークが付いていませんか) ・親機と離れすぎていませんか。
子機で(外線)を押すとエラー音が聞こえる。	・親機の電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。 ・親機と離れすぎていませんか。 ・子機を他の電話機の近くに置いていませんか。
子機を充電器に置いて、充電器の充電ランプが点灯しない。	・充電端子が汚れていませんか。 ・充電器のACアダプタが電源コンセントから外れていませんか。(☎20ページ)
<b>DC600電話機</b>	
まったく動作しない。	・電源は入っていますか。(☎24ページ) ・電池パックは十分に充電されていますか。また、ACアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。(☎23ページ) ・電池パックは正しく取り付けられていますか。(☎23ページ) ・電池パックは消耗していませんか。(☎23ページ) ・誤動作防止機能が働いていませんか。(☎39ページ)
電話がかかけられない。 または、着信音が鳴らない。	・電池パックは十分に充電されていますか。 ・接続装置から離れすぎたり、表示部に「圏外」と表示されていませんか。(☎24ページ) ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。(☎5ページ) ・着信音が鳴らないように設定されていませんか。(☎27ページ) ・発信モードが正しく設定されていますか。(☎218ページ) ・接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか。(☎17ページ) ・自営発信モード(●+1*1*)が「会社1」に設定されていますか。(☎215ページ) ・ファンクションボタン設定(●+4[1*])が「システム(8Line)」に設定されていますか。(☎221ページ)
通話が時々とぎれる。	・接続装置から離れすぎていませんか。(☎24ページ) ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。また、接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか。(☎5ページ) ・アンテナの向きを変えたり、場所を移動すると良くなりませんか。
充電中に充電ランプが点灯しない。	・子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。(☎24ページ) ・ACアダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。(☎23ページ)
規定時間以上充電しても使用できない。	・子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。(☎24ページ) ・ACアダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。(☎23ページ) ・電池パックが寿命になっていませんか。(☎23ページ)
発信や着信応答の操作ができない。	・アンテナの表示が消灯していませんか。消灯している場合は、点灯を待つてから、もう一度操作してください。 ・キーロックが設定されていませんか。(☎184ページ) ・パスワードが設定されていませんか。(☎222ページ)

## MEMO

### DC600電話機での注意事項について

- プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受け付けなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。
- 外線再捕捉をすぐに行くとエラーとなることがあります。そのときは、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。
- 外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

# 保証とアフターサービス

## ● 保証について

### ● 本システムには、保証書がついております。

保証書は、取扱説明書についておりますので、「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

- ・保証期間中でも有料になることがあります。保証書をよくお読みください。
- ・本システムの不具合により生じた損害の補償については、当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## ● 修理を依頼されるときには

### ● 本取扱説明書の「故障かな？とお考えになる前に」(☎255ページ)の項目をよくご覧になって、もう一度ご確認ください。

それでも異常の場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または当社へ次のことをご確認のうえ、ご相談ください。

- ・品名「ボタン電話装置」
- ・故障の状況(できるだけ詳しく)
- ・お客様の名前、住所、電話番号

### ● 保証期間中の修理は…

正常な使用状態で発生した故障につきましては、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。修理時に保証書をご提示ください。

### ● 保証期間経過後の修理は…

修理によって本システムの性能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年です。

## ● おわかりにならないことは

### ● 本システムの取扱説明書に関するご質問は、お買い上げの販売店または「お問い合わせ窓口のご案内」(☎277ページ)の営業所などにご相談ください。

### ● 増設、移設については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 内線番号/内線特番の一覧

多機能電話機、CL625親機の〔オート〕に登録できます。(☎156ページ)  
 CL625子機、WS605電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕に登録します。(☎31、156ページ)  
 DC600電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕に登録します。(☎32、158ページ)  
 ●受話器を置いた状態または未使用状態(「カレンダー・時計」表示時)で登録してください。

内線番号 内線特番	機能名称	参考ページ	備考
0	NTT外線を自動選局捕捉する	☎43	
10～89	内線番号	☎53	・お買い上げ時、Stdの内線番号は10～35、Proの内線番号10～89です。 ・工事設定により、内線100～899に変更できます。
	スライド着信	☎141	内線代表の電話機を呼び出す。
960	コールピックアップ(他テナント)	☎129	
961	内線代理応答	☎141	
962	自己保留外線の再応答	☎58	
963XX	指定外線捕捉	☎129	XX: 外線番号(2桁)
966	コールピックアップ(自テナント)	☎129	
968X	パーク保留	☎62	X: パーク番号00～19
969X	パーク保留応答	☎62	X: パーク番号00～19
970	一斉呼出(電話機)	☎142	
9711	グループ呼出(グループA)	☎142	
9712	グループ呼出(グループB)	☎142	
9713	グループ呼出(グループC)	☎142	
9714	グループ呼出(グループD)	☎142	
9715	グループ呼出(グループE)	☎142	
9716	グループ呼出(グループF)	☎142	
9717	グループ呼出(グループG)	☎142	
9718	グループ呼出(グループH)	☎142	
9719	グループ呼出(グループI)	☎142	
975	構内放送1	☎203	
976	構内放送2	☎203	
977	全電話機と構内放送	☎142	
978	構内放送一斉	☎203	
979	呼出応答	☎142	
97*	構内放送1呼出応答	☎203	内線特番975、978および構内放送1を含む呼び出しの応答
97#	構内放送2呼出応答	☎203	内線特番976、978および構内放送2を含む呼び出しの応答
981	ドアホンモニタ1	☎188	
982	ドアホンモニタ2	☎188	
983	ドアホンモニタ3	☎188	
984	リダイヤル* <sup>2</sup>	☎226	
986	送話ミュート付き外線通話割込	☎130	
989	IP電話回線の自動選局	☎43	
999	単独電話(FAXなど)へ着信音転送する	☎203	999は、単独電話機用ポート2に接続されたFAXなどの内線特番です。
*XX	指定外線捕捉* <sup>1</sup>	☎129	XX: 外線番号(2桁)
*XXXX	短縮ダイヤル発信* <sup>2</sup>	—	XXXX: 短縮番号(4桁)
#	システム間通話	☎192	

※1 単独電話機を除く電話機で使用できます。

※2 単独電話機のみ使用できます。

# 機能特番の一覧

多機能電話機、CL625親機の〔**オート**〕に登録できます。(☎157ページ)  
 CL625子機、WS605電話機は、未使用〔**外線**〕に〔**オート**〕に登録します。(☎31、157ページ)  
 DC600電話機は、未使用〔**外線**〕に〔**オート**〕に登録します。(☎32、158ページ)  
 ●受話器を置いた状態または未使用状態（「カレンダー・時計」表示時）で登録してください。

機能特番	機能名称	参考ページ	備考
01442	迷惑電話おことわり（NTT付加サービス）	☎237	外線通話中の電話に「迷惑電話おことわり」に登録する。
1	ハンズフリー応答の設定／解除※ <sup>1</sup>	☎171	
2	送話ミュートの設定／解除	☎128	
3	内線システム保留の設定／解除	☎144	
4	内線番号の確認	-	
6	ドアロック解錠	☎188	
84	外線話中設定の設定／解除	☎133	
85	外線状態表示	☎136	
93	BGM放送の設定／解除※ <sup>1</sup>	☎204	
94	着信履歴転送メール設定※ <sup>1</sup>	☎187	
99	機能ランプリセット	☎254	
9*	キッチンタイマ※ <sup>2</sup>	☎181	

※<sup>1</sup> 多機能電話機、CL625親機のみ使用できます。

※<sup>2</sup> DC600電話機を除く電話機で使用できます。

## 2つの機能が登録できる機能特番

多機能電話機、CL625親機の〔**オート**〕に登録できます。(☎157ページ)

機能特番	組合せ機能		備考
	機能 1	機能 2	
881XY	外線自動転送モード (外線転送1～4)	留守番モード (留守録1～3)	X=1～4：外線転送1～4 留守番指定電話機のみ Y=1～3：留守録1～3
882XY	外線自動転送モード (外線転送1～4)	留守番モード (お知らせ1～3)	X=1～4：外線転送1～4 留守番指定電話機のみ Y=1～3：お知らせ1～3
883XY	外線自動転送モード (外線転送1～4)	手動夜間設定 (夜間A、B)	X=1～4：外線転送1～4 Y=1～2：夜間A、B
884XY	留守番モード (留守録1～3)	手動夜間設定 (夜間A、B)	X=1～3：留守録1～3 留守番指定電話機のみ Y=1～2：夜間A、B
885XY	留守番モード (お知らせ1～3)	手動夜間設定 (夜間A、B)	X=1～3：お知らせ1～3 留守番指定電話機のみ Y=1～2：夜間A、B
886X	外線着信鳴動拒否設定	不在設定 (不在モード)	X=0～9 (不在理由0～9)

# メニュー特番のショートカット一覧

多機能電話機、CL625親機の[オート]に登録できます。(☎157ページ)  
 CL625子機、WS605電話機は、未使用[外線]に[オート]に登録します。(☎31、157ページ)  
 DC600電話機は、未使用[外線]に[オート]に登録します。(☎32、159ページ)  
 ●受話器を置いた状態または未使用状態(「カレンダー・時計」表示時)で登録してください。

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備考
0	ルートメニュー	-	
1	履歴(発信/着信)メニュー	-	
11	発信履歴表示	☎49	
11*	発信履歴の全件消去	☎77	
12	内線発信履歴表示	☎72	
12*	内線発信履歴の全件消去	☎77	
13	システム着信履歴表示	☎52	
13*	システム着信履歴の全件消去	☎78	
14	個別着信履歴表示	☎52	
14*	個別着信履歴の全件消去	☎78	
15	テナント着信履歴表示	☎52	
15*	テナント着信履歴の全件消去	☎78	
16	内線着信履歴表示	☎75	
16*	内線着信履歴の全件消去	☎78	
2	電話帳メニュー	-	
21	電話帳の新規登録	☎63	
22	電話帳の一覧表示	☎48	
23	電話帳のカナ検索	☎45	
24	電話帳のグループ検索	☎47	
24X	電話帳の選択グループXの一覧表示	☎47	X: 0~9 (グループ0~9) * (個別)
25	電話帳の個別カナ検索	☎45	
3	内線一覧表示	☎137	
4	外線転送関係メニュー	-	
41	外線転送モードメニュー	☎94	
41X	外線転送Xモードの編集メニュー	☎94	X: 1~4 (外線転送1~4)
41X1	外線転送Xモードの転送先選択	☎94	X: 1~4 (外線転送1~4)
41X1YZ	外線転送Xの転送先YZ (最大2カ所) のセット/解除	☎94	X: 1~4 (外線転送1~4) Y: 1~8 (外線転送先1~8、転送先1番目) Z: 1~8 (外線転送先1~8、転送先2番目)
41X2	外線転送Xモードの消去	☎93	X: 1~4 (外線転送1~4)
41X3	外線転送Xモードのセット/解除	☎93	X: 1~4 (外線転送1~4)
42	外線転送先メニュー*1、*2	☎91	
42X	外線転送先Xの編集メニュー*1、*2	☎91	X: 1~8 (外線転送先1~8)
42X1	外線転送先Xの確認メニュー*1、*2	☎91	X: 1~8 (外線転送先1~8)
42X2	外線転送先Xの消去*1、*2	-	X: 1~8 (外線転送先1~8)
43	外線転送タイマ連動メニュー*1、*2	☎163	
43X	外線転送Xタイマ連動メニュー*1、*2	☎163	X: 1~4 (外線転送1~4)
43XY	外線転送Xタイマ連動のY 曜日のタイマ選択メニュー*1、*2	☎163	X: 1~4 (外線転送1~4) Y: 0~6 (日曜日~土曜日)
43XYZ	外線転送Xタイマ連動のY曜日のタイマZの編集メニュー*1、*2	☎163	X: 1~4 (外線転送1~4) Y: 0~6 (日曜日~土曜日) Z: 1~2 (タイマ1~2)
43XY*	外線転送Xタイマ連動のY曜日の全タイマ消去*1、*2	☎164	X: 1~4 (外線転送1~4) Y: 0~6 (日曜日~土曜日)
44	外線転送起動時間の編集画面*1、*2	☎95	
44XY	外線転送起動時間のセット	☎95	X: 1~4 (外線転送1~4) YY: 00~30 (秒)
45	外線転送リモコン用暗証番号の消去*1、*2	☎98	
45XXXX	外線転送リモコン用暗証番号のセット*1、*2	☎98	XXXX: 0000~9999
5	留守番関係メニュー*1、*2	-	
51	各種メッセージの設定メニュー*1、*2	☎108	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備考
51X	メッセージXの編集メニュー*1、*2	☞108	X: 1~3 (留守番メッセージ1~3) 4~6 (応答専用メッセージ1~3) 7 (お待たせメッセージ) 8 (外線転送用メッセージ) 9 (非通知着信拒否メッセージ) 0 (迷惑電話拒否メッセージ) * (ワン留守メッセージ)
51X1	メッセージXの録音*1、*2	☞108	X: 1~3 (留守番メッセージ1~3) 4~6 (応答専用メッセージ1~3) 7 (お待たせメッセージ) 8 (外線転送用メッセージ) 9 (非通知着信拒否メッセージ) 0 (迷惑電話拒否メッセージ) * (ワン留守メッセージ)
51X2	メッセージXの再生*1、*2	☞109	X: 1~3 (留守番メッセージ1~3) 4~6 (応答専用メッセージ1~3) 7 (お待たせメッセージ) 8 (外線転送用メッセージ) 9 (非通知着信拒否メッセージ) 0 (迷惑電話拒否メッセージ) * (ワン留守メッセージ)
51X3	メッセージXの消去*1、*2	☞109	X: 1~3 (留守番メッセージ1~3) 4~6 (応答専用メッセージ1~3) 7 (お待たせメッセージ) 8 (外線転送用メッセージ) 9 (非通知着信拒否メッセージ) 0 (迷惑電話拒否メッセージ) * (ワン留守メッセージ)
52	留守番自動応答時間の編集画面*1、*2	☞111	
52XXX	留守番自動応答時間のセット*1、*2	☞111	XXX: 001~180 (秒)
53	用件の一括消去メニュー*1、*2	☞123	
531	留守番用件の一括消去*1、*2	☞123	
532	通話メモの一括消去*1、*2	☞123	
54	留守番サイレント設定のセット/解除*1、*2	☞111	
55	追っかけ転送先電話番号メニュー*1、*2	☞113	
551	追っかけ転送先電話番号の編集画面*1、*2	☞113	
552	追っかけ転送先電話番号の消去*1、*2	☞113	
56	留守番タイマ連動メニュー*1、*2	☞165	
56X	留守番タイマ連動のX曜日のタイマ選択メニュー*1、*2	☞165	X: 0~6 (日曜日~土曜日)
56XY	留守番タイマ連動のX曜日のタイマYの編集メニュー*1、*2	☞165	X: 0~6 (日曜日~土曜日) Y: 1~4 (タイマ1~4)
56X*	留守番タイマ連動のX曜日の全タイマ消去*1、*2	☞166	X: 0~6 (日曜日~土曜日)
57	留守番リモコン用暗証番号の消去*1、*2	☞124	
57XXXX	留守番リモコン用暗証番号のセット*1、*2	☞124	XXXX: 0000~9999
6	オートダイヤルメニュー	☞155	
7	音設定メニュー*2	-	
71	外線着信音量調節画面*2	☞26	
72	内線着信音量調節画面*2	☞26	
73	ドアホン着信音量調節画面*2	☞26	
74	受話音量調節画面*2	☞28	
75	スピーカ受話音量調節画面*2	☞29	
76	話中着信音量調節画面*2	☞29	
77	メロディ設定メニュー*1、*2	☞86	
77X	メロディXの曲選択メニュー*1、*2	☞86	X: 1~2 (保留1~2)、3~4 (着信1~2)
78	ボタン押下音のセット/解除*2	☞30	
79	メロディダウンロードメニュー*1、*2	☞186	
8	コンテンツ表示メニュー*1、*2	-	
81	コンテンツの一覧表示*1、*2	☞199	
82	コンテンツのスクロール設定*1、*2	☞199	
82X	コンテンツのスクロール設定のセット (方法Xを指定)*1、*2	☞199	X: 1~4 (表示しない/遅い/標準/速い)
83	コンテンツ手動更新*1、*2	☞199	
84	掲示板登録メニュー*1、*2	☞200	
84X	掲示板Xの編集メニュー*1、*2	☞200	X: 1~5 (掲示板1~5)

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備考
84X1	掲示板Xの登録メニュー*1、*2	☞200	X：1～5（掲示板1～5）
84X2	掲示板Xの消去*1、*2	☞200	X：1～5（掲示板1～5）
9	その他設定メニュー	—	
91	システムメニュー	—	
911	システムバージョン確認*1、*2	☞245	
912	夜間設定メニュー*1、*2	☞174	
9121	手動夜間設定の登録メニュー	☞174	
9121X	手動夜間設定のセット／解除	☞174	X：1（夜間A） 2（夜間B）
9122	夜間タイマ連動メニュー*1、*2	☞167	
9122X	夜間タイマ連動のX曜日のタイマ選択メニュー*1、*2	☞167	X：0～6（日曜日～土曜日）
9122XY	夜間タイマ連動のX 曜日のY タイマの編集メニュー*1、*2	☞167	X：0～6（日曜日～土曜日） Y：1～2（タイマ1～2）
9122X*	夜間タイマ連動のX曜日の全タイマ消去*1、*2	☞168	X：0～6（日曜日～土曜日）
913	迷惑電話メニュー*1、*2	—	
9131	迷惑電話の新規登録*1、*2	☞79	
9132	迷惑電話リストの一覧表示*1、*2	☞80	
9132*	迷惑電話リストの全件消去*1、*2	☞81	
914	グループ設定メニュー*1、*2	☞83	
914X	グループXの設定メニュー*1、*2	☞83	X：0～9（グループ0～9）
914X1	グループXのグループ着信音編集画面*1、*2	☞84	X：0～9（グループ0～9）
914X2	グループXのグループ着信ランプ編集画面*1、*2	☞85	X：0～9（グループ0～9）
914X3	グループXのグループ名編集メニュー*1、*2	☞83	X：0～9（グループ0～9）
914X31	グループXのグループ名編集画面*1、*2	☞83	X：0～9（グループ0～9）
914X32	グループXのグループ名消去*1、*2	☞83	X：0～9（グループ0～9）
914X4	グループXのFAX指定のセット／解除*1、*2	☞85	X：0～9（グループ0～9）
914X5	グループXのリモートコールバック指定のセット／解除*1、*2	☞182	X：0～9（グループ0～9）
915	表示関係メニュー*1、*2	☞178	
9151	着信ランプメニュー*1、*2	☞178	
91511	外線着信時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91512	内線呼出時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91513	ドアホン呼出時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91514	通話メモ/用件あり時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91515	時刻アラーム動作時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91516	FAX着信時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91517	不応答着信時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
91518	ですくde掲示板更新時の着信ランプ表示色の選択画面*1、*2	☞178	
9152	発信履歴表示設定画面*1、*2	☞70	
9153	着信履歴表示設定画面*1、*2	☞73	
9154	着信表示設定画面*1、*2	☞57	
9155	待機表示設定画面*1、*2	☞37	
9156	時刻表示設定画面*1、*2	☞37	
916	カレンダー／時計設定メニュー*1、*2	—	
9161	カレンダーの編集画面*1、*2	☞36	
9161 YYMMDD	カレンダーのセット*1、*2	—	YY：00～99（20YY：西暦下2桁） MM：01～12（01～12月） DD：01～31（01～31日）
9162	時計の編集画面*1、*2	☞36	
9162 HHMM	時計のセット*1、*2	—	HH：00～23（00～23時） MM：00～59（00～59分）
9163	特定日設定メニュー*1、*2	☞161	
9163X	特定日Xの編集メニュー*1、*2	☞161	X：1～2（特定日1～2）
9163X1	特定日Xの日付入力*1、*2	☞161	X：1～2（特定日1～2）
9163X2	特定日Xの一覧表示*1、*2	☞162	X：1～2（特定日1～2）
9163X2*	特定日Xの全日付消去*1、*2	—	X：1～2（特定日1～2）
9163X3	特定日Xの曜日選択メニュー*1、*2	☞162	X：1～2（特定日1～2）
9164	タイマ連動メニュー*1、*2	☞169	
91641	外線転送タイマ連動メニュー*1、*2	—	メニュー特番43の代わりにでも操作可
91642	留守番タイマ連動メニュー*1、*2	—	メニュー特番56の代わりにでも操作可
91643	夜間タイマ連動メニュー*1、*2	—	メニュー特番9122の代わりにでも操作可
91644	チャイムタイマ連動メニュー*1、*2	☞169	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備考
91644X	チャイムタイム連動の曜日選択メニュー*1、*2	☞169	X:0~6 (日曜日~土曜日)
91644XY	チャイムタイム連動のタイム選択メニュー*1、*2	☞169	X:0~6 (日曜日~土曜日) YY:01~20 (タイム01~20)
91644X*	チャイムタイム連動の全タイム消去*1、*2	☞170	X:0~6 (日曜日~土曜日)
917	ドアホン/外部センサ設定メニュー*1、*2	☞140	
917X	ドアホンX/外部センサの編集メニュー*1、*2	☞140	X:0 (外部センサ) / 1~3 (ドアホン1~3)
917X1	ドアホンX/外部センサの名前編集画面*1、*2	☞140	X:0 (外部センサ) / 1~3 (ドアホン1~3)
917X2	ドアホンX/外部センサの名前消去*1、*2	☞140	X:0 (外部センサ) / 1~3 (ドアホン1~3)
918	コンテンツ表示利用設定のセット/解除*1、*2	☞198	
919	不在関係メニュー*1、*2	☞145	
9191	不在理由設定メニュー*1、*2	☞145	
9191X	不在理由Xの編集メニュー*1、*2	☞145	X:0~9 (不在理由0~9)
9192	全電話機の不在設定解除*1、*2	☞150	
910	全電話機の時刻アラーム解除*1、*2	☞177	
91*	非通知着信メッセージ外線設定*1、*2	☞119	
92	電話機メニュー	-	
921	外線着信鳴動拒否設定のセット/解除*1、*2	☞27	
922	不在設定メニュー	☞146	
9220	不在設定の解除	☞146	
9221	不在モードメニュー	☞146	
9221X	不在モードのセット/解除	☞146	X:0~9 (不在理由)
9222	不在転送メニュー	☞148	
9222XX	内線XX (YYY) への	☞148	XX:10~89 (内線番号2桁)
9222YYY	不在転送のセット/解除		YYY:100~899 (内線番号3桁)
9223	話中/不応答転送メニュー	☞149	
9223XX	内線XX (YYY) への	☞149	XX:10~89 (内線番号2桁)
9223YYY	話中・不応答転送のセット/解除		YYY:100~899 (内線番号3桁)
923	ハンズフリー応答設定のセット/解除*2	☞171	
924	コントラスト調整画面*2	☞35	
925	時刻アラームメニュー*1、*2	☞176	
925X	時刻アラームXの編集メニュー*1、*2	☞176	X:1~2 (時刻アラーム1~2)
925X1	時刻アラームXの編集画面*1、*2	☞176	X:1~2 (時刻アラーム1~2)
925X1 HHMM	時刻アラームXのセット/解除*1、*2	☞176	X:1~2 (時刻アラーム1~2) HH:00~23 (00~23時) MM:00~59 (00~59分)
925X2	時刻アラームXの消去*1、*2	☞177	X:1~2 (時刻アラーム1~2)
925X3	時刻アラームXのセット/解除*1、*2	☞176	X:1~2 (時刻アラーム1~2)
926	自己内線情報の確認	☞173	
927	LCDバックライト設定*2	☞38	
92#	子機サイレント設定のセット/解除*2、*3	☞27	
93	通話料金集計メニュー*1、*2	☞179	
931	システムの通話料金集計の確認*1、*2	☞179	
9311	システムの通話料金集計の消去*1、*2	☞179	
932	テナントの通話料金集計メニュー*1、*2	☞179	
932X	テナントXの通話料金集計の確認*1、*2	☞179	X:1~4 (テナント1~4)
932X1	テナントXの通話料金集計の消去*1、*2	☞179	X:1~4 (テナント1~4)
933	外線の通話料金集計メニュー*1、*2	☞180	
933XX	外線XXの通話料金集計の確認*1、*2	☞180	XX:外線番号 (2桁)
933XX1	外線XXの通話料金集計の消去*1、*2	☞180	XX:外線番号 (2桁)
934	電話機の通話料金集計メニュー*1、*2	☞180	
934XX 934YYY	内線XX (YYY) の通話料金集計の確認*1、*2	☞180	XX:10~89 (内線番号2桁) YYY:100~899 (内線番号3桁)
934XX1 934 YYY1	内線XX (YYY) の通話料金集計の消去*1、*2	☞180	XX:10~89 (内線番号2桁) YYY:100~899 (内線番号3桁)
94	ネットワークメニュー*1、*2	-	
941	ネットワーク情報の確認*1、*2	☞245	
9411	主装置情報の確認*1、*2	☞245	
9412	ルータユニット情報の確認*1、*2	☞246	
9413	VoIPユニット1情報の確認*1、*2	☞246	
9414	VoIPユニット2情報の確認*1、*2	☞246	
9415	IPSTユニット1情報の確認*1、*2	☞247	
9416	IPSTユニット2情報の確認*1、*2	☞247	
942	IPユニットの再起動*1、*2	-	
9421	ルータユニットの再起動*1、*2	-	
9422	VoIPユニット1の再起動*1、*2	-	

メニュー特番	機能名称	参考ページ	備考
9423	VoIPユニット2の再起動※1、※2	—	
9424	IPSTユニット1の再起動※1、※2	—	
9425	IPSTユニット2の再起動※1、※2	—	
95	ユーザー設定メニュー※1、※2	☞8	
96	セーフティ関係メニュー※1、※2	※4	
96X	セーフティグループXメニュー※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）
96X1	セーフティモード解除用暗証番号※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）
96X2	通報ガイダンス設定※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）
96X3	通報先電話番号メニュー※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）
96X3Y	通報先Yの電話番号の編集メニュー※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）、Y：1～5（通報先）
96X3Y1	通報先Yの電話番号の編集画面※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）、Y：1～5（通報先）
96X3Y2	通報先Yの電話番号の消去※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）、Y：1～5（通報先）
96X4	セーフティリモコン用暗証番号※1、※2	※4	X：1～2（グループA～B）
963	威嚇音設定※1、※2	※4	
97	システム一覧※1	☞191	
9#	キー登録メニュー※3	☞31	
*	外線一覧	☞134	

※1 CL625子機、WS605電話機では動作しません。

※2 DC600電話機では動作しません。

※3 多機能電話機では動作しません。

※4 取扱説明書～セーフティ機能編を参照してください。

# 特殊番号の一覧

多機能電話機、CL625親機の〔オート〕に登録できます。(☞157ページ)  
 CL625子機、WS605電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕に登録します。(☞31、157ページ)  
 DC600電話機は、未使用〔外線〕に〔オート〕に登録します。(☞32、159ページ)  
 ●受話器を置いた状態または未使用状態（「カレンダー・時計」表示時）で登録してください。

特殊番号	機能名称	参考ページ	備考
10	外線手動転送	☞96	
12	お待たせ	☞118	
15	発信者番号	☞236	
17	表示切替※1	—	詳細内容の確認
20	留守※2	☞106	
21	再生※2	☞106	
22	消去※2	☞106	
23	スキップ※2	☞106	
24	用件再生※2	☞106	
25	レビュー※2	☞106	
26	通話メモ※2	☞106	
27	メモ再生※2	☞106	
28	迷惑電話登録※2	☞79	
29	留守子機切替※2	☞106	
30	ワン留守※2	☞106	
31	用件一覧※2	☞106	
32	通話メモ一覧※2	☞106	
40	☉※1	—	
41	☉※1	—	
42	会議	☞153	
43	リダイヤル	☞50	
50	いらっしやいまセンサA※4	※3	
51	いらっしやいまセンサB※4	※3	
60	警戒A※4	※3	
61	警戒B※4	※3	
70	FAXお知らせ1※4	☞135	
71	FAXお知らせ2※4	☞135	
80~99	パークXX	☞62	XX:00~19

- ※1 DC600電話機のみ使用できます。
- ※2 多機能電話機、CL625親機のみ使用できます。
- ※3 取扱説明書～セーフティ機能編を参照してください。
- ※4 DC600電話機を除く電話機で使用できます。

# オートダイヤル登録補助機能

## 内線番号／内線特番

多機能電話機	内線番号 内線特番	レベル1	レベル2	CLONES機・WS605電話機	内線番号 内線特番	レベル1	レベル2
		10～89 100～899	内線番号 内線番号		内線10～89 内線100～899		10～89 100～899
	960	コールピックアップ (他テナント)			960	コールピックアップ (他テナント)	
	961	内線代理応答			961	内線代理応答	
	962	自己保留外線再応答			962	自己保留外線再応答	
	963 *1	指定外線捕捉			963 *1	指定外線捕捉	
	966	コールピックアップ (自テナント)			966	コールピックアップ (自テナント)	
	968 *1	パーク保留			968 *1	パーク保留	
	969 *1	パーク保留応答			969 *1	パーク保留応答	
	970	一斉呼出 (電話機)			970	一斉呼出 (電話機)	
	971 *1	内線グループ呼出			971 *1	内線グループ呼出	
	975	構内放送1			975	構内放送1	
	976	構内放送2			976	構内放送2	
	977	全電話機と構内放送			977	全電話機と構内放送	
	978	構内放送一斉			978	構内放送一斉	
	979	呼出応答			979	呼出応答	
	97*	構内放送1呼出応答			97*	構内放送1呼出応答	
	97#	構内放送2呼出応答			97#	構内放送2呼出応答	
	981	ドアホンモニタ1			981	ドアホンモニタ1	
	982	ドアホンモニタ2			982	ドアホンモニタ2	
	983	ドアホンモニタ3			983	ドアホンモニタ3	
	986	送話ミュート付き 外線通話割込			986	送話ミュート付き 外線通話割込	

\*1 963XX (XX=01～30 : 外線01～30)、968XX (X=00～19 : パーク00～19)、969XX (XX=00～19 : パーク00～19)、971X (X=1～9 : 内線グループA～I) でもレベル1となります。

## 機能特番

多機能電話機	機能特番	レベル1	CLONES機・WS605電話機	機能特番	レベル2
		01442		迷惑電話おこわり	
	1	ハンズフリー応答の設定/解除		1	ハンズフリー応答の設定/解除
	2	送話ミュートの設定/解除		2	送話ミュートの設定/解除
	3	内線システム保留の設定/解除		3	内線システム保留の設定/解除
	6	ドアロック解錠		6	ドアロック解錠
	84	外線話中設定の設定/解除		84	外線話中設定の設定/解除
	886	外線着信鳴動拒否&不在モード		99	機能ランプリセット
	93	BGM放送の設定/解除		9*	キッチンタイマ
	94	着信履歴転送メール設定			
	99	機能ランプリセット			
	9*	キッチンタイマ			

# メニュー特番

メニュー特番	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
11	履歴（発信／着信）	発信履歴	発信履歴			
11*			発信履歴－全件消去			
12		内線発信履歴	内線発信履歴			
12*			内線発信履歴－全件消去			
13		システム着信履歴	システム着信履歴			
13*			システム着信履歴－全件消去			
14		個別着信履歴	個別着信履歴			
14*			個別着信履歴－全件消去			
15		テナント着信履歴	テナント着信履歴			
15*			テナント着信履歴－全件消去			
16		内線着信履歴	内線着信履歴			
16*			内線着信履歴－全件消去			
21	電話帳	電話帳－新規登録				
22		電話帳－一覧表示				
23		電話帳－カナ検索				
24 *2		電話帳－グループ検索				
25		電話帳－個別カナ検索				
3	内線一覧					
71	音関係	外線着信音量				
72		内線着信音量				
73		ドアホン着信音量				
74		受話音量				
75		スピーカ受話音量				
76		話中着信音量				
77 *2		メロディ設定				
78		ボタン押下音設定				
81	コンテンツ表示	コンテンツ表示－一覧表示				
82 *2		コンテンツ表示－スクロール設定				
83		コンテンツ表示－手動更新				
84		コンテンツ表示－掲示板登録				
9121 *1	その他	システム	手動夜間設定			
9131			迷惑電話		迷惑電話－新規登録	
9132					迷惑電話－一覧表示	
9132*					迷惑電話－全件消去	
91511			表示設定		着信ランプ	着信ランプ－外線着信
91512						着信ランプ－内線着信
91513						着信ランプ－ドアホン着信
91514						着信ランプ－通話メモ/用件
91515						着信ランプ－時刻アラーム
91516						着信ランプ－FAX通信
91517						着信ランプ－不応答着信
91518						着信ランプですくde掲示板
9152		発信履歴表示		発信履歴表示		
9153				着信履歴表示		
9154			着信表示			
9155			待機表示			
9156		時刻表示				
9180		コンテンツ表示 利用設定	コンテンツ表示 利用設定－解除			
9181			ですくdeRSS －セット/解除			
9182			ですくde掲示板 －セット/解除			
921		電話機	外線着信鳴動拒否設定	不在設定	不在設定－解除	
9220				不在モード		
9221 *3				不在転送		
9222 *3				話中/不応答転送		
9223 *3						
925 *1			時刻アラーム設定	アラーム1（1回） －セット/解除		
92523				アラーム2（毎日） －セット/解除		
927				LCDバックライト設定		
*			外線一覧			

②やうじ

オートダイヤル登録補助機能

多機能電話機

メニュー特番	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
11	履歴 (発信/着信)	発信履歴	発信履歴			
11*			発信履歴-全件消去			
12		内線発信履歴	内線発信履歴			
12*			内線発信履歴-全件消去			
13		システム着信履歴	システム着信履歴			
13*			システム着信履歴-全件消去			
14		個別着信履歴	個別着信履歴			
14*			個別着信履歴-全件消去			
15		テナント着信履歴	テナント着信履歴			
15*			テナント着信履歴-全件消去			
16		内線着信履歴	内線着信履歴			
16*			内線着信履歴-全件消去			
21		電話帳	電話帳-新規登録			
22			電話帳-一覧表示			
23			電話帳-カナ検索			
24*2			電話帳-グループ検索			
25	電話帳-個別カナ検索					
3	内線一覧					
71	音関係	外線着信音量				
72		内線着信音量				
73		ドアホン着信音量				
74		受話音量				
75		スピーカ受話音量				
76		話中着信音設定				
78		ボタン押下音設定				
9121*1		その他		システム	手動夜間設定	
92#	電話機		子機サイレント設定			
9220			不在設定	不在設定-解除		
9221*3				不在モード		
9222*3				不在転送		
9223*3				話中/不応答転送		
927			LCDバックライト設定			
*	外線一覧					

- ※1 9121X (X=0:解除、X=1:夜間A、X=2:夜間B) でもレベル3となります。  
 ※2 24X (X=0~9:グループ0~9)、77X (X=1~2:保留メロディ1~2、X=3~4:着信メロディ1~2)、82X (X=0:表示しない、X=1:遅い、X=2:標準、X=3:速い) でもレベル2となります。  
 ※3 9221X (X=0~9:不在理由0~9)、9222n (n=10~89:内線10~89、n=100~899:内線100~899)、9223n (n=10~89:内線10~89、n=100~899:内線100~899) でもレベル4となります。

## 特殊番号

特殊番号	レベル1	レベル2	特殊番号	レベル1	レベル2		
10	外線手動転送		84	パーク	パーク04		
12	お待たせ		85		パーク05		
15	発信者番号		86		パーク06		
20	留守		87		パーク07		
21	再生		88		パーク08		
22	消去		89		パーク09		
23	スキップ		90		パーク10		
24	用件再生		91		パーク11		
25	レビュー		92		パーク12		
26	通話メモ		93		パーク13		
27	メモ再生		94		パーク14		
28	迷惑電話登録		95		パーク15		
29	留守子機切替		96		パーク16		
30	ワン留守		97		パーク17		
31	用件一覧		98		パーク18		
32	通話メモ一覧		99		パーク19		
42	会議		CL625子機・WS605電話機		10	外線手動転送	
43	リダイヤル				12	お待たせ	
50*1	いらっしやいまセンサA				15	発信者番号	
51*1	いらっしやいまセンサB			42	会議		
60*1	警戒A			43	リダイヤル		
61*1	警戒B			50	いらっしやいまセンサA		
70	FAXお知らせ1			51	いらっしやいまセンサB		
71	FAXお知らせ2			60*1	警戒A		
80	パーク			パーク00	61*1	警戒B	
81				パーク01	70	FAXお知らせ1	
82			パーク02	71	FAXお知らせ2		
83			パーク03				

※1 取扱説明書~セーフティ機能編を参照してください。

# 文字、番号入力のかた

## 文字、番号入力のかた

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

### 漢字入力

【例】電話帳の名前登録（多機能電話機）

1

〔電話帳登録一名前〕の入力画面

《電話帳登録一名前》  
■  
桁数：最大16桁  
漢

2

文字を入力する

《電話帳登録一名前》  
とうきょう  
桁数：最大16桁  
漢

と■を交互に表示する

- 入力文字は、ダイヤルボタンから入力します。
- [短縮]で文字入力モードを変換します。  
かな(漢) → カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数)を繰り返します。
- 入力できる文字は、☎270ページの文字入力一覧をご覧ください。

3

を押す

《電話帳登録一名前》  
東京  
桁数：最大16桁  
漢

点滅

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- 表示例：「とうきょう」を変換して「東京」を表示
- 変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、[フラッシュ]を押したあとにかな文字で変換文字を変更してください。

4

を押す

《電話帳登録一名前》  
東京■  
桁数：最大16桁  
漢

- 変換候補が決定されます。
- 行末で[ ]を押すと、スペース(空)が入力できます。

### カナ入力

【例】電話帳のカナ登録（多機能電話機）

1

〔電話帳登録一名前〕の入力画面

《電話帳登録一名前》  
■  
桁数：最大16桁  
か

- カナは、名前入力時に自動的に入力されます。

2

カナを編集する

《電話帳登録一名前》  
キョウサカサハシヤ  
桁数：最大16桁  
か

- 入力文字は、ダイヤルボタンから入力します。
- 移動し、カナを編集します。
- [短縮]で文字入力モードを変換します。  
カナ(カナ) → 英字(英) → 数字(数)を繰り返します。
- 入力できる文字は、☎270ページの文字入力一覧をご覧ください。
- 多機能電話機、CL625親機の場合は、「英字」モードで[ ]を押したときの「~」は「」になります。「カナ」モードで行末で[ ]を押すとスペース(空)ができます。
- CL625子機、WS605電話機の場合は、「英字」モードで[ ]を押したときの「\$」、「%」、「+」、「¥」はスペース(空)になります。「カナ」モードで行末で[ ]を押すとスペース(空)ができます。

## 【例】電話帳の電話番号登録（多機能電話機）

# 1

### [電話帳登録—電話番号]の入力画面

《電話帳登録—電話番号》  
 ■  
 桁数：最大24桁  
 [短縮] 特殊コード

# 2

### 電話番号を編集する

《電話帳登録—電話番号》  
 0312345678 ■  
 桁数：最大24桁  
 [短縮] 特殊コード

《電話帳登録—電話番号》  
 [0001][0002][0003][0004]  
 桁数：最大24桁  
 [短縮] 特殊コード

- 電話番号は、ダイヤルボタンから入力します。
- 複数の短縮番号を組み合わせで登録するネスティングダイヤルの場合、[ ] 内に短縮番号 (0000 ~ 3999) を入れてください。
- 入力した文字を間違えた場合は、[フラッシュ] を押して消去します。
- 表示例：(上) 電話番号、(下) ネスティング

### MEMO

- 電話番号入力時、[短縮] を押すと特殊コードが入力できません。
- [短縮] を1回押すと「P」(ポーズ) を入力することができます。(待ち時間：お買い上げ時は約3秒)  
電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。(デジタル回線)  
(登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。)
- [短縮] を2回押すと「E」(切断コード) を入力することができます。(電話番号の最終桁のみ有効です。何も入力していない状態では入力できません)
- [短縮] を3回押すと「-」(ハイフン) を入力することができます。
- [短縮] を4回押すと「[ ]」(ネスティング) を入力することができます。  
短縮Aに短縮A (ネスティングさせたい短縮番号) を登録することはできません。  
共通短縮番号に個別短縮番号を登録することはできません。
- [短縮] を5回押すと「P」(ポーズ) に戻ります。入力モードが「数字」の場合には、「\*」と「#」は入力できません。「英文字」モードで入力します。

# 文字入力一覧

多機能電話機、CL625親機、CL625子機、WS605電話機

- ダイヤルボタンの形状は多機能電話機を例としています。
- 「カナ検索」、「個別カナ検索」で英字モードの[1]を押した場合、スペース（空き）は入力できません。

ボタン	かな (漢)	カナ (カナ)	英字 (英)	数字 (数)
[1]	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース (空き)	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABC abc	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEF def	3
[4]	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI ghi	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL jkl	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRS p q r s	7
[8]	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ w x y z	9
[0]	わをん°ー・!?.、	ワヲン°ー・!?.、	@. ~ / : _ ! ? ' - & ( ) " \$ % + , ; < = > [ ¥ ] ^ ` {   } [ ] * #	0
フラッシュ	一文字消去			
カーソル	カーソル右左移動 (同じ文字を続けて入力するときなどに押します)			

- ・CL625子機、WS605電話機の半角での「~\_ ; ^ ` |」はスペース（空き）となります。
- ・CL625子機、WS605電話機の半角での「{}」は「[]」となります。
- ・CL625子機、WS605電話機の半角での「abc ~ xyz」は「ABC ~ XYZ」となります。

⑩ ゆらりん

文字、番号入力のしかた

# 文字入力一覧

DC600電話機

- 「カナ検索」、「個別カナ検索」で英字モードの[1]を押した場合、スペース（空き）は入力できません。

ボタン	カナ (カナ)	英字 (英)	数字 (数)
[1]	アイウエオ アイウエオ	スペース (空き)	1
[2]	カキクケコ	ABC abc	2
[3]	サシスセソ	DEF def	3
[4]	タチツテト ッ	GHI ghi	4
[5]	ナニヌネノ	JKL jkl	5
[6]	ハヒフヘホ	MNO mno	6
[7]	マミムメモ	PQRS p q r s	7
[8]	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	8
[9]	ラリルレロ	WXYZ w x y z	9
[0]	わをん°ー・!?.、	@. ~ / : _ ! ? ' - & ( ) " \$ % + , ; < = > [ ¥ ] ^ ` {   } [ ] * #	0
フック	一文字消去		
カーソル	カーソル右左移動 (同じ文字を続けて入力するときなどに押します)		

## DC600電話機のローカル機能

設定モード、電話帳登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を示します。

ボタン	漢字/かな モード	全角カタカナ モード	半角カタカナ モード	全角英字 モード	半角英字 モード	数字 モード	記事
	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイヱ アウヱ	1., - : ; ' " ! # \$ % & ( ) * + / < = > ? @	1.,-:;!# \$%& ( ) *+?<=>?@	1	
	かきくけこ	カキクケコ	カクコ	ABC a b c 2	ABCabc2	2	
	さしすせそ	サシスセソ	サセソ	DEF d e f 3	DEFdef3	3	
	たちつてと っ	タチツテト ッ	タツト ッ	GHI g h i 4	GHIghi4	4	
	なにぬねの	ナニヌネノ	ナネノ	JKL j k l 5	JKLjkl5	5	
	はひふへほ	ハヒフヘホ	ヒフホ	MNO m n o 6	MNOmno6	6	
	まみむめも	マミムメモ	ミムモ	PQRS p q r s 7	PQRSpqrs7	7	
	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	ユヨ ユヨ	TUV t u v 8	TUVtuv8	8	
	らりるれろ	ラリルレロ	リルロ	WXYZ w x y z 9	WXYZwxyz9	9	
	わをん	ワヲン	ヲン	0	0	0	
	記号	記号	記号	記号	記号	*	
	""	""	""	/	/	#	
	1文字クリア（1秒以上長く押すと一項目すべてクリア）						クリア
	文字決定/入力終了						
	カーソルを1行上						
	カーソルを1行下						
	カーソルを右に移動						
	カーソルを左に移動						
	文字の入力モード切替（かな・漢字/全角カタカナ/半角カタカナ/全角英字/半角英字/数字）						

- ・システムの電話帳を登録するときの文字入力は、ローカル機能の電話帳登録の場合と異なりますので、ご注意ください。
- ・発信時にポーズダイヤルを入力する場合、を1秒以上長く押すことで入力できます。
- ・文字入力時にを押すことで、通常「あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お」と変換されるのを、「あ→→お→え→う→い→あ→お→え・・・」とします。（一文字確定ごとに通常動作に戻ります）
- ・メール本文編集時の文字入力時にを押すと改行が入力できます。

# 【索引】 (INDEX)

## 【B】

BGM 放送 ..... 204

## 【C】

CL625 電話機 ..... 12

CL625 親機から CL625 子機へ切り換える ..... 41

CL625 子機から CL625 親機へ切り換える ..... 40

## 【D】

DC600 電話機 ..... 16

## 【F】

FAX 着信お知らせ ..... 135

## 【I】

ISDN のサービス一覧 ..... 235

INS ボイスワープ ..... 239

IP 電話回線 ..... 189

IP 電話自動交換 ..... 190

IP 電話対応 ACR 機能 ..... 189

## 【L】

LCD 表示サイズの設定 ..... 223

LD600 電話機 ..... 14

## 【T】

TD615 電話機 ..... 10

TD625 電話機 ..... 11

TEL / FAX 自動切替 ..... 202

## 【V】

VoIP ..... 246

VoIP ユニットの自動ファームアップ ..... 25

## 【W】

Web 設定 ..... 248

WS605 電話機 ..... 12

W 機能登録 ..... 185

## 【ア行】

アラームの設定 / 解除 ..... 223

安全にお使いいただくために ..... 1

アンテナサーチ ..... 214

一次応答付き外線自動転送 ..... 95

一斉呼出 / 電話機グループ呼出 ..... 142、230

受付システム ..... 251

オートダイヤル ..... 155

オートダイヤル登録補助機能 ..... 265

オートリピートダイヤル ..... 51

追っかけ転送先電話番号の

登録 / 確認 / 変更 / 消去 ..... 113

オフフックダイヤル ..... 43

オフフック内線自動発信 ..... 151、231

オフフック発信 ..... 44

お問い合わせ窓口のご案内 ..... 277

お待たせメッセージ応答 ..... 118

おわかりにならないことは ..... 256

音声 / 信号音切替 ..... 229

オンフックダイヤル ..... 43

## 【カ行】

会議通話 ..... 153

外線一覧 ..... 134

外線会議通話 ..... 229

外線会議転送 ..... 96

外線自動転送起動時間 ..... 95

外線自動転送セット ..... 93

外線手動転送 ..... 96

外線状態表示 ..... 136

外線着信 ..... 227、234

外線着信鳴動拒否 ..... 27

外線通話中メニュー ..... 133

外線通話割込 ..... 130

外線転送コールバック ..... 97

外線転送タイマ連動 ..... 95、163

外線転送について ..... 87

外線転送メール送信先の登録 ..... 92

外線転送リモコン用暗証番号 ..... 98

外線発信 ..... 42、225、234

外線保留 ..... 58、227

各種機能ボタン割付 ..... 31

各種メッセージの録音 / 確認 / 変更 / 消去 ..... 108

カレンダー・時計の設定 ..... 36

キー押下音 ..... 30

キーモード設定 ..... 221

キーロック ..... 184

擬似コールウェイティング ..... 132

キッチンタイマ ..... 181

機能項目一覧 ..... 215

機能特番の一覧 ..... 258

機能モードの使いかた	215
機能ランプリセット	254
強制転送	60、228
緊急地震速報について	252
クイック通話	127
グループFAX 指定	85
グループ識別着信転送	95
グループ識別着信留守番	118
グループ名登録	82
グローバルIP アドレス通知	250
掲示板お知らせ	201
携帯電話対応 ACR 機能	131
圏外警告音の設定	223
コールウェイティング	151、231
コールピックアップ	129
公衆モード	208
口頭転送	61
構内放送	203、230
故障かな？とお考えになる前に	255
ご使用前の注意事項	19
誤動作防止機能	39
これ de 発信	250
コンテンツ表示の利用方法について	198
コンテンツ一覧表示	199
コンテンツ更新	199
コンテンツ個別表示設定	199
コンテンツ表示	198
コントラスト調整	35

## 【サ行】

サクサエコ商品認定基準	275
サブアドレス通知	236
サブアドレスリモコン	99
自営標準端末	225
自局番号表示	218
識別着信	64
時刻アラーム	176
時刻アラーム一括解除	177
システム一覧	191
システム間通話で電話を受ける	195
システム間通話で電話をかける	191
システムバージョン確認	245
指定外線捕捉	129、226
指定着信拒否	210
自動選局発信	43
自動着信リモコン	100
自動転送	59、227
修理を依頼されるときには	256
主装置のプログラム自動更新	25
受話音量調節	28
スピーカ受話	173
スピーカ受話音量調節	29
スライド着信	141
全設定初期化	224
送話ミュート	128
送話ミュート付き外線通話割込	130

## 【タ行】

タイマ連動について	160
ダイレクトリモコン	98
誰カラー着信	85
短縮ダイヤルから電話をかける	226
短縮番号検索発信	44
チェーンダイヤル	131
チャイムタイマ連動	169
着信音種の設定	220
着信音量調節	26
着信拒否設定	210
着信自動応答	57
着信メロディ Web 登録	249
着信メロディ登録	186
着信ランプ切替	178
着信履歴	73
着信履歴消去	78
着信履歴転送メール設定	187
着信履歴登録	66
着信履歴発信	52
着信履歴メール送信	250
通話メモ	120
通話料金集計	179
通話料金集計消去	179
停電について	253
ですく de 掲示板	200
転送先電話番号登録	91
電話帳一覧	48
電話帳 Web 編集	248
電話帳カナ検索発信	45
電話帳機能	205
電話帳グループ検索発信	47
電話帳ダウンロード	248
電話帳消去	76
電話帳登録	63
電話帳の初期表示設定	222
電話帳ボタンの設定	222
ドアホン通話	188、233
ドアホンモニタ	188、233
ドアロック解錠	188
動作モードの設定	219
特殊番号の一覧	264
特定日設定	161
時計の設定	223
ドライブモード	211

## 【ナ行】

内線一覧	137、194
内線オートリピートダイヤル	151、193
内線オフフック発信	53、192
内線オンフック発信	53、192
内線会議通話	154、233
内線強制転送	197
内線システム保留	144、197
内線自動転送	196

内線代理応答	141、231
内線着信自動応答	195
内線着信履歴	75
内線着信履歴発信	56
内線／ドアホン名前登録	139
内線独占保留	143、195
内線パーク保留	144、197
内線発信	53、229、234
内線発信履歴	72
内線発信履歴発信	54
内線番号／内線特番の一覧	257
内線番号の確認	173
内線プリセットダイヤル	54、192
内線捕捉中メニュー	152
内線保留	232
内線保留転送	232
内線優先モードと共通操作	234
内線リダイヤル	55、193
内線ワンタッチ発信	137
ナンバー・ディスプレイ	238
任意外線応答	57
ネーム・ディスプレイ	238
ネスティングダイヤル	128
ネットワーク情報確認	245

## 【ハ行】

パーク	62、228
パーソナルハンズフリー	171
パスワードの設定	222
パスワードの設定／解除	218
バックライト点灯時間の設定	222
バックライトの設定	38
発 ID 識別着信	65
発信者番号通知 (ISDN)	236
発信モード	218
発信履歴	70
発信履歴消去	77
発信履歴登録	66
発信履歴発信	49
ハンズフリー	172
非通知着信メッセージ応答	119
付加ダイヤルの設定	220
不在設定	146
不在設定一括解除	150
不在着信お知らせ	135
不在転送	148
不在理由表示機能	145
ブッシュ信号送出	181
フラッシュ機能	132
プリセットダイヤル	43
別システムからの外線発信	194
ヘッドセットの接続	204
保証とアフターサービス	256

## 【マ行】

マイネームの設定	224
マナーモード	207
迷惑電話おことわり (NTT 付加サービス)	237
迷惑電話登録	79
メニューの説明	33
メニュー特番のショートカット一覧	259
メロディ切替	86
メール機能	212
文字入力一覧	270

## 【ヤ行】

夜間タイマ連動	167
夜間モード切替	174
ユーザー登録	8
用件一括消去	123

## 【ラ行】

リセットコール	140、230
リダイヤル	50、226
リモコン操作一覧 (外線転送機能)	101
リモコン操作一覧 (留守番機能)	126
リモコン操作をする (留守番機能)	125
リモートコールバック	182
略図の説明	7
料金情報通知 (ISDN)	235
料金分計サービス	209
リレー着信機能の設定	220
留守子機切替	117
留守番サイレント設定	111
留守番指定電話機	106
留守番自動応答時間指定	111
留守番セット中に電話がかかってきたら	112
留守番セットのしかた	110
留守番タイマ連動	116、165
留守番電話サービス	209
留守番の概要	102
留守番リモコン用暗証番号	124
録音された用件の再生／消去	114

## 【ワ行】

話中設定	133
話中着信音量調節	29
話中／不応答転送	149
話中呼出	150、232
ワンショット留守番	117
ワンタッチ発信	127
ワンタッチダイヤルの設定	221



当社では、今後も環境に配慮した製品の開発を推進し、サクサブランドのエコ商品をグループ一体となって生み出すことにより、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

サクサエコマークは、下記の条件を満たした商品に適用します。

### サクサエコ商品認定基準

#### <環境に配慮した材料の採用>

- ・ 当社の定めた含有禁止物質を製品には使用しません。
- ・ 当社の定めた含有抑制物質については、その使用量を把握管理し抑制に努めます。
- ・ 酸性雨で地中に溶けだし人体に影響がある鉛については、使用量を把握管理し抑制に努めます。
- ・ 焼却時にダイオキシンが発生する恐れのある、ポリ塩化ビニル（PVC）や特定臭素難燃剤(PBDE及びPBB)の使用を抑制します。
- ・ 廃棄時の環境影響に配慮した当社の基準で推奨するプラスチック材料や金属材料を使用します。
- ・ 取扱説明書には、エコ認定商品の再生紙を使用し、使用する印刷インキは大豆油インキ等の非石油系インキを使用します。

#### <リサイクルしやすい設計>

- ・ リサイクルを容易にするために、プラスチック部品には材料名を表示します。
- ・ リサイクルを考慮しプラスチック材料はできる限り統一しています。
- ・ プラスチック材料への二次加工を抑制した設計を行います。

#### <環境に配慮した梱包材>

- ・ 緩衝材に発泡スチロールはできる限り使用しないようにしています。

#### <省エネルギー>

- ・ 省エネルギーを考慮した設計を行います。

#### <事前評価>

- ・ 設計・製造にあたっては、当社の定めた製品アセスメントを実施し、製品が環境に与える影響を評価しています。

## 保証書

この保証書は、本書無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。  
お買上げの日から、下記保証期間中に故障した場合には、お買上げの販売店に修理をご依頼のうえ、この保証書をご提示ください。  
なお、お買上げ年月日・販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合には、お買上げの販売店にお申し出ください。

品名	ボタン電話装置	型番	HM700	製造番号	
保証期間	お買上げ日 年 月 日より <b>本体は1年間</b>				
お客様	お名前				
	ご住所	〒 TEL.( )			
販売店	店名				
	住所	TEL.( )			

サクサ株式会社 

### <無料修理規定>

- 取扱説明書・本体ラベル・その他の注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店または当社が無料修理をさせていただきます。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理とさせていただきます。有料修理の場合には、修理料金と合わせて消費税をお支払い時に申し受けます。
  - ①使用上の誤りや改造または不当な修理による故障および損傷。  
(正規の資格を有する工事担当者以外の工事に起因する故障を含む)
  - ②お買上げ後の取付場所の移動・落下・引っ越し・輸送等による故障および損傷。
  - ③火災・地震・水害・落雷・塩害・ガス害・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
  - ④車両・船舶への搭載などに使用された場合の故障および損傷。
  - ⑤本書の提示がない場合。
  - ⑥本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - ⑦消耗部品（電池、コード類、シート、カバー類など）の交換や仕様変更する場合。
- ご転居の場合は、事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- 本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼にできない場合には、「お客様相談窓口」またはお近くの当社営業所にお問合わせください。
 

●お客様相談窓口 TEL.0570-001-393  
TEL.050-5507-8039
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
  - ・この保証書は、本書に明示した期間および条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の点は、取扱説明書をご参照いただくか、お買上げの販売店または当社「お客様相談窓口」にお問合わせください。
  - ・商品の不具合から生じた損害の補償について、当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

修理メモ